



Mac 向け Citrix Workspace アプリ

Contents

このリリースについて	3
Technical Preview	82
Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) 搭載 Mac のネイティブサポート	94
システム要件と互換性	97
インストール、アンインストール、およびアップグレード	102
アップデート	106
構成	115
モバイルデバイス管理 (MDM)	186
認証	190
セキュリティで保護された通信	193

このリリースについて

September 14, 2023

Mac 向け Citrix Workspace アプリの新機能、機能強化、解決された問題、既知の問題について説明します。

Technical Preview の機能一覧は「[Technical Preview](#)」セクションに記載されており、それらを 1 か所で確認することができます。Preview 機能をご使用後、添付の Podio フォームリンクを使用してフィードバックを共有してください。

注:

自動更新サービスは、バージョン 2301 以前の Mac 向け Citrix Workspace アプリではサポートされていません。自動更新サービスをサポートしていないバージョンを使用している場合は、Citrix Web サイトの[ダウンロード](#)サイトから Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2301.1 以降のバージョンのファイルをダウンロードして、手動でインストールできます。

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) ユニバーサルアーキテクチャ搭載 Mac のネイティブサポート

macOS 向け Citrix Workspace アプリは、Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac をユニバーサルアーキテクチャによりネイティブサポートするようになりました。ユニバーサルアーキテクチャを使用すると、Citrix Workspace アプリは、Rosetta エミュレーションなしに、Apple シリコンと Intel ベース Mac コンピューターの両方でネイティブに実行されます。このビルドは、Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac でネイティブに実行されます。そのため、このビルドを M1 および M2 シリーズを使用した Mac にインストールし、テストしておく必要があります。

注:

Citrix は引き続き、Rosetta 2 ダイナミックバイナリトランスレーターを使用する Intel ベースの Mac をサポートします。ただし、Citrix は、Rosetta エミュレーションを使用する Mac 向け Citrix Workspace アプリを間もなく廃止します。「[廃止](#)」セクション記載のお知らせに注意してください。

ユニバーサルアーキテクチャビルドまたは Intel ビルドを、「[Downloads](#)」ページの **Citrix Workspace App for macOS (Apple silicon)** セクションからダウンロードできるようになりました。Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を実行している Mac で Citrix Workspace アプリを使用している場合は、HDX RealTime Optimization Pack (RTOP) をアップグレードする必要があります。これにより、Microsoft Skype for Business のオーディオ/ビデオ会議やボイスオーバー IP の企業向け電話が最適化されます。Mac 用 HDX RealTime Media Engine 2.9.500 は、Citrix Web サイトの「[Downloads](#)」からインストールできます。

所属組織でサードパーティのプラグインまたは仮想チャネルを使用している場合は、これらのプラグインが Apple シリコンを実行する Mac と互換性があることを確認する必要があります。プラグインが社内が開発されたものである場合は、ユニバーサルアーキテクチャビルドをインストールする前に、これらのプラグインを再構築 (リビルド) する必要があります。

ユニバーサルアーキテクチャビルドのアンインストールやカスタム仮想チャネル SDK (VCSDK) の使用などについて詳しくは、「[Apple シリコンのネイティブサポート](#)」セクションを参照してください。

2307 の新機能

M2 チップを搭載した Mac のネイティブサポート

リリース 2307 から、macOS 向け Citrix Workspace アプリは、Apple シリコンの M2 シリーズ（これまでサポートされてきた M1 シリーズと共に）をネイティブにサポートします。詳しくは、「[Apple シリコンのネイティブサポート](#)」を参照してください。

Mac 向け Citrix Workspace アプリを macOS Sonoma Beta で使用

Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2307 は、macOS Sonoma パブリック Beta 1 バージョン 23A5286i でテストされています。このセットアップをテスト環境で使用し、[フィードバック](#)を提供してください。

注意:

実稼働環境で macOS Sonoma Beta 版の Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用しないでください。

macOS バージョン Catalina のサポートの廃止

リリース 2304 で発表されたように、macOS バージョン Catalina (10.15) のサポートはリリース 2307 を持って廃止となり、今後のリリースでは打ち切られる予定です。詳しくは、「[廃止](#)」を参照してください。

クラウドストアへの接続で FIDO2 を使用した認証のサポート

リリース 2307 から、ユーザーはクラウドストアに接続するときに、FIDO2 を使用したパスワードレス認証を利用できるようになりました。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリやデスクトップに認証するためのシームレスな方法を提供します。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証 (USB のみ) をサポートしています。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。詳しくは、「[クラウドストアへの接続時における FIDO2 を使用した認証](#)」を参照してください。

HDX セッションにおける FIDO2 を使用した認証のサポート

2307 リリースから、ユーザーは HDX セッション内で FIDO2 を使用したパスワードレス認証を利用できるようになりました。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリや Web サイトに認証するためのシームレスな方法を提供します。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証 (USB のみ) をサポートしています。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。詳しくは、「[HDX セッションにおける FIDO2 を使用した認証](#)」を参照してください。

注

このリリースでは、FIDO2 対応デバイスで 1 つのパスキーのみがサポートされます。FIDO2 対応デバイスに複数のパスキーがある場合、最初のパスキーが HDX セッションの認証に使用されます。

バージョン自動更新の制御

管理者は、組織内デバイスの Citrix Workspace アプリのバージョン自動更新を管理できるようになりました。

管理者は、Global App Config Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティで範囲を設定することにより、バージョンを制御できます。

Global App Config Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Version Control for Citrix Workspace",
11    "description": "Provides admin ability to Version Control for
12      Citrix Workspace",
13    "useForAppConfig": true,
14    "appSettings": {
15
16      "macos": [
17
18        {
19
20          "category": "AutoUpdate",
21          "userOverride": false,
22          "assignedTo": [
23            "AllUsersNoAuthentication"
24          ],
25          "settings": [
26
27            {
28
29              "name": "Auto update plugins settings",
30              "value": [
31
32                {
33
34                  "pluginName": "Citrix Workspace",
35                  "pluginId": "D99C3E77-FBF5-4B97-8EDA-4E381A1E0826",
```

```
32         "pluginSettings": {
33
34             "deploymentMode": "Update",
35             "upgradeToLatest": false,
36             "minimumAllowedVersion": "23.07.0.63",
37             "maximumAllowedVersion": "23.07.0.63",
38             "delayGroup": "Medium",
39             "detectRule": ""
40         }
41
42     }
43
44     ]
45 }
46
47 ]
48 }
49
50 ]
51 }
52
53 }
54
55 }
56
57
58 <!--NeedCopy-->
```

範囲が設定されていると、ユーザーのデバイスの Citrix Workspace アプリは、その指定された範囲内で利用可能な最新バージョンに自動更新されます。

Citrix Workspace アプリを特定のバージョンに自動更新する場合は、Global App Config Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティに同じバージョンを入力します。詳しくは、「[バージョン自動更新の制御](#)」を参照してください。

注:

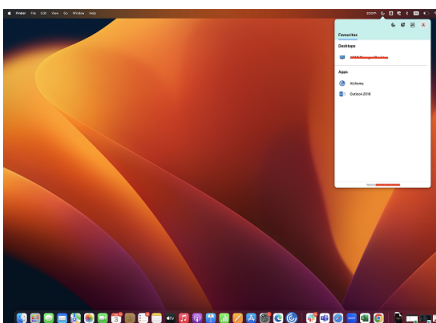
- バージョン自動更新を制御するには、Global App Config Service の `upgradeToLatest` 設定を `false` に設定する必要があります。これが `true` の場合、`maximumAllowedVersion` と `minimumAllowedVersion` は無視されます。
- `pluginId` は Citrix Workspace アプリにマッピングされているため、変更しないでください。
- 管理者が Global App Config Service でバージョンを構成していない場合、デフォルトで Citrix Workspace アプリは利用可能な最新バージョンに更新されます。
- Citrix Workspace アプリを更新するために設定されているバージョン範囲のみを使用できますが、ダウ

ングレードはサポートされていません。

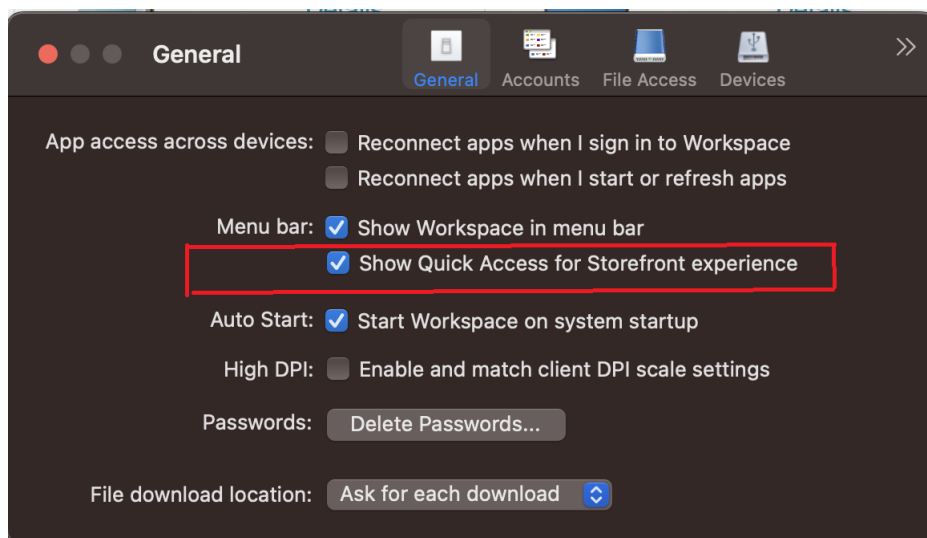
- この機能は、リリース 2307 以降でサポートされています。

StoreFront のクイックアクセスメニュー

リリース 2307 から、オンプレミスストアのクイックアクセス機能を使用して、お気に入りのアプリやデスクトップにすばやく簡単に移動できるようになりました。クイックアクセスを有効にするには、ツールバーで **[Citrix Workspace]** を右クリックし、**[環境設定] > [一般]** に移動し、次いで **[StoreFront 環境へのクイックアクセスを表示する]** を選択します。この機能を使用すると、Mac のメニューバーからお気に入りのデータを直接表示できます。



このクイックアクセス機能を有効にするには、**[環境設定]** を使用します。



クイックアクセス機能を有効または無効にするには、管理者がモバイルデバイス管理 (MDM: Mobile Device Management) または Global App Config Service (GACS) のメソッドを使用します。詳しくは、「[StoreFront のクイックアクセスメニュー](#)」を参照してください。

MDM を使用してクイックアクセスを有効または無効にする

MDM を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

```
<key>ShowQuickAccessForStoreFront</key>  
<false/>
```

GACS を使用してクイックアクセスを有効または無効にする

GACS を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

```
enableQuickAccessForStoreFront
```

マイクと **Web** カメラのアクセスに関するストアごとの設定

2307 リリース以降、Client Selective Trust 機能の一部として、ストアごとのマイクと Web カメラへのアクセスが含まれます。この機能強化により、ストアごとにマイクと Web カメラへのアクセスを提供できるようになります。

ストアのマイクと Web カメラへのアクセスを有効にするには、[設定] > [マイクと **Web** カメラ] を選択する必要があります。[マイクと **Web** カメラ] タブで、ストアとそのストアに必要なアクセスの種類を選択します。

Citrix Workspace アプリに関するフィードバックを送信する

[フィードバックの送信] オプションを使用すると、Citrix Workspace アプリの使用中に問題が発生した場合に Citrix に通知できます。Citrix Workspace アプリのエクスペリエンスを改善するためのご提案を送信いただくこともできます。

[ヘルプ] > [フィードバックの送信] を選択して、問題の詳細を [フィードバックの送信] フォームに記入し、確認します。フォームに記載されている例のような詳細を追加できます。

Log collection'. Below this is a button labeled 'Record my issue' and a file attachment 'WorkspaceLogs_2023_07_18-14_23_43.zip' with a trash icon. Below the logs section is the 'Attachments' section with text: 'Screenshots or screen recordings of the problem.' and a button labeled 'Choose files' with '(Max 4 files)' next to it. At the bottom, there are two buttons: 'Send' (dark blue) and 'Cancel' (light blue)."/>

画面

既存のログファイルを添付することも、新しいログファイルを生成することもできます。ログファイルを生成するには、**[Record my issue] > [Start Recording]** をクリックし、問題を再現します。問題が再現されたら、**[記録の停止]** をクリックします。ログファイルは自動的に保存され、既存のログが、問題が再現されたログに置き換えられます。

注

Citrix がログから PII（個人を特定できる情報）を収集することはありません。

問題を説明したスクリーンショットまたは画面録画を添付していただくと、Citrix が発生している問題を確認するうえで役立ちます。**[ファイルの選択]** をクリックし、スクリーンショットや画面録画などの添付ファイルを追加します。最大 4 つのファイルを添付できます。

必要な情報を入力後、**[送信]** をクリックすると、追加した情報を含む新しいメールがメールアプリで自動的に作成されます。次いで、**[送信]** ボタンをクリックすれば、フィードバックが Citrix に送信されます。詳しくは、「[Citrix](#)

[Workspace アプリに関するフィードバックを送信する](#)を参照してください。

注

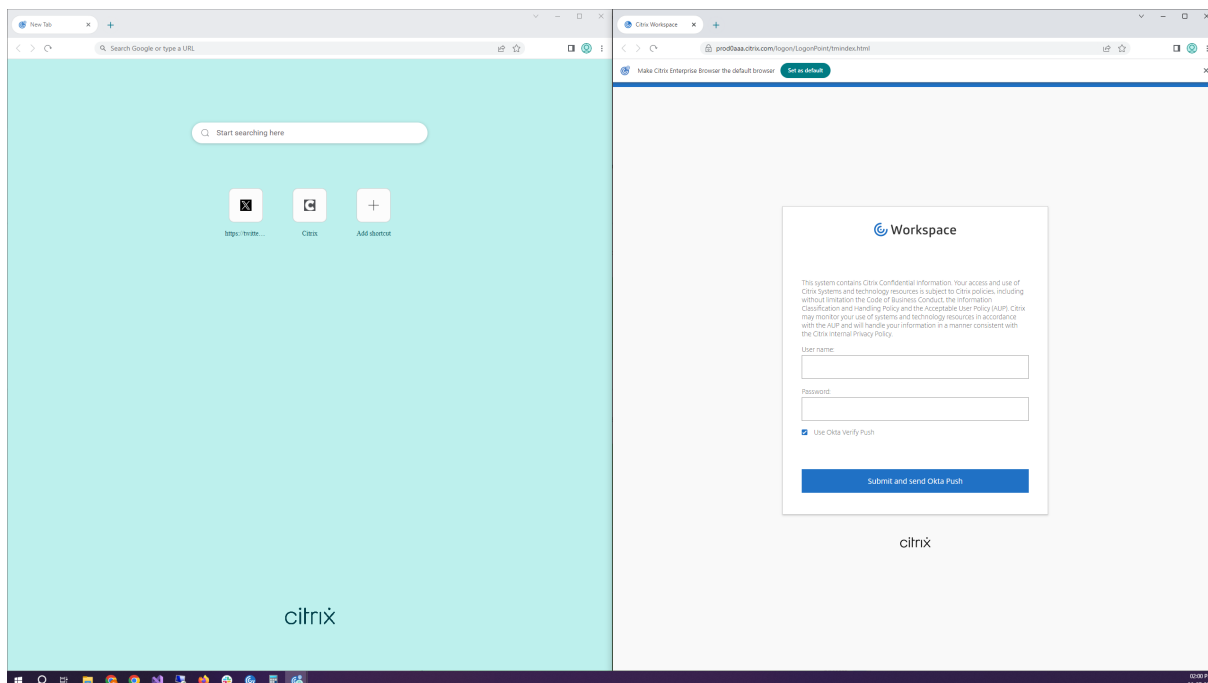
デフォルトのメールアプリを使用していない場合は、フィードバックをご使用のメールクライアントから cwa-mac-feedback@cloud.com に送信してください。問題の詳細、ログファイル、スクリーンショット、または画面録画をメールに手動で追加します。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 113 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 113.1.1.34 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

分割ビューのサポート

macOS 版の Citrix Enterprise Browser は、マルチタスクを容易にする分割ビューをサポートしています。分割ビューを使用すると、Citrix Enterprise Browser と別のウィンドウを、どちらも手動で移動したりサイズ変更したりしなくても、隣接して使用できます。詳しくは、[Apple のサポート](#) 記事を参照してください。



Citrix Enterprise Browser のショートカット

Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2307 から、管理者は起動パッド上での Citrix Enterprise Browser のショートカットのプレゼンスを構成および制御できるようになりました。

注:

この機能はデフォルトでは構成されていません。

構成

IT 管理者は、次のいずれかの方法で Citrix Enterprise Browser のショートカットのプレゼンスを構成できます。

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global Admin Configuration service (GACS)
- web.config ファイル

注:

- どの方法で構成しても、優先順位に変わりはありません。つまり、これらのいずれかを構成すれば、ショートカットが有効になります。
- ショートカットを構成していない場合でも、1 つ以上のワークスペースストアがあるときは、ショートカットが自動的に有効になります。
- エンドユーザーの場合、Citrix Enterprise Browser をお気に入りのアプリにすると、そのショートカットが構成に関係なく表示されます。
- Workspace ストアに対してこの機能を無効にするには、管理者が次の設定のいずれかを適用する必要があります。
- MDM または web.config ファイルで [CEBShortcutEnabled] 属性を [false] に設定する。
- GACS で [Citrix Enterprise Browser のショートカットを有効にする] プロパティを無効にする。

モバイルデバイス管理 (MDM)

管理者は、値を [true] にした設定 [CEBShortcutEnabled] をユーザーのデバイスにプッシュできます。

MDM の使用方法について詳しくは、「[モバイルデバイス管理 \(MDM\)](#)」を参照してください。

注:

この構成方法は、Workspace と StoreFront に適用できます。

Global Admin Configuration service (GACS)

[ワークスペースの構成] > [アプリ構成] > [Citrix Enterprise Browser] に移動し、[Citrix Enterprise Browser のショートカットを有効にする] を有効にします。

The screenshot displays the configuration interface for Citrix Enterprise Browser. It features four main sections, each with a title, a brief description, and a status indicator (0 Configured, 0 Unsaved):

- List Of Allowed Extensions:** You can add a list of extensions that the end users can install within the Citrix Enterprise Browser. The end user can't install other extensions apart from the allowed list. [Learn More.](#)
- Add Managed Bookmarks:** You can add a list of bookmarks to the Citrix Enterprise Browser. The end user can't modify these bookmarks.
- Delete Browsing Data On Exit:** You can configure what type of data the Citrix Enterprise Browser can delete when the end user exits the browser. Note: Deleting the browsing data can affect usability. [Learn More](#)
- Enable Citrix Enterprise Browser Shortcut:** Creates a Citrix Enterprise Browser shortcut on the Start menu in Windows and Launchpad in macOS. If a user marks Enterprise Browser as favorite, a shortcut is created irrespective of the configuration.

At the bottom, there are two rows of settings for enabling the shortcut:

- Mac:** Checked checkbox, "Enabled" label, toggle switch is turned on, "Unsaved" label.
- Windows:** Checked checkbox, "Disabled" label, toggle switch is turned off, "Unsaved" label.

At the bottom of the interface, there is a warning message: "You have saved drafts that are not yet published in Production. You may continue editing or publish now to apply changes to Workspace for your end users." To the right of this message are two buttons: "Review 2 unsaved setting(s)" and "Publish Drafts".

GACS の UI の使用方法について詳しくは、Citrix Enterprise Browser ドキュメントに記載されている「[ユーザーインターフェイス](#)」の記事を参照してください。

注:

この構成方法は、Workspace と StoreFront に適用できます。

web.config ファイル

[プロパティ] にある属性 **[CEBShortcutEnabled]** を有効にします。

```
1 <properties>
2     <property name="CEBShortcutEnabled" value="
3         True" />
4 </properties>
5
6 <!--NeedCopy-->
```

注:

この構成方法は StoreFront に適用できます。

web.config ファイルの使用

Citrix Enterprise Browser のショートカットを有効にするには、次の手順を実行します。

1. テキストエディターを使って web.config ファイルを開きます。このファイルは通常、`C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roaming directory`にあります。

- このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。

たとえば、次のようになります: `<account id=... name="Store">`

- `</account>` タグの前にあるユーザーアカウントのプロパティに移動し、次の内容を追加します。

```
1         <properties>
2             <property name="CEBShortcutEnabled" value=
3                 "True" />
4         </properties>
5 <!--NeedCopy-->
```

次に、web.config ファイルの例を示します。

```
1 <account>
2     <clear />
3     <account id="d1197d2c-ac82-4f13-9346-2ee14d4b0202" name="F84Store"
4         description="" published="true" updaterType="Citrix"
5         remoteAccessType="None">
6         <annotatedServices>
7             <clear />
8             <annotatedServiceRecord serviceRef="1__Citrix_F84Store">
9                 <metadata>
10                    <plugins>
11                        <clear />
12                    </plugins>
13                    <trustSettings>
14                        <clear />
15                    </trustSettings>
16                    <properties>
17                        <property name="CEBShortcutEnabled" value="True" />
18                    </properties>
19                </metadata>
20            </annotatedServiceRecord>
21        </annotatedServices>
22        <metadata>
23            <plugins>
24                <clear />
25            </plugins>
26            <trustSettings>
27                <clear />
28            </trustSettings>
29            <properties>
30                <clear />
31            </properties>
```

```
31     </metadata>
32     </account>
33
34 <!--NeedCopy-->
```

web.config を使用した構成方法

1. テキストエディターを使って web.config ファイルを開きます。このファイルは通常、C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roami ディレクトリにあります。
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。
たとえば、次のようになります: `<account id=... name="Store">`
3.
 - `</account>` タグの前にあるユーザーアカウントのプロパティに移動し、次の内容を追加します。

```
1         <properties>
2             <property name="CEBShortcutEnabled" value=
3                 "True" />
4         </properties>
5
6 <!--NeedCopy-->
```

Technical Preview

- Virtual Desktop 上のツールバーに関するキーボードアクセシビリティのサポート [Technical Preview]

Technical Preview の機能について詳しくは、「[Technical Preview](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- 公開されたアプリをブラウザで起動すると、アプリは直接起動せず、ICA ファイルをダウンロードします。アプリを起動するには、ダウンロードした ICA ファイルを手動で開く必要があります。[CVADHELP-20835]
- StoreFront のキーワードが「KEYWORDS:LogoffOnClose=true PromptMessage="Do you want to Log off?"」に設定されている場合、セッションを開始しようとすると失敗する可能性があります。[CVADHELP-23170]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用する場合、提供されるオプションのリストから必要なゲートウェイを選択できない場合があります。[CVADHELP-22777]

既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

以前のリリース

このセクションでは、以前のリリースの機能と、解決された既知の問題を示します。リリースは、リリース日の 18 か月後に製品終了 (EOL) になります。サポートされているバージョンのライフサイクル日程について詳しくは、「[Citrix Workspace アプリおよび Citrix Receiver のライフサイクルマイルストーン](#)」を参照してください。

2306

新機能

ログのトレーサビリティとユーザーアクティビティ

2306 リリース以降、ユーザーが問題を報告すると、管理者はログファイルを調べて、macOS のバージョン、Citrix Workspace アプリのバージョン、以前のアップグレードの詳細、追加されたストアの数などの基本情報を確認できるようになりました。管理者は、Mac 向け Citrix Workspace アプリで次のアクティビティを表示できるようになりました：

- 起動されたアプリと macOS バージョン、ストア数、その他のメタデータ。
- ストアの追加および削除操作、およびアカウントの追加に必要なメタデータ。
- セッションの開始時刻と起動状態。
- 自動更新のアクティブ化と状態。
- アプリのバックグラウンドへの移動、スリープモード、終了などのシステムイベント。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 112 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 112.1.1.23 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリをバージョン 2305 にアップグレードした後、ユーザー名とパスワードの入力が必要なポップアップダイアログを表示する特定のサードパーティ製仮想アプリが、応答しなくなる場合があります。[CVADHELP-23032]

既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2305

新機能

横スクロールのサポート

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、トラックパッドでの垂直スクロールのみをサポートしていました。2305 リリース以降は、横スクロールもサポートされています。詳しくは、「[横スクロールのサポート](#)」を参照してください。

オーディオエコーキャンセルのサポートの改善

Citrix Workspace アプリは、アダプティブオーディオおよび従来のオーディオコーデックでエコーキャンセル機能をサポートするようになりました。この機能は、リアルタイムのオーディオユースケース向けに設計されており、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。アダプティブオーディオを使用することをお勧めします。詳しくは、「[オーディオエコーキャンセルのサポートの改善](#)」を参照してください。

グラフィックパフォーマンスの向上 **[Technical Preview]**

2305 リリース以降、シームレスセッションのグラフィックのパフォーマンスが大幅に向上しました。この機能により、CPU 使用率への負荷も軽減されます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

証明書ベースの認証のサポート

2305 リリース以降、Workspace 管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成および適用できます。

条件付きアクセスを使用して認証を有効にするには、次の方法を使用できます:

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global App Config Service (GACS)

Citrix Workspace アプリによって読み取られるフラグ値は、次の順序で優先されます:

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global App Config Service (GACS)

詳しくは、「[証明書ベースの認証のサポート](#)」を参照してください。

Global App Configuration Service チャンネルのサポート

Citrix Workspace 向けの Global App Configuration Service を使用すると、Citrix 管理者は、一元管理されたサービスによって Workspace サービスの URL と Workspace アプリの設定を配信できます。Global App Configuration Service では、管理者が設定をすべてのユーザーにロールアウトする前にテストできるようになりました。この機能を使用すると、Global App Configuration をユーザーベース全体に適用する前に問題を解決できます。詳しくは、「[Global App Configuration Service チャンネルのサポート](#)」を参照してください。

自動更新エクスペリエンスの向上

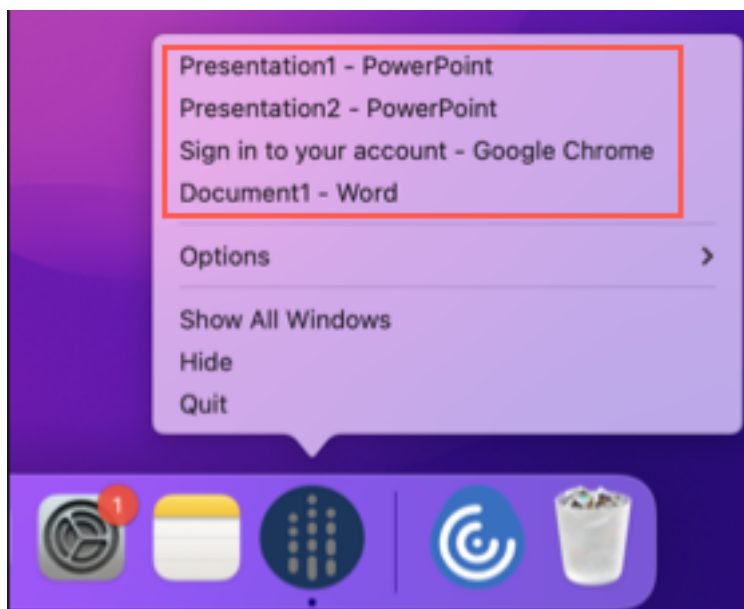
自動更新機能は、ユーザーの操作を必要とせずに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。

Citrix Workspace アプリは、アプリの利用可能な最新バージョンを定期的にチェックしてダウンロードします。Citrix Workspace アプリは、ユーザーのアクティビティに基づいてインストールの最適なタイミングを決定し、中断を引き起こさないようにします。

詳しくは、「[自動更新エクスペリエンスの向上](#)」を参照してください。

開いているアプリをネイティブアプリのアイコンでドックに表示

以前は、Citrix Workspace アプリで仮想アプリをクリックすると、これらのアプリを使用できるようになる **Citrix Viewer** がトリガーされました。多くのアプリを開くと、アプリまたはそのインスタンスが **Citrix Viewer** で開きます。**Citrix Viewer** アイコンを右クリックすると、開いているアプリを表示できます。



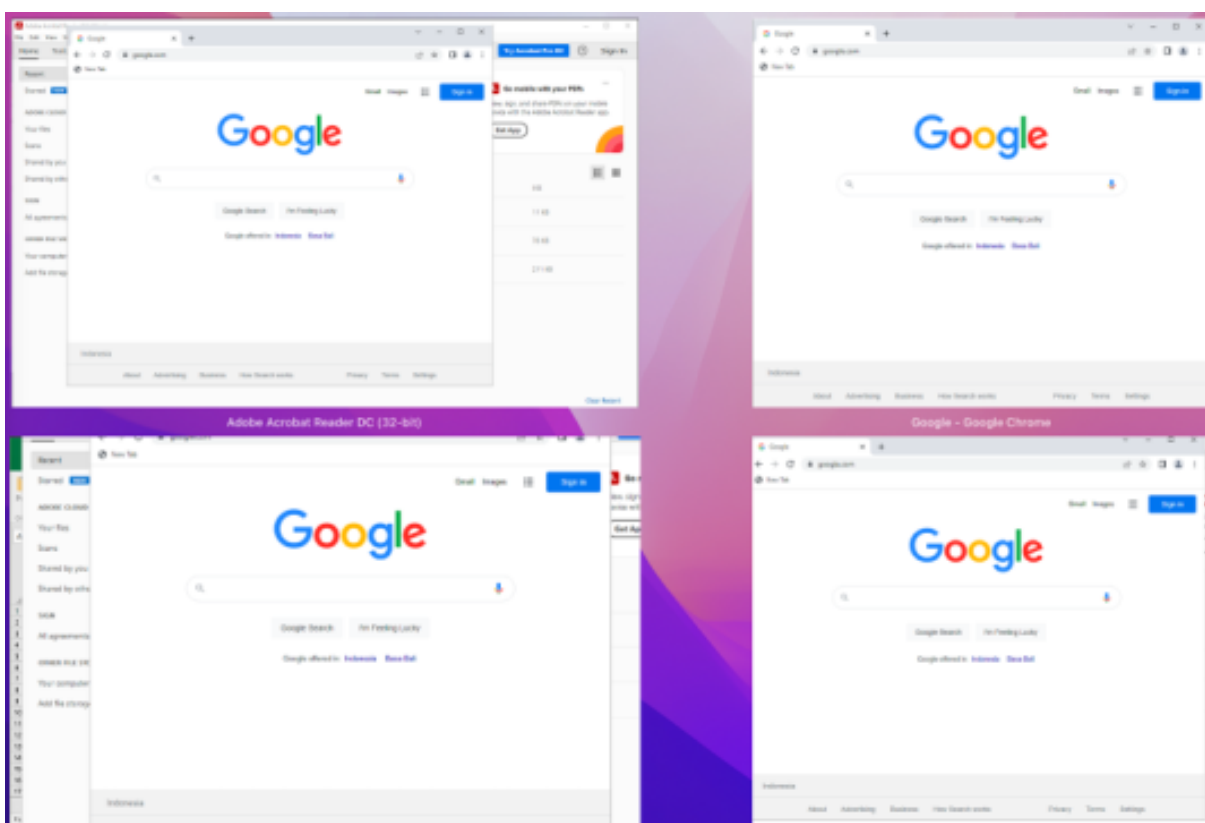
2305 リリース以降、仮想アプリを開くと、ドック（画面の右下隅）に簡単に見分けることができるそれぞれのアイコンで表示されるようになります。これによって、ドックから仮想アプリにアクセスできます。アプリの複数のインスタンスを開くと、これらのインスタンスはドックに複製されず、ドック内でグループ化されて 1 つのインスタンスとして表示されます。



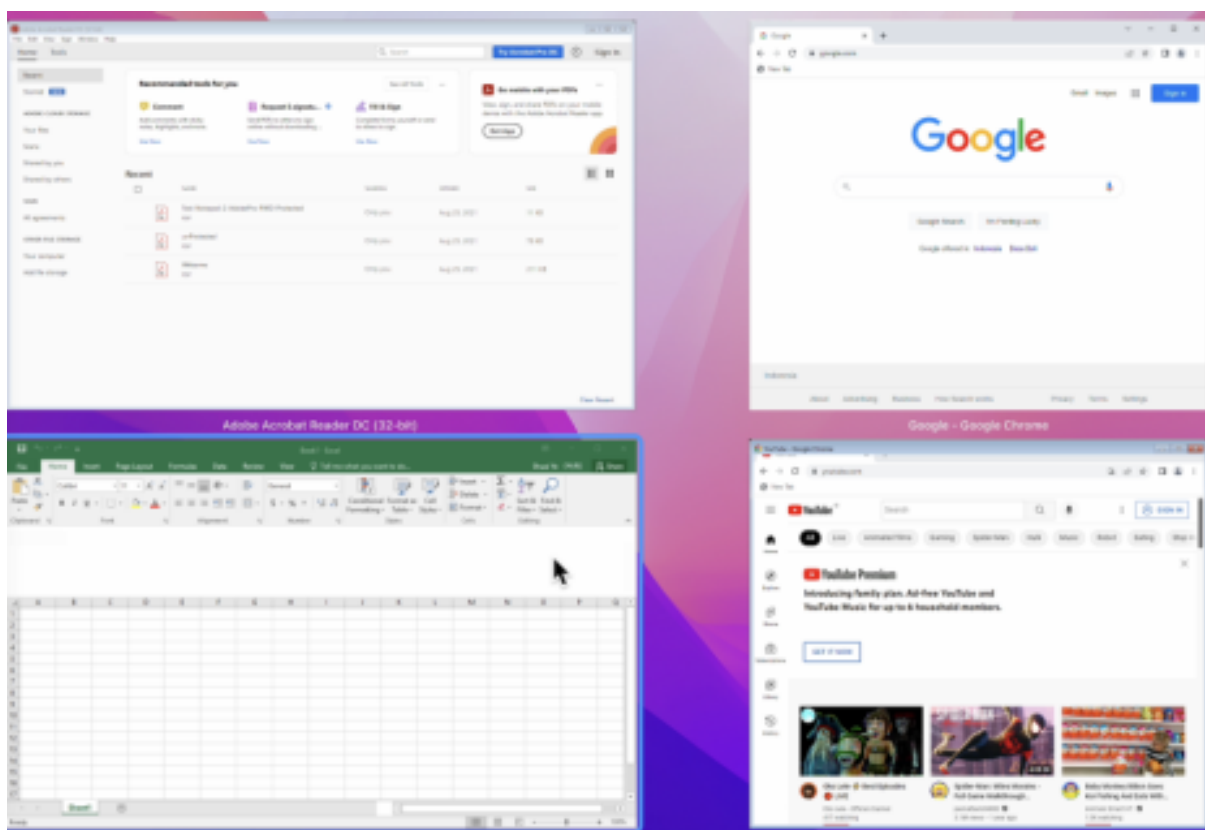
詳しくは、「[開いているアプリをネイティブアプリのアイコンでドックに表示](#)」を参照してください。

Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスペリエンスの向上

以前は、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用すると、開かれた多くのウィンドウが重なって表示されていました。



2305 リリース以降、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用して多くのウィンドウを開くと、ウィンドウが重複せず簡単に選択できます。



詳しくは、「[Mission Control およびアプリケーション Expose エクスperiencesの向上](#)」を参照してください

最適化された **Microsoft Teams** 通話のスリープモードの機能強化

以前は、最適化された Microsoft Teams 会議に参加しているときに、マウスまたはキーボードの操作がない場合、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams 画面がスリープモードになることがありました。

2305 リリース以降、最適化された Microsoft Teams 会議中にマウスやキーボードの操作がない場合でも、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams 画面はスリープモードになりません。

詳しくは、「[最適化された Microsoft Teams 通話のスリープモードの機能強化](#)」を参照してください

連係カメラのサポート

連係カメラを使用すると、iPhone を Web カメラとして使用できるようになります。シームレスな接続を実現するには、iPhone のカメラが Mac デバイスで利用できるように iPhone をマウントします。外部カメラとして Mac デバイスで自動的に表示されるには、iPhone で **[Web カメラ]** > **[自動カメラ選択]** を選択する必要があります。他のカメラには手動で切り替えることができます。たとえば **[Web カメラ]** > **[FaceTime HD カメラ]** のように選択します。連係カメラは有線またはワイヤレスで動作し、高品質の画像を提供します。詳しくは、「[連係カメラのサポート](#)」を参照してください。

サポートされる仮想チャネル数の増加 **[Technical Preview]**

以前のバージョンのクライアントでは、セッションは最大 32 個の仮想チャネルをサポートしていました。2305 リリース以降では、セッションで最大 64 個の仮想チャネルを使用できます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

マイクと **Web** カメラのアクセスレベルに関するストアごとの設定 **[Technical Preview]**

2305 リリース以降、Client Selective Trust 機能の一部として、ストアごとのマイクと Web カメラへのアクセスが含まれます。この機能強化により、ストアごとに設定を変更できるようになります。ストアをクリックして、必要なマイクまたはカメラへのアクセスを有効にすることができます。選択したマイクアクセス設定またはカメラアクセス設定は、ストアごとに適用されます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

クラウドストアへの接続で **FIDO2** を使用した認証のサポート **[Technical Preview]**

2305 リリース以降、ユーザーは Mac 向け Citrix Workspace アプリに接続する場合、FIDO2 セキュリティキーを使用したパスワードレス認証を利用できるようになりました。ユーザーは、FIDO2 セキュリティキーを使用してクラウドストアにサインインできます。このセキュリティキーは、セキュリティ PIN、生体認証、カード読み取り、スマートカード、公開キー証明書など、さまざまな形式のセキュリティ入力をサポートします。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。FIDO2 について詳しくは、「[FIDO2 認証](#)」を参照してください。

Citrix Workspace アプリは、FIDO2 認証 (Webauthn) にユーザーのデフォルトのブラウザを使用します。管理者は、Citrix Workspace アプリに認証するブラウザの種類を構成できます。構成された設定は、モバイルデバイス管理 (MDM)、Global App Config Service (GACS)、またはコマンドラインインターフェイスを使用してブッシュできます。FIDO2 機能は現在、オンプレミスストアではサポートされていません。ブラウザの設定について詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

次の設定により、Citrix Workspace アプリへのエンドユーザーの認証に使用するブラウザの種類を選択できます。

Embedded: Citrix Workspace アプリ内で認証できるようにします。[強化されたシングルサインオン](#)機能が有効になっている場合、Citrix Workspace アプリはシングルサインオン (SaaS アプリなど) のセッションデータまたは Cookie を保存します。この認証方法は、FIDO2 などのパスワードレス認証をサポートしていません。

EmbeddedWithPrivateSession: この設定は、**Embedded** 設定と似ています。Citrix Workspace アプリにはセッションデータまたは Cookie が存在しないため、シングルサインオンはサポートされていません。

System: 認証にユーザーのデフォルトのブラウザ（Safari や Chrome など）を使用できるようにします。認証は Citrix Workspace アプリの外部で行われます。パスワードレス認証をサポートするには、この設定を使用します。この設定は、ユーザーのブラウザから既存のユーザーセッションを使用しようとしています。

SystemWithPrivateSession: この設定は **System** 設定と似ています。Citrix Workspace アプリは、認証にブラウザのプライベートセッションを使用します。ブラウザは認証 Cookie やデータを保存しません。このオプションでは、シングルサインオンはサポートされていません。

MDM を使用した認証の有効化

MDM で認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります：

```
<key>WebBrowserForAuthentication</key>  
<string>System</string>
```

GACS を使用した認証の有効化

GACS で認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります：

```
1 {  
2  
3     "serviceURL": {  
4  
5         "url": "https://serviceURL:443"  
6     }  
7 ,  
8     "settings": {  
9  
10        "name": "Productivity Apps",  
11        "description": "Provides access to MS Office and other basic apps",  
12        "useForAppConfig": true,  
13        "appSettings": {  
14  
15            "macos": [  
16                {  
17  
18                    "assignedTo": [  
19                        "AllUsersNoAuthentication"  
20                    ],  
21                    "category": "authentication",  
22                    "settings": [  

```

```
23         {
24
25             "name": "web browser for authentication",
26             "value": "SystemWithPrivateSession"
27         }
28
29     ],
30     "userOverride": false
31 }
32
33 ]
34 }
35
36 }
37
38 }
39
40
41 <!--NeedCopy-->
```

コマンドラインインターフェイスを使用した認証の有効化

コマンドラインインターフェイスを使用した認証を有効にするには、管理者は次のコマンドを実行する必要があります：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas WebBrowserForAuthentication System
```

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio](#) フォームに記入してください。

注：

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていないが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 112 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 112.1.1.23 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

内部 **Web** アプリおよび **SaaS** アプリでの **SPA** ポリシー実装の変更

この機能により、Web および SaaS アプリでのセキュリティポリシーの実装が強化されます。Web ページのポリシーと Web ページ内の I フレームのポリシーが異なる場合は、より厳密なポリシー実装を行うようになり、すべてのポリシーを結合して I フレームを含む Web ページ全体で適用されることとなります。ただし、ウォーターマークは Web ページにのみ適用されます。

ブラウザ拡張機能のサポート

管理者から提供された拡張機能を、セキュアに Citrix Enterprise Browser に追加できます。管理者は拡張機能を展開、管理、および制御できます。エンドユーザーは、必要に応じて `citrixbrowser://extensions` にある拡張機能を表示して使用できます。設定について詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。

構成方法について詳しくは、[ブラウザ拡張機能のサポート](#)に関するドキュメントを参照してください。

GACS を使用した Citrix Enterprise Browser の管理

管理者は、Citrix Workspace 用の Global App Configuration Service (GACS) を使用して、一元管理されたサービスによって Citrix Enterprise Browser の設定を配信できます。

GACS は、管理者が簡単に Citrix Workspace を構成し、Citrix Workspace アプリの設定を管理できるように設計されています。この機能により、管理者は GACS を使用して、特定のストアの Citrix Enterprise Browser にさまざまな設定またはシステムポリシーを適用できます。管理者は、GACS 管理者 UI を使用して、次の Citrix Enterprise Browser 設定を構成および管理できるようになりました:

- 「Enable CEB for all apps」 - Citrix Workspace アプリから Web アプリおよび SaaS アプリを開くデフォルトのブラウザとして、Citrix Enterprise Browser を使用します。
- 「Enable save passwords」 - エンドユーザーがパスワードを保存する機能を許可または拒否します。
- 「Enable incognito mode」 - シークレットモードを有効または無効にします。
- 「Managed Bookmarks」 - 管理者がブックマークを Citrix Enterprise Browser にプッシュできるようにします。
- 「Enable developer tools」 - Enterprise Browser で開発者ツールを有効または無効にします。
- 「Delete browsing data on exit」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser の終了時に削除されるデータを構成できるようにします。
- 「Extension Install Force list」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser で拡張機能をインストールできるようにします。
- 「Extension Install Allow list」 - ユーザーが Citrix Enterprise Browser に追加できる拡張機能の許可リストを管理者が構成できるようにします。この一覧は Chrome Web ストアを活用しています。

詳しくは、「[Global App Configuration Service を使用した Citrix Enterprise Browser の管理](#)」を参照してください。

注:

- 名前と値のペアでは大文字と小文字が区別されます。
- [Global App Configuration Service](#)のすべてのブラウザー設定は、次のカテゴリにあります：

```
1 {
2
3   "category": "browser",
4   "userOverride": false,
5   "assignedTo": [
6     "AllUsersNoAuthentication"
7   ]
8 }
9
10
11 <!--NeedCopy-->
```

- 管理者は、管理されていないデバイスにも設定を適用できます。詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

ユーザーインターフェイス

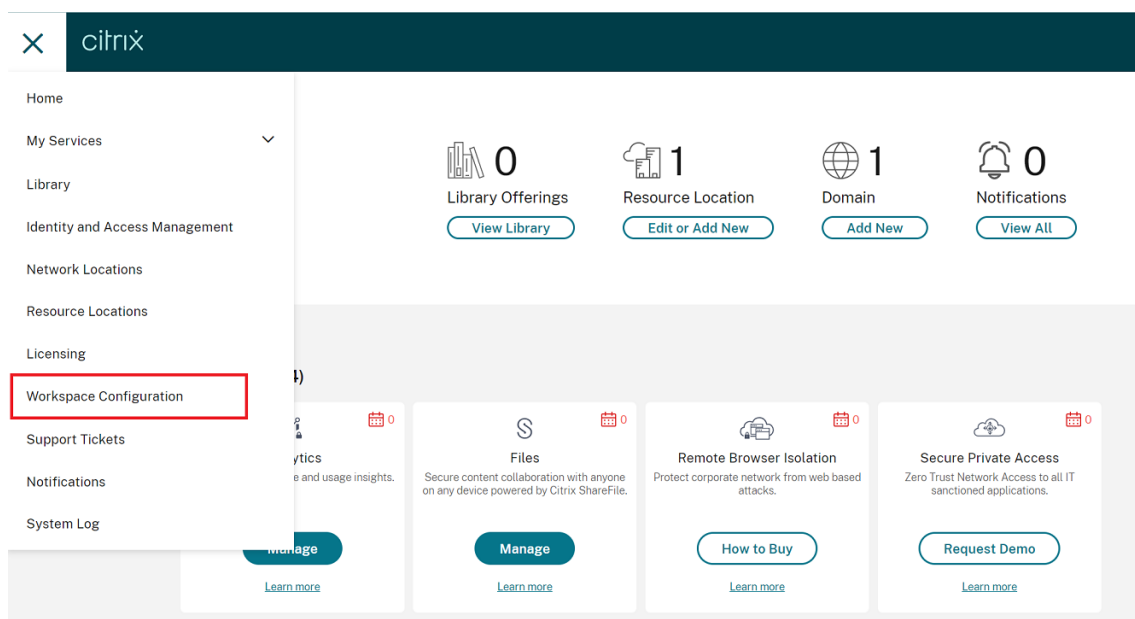
GACS 管理 UI で Citrix Enterprise Browser を構成するには、次の手順を実行します：

1. 資格情報を使用してcitrix.cloud.comにサインインします。

注：

- Citrix Cloud アカウントを作成するための手順については、「[Citrix Cloud へのサインアップ](#)」の記事を参照してください。

2. 認証後、左上隅のメニューボタンをクリックし、[ワークスペース構成] を選択します。



[ワークスペース構成] 画面が開きます。

3. [アプリ構成] > [**Citrix Enterprise Browser**] の順にクリックします。

Citrix Enterprise Browser の機能設定を構成、変更、公開できるようになりました。

詳しくは、「[Global App Configuration Service を使用した Citrix Enterprise Browser の管理](#)」を参照してください。

Technical Preview

- クライアントアプリ管理

Technical Preview の機能について詳しくは、「[Technical Preview](#)」ページを参照してください。

解決された問題

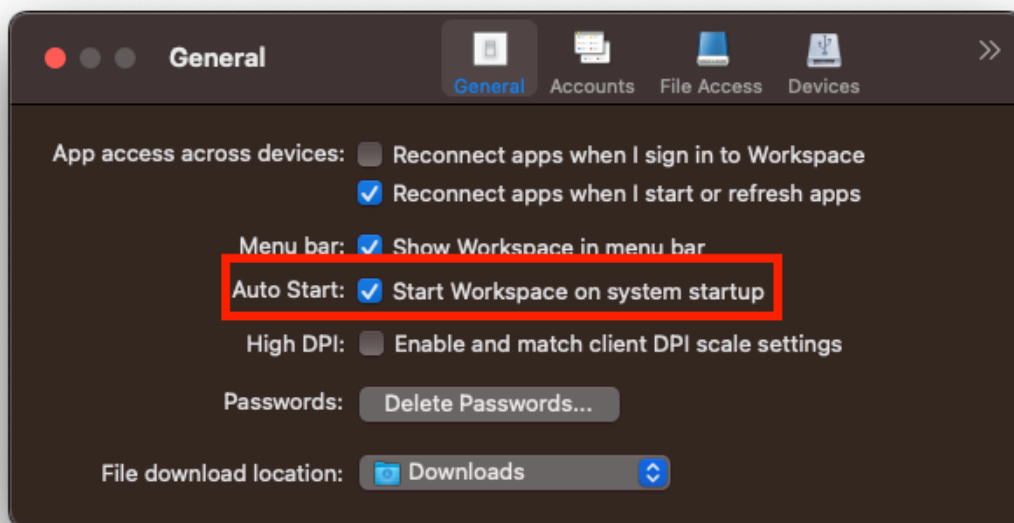
- この機能強化により、位置情報データを収集して Microsoft Teams に送信し、動的緊急通報機能をサポートできるようになりました。[CVADHELP-21117]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリから開かれたユーザーセッションでタッチパッドを使用して MacBook でスクロールすると、スクロール操作がスムーズにならない場合があります。[CVADHELP-21427]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用している場合、外部ユーザーがセッションから断続的に切断されることがあります。[CVADHELP-22191]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでクエリパラメーターを含むストア URL を追加しようとすると、次のエラーメッセージが表示されて失敗する場合があります：
このストアは存在しません。再試行するか、サポートに連絡してください。
[CVADHELP-22445]
- オンプレミスストアで、メニューバーから Citrix Workspace アプリを開こうとすると、いつまでも待機状態のままになることがあります。[CVADHELP-22688]

2304

新機能

強化された自動起動エクスペリエンス

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、コンピューターの電源を入れるたびに自動的に起動していました。2304 リリース以降、システムの起動時に [環境設定] > [一般] > [**Start Workspace**] に移動して、Mac 向け Citrix Workspace アプリの自動起動機能を無効または有効にできます。自動起動設定はデフォルトで有効になっています。



詳しくは、「[強化された自動起動エクスペリエンス](#)」を参照してください。

最適化された **Microsoft Teams** ビデオ会議通話のエクスペリエンスの向上

2304 リリース以降、最適化された Microsoft Teams ビデオ会議通話に対して、デフォルトでサイマルキャストサポートが有効になっています。このサポートにより、すべての発信者に最適な通話エクスペリエンスを提供できる適切な解像度に適応するため、さまざまなエンドポイントでのビデオ会議通話の品質とエクスペリエンスが向上します。

この向上したエクスペリエンスにより、各ユーザーは、エンドポイントの機能、ネットワークの状態などのいくつかの要因に応じて、複数のビデオストリームを異なる解像度（720p、360p など）で配信できます。受信側のエンドポイントは、最高品質の解像度を要求します。これにより、すべてのユーザーに最適なビデオ体験を提供できます。

注：

この機能は、Microsoft Teams からの更新のロールアウト後にのみ使用できます。ETA については、<https://www.microsoft.com/>にアクセスし、Microsoft 365 ロードマップを検索してください。Microsoft によって更新プログラムがロールアウトされたら、ドキュメントのアップデートおよび発表内容について、[CTX253754](#)を確認することができます。

詳しくは、「

[最適化された Microsoft Teams ビデオ会議通話のエクスペリエンスの向上](#)」を参照してください。

証明書ベースの認証のサポート **[Technical Preview]**

2304 リリース以降、Workspace 管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成および適用できます。

条件付きアクセスを使用して認証を有効にするには、次の方法を使用できます：

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global App Config Service (GACS)

Citrix Workspace アプリによって読み取られるフラグ値は、次の順序で優先されます：

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global App Config Service (GACS)

詳しくは、「[証明書ベースの認証のサポート](#)」を参照してください。

注：

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていないが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

フェデレーション ID プロバイダーのログインプロンプトの強制

Citrix Workspace アプリで、フェデレーション ID プロバイダーセッションを設定できるようになりました。詳しくは、Citrix Knowledge Center の[CTX253779](#)を参照してください。

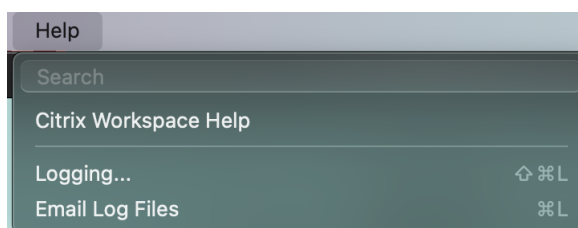
ログインプロンプト強制のためにストア認証トークンポリシーを使用する必要がなくなりました。詳しくは、「[フェデレーション ID プロバイダーのログインプロンプトの強制](#)」を参照してください。

英語以外の IME (Input Method Editor) キーボードレイアウトのサポート

英語以外の言語の IME キーボードレイアウトのサポートは、Carbon API が Cocoa API で廃止された後も引き続き中断されることなく機能します。詳しくは、「[英語以外の IME \(Input Method Editor\) キーボードレイアウトのサポート](#)」を参照してください。

ログ収集

ログ収集では、Citrix Workspace アプリのログを収集するプロセスが簡素化されました。ログは、Citrix でのトラブルシューティングに役立ち、問題が複雑な場合はサポートを容易にします。ユーザーは、[ヘルプ] メニューで提供される新しいオプションを使用してログをすばやく収集できるようになりました。[ヘルプ] に移動し、[ログ...] または [ログファイルをメールで送信] オプションを選択します。この機能により、ログ収集プロセス中のユーザーエクスペリエンスが向上します。



- ログ... - このオプションをクリックすると、[環境設定] > [詳細] > [ログ] に移動します。
- ログファイルをメールで送信 - このオプションをクリックすると、最新のログを収集できます。

詳しくは、「[ログ収集](#)」を参照してください。

さまざまなキーボードレイアウトの同期をサポート

2304 リリース以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、次のレイアウトまたは IME (Input Method Editor) のキーボードレイアウトの同期をサポートします：

- 英語 (ABC)
- 英語 (ABC) - インド
- 中国語 (繁体字、Zhuyin) - 繁体字
- 中国語 (繁体字、Sucheng) - 繁体字
- 日本語 (Google IME)
- 中国語 (Sogou IME)

詳しくは、「[さまざまなキーボードレイアウトの同期をサポート](#)」を参照してください。

Microsoft Teams の機能強化

優先ネットワークインターフェースの構成

メディアトラフィックの優先ネットワークインターフェースを構成できるようになりました。ターミナルで次のコマンドを実行します。

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine NetworkPreference -int <value>
```

必要に応じて、次のいずれかの値を選択します：

- 1: イーサネット
- 2: Wi-Fi
- 3: 携帯ネットワーク
- 4: VPN
- 5: ループバック
- 6: 任意

デフォルトかつ値が設定されていない場合、WebRTC メディアエンジンは利用可能な最適なルートを選択します。

詳しくは、「[優先ネットワークインターフェースの構成](#)」を参照してください。

ビデオ解像度の制限

パフォーマンスの低いクライアントエンドポイントを使用しているユーザーがいる場合、管理者が受信または送信のビデオ解像度を制限して、これらのエンドポイントでのビデオのエンコードおよびデコードへの負担を軽減すること

ができます。Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2304 以降では、クライアント構成オプションを使用してこれらの解像度を制限できます。

詳しくは、「[ビデオ解像度の制限](#)」を参照してください。

横スクロールのサポート **[Technical Preview]**

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、トラックパッドでの垂直スクロールのみをサポートしていました。2304 リリース以降は、横スクロールもサポートされています。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 109 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 109.1.1.31 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Technical Preview

- 高速スキャン
- 仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上
- 複数のオーディオデバイスのサポート

Technical Preview の機能について詳しくは、「[Technical Preview](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- Mac のローカルクライアントで 2 つの XML ファイルを作成すると、VDA が間違った XML ファイルを開くことがあります。たとえば、VDA は SnapshotPopup.xml ファイルを開く代わりに、Snapshot.xml ファイルを開きます。[HDX-45326]
- エンドポイントのサウンド設定でアクティブなオーディオデバイスを変更すると、Microsoft Teams が変更に関する通知を受信しない場合があります。その結果、Microsoft Teams は変更を選択できません。[HDX-47080]
- VDA セッションを終了すると、Citrix Viewer が終了することがあります。[HDX-45668, HDX-47138]
- Citrix ADC を使用して構成されたレスポンスポリシーが、Mac 向け Citrix Workspace アプリで機能しない場合があります。この問題は、構成されたポリシーが、送信されたユーザーエージェントに一致しない部分

文字列として **CWWEBVIEW**、**Citrix Receiver**、または **Citrix Workspace** があるかどうかをチェックするときに発生します。その結果、ユーザーは別の Citrix Gateway URL にリダイレクトされる可能性があります。[CVADHELP-20519]

- Citrix Gateway Store に接続して Mac 向け Citrix Workspace アプリにサインインしようとする、サインインが停止したり、読み込み中アイコンが表示され時間がかかることがあります。[CVADHELP-21323]
- Citrix Studio の [アプリケーション設定] で、アプリにファイルタイプの関連付けが設定されている場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリはセッションの開始に失敗することがあります。[CVADHELP-21371]
- システムの電源を入れるか再起動すると、Mac 向け Citrix Workspace アプリでサインインウィンドウが自動的に表示されることがあります。[CVADHELP-21484]
- VDI 内のユニバーサル Windows プラットフォーム (UWP) アプリが FIDO2 認証を使用して認証を試みると、Mac 向け Citrix Workspace アプリが予期せず終了することがあります。[CVADHELP-21576]
- Web リソースを開こうとすると、次のエラーメッセージが表示されて失敗する場合があります：

必要な権限を持つ別のストアに切り替えます。問題が解決しない場合は、エラーの詳細を管理者に連絡してください。

[CVADHELP-21787]

- Mac 向け Citrix Workspace アプリは、部分文字列として **Citrix Workspace** ではなく、間違ったユーザーエージェント **Citrix Receiver** を使用することがあります。その結果、承認ポリシーは適用されません。[CVADHELP-21969]
- ノッチスクリーン機能を使用すると、テキストの一部が切れる場合があります。[CVADHELP-22134]
- 新しいタブではなくドックから Citrix Enterprise Browser を開くと、ページが読み込み中と表示されます。この問題を回避するには、アドレスバーに URL を入力するか、別のタブを開いて閲覧を続けてください。[CTXBR-4706]
- Citrix Secure Private Access が有効なストアを使用している場合、公開されたコンテンツの起動時に読み込み中アイコンがいつまでも表示されたままのことがあります。この問題は、Citrix Enterprise Browser がユーザーデバイスで実行されていない場合に発生します。その結果、公開されたコンテンツを表示できません。[CTXBR-4813]

2301.1

新機能

このリリースでは問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

- ストアを追加または認証するとき、またはネイティブの Citrix Workspace アプリを使用してリソース（アプリまたはデスクトップ）を起動するときに、問題が発生することがあります。[CVADHELP-22372]

- Microsoft Teams の最適化されたビデオ通話中は、着信ビデオと画面共有が機能しない場合があります。
[HDX-50059]

2301

新機能

Citrix Optimized Teams での背景のぼかしと置き換え

Mac 向け Citrix Workspace アプリの Citrix Optimized Teams で、背景のぼかしと背景の置き換えがサポートされるようになりました。この機能を使用するには、会議中または P2P 呼び出し中に [詳細] > [背景効果を適用する] を選択します。

バージョン自動更新の制御 [Technical Preview]

管理者は、組織内デバイスの Citrix Workspace アプリのバージョン自動更新を管理できるようになりました。管理者は、Global App Config Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティで範囲を設定することにより、バージョンを制御できます。

Global App Config Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Version Control for Citrix Workspace",
11    "description": "Provides admin ability to Version Control for
12                  Citrix Workspace",
13    "useForAppConfig": true,
14    "appSettings": {
15
16      "macos": [
17
18        "category": "AutoUpdate",
19        "userOverride": false,
20        "assignedTo": [
21          "AllUsersNoAuthentication"
22        ],
23        "settings": [
```

```
24     {
25
26         "name": "Auto update plugins settings",
27         "value": [
28             {
29
30                 "pluginName": "Citrix Workspace",
31                 "pluginId": "D99C3E77-FBF5-4B97-8EDA-4E381A1E0826",
32                 "pluginSettings": {
33
34                     "deploymentMode": "Update",
35                     "upgradeToLatest": false,
36                     "minimumAllowedVersion": "23.04.0.36",
37                     "maximumAllowedVersion": "23.04.0.36",
38                     "delayGroup": "Medium",
39                     "detectRule": ""
40                 }
41             }
42         ]
43     }
44 ]
45 }
46
47 ]
48 }
49
50 ]
51 }
52
53 }
54
55 }
56
57
58 <!--NeedCopy-->
```

範囲が設定されていると、ユーザーのデバイスの Citrix Workspace アプリは、その指定された範囲内で利用可能な最新バージョンに自動更新されます。

Citrix Workspace アプリを特定のバージョンに自動更新する場合は、Global App Config Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティに同じバージョンを入力します。

注:

- バージョン自動更新を制御するには、Global App Config Service の `upgradeToLatest` 設定を `false` に設定する必要があります。これが `true` の場合、`maximumAllowedVersion` と `minimumAllowedVersion` は無視されます。
- `pluginId` は Citrix Workspace アプリにマッピングされているため、変更しないでください。
- 管理者が Global App Config Service でバージョンを構成していない場合、デフォルトで Citrix Workspace アプリは利用可能な最新バージョンに更新されます。
- Citrix Workspace アプリを更新するために設定されているバージョン範囲のみを使用できますが、ダウングレードはサポートされていません。
- この機能は、リリース 2301 以降でサポートされています。

この Technical Preview のフィードバックは、[Podio](#) フォームからお送りいただけます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

自動更新エクスペリエンスの向上 [Technical Preview]

自動更新機能は、ユーザーの操作なしに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。Citrix Workspace アプリは定期的に最新のアップデートを確認し、利用可能な最新バージョンのアプリをダウンロードします。管理者が明示的に無効にしない限り、自動更新はデフォルトで有効になっています。

インストールは、Citrix Workspace アプリまたはそのセッションがアイドル状態のときに開始されます。

注:

インストール中は Citrix Workspace アプリにアクセスできません。

Citrix Workspace アプリを起動すると、インストールの状態を示す通知が表示されます。

[環境設定] > [詳細] > [最新情報] に移動して、[**Workspace** アプリを自動的に最新の状態に保つ] オプションをオフにすることで、自動更新機能を無効化できます。

この Technical Preview のフィードバックは、[Podio](#) フォームからお送りいただけます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。

す。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

強化されたノッチスクリーンのサポート

2301 リリース以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリはノッチディスプレイの Mac をサポートしています。Mac は、Retina およびマルチモニターディスプレイの全画面モードでノッチスクリーンをサポートしています。ノッチスクリーンのセッションの領域が大幅に拡大され、より広い画面スペースが提供されています。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。

注:

Citrix Viewer で **[Scale to fit below built-in camera]** オプションをオンにしないでください。このオプションはデフォルトでは選択されておらず、ノッチディスプレイの Mac でのみ使用できます。

App Protection の機能強化

2301 リリース以降、Citrix Workspace アプリを保護するために App Protection 機能が強化されています。この機能強化により、認証画面と、Workspace アプリへのサインイン後に表示される画面が保護されます。詳しくは、「[App Protection の機能強化](#)」を参照してください。

Global App Configuration Service チャンネルのサポート **[Technical Preview]**

Citrix Workspace 向けの Global App Configuration Service を使用すると、Citrix 管理者は、一元管理されたサービスによって Workspace サービスの URL と Workspace アプリの設定を配信できます。詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

管理者は、Global App Config Service を使用して、特定のユーザーグループに適用可能な設定を定義できるようになりました。これにより、特定のユーザーのみが必要に応じて一部の機能を使用できるようにし、他のユーザーは使用できないように設定できます。

この Technical Preview のフィードバックは、[Podio](#)フォームからお送りいただけます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

強化されたメニューバーのサポート

2301 リリース以降、CWA では macOS の **[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションを完全にサポートしています。macOS 13 より前のバージョンでは、[システム環境設定] > [Dock とメ

メニューバー] に移動し、[**Automatically hide and show the menu bar in full screen**] オプションをオフにする必要があります。macOS 13 以降のバージョンでは、[システム環境設定] > [デスクトップと Dock] に移動し、[Automatically hide and show the menu bar in full screen] オプションをオフにする必要があります。このオプションはオンまたはオフにできます。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。

下の図は、メニューバーが非表示になっているウィンドウを示しています。



下の図は、メニューバーが表示されるウィンドウを示しています。



Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 107 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 107.1.1.13 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザーにする

Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザーとして構成し、すべての仕事用リンクを開けるようになりました。代替ブラウザーを選択して、仕事用以外のリンクを開くことができます。

仕事用リンクは、管理者がエンドユーザー用に構成した Web アプリまたは SaaS アプリに関連付けられたリンクです。ユーザーがネイティブアプリケーション内のリンクをクリックすると、それが仕事用リンクであれば、Enterprise Browser で開きます。仕事用リンクでない場合は、エンドユーザーが選択した別のブラウザーで開きます。

詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザーにする](#)」を参照してください。

解決された問題

- High-Efficiency Advanced Audio Coding (AAC-HE) ストリームを使用した HTTP Live Streaming (HLS) プロトコルが、Citrix Enterprise Browser でオーディオを再生できない。[CTXBR-3899]

- カスタムポータルでハイパーリンクをクリックすると、リンク先を開く前にエラーメッセージが表示される。その後、Citrix Enterprise Browser ではなく Google Chrome などのシステムブラウザでリンク先が開く。[CTXBR-4051]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでカスタム Web ストア URL を使用すると、OS と Citrix Workspace アプリのバージョンがユーザーエージェント文字列に表示されないことがある。[CVADHELP-21377]
- 今回の修正で、Epic や Kronos などの特定のサードパーティ製アプリを起動してもフリーズしないことがある。[HDX-46140]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2301 ベータ版ビルドの ICA ファイルを使用して初めてセッションを開始するとき、セッションが予期せず終了することがある。[HDX-47361]
- カスタムポータルサイトを Mac 向け Citrix Workspace アプリに追加すると、空白のページが表示されることがある。[RFMAC-12857]

2211.1

新機能

このリリースでは問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

- ストアを追加または認証するとき、またはネイティブの Citrix Workspace アプリを使用してリソース（アプリまたはデスクトップ）を起動するときに、問題が発生することがあります。[CVADHELP-22372]
- Microsoft Teams の最適化されたビデオ通話中は、着信ビデオと画面共有が機能しない場合があります。[HDX-50059]

2211

新機能

Workspace アプリを開くとドックにネイティブアプリのアイコンで表示される **[Technical Preview]**

2211 リリース以降、この機能はデフォルトで無効になっています。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスペリエンスの向上 **[Technical Preview]**

2211 リリース以降、この機能はデフォルトで無効になっています。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 105 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 105.2.1.40 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

このリリースでは複数の問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2210

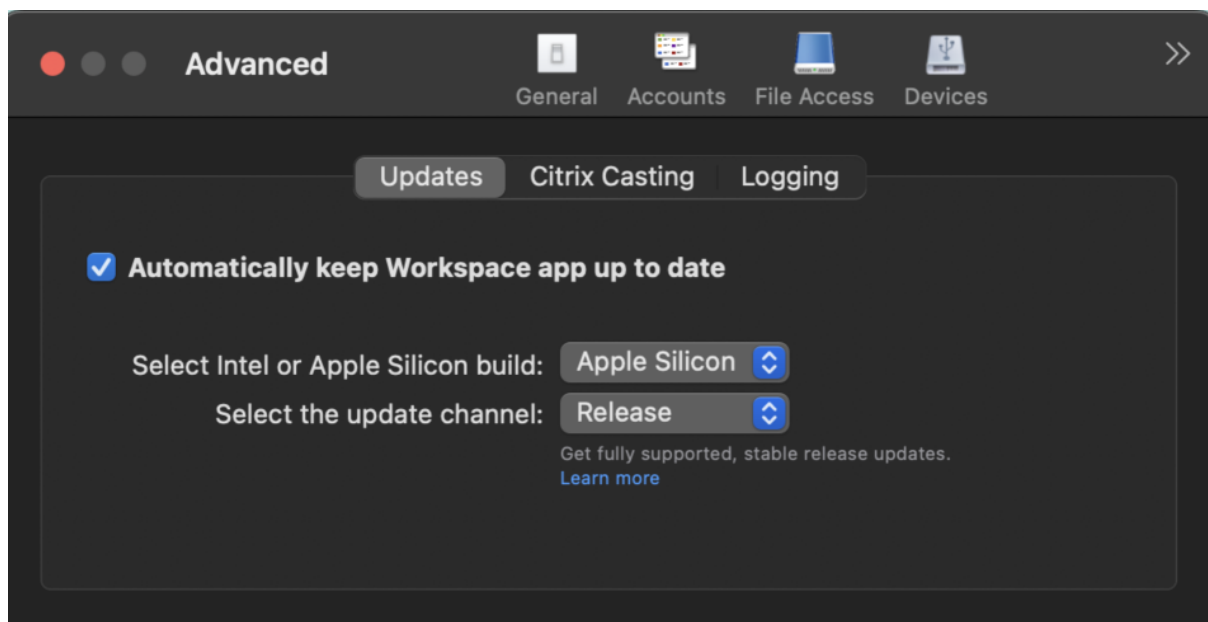
新機能

macOS 13 Ventura のサポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、macOS 13 Ventura (13.0) でサポートされています。

Apple シリコン (M1 シリーズ) を搭載した Mac での自動更新エクスペリエンスの向上

このリリースから、ユニバーサルアーキテクチャビルドをダウンロードするときに Apple シリコンビルドと Intel ビルドの間で選択して、Apple シリコンベースと Intel ベースの Mac マシンの両方をサポートするオプションをご利用いただけます。



Apple シリコンマシンでは、Apple シリコンビルドをダウンロードした後も、Intel ビルドを自動的に更新するオプションがあります。このオプションは [環境設定] タブに表示されます。

自動更新の詳細設定

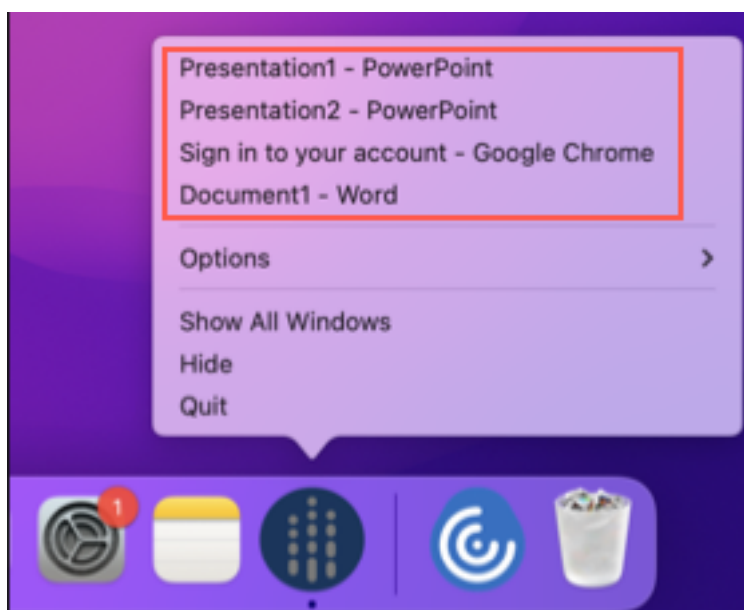
Apple シリコン（M1 シリーズ）搭載の Mac で Citrix Workspace の自動更新を構成するには、次の方法を使用します：

- グラフィカルユーザーインターフェイス
- Global App Config Service (GACS)
- モバイルデバイス管理 (MDM)
- StoreFront

詳しくは、「[自動更新の詳細設定](#)」を参照してください。

Workspace アプリを開くとドックにネイティブアプリのアイコンで表示される **[Technical Preview]**

以前は、Citrix Workspace アプリで仮想アプリをクリックすると、これらのアプリを使用できるようになる Citrix Viewer がトリガーされました。多くのアプリを開くと、アプリまたはそのインスタンスが Citrix Viewer で開きます。Citrix Viewer アイコンを右クリックすると、開いているアプリを表示できます。



このリリース以降、仮想アプリを開くとドックにそれぞれのアイコンで表示され、簡単に見分けることができます。これによって、ドックから仮想アプリにアクセスできます。アプリの複数のインスタンスを開くと、これらのインスタンスはドックに複製されず、ドック内でグループ化されて 1 つのインスタンスとして表示されます。

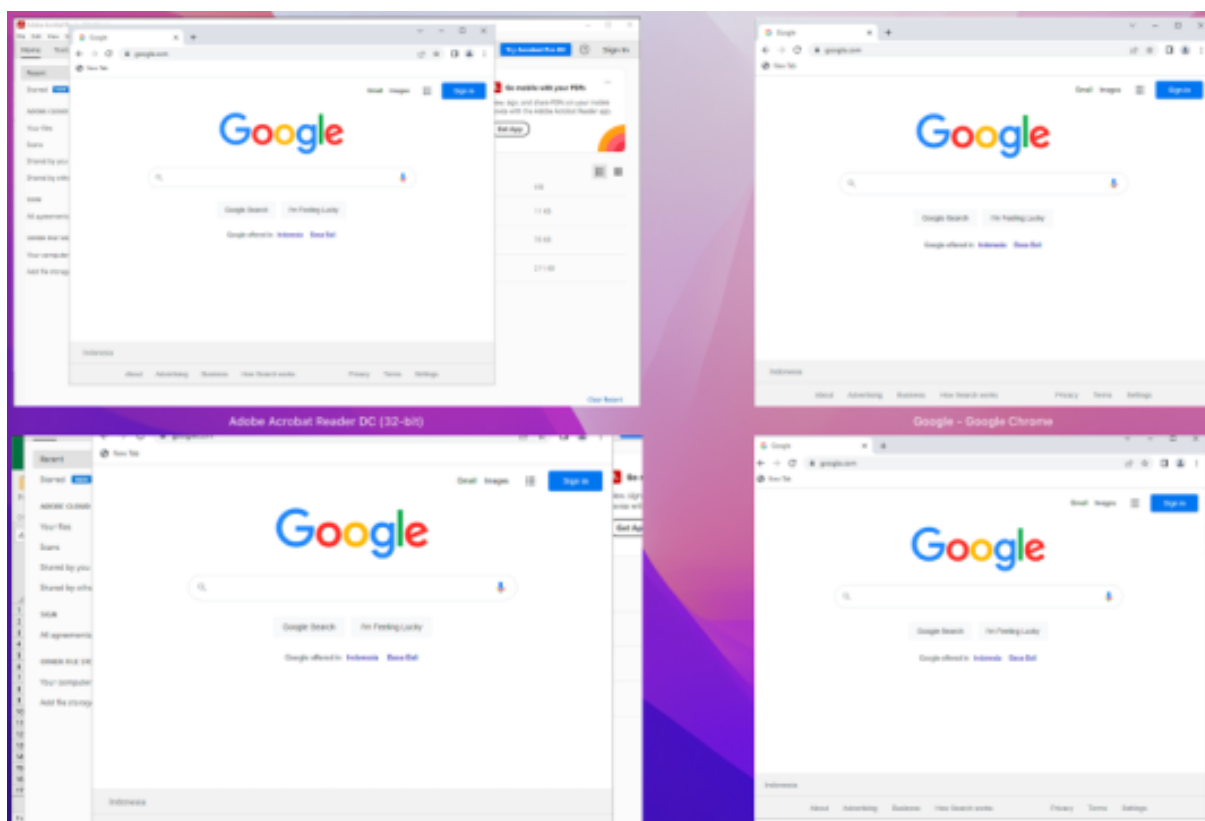


注:

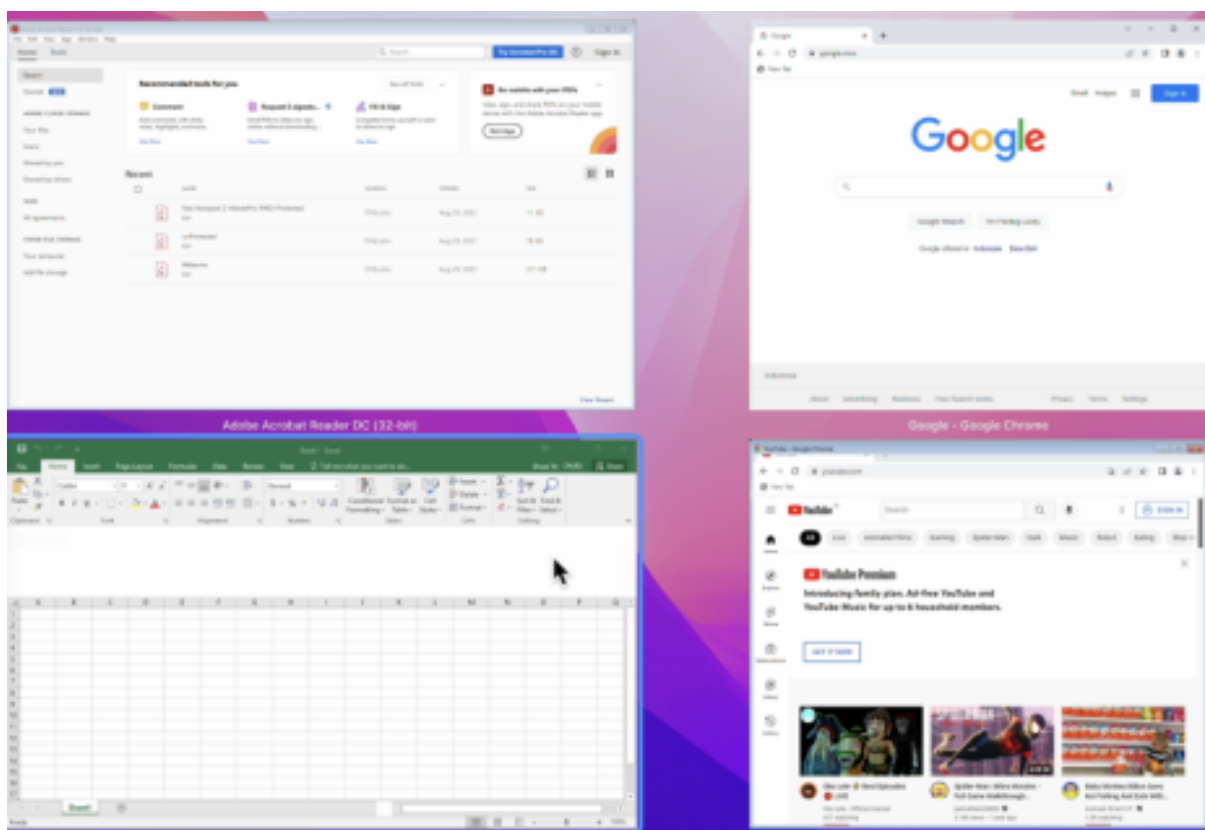
Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスペリエンスの向上 **[Technical Preview]**

以前は、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用すると、開かれた多くのウィンドウが重なって表示されていました。



このリリース以降、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用して多くのウィンドウを開くと、ウィンドウが重複せず簡単に選択できます。



注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

グラフィックパフォーマンスの向上 **[Technical Preview]**

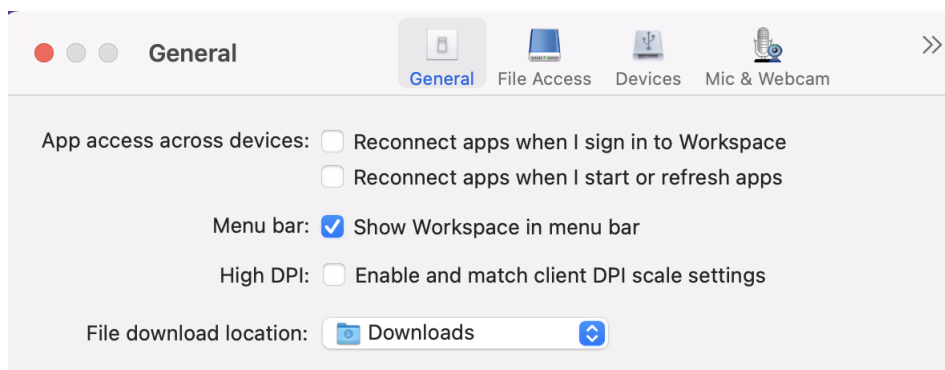
このリリースでは、デスクトップセッションのグラフィックのパフォーマンスが大幅に向上しました。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

高 **DPI** のサポート

セッションツールバーを起動し、**[環境設定] > [一般] > [高 DPI]** に移動して、クライアントの DPI スケール設定を有効にして一致させることができるようになりました。高 DPI オプションはデフォルトで無効になっています。



MDM ツールを使用してユーザーデバイスの管理者構成をサポート

管理者は、Citrix Endpoint Management などの MDM 展開ツールを使用して、Citrix Workspace アプリの展開時に次の設定を構成できるようになりました：

- **StoreURLs** – ユーザーが Citrix Workspace アプリを開いたときに自動的に追加されるようにストアの詳細を構成し、サインオン操作をシンプルにします。
ストアを追加するには、**StoreURLs** 設定の詳細を指定します。例：<string>https://myorg.com/Org/storename</string>
- **BlockStoreAddition** – ユーザーがストアを追加できないようにします。
ユーザーによるストアの追加を禁止するには、**BlockStoreAddition** 設定の値を **True** に設定します。

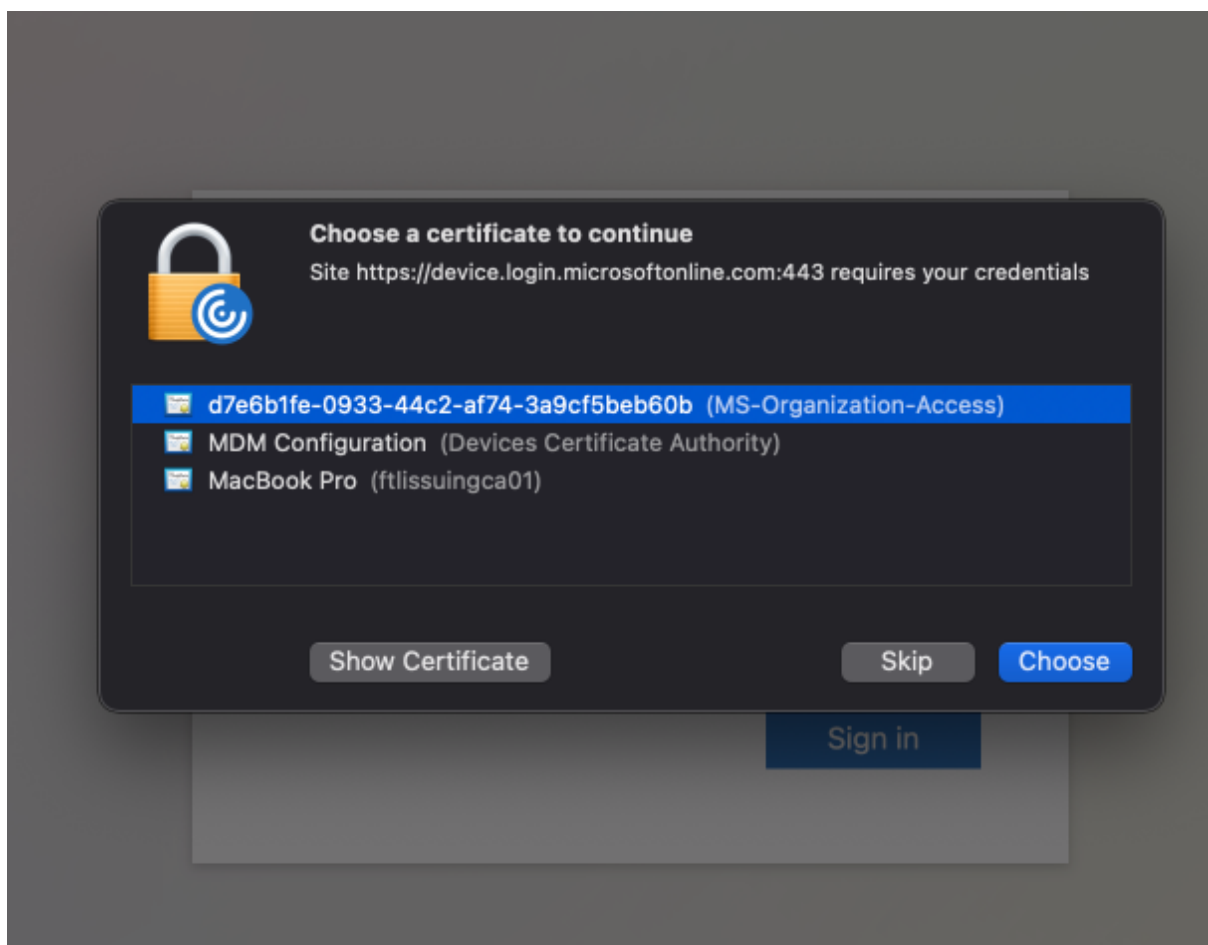
証明書ベースの認証のサポート [Technical Preview]

クライアント証明書を使用して、Citrix Workspace アプリ（クラウドストア）に認証できるようになりました。

以前は、証明書ベースの認証はオンプレミスセットアップでサポートされており、クラウドセットアップのお客様は Citrix Workspace アプリにサインインできませんでした。この機能はデフォルトで無効になっているため、管理者は Citrix ヘルプデスクに連絡し、リクエストフォームに入力してこの機能を有効にする必要があります。

組織が Azure Active Directory を使用して条件付きアクセスを構成している場合、サインイン時に認証用のクライアント証明書を選択するよう求められます。証明書ベースの認証により、デバイスが準拠していることを確認できる別のセキュリティが追加されます。

ストアを追加してそのストアの有効な資格情報を入力すると、Citrix Workspace アプリはクライアント認証のキーチェーンで使用できる有効な証明書の一覧を表示します。キーチェーンに有効な証明書が 1 つだけある場合は、それがデフォルトで選択されます。

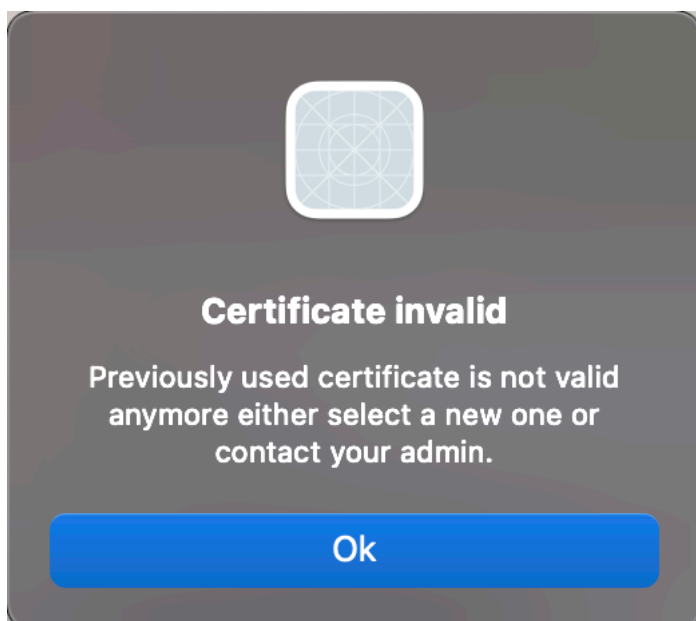


証明書を選択すると、ID プロバイダーがそれを検証し、検証が成功すると Workspace アプリストアが表示されます。

注:

- キーチェーンに有効な証明書がない場合、Citrix Workspace アプリはサーバーからの証明書認証要求に対してデフォルトの処理を実行します。
これにより、ユーザーがログインできなくなる可能性があります。
- 組織が Azure Active Directory で条件付きアクセスを構成していて、有効な証明書がキーチェーンに見つからない場合、Citrix Workspace アプリにログインできません。

以前に選択した証明書が無効になった場合は、有効な証明書を選択するか、または管理者に連絡するかを求めるエラーメッセージが表示されます。



これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio](#)フォームに記入してください。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Citrix Workspace Browser のリブランディング

Citrix Workspace Browser は、Citrix Enterprise Browser に名称変更されました。カスタムスキームが `citrixworkspace://` から `citrixbrowser://` に変更されました。

現在、製品と製品ドキュメントで移行作業が行われています。この移行の間はご迷惑をおかけしますが、何卒ご容赦願います。

- 製品の UI、製品内のコンテンツ、および製品ドキュメント内の画像と手順は、数週間以内に更新されます。
- 既存の顧客のスクリプトの破損を防ぐために、コマンドや MSI などの一部のアイテムでは、以前の名前を引き続き保持できます。
- 関連製品ドキュメント

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 105 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 105.1.1.19 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、[Citrix Enterprise Browser](#) のドキュメントを参照

してください。この製品ドキュメントからリンクされているその他のリソース（ビデオやブログの投稿など）には、以前の名前が記載されている場合があります。

Citrix Enterprise Browser を仕事用ブラウザにする [Technical Preview]

管理者が Citrix Workspace アプリで構成したすべての仕事用リンクまたはエンタープライズリンクやアプリを開くように Citrix Enterprise Browser を構成できるようになりました。この機能により、Citrix Enterprise Browser で仕事用リンクや Web および SaaS アプリのみを開く方法が提供されます。

代替ブラウザを選択して、他の仕事用以外のリンクやアプリを開くことができます。

すべての **Web** アプリおよび **SaaS** アプリを **Citrix Enterprise Browser** で開く

このリリース以降、Citrix Workspace アプリで使用できるすべての内部 Web アプリと外部 SaaS アプリは Citrix Enterprise Browser で開きます。

ブラウザ拡張機能のサポート [Technical Preview]

管理者から提供された拡張機能を、セキュアに Citrix Enterprise Browser に追加できます。管理者は拡張機能を展開、管理、および制御できます。エンドユーザーは、必要に応じて `citrixbrowser://extensions` にある拡張機能を表示して使用できます。設定について詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。

注:

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

構成方法について詳しくは、[Citrix Enterprise Browser](#)のドキュメントを参照してください。

Global App Configuration Service を使用した **Citrix Enterprise Browser** の管理 [Technical Preview]

管理者は、Citrix Workspace 用の Global App Configuration Service を使用して、一元管理されたサービスによって Citrix Enterprise Browser の設定を配信できます。

Global App Configuration Service は、管理者が簡単に Citrix Workspace を構成し、Citrix Workspace アプリの設定を管理できるように設計されています。この機能により、管理者は Global App Configuration Service を使用して、特定のストアの Citrix Enterprise Browser にさまざまな設定またはシステムポリシーを適用できます。管理者は、Global App Configuration サービスを使用して、次の Citrix Enterprise Browser 設定を構成および管理できるようになりました:

- 「Enable CEB for all apps」 - Citrix Workspace アプリから Web アプリおよび SaaS アプリを開くデフォルトのブラウザとして、Citrix Enterprise Browser を使用します。
- 「Enable save passwords」 - エンドユーザーがパスワードを保存する機能を許可または拒否します。
- 「Enable incognito mode」 - シークレットモードを有効または無効にします。

- 「Managed Bookmarks」 - 管理者がブックマークを Citrix Enterprise Browser にプッシュできるようにします。
- 「Enable developer tools」 - Enterprise Browser で開発者ツールを有効または無効にします。
- 「Delete browsing data on exit」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser の終了時に削除されるデータを構成できるようにします。
- 「Extension Install Force list」 - 管理者が Citrix Enterprise Browser で拡張機能をインストールできるようにします。
- 「Extension Install Allow list」 - ユーザーが Citrix Enterprise Browser に追加できる拡張機能の許可リストを管理者が構成できるようにします。この一覧は Chrome Web ストアを活用しています。

注:

- これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。
- Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックをご提供いただく機会を作るためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。
- 名前と値のペアでは大文字と小文字が区別されます。
- [Global App Configuration Service](#)のすべてのブラウザー設定は、次のカテゴリにあります:

```
1 {
2
3     "category": "browser",
4     "userOverride": false,
5     "assignedTo": [
6         "AllUsersNoAuthentication"
7     ]
8 }
9
10
11 <!--NeedCopy-->
```

- 管理者は、管理されていないデバイスにも設定を適用できます。詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

Technical Preview

- キーボード入力モードの強化
- 最適化された Microsoft Teams 向けの WebRTC のアップグレードバージョン

Technical Preview の機能について詳しくは、「[Technical Preview](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- Citrix Workspace アプリが Mac デバイスの再起動またはシャットダウン時の電源操作を中断することがあります。[RFMAC-12530]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリバージョン 2206 では、Shift キーが正常に機能しないことがあります。[CVADHELP-20674]

2209

新機能

Citrix Workspace アプリを閉じるときにカスタム **Web** ストアからサインアウトする

signoutCustomWebstoreOnExit 設定が **True** に設定されている場合、Citrix Workspace アプリウィンドウを閉じると、カスタム Web ストアからサインアウトします。Citrix Workspace アプリを再度開くと、Web ストアの URL が再度読み込まれます。Global App Configuration Service で **signoutCustomWebstoreOnExit** 設定を構成できます。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 103 ベースの Citrix Enterprise Browser (旧称 Citrix Workspace Browser) バージョン 103.2.1.10 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリを再起動するか、Citrix Workspace アプリをインストールすると、Mac 向け Citrix Workspace アプリが自動的に起動することがあります。[RFMAC-12392]
- 特定のサードパーティ製アプリ向けに最適化された Microsoft Teams の画面共有機能が、Mac 向け Citrix Workspace アプリで失敗することがあります。この問題は、Thinwire コーデックポリシーが [画面全体に使用] に設定されている場合に発生します。その結果、アプリ共有機能が無効になり、共有パネルでオプションが使用できなくなります。[CVADHELP-20853]

2208.1

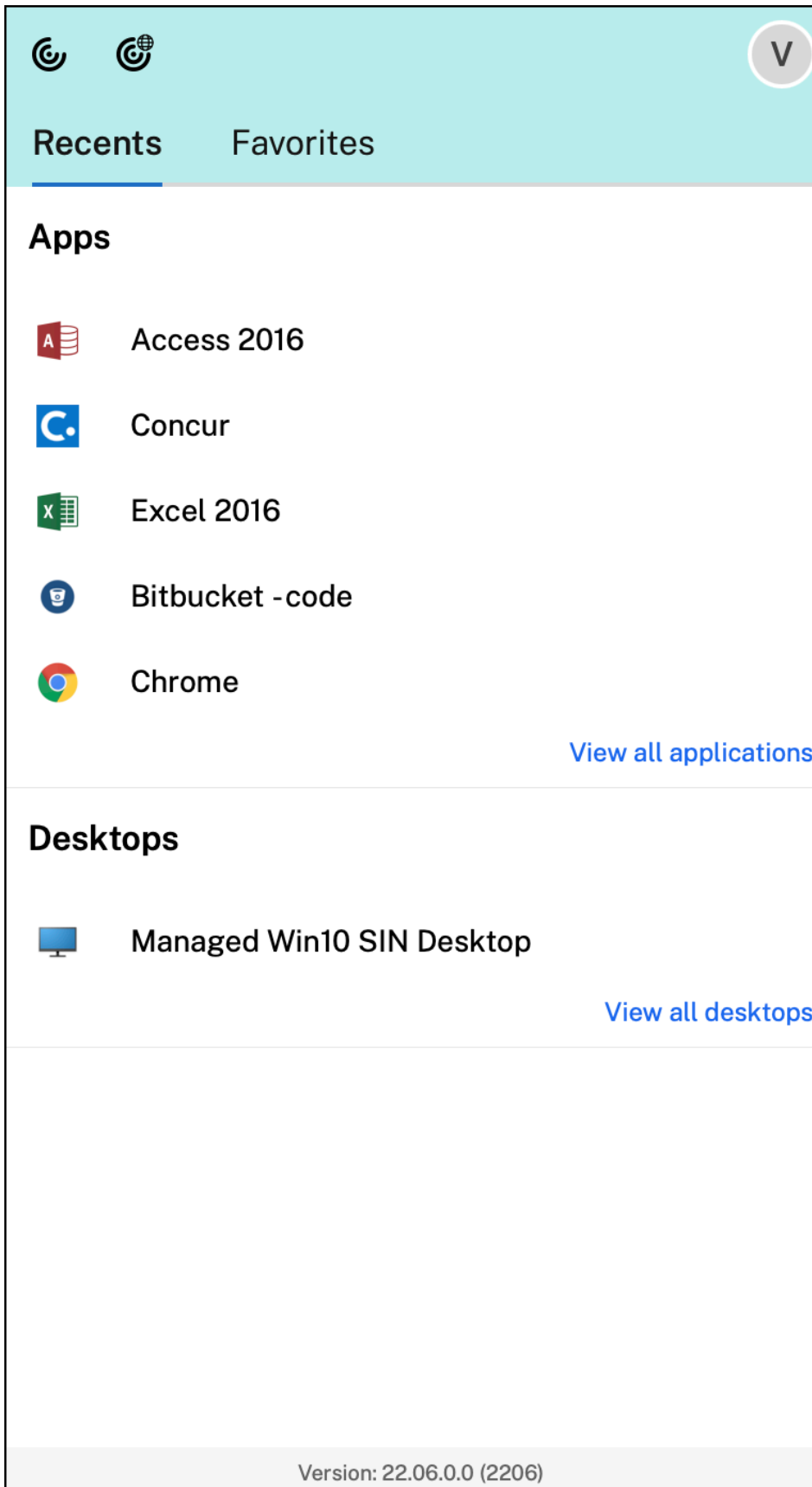
新機能

メニューバーからクイックアクセスメニューでアプリ、デスクトップ、および **Citrix Enterprise Browser** を表示

最近使用したアプリやお気に入りのアプリやデスクトップを表示したり、メニューバーの Citrix Workspace アイコンをクリックして Citrix Enterprise Browser ウィンドウを開いたりできるようになりました。この機能により、Citrix Workspace アプリを開かなくても、一部のリソースに簡単にアクセスできます。

注:

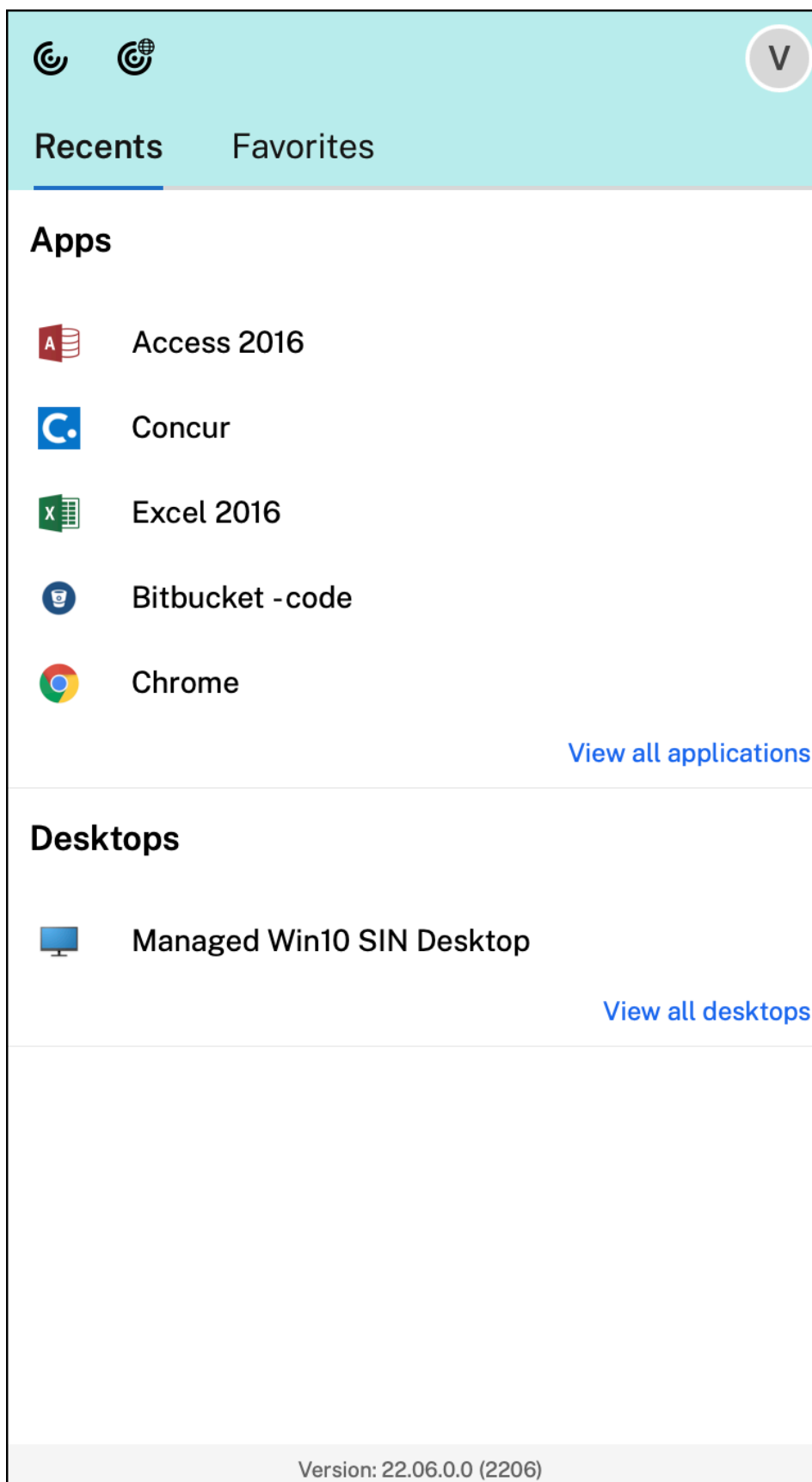
この機能は、オンプレミスのセットアップでは使用できません。



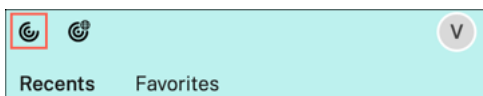
アカウントを構成していない場合は、サインインプロンプトが表示されます。



最近使用したまたはお気に入りの、アプリまたはデスクトップ最大5つが、[最近] タブと [お気に入り] タブのオプションにそれぞれ表示されます。Citrix Workspace アプリで他のアプリを表示するには、[すべてのアプリケーションを表示] をクリックします。Citrix Workspace アプリで他のデスクトップを表示するには、[すべてのデスクトップを表示] をクリックします。



Citrix Workspace アプリのアイコンをクリックして、Citrix Workspace UI を開くことができます。

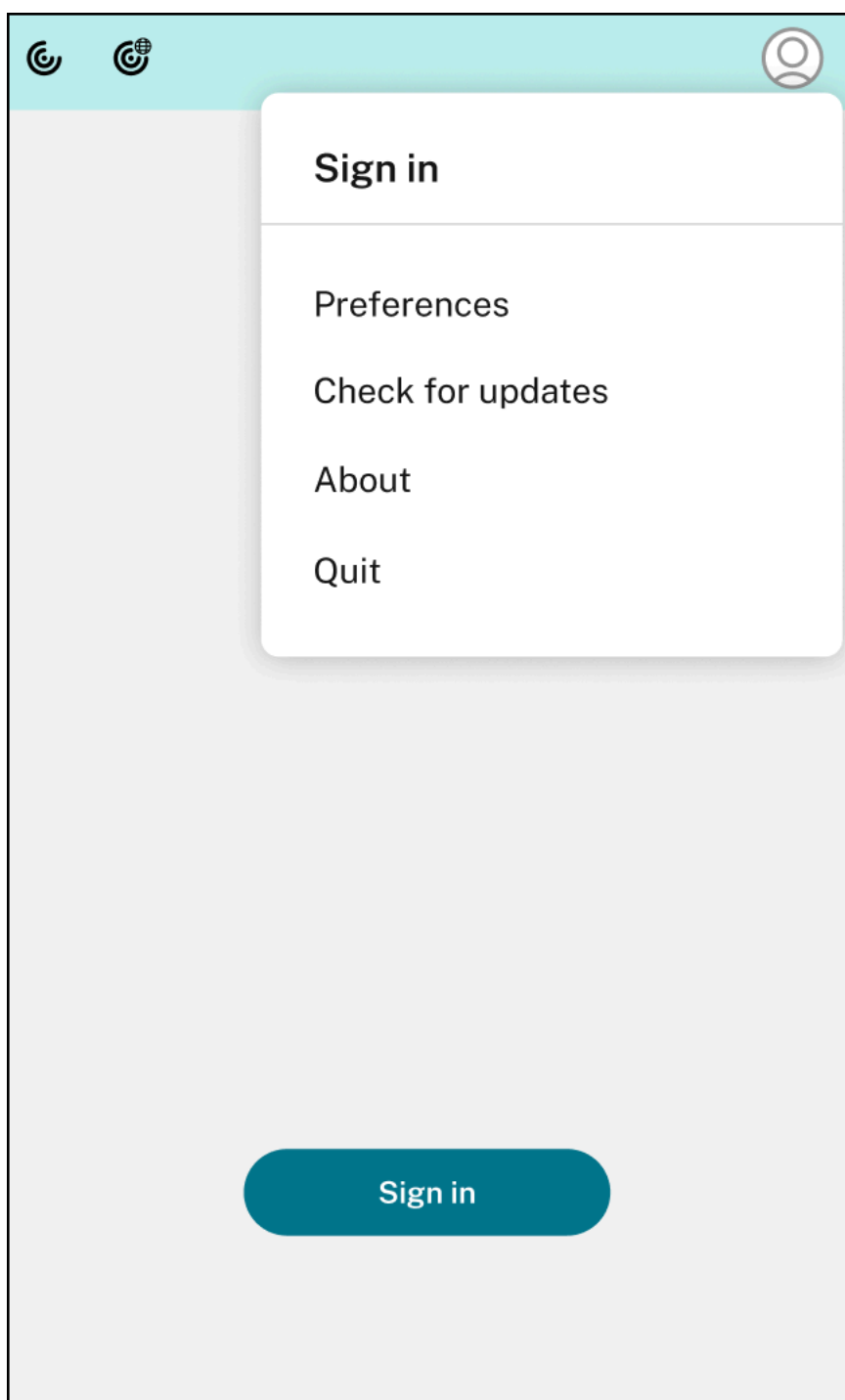


Citrix Enterprise Browser のアイコンをクリックすると、Web または SaaS アプリを開かずに Citrix Enterprise Browser を開くことができます。



注:

構成されたストアに Web または SaaS アプリがない場合、Citrix Enterprise Browser は使用できません。使用できるのは、管理者が Citrix Secure Private Access を構成している場合のみです、



右上隅の [アカウント] アイコンをクリックすると、次のオプションが表示されます:

- 基本設定
- 更新の確認
- バージョン情報
- Quit

FIDO2 を使用した認証のサポート [Technical Preview]

このリリースでは、ユーザーはパスワードなしの FIDO2 セキュリティキーを使用して HDX セッション内で認証できます。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリやデスクトップに認証するためのシームレスな方法を提供します。FIDO2 について詳しくは、「[FIDO2 認証](#)」を参照してください。

この機能は現在、PIN コードとタッチ機能を使用するローミング認証（USB のみ）をサポートしています。FIDO2 セキュリティキーベースの認証を構成できます。前提条件とこの機能の使用については、「[FIDO2 を使用したローカル認証と仮想認証](#)」を参照してください。

FIDO2 をサポートするアプリまたは Web サイトにアクセスすると、プロンプトが表示され、セキュリティキーへのアクセスが要求されます。以前にセキュリティキーを PIN（最小 4 文字、最大 64 文字）で登録したことがある場合は、サインイン時に PIN を入力する必要があります。

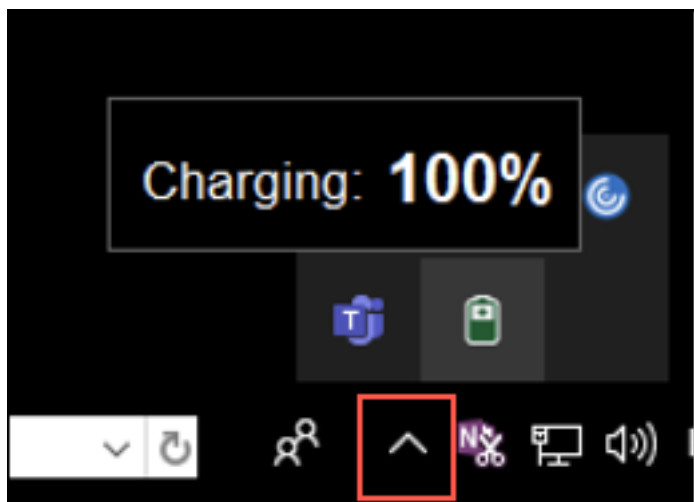
以前に PIN なしでセキュリティキーを登録したことがある場合は、セキュリティキーをタッチするだけでサインインできます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

バッテリーステータスインジケータ

デバイスのバッテリー状態が、Citrix Desktop セッションのシステムトレイに表示されるようになりました。デスクトップセッション内のバッテリー状態を表示するには、タスクバーの [\[隠れているインジケータを表示します\]](#) の矢印をクリックします。



注:

サーバー VDA の場合、バッテリー状態のインジケータは表示されません。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 103 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 103.1.1.14 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Citrix Enterprise Browser プロファイル

プロファイルによって、履歴、ブックマーク、パスワードなどの個人情報、およびその他の設定を Citrix Workspace アカウントごとに個別に保持できます。Workspace ストアに基づいてプロファイルが作成され、独自のパーソナライズされたブラウジング環境を利用できます。

注:

バージョン 103.1.1.14 にアップグレードして初めてデバイスにサインインすると、以前保存したパスワードのみが削除されます。初めて別のストアを使用してデバイスにサインインすると、以前保存したデータはすべて失われます。

すべての Web アプリと SaaS アプリを Citrix Enterprise Browser から開く [Technical Preview]

このリリース以降、Citrix Workspace アプリで使用できるすべての内部 Web アプリと外部 SaaS アプリは Citrix Enterprise Browser で開きます。この [Podio フォーム](#) を使用して、この Technical Preview に登録できます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックをご提供いただく機会を作るためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

解決された問題

- Citrix Workspace のログインプロンプトが表示されたときに、[キャンセル] ボタンをクリックしてもポップアップが閉じず、繰り返し表示されます。[CVADHELP-19919]
- 直接ワークロード接続を使用して Citrix Cloud で VDA に直接接続している場合、黒い画面が表示され、VDA から切断されます。この問題は、ネットワークの場所サービス (NLS) が有効になっている場合に発生します。[HDX-40588]
- マルチタッチジェスチャを使用して全画面表示のアプリ間をスワイプすると、Citrix Workspace のデスクトップセッションのウィンドウが一瞬黒くなります。この問題は、ノッチディスプレイを搭載した Mac で発生します。[HDX-42314]

2206.1

新機能

Citrix Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグしてアプリをアンインストール

Citrix Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグまたは移動するだけで、アプリを完全にアンインストールできるようになりました。

これまでは、Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグしても、アプリは削除されますが、いくつかのシステムファイルは Macに残ったままでした。このリリースでは、アイコンをごみ箱にドラッグすると、Citrix Workspace アプリとそれに関連するすべてのファイルがお使いのデバイスから削除されます。

Citrix Workspace アプリをごみ箱にドラッグしてアンインストールするには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリが実行中の場合は閉じます。
2. Citrix Workspace アプリをごみ箱にドラッグします。
または、Citrix Workspace アプリを右クリックして、[オプション] > [ごみ箱に移動] を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、お使いのシステムの資格情報を入力します。
4. 実行中のすべてのアプリ (Citrix Workspace) を閉じ、[続行] をクリックして確認します。
Citrix Workspace アプリとそのすべてのシステムファイルがお使いのデバイスから削除されます。

Safari ブラウザーでのサービス継続性のサポート

Citrix Workspace サービスの継続性機能が Safari ブラウザーでサポートされるようになりました。ユーザーは、Mac 向け Citrix Workspace アプリと Citrix Workspace Web 拡張機能をインストールする必要があります。サービス継続性により、接続プロセスに参与するコンポーネントの可用性に依存することがなくなります（あるいは最小限に抑えられます）。クラウドサービスの稼働状況に関係なく、仮想アプリやデスクトップに接続できます。サービス継続性機能について詳しくは、「[サービス継続性](#)」のセクションを参照してください。

オーディオエコーキャンセルのサポートの改善 **[Technical Preview]**

Citrix Workspace アプリは、アダプティブオーディオおよび従来のオーディオコーデックでエコーキャンセル機能をサポートするようになりました。この機能は、リアルタイムのオーディオユースケース向けに設計されており、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

アダプティブオーディオを使用することをお勧めします。

注：

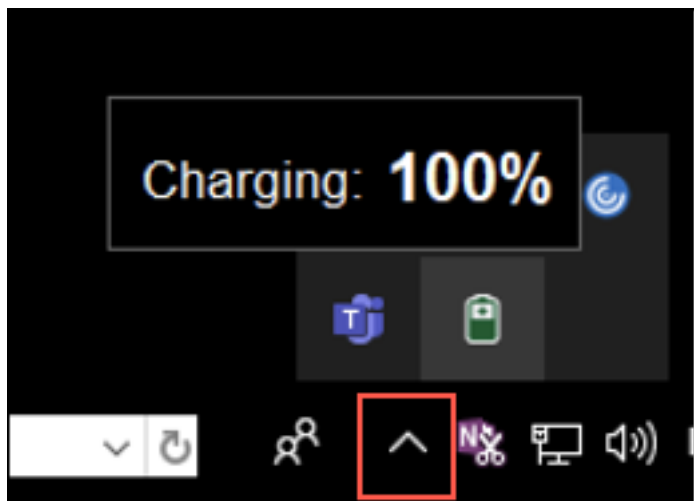
Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていないが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

最適化された **Microsoft Teams** の機能強化

最適化された Microsoft Teams で、複数の仮想デスクトップまたはアプリセッションが使用されているときにビデオ機能を使用できるようになりました。

バッテリー状態インジケータ [Technical Preview]

デバイスのバッテリー状態が、Citrix Desktop セッションのシステムトレイに表示されるようになりました。



注:

サーバー VDA の場合、バッテリー状態のインジケータは表示されません。

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 101 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 101.1.1.14 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

解決された問題

- ノッチディスプレイを搭載した Mac では、マウスポインターの位置がずれます。[CVADHELP-19337]
- 非アクティブタイムアウト値が経過しても、Workspace アプリからサインアウトしない。この問題は断続的に発生します。[CVADHELP-19812]

- Citrix Workspace アプリをアンインストールしようとするエラーが発生する場合があります。[CVADHELP-19121]
- 最適化された Microsoft Teams では、別の仮想デスクトップまたはアプリのセッションを開始した場合、ビデオ機能が機能しない場合があります。[HDX-40451]
- Microsoft Teams の通話中に画面またはアプリを共有しているとき、他の参加者に視覚的なアーティファクトが表示される場合があります。この問題は、不適切なビデオ再生（フリーズまたは一時的な黒い枠）などの不安定なフレームレートが原因で発生します。このリリースには、視覚的なアーティファクトを減らすのに役立つ改善されたフレームレートまたはサンプリングレートが含まれています。[HDX-38032]

2204

新機能

allowedWebStoreURLs の **Global App Configuration Service** の設定

管理者は、Global App Config Service を使用して、カスタム Web ストアの設定を構成できるようになりました。管理者は、`allowedWebStoreURLs` プロパティを使用してカスタム Web ストアを構成できます。Global App Configuration Service について詳しくは、「はじめに」を参照してください。

最大化モードで **Citrix Workspace** アプリを開くためのサポート

管理者は、Global App Configuration Service の `maximise workspace window` プロパティを構成して、Citrix Workspace アプリをデフォルトで最大化モードで開くようにできます。Global App Configuration Service について詳しくは、「はじめに」を参照してください。

高 **DPI** モニターのサポート [**Technical Preview**]

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、4K を超える解像度の高 DPI モニターと互換性があります。デスクトップセッションでは、アプリ、テキスト、画像、およびその他のグラフィック要素が、これらの高解像度モニターで快適に表示できるサイズで表示されます。

この機能を有効にするには、macOS 端末で次のコマンドを実行します：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas EnableHighDPI -bool YES
```

管理者は、ディスプレイの解像度に合わせて、デスクトップセッションの最大ビデオバッファサイズをキロバイト単位で指定する表示メモリの制限ポリシーを編集できます。表示メモリ制限ポリシーのデフォルト値は 65536KB で、最大 2x4K モニター (2x32400KB) ではこれで十分です。管理者はこの機能を使用するために、[**Citrix Studio**] > [ポリシー] > [表示メモリの制限] に移動してこのデフォルト値を編集し、393216KB の値を使用する必要があります。

表示メモリ制限ポリシーについて詳しくは、「[表示メモリの制限](#)」を参照してください。

注:

この機能は、最大 2 台の接続されているモニターで機能します。

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)をご提供いただく機会を作るためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

リモートデスクトップセッションの永久クライアントアクセスライセンス (CAL) の強化

このリリースでは、リモートデスクトップにアクセスするために環境で CAL を実行している場合、クライアント ID が 15 文字を超えると、恒久ライセンスを使用してリモートデスクトップセッションを起動できます。

この機能を有効にするには、管理者が以下を実行して `default.ica` ファイルを構成する必要があります:

1. StoreFront サーバーで、`C:\inetpub\wwwroot\Citrix<StoreName>\App_Data` に移動し、任意のエディターで `default.ica` ファイルを開きます。
2. **[WFClient]** セクションに、次の行を追加します:

```
isRDSLicensingEnabled=On
```

デフォルトのキーボード設定の復元

Citrix Workspace アプリでキーボード設定を変更していた場合、デフォルトのキーボード設定を復元できるようになりました。キーボード設定をデフォルト値に戻すには、Citrix Workspace アプリを開いて [設定] > [キーボード] に移動し、[デフォルトに戻す] をクリックします。[はい] をクリックして確定します。

Microsoft Teams の HDX 最適化と App Protection との互換性

このリリースでは、デリバリーグループに対して App Protection が有効になっている場合、モニターやデスクトップの全面共有は無効になります。Microsoft Teams で [コンテンツを共有] をクリックすると、画面選択メニューから [デスクトップ] オプションが削除されます。VDA が 2109 以降である場合、開いているアプリを共有するために選択できるオプションは [ウィンドウ] だけです。2019 より古い VDA に接続している場合、コンテンツは選択できません。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 99 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 99.1.1.8 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザにする

Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザに設定できるようになりました。Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザにすると、すべてのリンクと Web および SaaS アプリがデフォルトで Citrix Enterprise Browser で開きます。

macOS で Citrix Enterprise Browser をデフォルトのブラウザにするには、以下を実行します：

1. Citrix Enterprise Browser を開き、省略記号アイコンをクリックして [設定] メニューを開きます。
2. 左側のペインで、[デフォルトのブラウザ] オプションをクリックします。
3. [デフォルトのブラウザ] ページで、[デフォルトにする] をクリックします。プロンプトが表示されたら、[**Citrix Enterprise Browser** を使用する] をクリックして選択内容を確認し、変更を適用します。

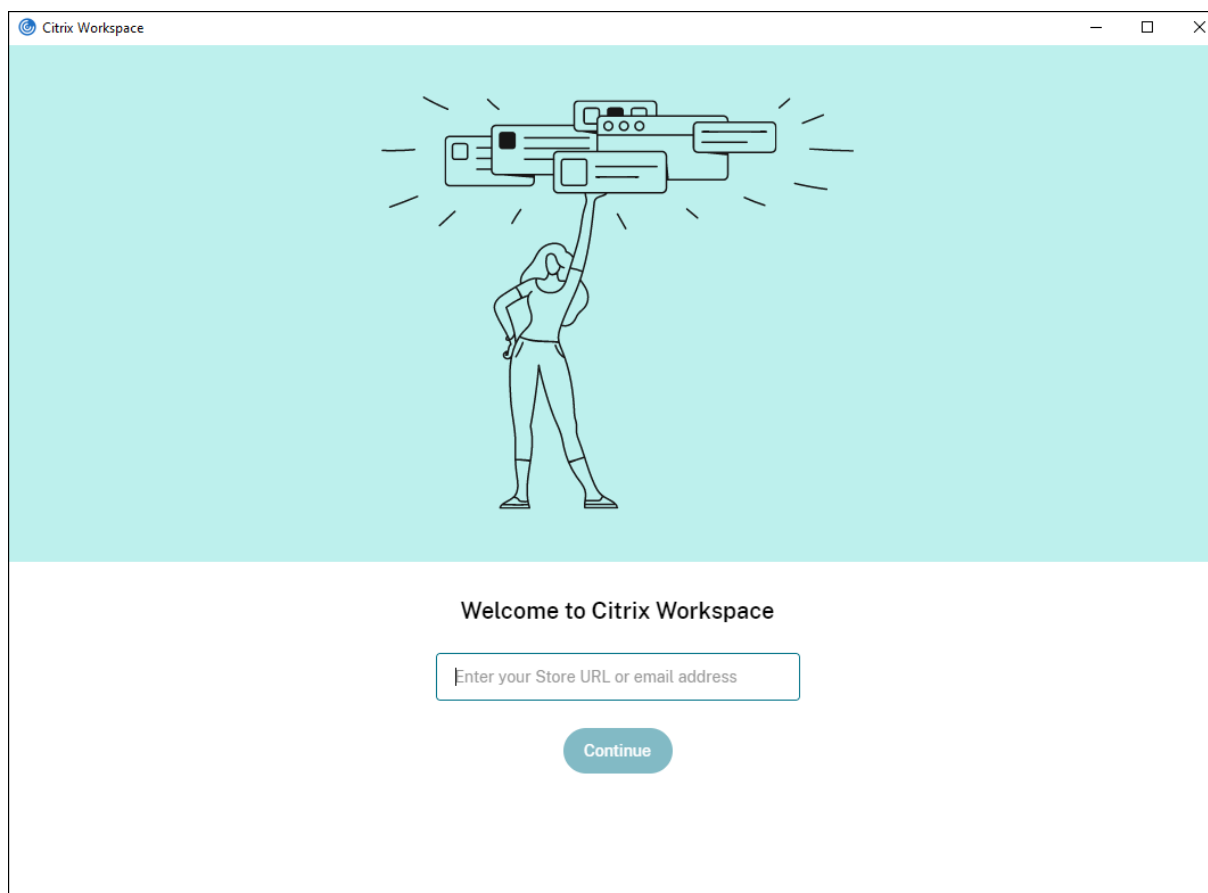
解決された問題

- ノッチディスプレイを搭載した Mac では、マウスポインターの位置がずれます。[CVADHELP-19337]
- 非アクティブタイムアウト値が経過しても、Workspace アプリからサインアウトしない。この問題は断続的に発生します。[CVADHELP-19812]
- Citrix Workspace アプリをアンインストールしようとするときエラーが発生する場合があります。[CVADHELP-19121]
- 最適化された Microsoft Teams では、別の仮想デスクトップまたはアプリのセッションを開始した場合、ビデオ機能が機能しない場合があります。[HDX-40451]
- Microsoft Teams の通話中に画面またはアプリを共有しているとき、他の参加者に視覚的なアーティファクトが表示される場合があります。この問題は、不適切なビデオ再生（フリーズまたは一時的な黒い枠）などの不安定なフレームレートが原因で発生します。このリリースには、視覚的なアーティファクトを減らすのに役立つ改善されたフレームレートまたはサンプリングレートが含まれています。[HDX-38032]

2203.1

新機能

このリリースには、初めてのユーザー向けのシンプルかつ直感的なオンボーディング操作環境が導入されています。



Citrix Workspace アプリの非アクティブタイムアウト

非アクティブタイムアウト機能では、管理者が設定した値に基づいてユーザーは Citrix Workspace アプリからサインアウトされます。管理者は、ユーザーが Citrix Workspace アプリから自動的にサインアウトされるまでのアイドル時間を指定できます。Citrix Workspace アプリウィンドウ内で、指定された時間内にマウス、キーボード、またはタッチによるアクティビティが発生しなくなると、自動的にサインアウトされます。無操作状態によるタイムアウトは、既に実行中の Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS（旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス）セッションまたは Citrix StoreFront ストアには影響しません。

詳しくは、「[Citrix Workspace アプリの非アクティブタイムアウト](#)」を参照してください。

PDF ユニバーサル印刷

Mac から印刷するときに PDF ユニバーサル印刷機能を使用できるようになりました。Citrix ユニバーサルプリンタードライバ（UPD）を使用して Mac でクライアントプリンターを自動作成する場合、HP Color LaserJet 2800 シリーズ PS ドライバをインストールする必要がなくなりました。

この機能を使用する方法について詳しくは、「[印刷](#)」を参照してください。

Microsoft Teams の「コンテンツの共有」機能を使用してアプリを共有

Microsoft Teams の画面共有機能を使用して、個別のアプリケーション、ウィンドウ、または全画面を共有できます。Citrix Virtual Delivery Agent 2109 は、この機能の前提条件です。

特定のアプリケーションを表示するには、会議コントロールの [コンテンツの共有] をクリックして、目的のアプリケーションを選択します。選択したアプリの周囲に赤い境界線が表示された後、通話中のピアはアプリを見ることができます。アプリを最小化すると、Microsoft Teams は共有アプリの最後の画像を表示します。共有を再開するには、ウィンドウを最大化します。

Microsoft Teams のマルチウィンドウチャットと会議

Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS で HDX による最適化が行われると、Microsoft Teams (1.5.00.5967 以降) でチャットと会議に複数のウィンドウを使用できるようになりました。ユーザーは、会話や会議をさまざまな方法でポップアウトできます。ポップアウトウィンドウ機能について詳しくは、Microsoft Office 365 サイトの「[Teams Pop-Out Windows for Chats and Meetings](#)」を参照してください。

古いバージョンの Citrix Workspace アプリまたは VDA を使用している場合、Microsoft は将来シングルウィンドウコードを廃止する予定ですので注意してください。ただし、複数のウィンドウをサポートする VDA/CWA のバージョン (2203 以降) にアップグレードするまで、少なくとも 9 か月の猶予があります。

注:

この機能は、Microsoft Teams から以降の更新がロールアウトされた後にのみ使用できます。詳細については、[Microsoft 365 のロードマップ](#)を参照してください。

Microsoft Teams の制御を渡すまたは取り戻す

[制御を渡す] ボタンを使用すると、会議に参加しているほかのユーザーに共有画面の制御アクセス権を渡すことができます。ほかの参加者は、キーボード、マウス、クリップボードの入力を使用して、共有画面を選択および変更できます。自分もほかのユーザーも共有画面を制御できるようになり、いつでも制御を取り戻すことができます。

画面共有セッション中に制御を獲得する場合、参加者は誰でも [制御を要求する] ボタンを使用して制御アクセス権を要求できます。画面共有している人は、その要求を承認または拒否できます。制御権を持つと、共有画面でキーボードやマウスの入力を制御したり、制御を手放して共有制御を停止したりできます。

注:

この機能は、Microsoft Teams から以降の更新がロールアウトされた後にのみ使用できます。

StoreFront から Workspace への移行

組織がオンプレミスの StoreFront から Workspace に移行するとき、ユーザーは新しい Workspace URL を Citrix Workspace アプリに手動で追加する必要があります。この機能により、管理者は最小限のユーザー操作でユーザーを StoreFront ストアから Workspace ストアにシームレスに移行できます。

この機能について詳しくは、「[StoreFront から Workspace への URL の移行](#)」を参照してください。

Global App Config Service

Citrix Workspace 向けの新しい Citrix Global App Configuration Service を使用すると、Citrix 管理者は集中管理されたサービスによって Workspace サービスの URL と Citrix Workspace アプリの設定を配信できます。詳しくは、[Global App Configuration Service のドキュメント](#)を参照してください。

フルスクリーンモードを複数のモニターで使用する

2 台以上のモニターで同時にフルスクリーンモードにすることができるようになりました。この機能を使用するには、次の手順を実行します：

1. Citrix Viewer を開きます。
2. 接続されている他のモニターでフルスクリーンモードを使用するには、ウィンドウをプライマリモニターからドラッグして、接続されているモニターに移動します。メニューバーから、[表示] > [フルスクリーンにする] を選択します。これらのモニターで、ウィンドウはフルスクリーンモードになります。

注：

以前に [すべてのディスプレイをフルスクリーンで使用する] オプションを選択した場合は、これによって、接続されているすべてのモニターでフルスクリーンモードが選択されているため、必ず選択を解除してください。

Citrix では、プライマリモニターを含めて最大 3 台のモニターにすることをお勧めします。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 98 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 98.1.2.17 が含まれています。Citrix Enterprise Browser の機能またはバグ修正については、Citrix Enterprise Browser ドキュメントの「[新機能](#)」を参照してください。

Technical Preview

- Web アプリおよび SaaS アプリ向けに強化されたシングルサインオン (SSO) エクスペリエンスのサポート
- Linux VDA における TLS (Transport Layer Security) プロトコルバージョン 1.3 のサポート

Technical Preview の機能について詳しくは、「[Technical Preview](#)」ページを参照してください。

解決された問題

- アクティブなセッション中、Citrix Workspace アプリのウォーターマークが透明になり、ウィンドウのコンテンツがバックグラウンドで表示されます。この問題は、シームレスモードでのみ発生します。[CVADHELP-19153]
- VDA (2112 以降) から Citrix ADC 経由でセッションを起動すると、セッション画面の保持が開始されているが再接続されていない状態で、セッションが中断される場合があります。[CVADHELP-19687]

- Mimecast プラグインからの [Large File Receive] ポップアップダイアログが Outlook に表示されません。[HDX-37137]
- Path MTU Discovery (PMTUD) の値が 1500 (デフォルト) ではない場合、ユーザーは Azure クラウド環境で TCP にフォールバックできません。[HDX-37215]
- 最適化された Microsoft Teams ビデオ通話で Web カメラがオンになっていると、エンドポイントで CPU 使用率が高くなる場合があります。[HDX-37168]
- Citrix Workspace アプリでは、Microsoft Teams で通話を送受信するときに、断続的に障害が発生する場合があります。次のエラーメッセージが表示されます:
「通話を確立できませんでした。」 [HDX-38819]
- Citrix AppFlow が Citrix ADC で構成されている場合、Citrix Workspace アプリセッションが起動しないことがあります。[HDX-39496]
- 自動更新が無効になっている場合に [環境設定] > [詳細] に移動すると、Citrix Workspace アプリがクラッシュします。[RFMAC-10978]

2201

新機能

StoreFront から Workspace への移行 [Technical Preview]

組織がオンプレミスの StoreFront から Workspace に移行するとき、ユーザーは新しい Workspace URL を Citrix Workspace アプリに手動で追加する必要があります。この機能により、管理者は最小限のユーザー操作でユーザーを StoreFront ストアから Workspace ストアにシームレスに移行できます。

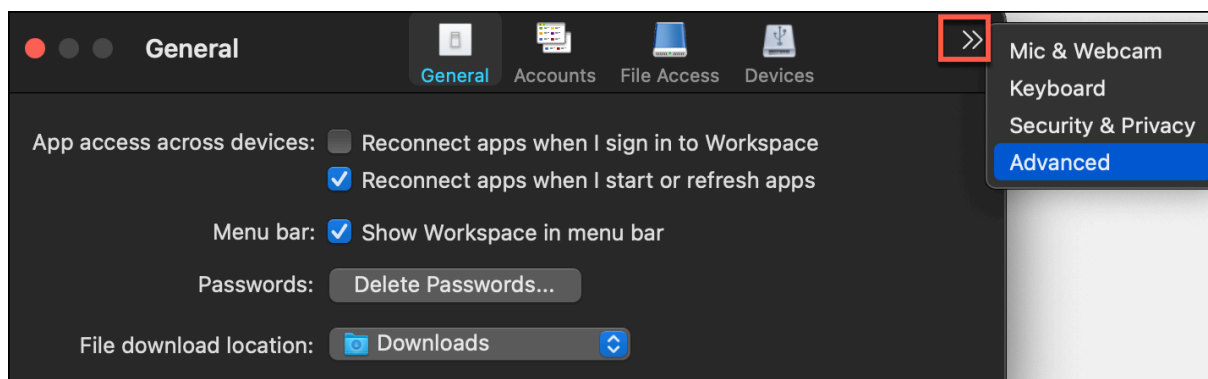
注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある実稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関する [フィードバック](#) をお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

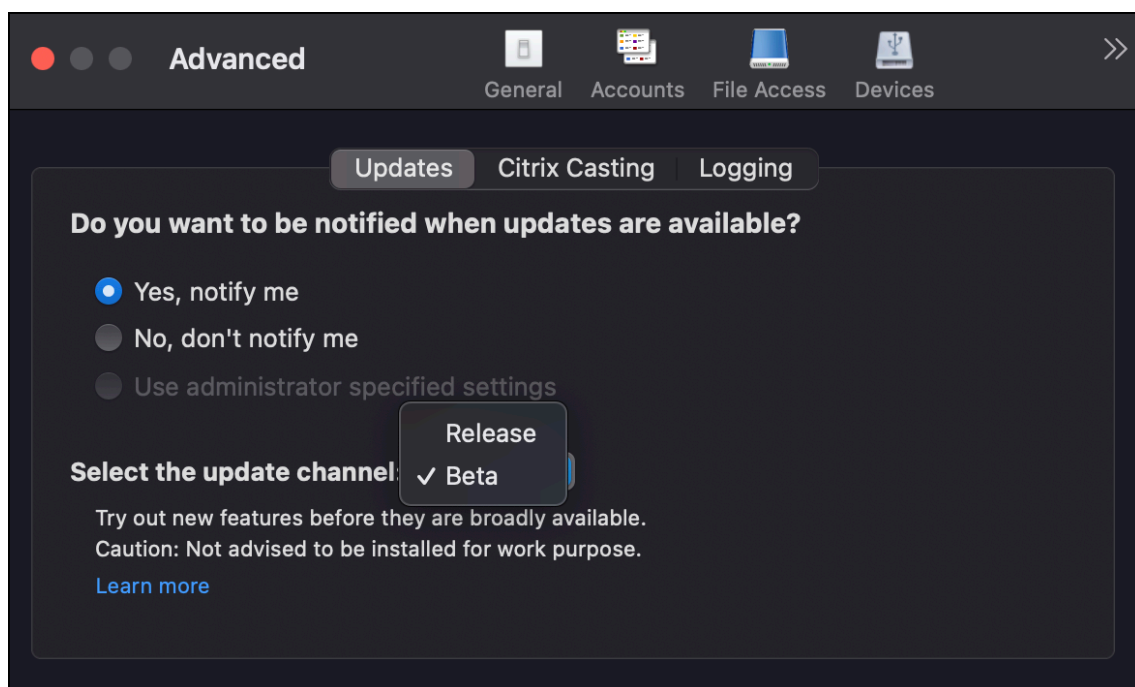
Citrix Workspace アプリのベータプログラム

このリリース以降、Citrix Workspace アプリの既存のインストールを最新のベータ版のビルドに自動的に更新して、それらをテストすることができます。ベータ版のビルドは、完全にサポートされている安定版リリースアップデートが一般提供される前にリリースされる、早期アクセスバージョンです。Citrix Workspace アプリが自動更新用に構成されている場合は、更新通知を受け取ります。

ベータビルドにアクセスするには、Citrix Workspace アプリを開き、ツールバーで Citrix Workspace を右クリックして [環境設定] > [詳細] をクリックします。ベータビルドに更新するには、ドロップダウンリストから **[Beta]** チャンネルを選択します。



- **Beta** - 一般提供前に簡単にテストして問題を報告できる早期アクセスリリース。
- **Release** - 完全にサポートされている安定版リリースの更新プログラム。



この機能の使用について詳しくは、「[アップデート](#)」を参照してください。

フルスクリーンモードを複数のモニターで使用 **[Technical Preview]**

2 台以上のモニターで同時にフルスクリーンモードにすることができるようになりました。この機能を使用するには、次の手順を実行します：

1. Citrix Viewer を開きます。
2. 接続されている他のモニターでフルスクリーンモードを使用するには、ウィンドウをプライマリモニターからドラッグして、接続されているモニターに移動します。メニューバーから、[表示] > [フルスクリーンにする] を選択します。これらのモニターで、ウィンドウはフルスクリーンモードになります。

注:

以前に [すべてのディスプレイをフルスクリーンで使用する] オプションを選択した場合は、これによって、接続されているすべてのモニターでフルスクリーンモードが選択されているため、必ず選択を解除してください。

Citrix では、プライマリモニターを含めて最大 3 台のモニターにすることをお勧めします。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある実稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関する [フィードバック](#) をお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

解決された問題

- キーボードの左矢印または右矢印を使用して入力システム作成ウィンドウから候補テキストを選択しても、入力カーソルがそれに応じて移動しません。この問題は、Citrix Workspace アプリの [設定] の [キーボード] ウィンドウで [リモートサーバーのキーボードレイアウトではなくローカルのレイアウトを使用する] チェックボックスがオンになっているデスクトップを起動した場合に発生します。この問題は、日本語と中国語でのみ発生します。[HDX-34956]
- Workspace アプリのセッションでマウスポインターが断続的に消え、何もクリックできなくなります。[HDX-36820]
- Excel シートのピボットテーブルのセルをドラッグすると、デスクトップセッションが予期せず終了します。[HDX-37178]
- バージョン 2112 にアップグレードした後、無損失および全画面 H.264 コーデックのポリシーが適用されている場合、デスクトップセッションでグラフィックの問題が発生することがあります。[HDX-37272]
- Citrix Workspace アプリ 2010 からバージョン 2112 にアップグレードすると、デスクトップまたはアプリに接続できなくなります。[RFMAC-10811]

2112

新機能

カスタム **Web** ストアのサポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリから組織のカスタム Web ストアにアクセスできるようになりました。以前は、ブラウザからのみ、カスタマイズされたすべてのストアにアクセスできました。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ブラウザのようなエクスペリエンスのカスタム Web ストアを読み込み、App Protection 機能をカスタム Web ストアに拡張します。ネイティブの Citrix Workspace アプリからカスタム

ポータルにアクセスできるようにすることで、この機能を完全に利用でき、同じユーザーエクスペリエンスが提供されます。Global App Configuration Service について詳しくは、「[はじめに](#)」を参照してください。

カスタム Web ストアの構成について詳しくは、「[カスタム Web ストア](#)」を参照してください。

Microsoft Teams での制御の要求

このリリースでは、参加者が画面を共有している場合、Microsoft Teams の通話中に制御を要求できます。制御できるようになると、共有画面に対して選択、編集、またはその他の変更を実行できます。

画面が共有されているときに制御を取得するには、Microsoft Teams 画面の上部にある [制御を要求] をクリックします。画面を共有している会議参加者は、要求を許可または拒否できます。入力が完了したら、[制御を停止] をクリックします。

制限事項:

[制御を要求] オプションは、最適化ユーザーと、エンドポイントで実行されているネイティブの Microsoft Teams デスクトップクライアントのユーザーとの間のピアツーピア通話では使用できません。この問題を回避するために、ユーザーは会議に参加して [制御を要求] オプションを使用することができます。

動的緊急通報 (Dynamic e911)

このリリースの Citrix Workspace アプリは、動的緊急通報をサポートしています。Microsoft 通話プラン、Operator Connect、ダイレクトルーティングで使用すると、以下を実行できます:

- 緊急電話の構成とルーティング
- セキュリティ担当者への通知

通知は、VDA で実行されている Microsoft Teams クライアントではなく、エンドポイントで実行されている Citrix Workspace アプリの現在の場所に基づいて送信されます。Ray Baum 法では、緊急車両を派遣可能な 911 発信者の位置情報を、適切な公衆安全応答ポイント (PSAP) に送信する必要があります。Windows 向け Citrix Workspace アプリ 2112.1 以降、HDX を使用した Microsoft Teams の最適化は Ray Baum 法に準拠しています。この機能について詳しくは、「[Microsoft 電話システム](#)」セクションの「[ダイナミック e911 のサポート](#)」を参照してください。

PDF ユニバーサル印刷 (Technical Preview)

PDF ユニバーサル印刷機能は、Citrix Virtual Apps and Desktops 2112 リリースで使用できます。この機能はデフォルトでは無効になっています。この機能を使用するには、こちらの[Web フォーム](#)を使用してサインアップする必要があります。この機能は、Citrix 側がお客様の情報を受け取ると、有効になります。お客様も、機能の使用方法と、有効にする必要がある印刷ポリシーについての説明を受け取ります。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある実稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待

ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

サービス継続性

サービス継続性により、接続プロセスに関与するコンポーネントの可用性に依存することがなくなるか、最小限に抑えられます。ユーザーは、クラウドサービスのヘルス状態に関係なく、仮想アプリと仮想デスクトップを起動できます。Citrix Workspace Web 拡張機能は、Web ブラウザーでアプリやデスクトップにアクセスするユーザーにサービス継続性を提供します。

Citrix Workspace アプリと Workspace Web 拡張機能は、Workspace 接続リリースを使用して、停止中に Web ブラウザーユーザーがアプリとデスクトップにアクセスできるようにします。詳しくは、「[サービス継続性](#)」を参照してください。

Citrix Enterprise Browser

このリリースの Citrix Enterprise Browser は、Chromium バージョン 95 がベースになっています。Citrix Enterprise Browser の機能またはバグ修正については、Citrix Enterprise Browser ドキュメントの「[新機能](#)」を参照してください。

解決された問題

- トランスポートプロトコルが Enlightened Data Transport (EDT) から TCP に切り替わると、「サーバーに接続できません」エラーが表示されます。[CVADHELP-18310]
- 保護されている Progressive Web Apps (PWA) が macOS で開かれている場合、**App Protection** ポリシーが適用されていません。[RFMAC-10128]

2111

新機能

- このリリースでは、ユーザーは Mac 向け Citrix Workspace アプリをシステムにインストールされているバージョンよりも前のバージョンに手動でロールバックすることはできません。たとえば、Mac デバイスに Citrix Workspace アプリバージョン 2109 がインストールされている場合、アプリをバージョン 2108 以前に手動でロールバックすることはできません。
- クライアントアクセスライセンス (CAL) を実行してリモートデスクトップにアクセスしている場合は、恒久ライセンスを使用してリモートデスクトップセッションを起動します。クライアント ID が 15 文字を超える場合は、リモートデスクトップセッションを起動できます。
- Citrix Workspace アプリ 2111 を実行している Mac に Citrix 仮想チャネル SDK を読み込むには、カスタム仮想チャネルを再コンパイルする必要があります。詳しくは、[Mac 向け Citrix Workspace アプリでのカスタム仮想チャネルの更新](#)を参照してください。

カスタム **Web** ストアのサポート **[Technical Preview]**

このリリースでは、macOS 向け Citrix Workspace アプリから組織のカスタム Web ストアにアクセスできます。管理者は、この機能を使用するために、Global App Configuration Service で許可されている URL の一覧にカスタム Web ストアを追加する必要があります。URL を追加したら、Citrix Workspace アプリの [アカウントの追加] 画面でカスタム Web ストアの URL を指定できます。カスタム Web ストアはネイティブの macOS 向け Citrix Workspace アプリウィンドウで開きます。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある実稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関する [フィードバック](#) をお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータ版のビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Citrix Enterprise Browser - Citrix Enterprise Browser の新機能またはバグ修正については、Citrix Enterprise Browser ドキュメントの「[新機能](#)」を参照してください。

解決された問題

- macOS を実行しているデバイスでは、Advanced Audio Coding (AAC) はサポートされていません。[CTXBR-1844]
- .cr ファイルを使用して Citrix Workspace アプリを構成し、資格情報を使用してサインインした場合、ホームページはしばらくしてから表示されます。[RFMAC-9990]
- 保護された SaaS アプリを開き、新しいタブを開きます。新しいタブをタブバーからドラッグして新しいウィンドウに分離します。次に、2 つのウィンドウを並べて配置し、2 番目のウィンドウで新しいタブを開いてスクリーンショットを撮ります。そうすると、保護された SaaS アプリのスクリーンショットもキャプチャできます。[RFMAC-10060]
- あるストアから別のストアに切り替えると、最初のストアからサインアウトされる場合があります。[RFMAC-10137]
- Citrix Workspace アプリへのサインイン中に誤った資格情報を入力すると、「資格情報が正しくありません」というエラーメッセージは表示されず、認証プロンプトがもう一度表示されます。ドメイン\ユーザーがユーザー名の代わりに認証プロンプトに表示されることがあります。[RFMAC-10210]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2109 から Windows 向け Citrix Workspace アプリ 2109 に最適化された Microsoft Teams の P2P 呼び出しが行われると、呼び出しエラーが発生します。[HDX-35223]

2109.1

新機能

macOS Monterey のサポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、macOS Monterey (12.0.1) でサポートされています。

解決された問題

- 保護されたアプリ、保護されていない SaaS アプリ、および保護されたデスクトップセッションを開いた場合、ブラウザが予期せず終了します。この問題は、保護されたデスクトップセッションウィンドウから、保護されていない SaaS アプリに切り替えるときに発生します。[CTXBR-2087]
- 管理者が Google Chrome に外部拡張機能をインストールしている場合、Citrix Enterprise Browser を開くとクラッシュします。[CTXBR-2135]

2109

新機能

注:

サービス継続性が有効になっていて、バージョン 2109 にアップグレードすると、接続リースファイルが更新されます。機能拡張の一環として、既存のすべてのリースが削除され、新しいリースがフェッチされます。

macOS Monterey Beta 版の Mac 向け Citrix Workspace アプリ

Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2109 は、macOS Monterey Beta 7 でテストされています。このセットアップをテスト環境で使用し、フィードバックを提供してください。

注意:

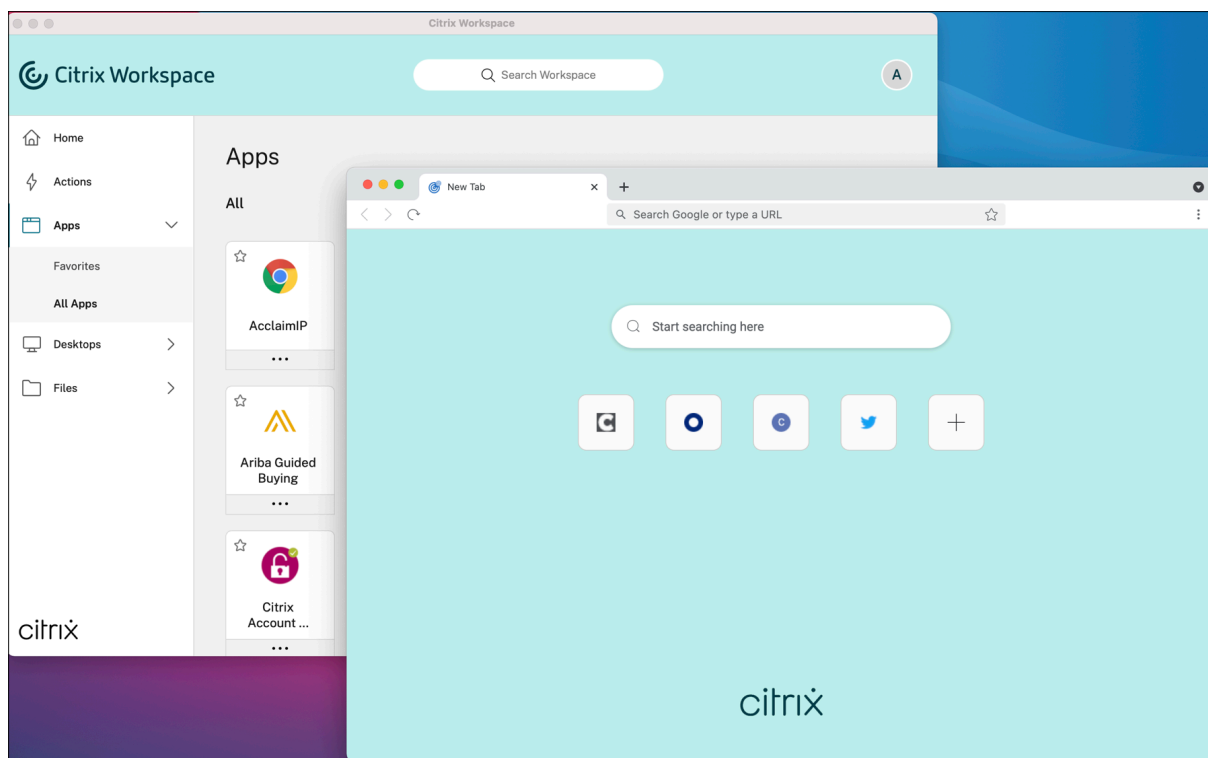
実稼働環境で macOS Monterey Beta 版の Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用しないでください。

ストアのメールアドレスの自動検出

Mac 向け Citrix Workspace アプリでメールアドレスを指定することで、メールアドレスに関連付けられているストアを自動的に検出できるようになりました。ドメインに複数のストアが関連付けられている場合、デフォルトでは、Global App Configuration Service によって返される最初のストアが、最適なストアとして追加されます。ユーザーは必要に応じていつでも別のストアに切り替えることができます。

Citrix Enterprise Browser

Citrix Enterprise Browser は、クライアントマシンで実行されるネイティブブラウザです。これにより、ユーザーは Citrix Workspace アプリから安全な方法で Web アプリまたは SaaS アプリを開くことができます。ブラウザでは、さまざまな Web アプリまたは SaaS アプリへのアクセス時に、一貫性のあるユーザーインターフェイスが提供され、生産性の向上と、アプリのレンダリングでの優れたパフォーマンスが実現します。



新しい Citrix Enterprise Browser は、ユーザーエクスペリエンスの向上に引き続き重点を置いており、次の機能を備えた、強化された、よりネイティブブラウザのようなエクスペリエンスを提供します：

- 内部 Web ページへの VPN レスアクセス
- マイクと Web カメラのサポート
- タブブラウジングエクスペリエンス
- マルチウィンドウビュー
- 編集可能なオムニボックス
- ブックマーク
- 新しいタブページのショートカット
- カスタマイズ可能な設定
- 分析

管理者は、URL ごとにさまざまな組み合わせで、キーロガー対策、スクリーンキャプチャ対策、ダウンロード、印刷、クリップボード制限、透かしなどの、Secure Private Access や App Protection ポリシーを有効にできます。

詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

エンドポイント解析（EPA）の機能強化

このリリース以降、macOS 向け Citrix Workspace アプリはエンドポイント解析（EPA）をサポートします。高度なエンドポイント分析（EPA）がデバイスをスキャンして、Citrix Gateway で設定されているエンドポイントのセキュリティ要件を確認します。スキャンが正常に完了すると、ユーザーにアクセス権が付与されます。

中:

この機能は、環境で nFactor 認証を構成した場合にのみ有効になります。

EPA スキャンについて詳しくは、「[Advanced Endpoint Analysis スキャン](#)」を参照してください。

アダプティブオーディオ

アダプティブオーディオを使用すれば、VDA で音質ポリシーを構成する必要はありません。アダプティブオーディオは環境の設定を最適化し、従来のオーディオ圧縮形式を置き換え、優れたユーザーエクスペリエンスを提供します。詳しくは、「[アダプティブオーディオ](#)」を参照してください。

Microsoft Teams による H.264 Advanced Video Coding (MPEG-4 AVC) のサポート

このリリースには、ハードウェアアクセラレーションによる H.264 ビデオエンコーディング/デコーディングのサポートが含まれています。これにより、CPU 使用率の負荷が軽減され、ビデオ会議のエクスペリエンスが向上します。Citrix HDX 最適化された Microsoft Teams のマルチメディアエンジン (HdxRtcEngine.exe) は、エンコーディングとデコーディングに Apple の Video Toolbox フレームワークを使用するようになりました。このフレームワークは、ビデオをより高速かつリアルタイムで圧縮および解凍します。また、GPU へのエンコーディングとデコーディングのオフロードが最適化されます。デバイスがサポートしている場合は、ハードウェアアクセラレーションによるビデオのエンコーディングとデコーディングはデフォルトで有効になっています。この機能拡張により、Microsoft Teams が HDX で最適化されている場合、マルチメディアの使用中の CPU の負荷が軽減されます。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリにサインインすると、数時間後に認証を求めるプロンプトが表示されません。[RFMAC-10032]
- Citrix Workspace アプリにストアを追加し、サーバーコンソールで認証ドメインを変更し、アプリを数分間アイドル状態にしてからアプリまたはデスクトップセッションを開くと、Citrix Workspace アプリがクラッシュする可能性があります。[RFMAC-10133]
- 仮想アプリまたはデスクトップが既に実行されていて、別の仮想アプリまたはデスクトップを起動すると、Citrix Viewer は表示されますが、仮想アプリは開きません。この問題は、macOS 11.6 を実行しているデバイスで発生します。[RFMAC-10134]

2108.1

新機能

このリリースではさまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

仮想アプリまたはデスクトップが既に実行されていて、別の仮想アプリまたはデスクトップを起動すると、Citrix Viewer は表示されますが、仮想アプリは開きません。この問題は、macOS 11.6 を実行しているデバイスで発生します。[RFMAC-10134]

2108

新機能

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Enlightened Data Transport (EDT) で最大転送単位 (MTU) 検出をサポートするようになりました。その結果、EDT プロトコルの信頼性と互換性が向上し、ユーザーエクスペリエンスが向上します。

注:

EDT の MTU 検出は、macOS Big Sur 以降でサポートされています。

解決された問題

- Microsoft Teams での会議通話中に、ビデオに遅延が生じます。[HDX-32603]
- macOS Big Sur を実行している Mac クライアントで、HTTP 404 または HTTP/1.1 内部サーバーエラーが発生する場合があります。この問題は、セッションへの再接続時に発生します。[RFMAC-9448]

2107

新機能

このリリースではさまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

このリリースでは複数の問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2106

新機能

301 リダイレクトを使用したカスタマイズした URL のサポート

HTTP 301 リダイレクトを使用して StoreFront または Citrix Gateway から Citrix Workspace にリダイレクトする URL を追加できます。

StoreFront から Citrix Workspace に移行する場合は、HTTP 301 リダイレクトを使用して StoreFront URL を Citrix Workspace URL にリダイレクトできます。その結果、古い StoreFront URL を追加すると、Citrix Workspace に自動的にリダイレクトされます。

リダイレクトの例:

StoreFront URL の `https://< Citrix Storefront url>/Citrix/Roaming/Accounts` は、Citrix Workspace URL の `https://<Citrix Workspace url>/Citrix/Roaming/Accounts` にリダイレクトできます。

注:

- Microsoft での変更内容が保留状態のため、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Microsoft Teams でのデュアルトーンマルチ周波数 (DTMF) をサポートしていません。
- このリリース以降、Citrix Viewer のバージョン番号と Citrix Workspace アプリのバージョン番号が一致しない場合があります。お客様がこの変更の影響を受けることはありません。

サービス継続性

サービス継続性により、接続プロセスに関与するコンポーネントの可用性に依存することがなくなるか、最小限に抑えられます。ユーザーは、クラウドサービスのヘルス状態に関係なく、仮想アプリと仮想デスクトップを起動できます。

詳しくは、Citrix Workspace ドキュメントの「[サービス継続性](#)」セクションを参照してください。

Microsoft Teams の機能強化

Desktop Viewer がフルスクリーンモードの場合、ユーザーは **Desktop Viewer** がカバーするすべての画面から 1 つを選択して共有できます。ウィンドウモードでは、ユーザーは [**Desktop Viewer**] ウィンドウを共有できます。シームレスモードでは、ユーザーはエンドポイントデバイスに接続されている複数の画面から 1 つの画面を選択できます。

Desktop Viewer がウィンドウモードを変更 (最大化、復元、または最小化) すると、画面共有が停止します。

ユーザーが画面を共有したい場合は、使用可能なすべての画面のプレビューが画面共有パネルに表示されるため、プレビューから適切な画面を直感的に選択できます。

解決された問題

このリリースでは複数の問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2104

新機能

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、組織がシングルサインオンを有効にしていない限り、ユーザーによるネットワーク共有への手動サインオンをサポートします。共有ネットワークの場所にアクセスするには、Citrix Workspace アプリを開き、[ファイル] > [ネットワーク共有] に移動し、資格情報を提供します。ネットワーク共有のセットアップについて詳しくは、「[ストレージゾーンコネクタの作成と管理](#)」を参照してください。

解決された問題

このリリースでは複数の問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2102

新機能

このリリースではさまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

このリリースでは複数の問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

2101

新機能

Apple シリコン (M1 チップ) のサポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、macOS Big Sur (11.0 以降) で Rosetta 2 を使用する Apple Silicon デバイス (M1 チップ搭載) をサポートするようになりました。その結果、すべてのサードパーティの仮想チャネルは Rosetta 2 を使用する必要があります。それ以外の場合、macOS Big Sur (11.0 以降) で動作する Mac 向け Citrix Workspace アプリで仮想チャネルが機能しない可能性があります。Rosetta について詳しくは、[Apple のサポート記事](#)を参照してください。

シームレスなアプリセッションのための Microsoft Teams 最適化のサポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、シームレスなアプリセッションのための Microsoft Teams 最適化をサポートするようになりました。その結果、Citrix Workspace アプリ内からアプリケーションとして Microsoft Teams を起動できます。詳しくは、次の記事を参照してください:

- [Microsoft Teams の最適化](#)
- [Microsoft Teams リダイレクト](#)

Microsoft Teams でのデュアルトーンマルチ周波数 (DTMF) のサポート

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、テレフォニーシステム (PSTN など) および Microsoft Teams の電話会議でのデュアルトーンマルチ周波数 (DTMF) シグナリングの使用をサポートするようになりました。この機能はデフォルトで有効になっています。

解決された問題

- OWA (Outlook Web App) を使用して Microsoft Teams のミーティングを開こうとすると失敗し、関連するすべてのウィンドウが予期せず終了する場合があります。[CTXBR-1175]
- ビデオ通話を開始するときに Microsoft Teams が応答なくなり、「Citrix HDX not connected」エラーが表示されることがあります。[RFMAC-6727]
- macOS Big Sur (11.0.1) では、USB デバイスを接続しようとするとう失敗し、セッションが予期せず終了する場合があります。[RFMAC-7079]
- 公開デスクトップでは、ローカル Mac デバイ스에保存されたファイルの作成日が、現在の日付ではなく、1979 年 11 月 30 日として表示される場合があります。[CVADHELP-16309]
- 公開アプリのログオン画面が正しく表示されないことがあり、その結果、ウィンドウのサイズが小さくなり、背景色が赤になります。[CVADHELP-16027]
- オーディオデバイスを切断して接続すると、この操作を行った側で音声通話が切断される場合があります。[RFMAC-7371]
- クリップボード制限ポリシーが有効になっていても、Office 365 アプリ内からテキストをコピーできる場合があります。[CTXBR-1166]
- HDX RealTime Connector エンジンの問題が原因で、Microsoft Teams を起動しようとするとう失敗する場合があります、次のエラーメッセージが表示されます：

Sorry, we couldn't connect you

[CVADHELP-16432]

2012

新機能

Apple シリコン (M1 チップ) のサポート (プレビュー)

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、プレビューベースで Apple シリコンデバイス (M1 チップ搭載) をサポートするようになりました。

Microsoft Teams での画面共有の最適化

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Microsoft Teams での画面共有の最適化をサポートするようになりました。詳しくは、以下を参照してください：

- [Microsoft Teams の最適化](#)
- [Microsoft Teams リダイレクト](#)

パフォーマンスの向上

このリリースではさまざまな問題に対応しているため、パフォーマンスや安定性が総合的に向上しています。

解決された問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2008 以降のを使用している場合、公開アプリケーションの複数のインスタンスを起動しようとするとき失敗することがあります。[CVADHELP-16019]
- USB ドッキングステーションを使用している場合、汎用 USB リダイレクトを開始しようとするとき失敗することがあります。[RFMAC-6687]
- 公開デスクトップで CTRL+O を使用してウィンドウを開こうとすると、2 つのウィンドウが開くことがあります。[CVADHELP-15747]
- Mac 向け Citrix Workspace アプリ内から Citrix Files を起動しようとするとき、シングルサインオンの問題で失敗する場合があります。[RFMAC-4477]
- macOS Big Sur Beta で Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用すると、音声通話が切断される場合があります。この問題は、音声通話中にオーディオデバイスを切断して別のオーディオデバイスを接続すると発生します。[RFMAC-6112]
- Microsoft Teams でカメラをオンまたはオフにすると、HDX RealTime Connector エンジンが予期せず終了する場合があります。[RFMAC-6293]

既知の問題

2305 の既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリをバージョン 2305 にアップグレードした後、ユーザー名とパスワードの入力が必要なポップアップダイアログを表示する特定のサードパーティ製仮想アプリが、応答しなくなる場合があります。[CVADHELP-23032]

2304 の既知の問題

- 複数のアカウントを持つユーザーに、Citrix Workspace アプリの読み込み画面が長時間表示されることがあります。この問題を回避するには、Citrix Workspace アプリを終了して再起動する必要があります。[RFMAC-13432]

2301.1 の既知の問題

- 自動更新サービスを使用して Citrix Workspace アプリのバージョン 2301.1 に更新できない場合があります。Citrix Web サイトの [\[ダウンロード\]](#) からファイルをダウンロードすることで、アプリをインストールできます。

2301 の既知の問題

- macOS Ventura デバイスで、プログレッシブ Web アプリ (PWA) を起動できない。次のエラーメッセージが表示されます:

App Name is damaged and can't be opened. You should move it to the Bin. (アプリ名が破損しており起動できません。Bin に移動する必要があります)

回避策として、そのアプリを右クリックして **[開く]** を選択します。キーボードを使用している場合は、Ctrl キーを押しながらアプリをクリックします。**[開く]** を選択します。[CTXBR-3885]

- ユーザーが Global App Config Service に関連付けられた Citrix Workspace にサインインするとき、読み込み中アイコンがいつまでも表示されたままになることがある。Storefront およびカスタム Web ストアは、この問題の影響を受けません。[RFMAC-13086]

2211.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2211 の既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2209 以降のバージョンを使用している場合、カスタム Web ポータルの使用中にユーザーサインインページが表示されないことがあります。この問題を回避するには、メニューバーの Citrix Workspace アイコンの **[終了]** オプションを使用して、Citrix Workspace アプリを終了します。[CVADHELP-21377]

2210 の既知の問題

- macOS 13 Ventura では、**Stage Manager** 機能の **Stage Manager** 設定で **[All at Once default]** オプションを **[One at a Time]** オプションに変更すると、シームレスなアプリの相互作用で問題が発生することがあります。[HDX-44567]
- デスクトップセッションをオフラインモードで開始しようとする、失敗することがあります。この問題を解決するには、セッションウィンドウのサイズを変更します。[HDX-45081]
- MacBook でセッションをフルスクリーンモードにサイズ変更すると、カーソルのフォーカルポイントが実際のカーソル位置のわずかに上に表示されることがあります。この問題を回避するには、**[システム環境設定] >**

[**Dock** とメニューバー] に移動し、フルスクリーンで [メニューバーを自動的に表示/非表示] オプションを有効にします。[HDX-45585]

- 2210 リリースでは、アプリセッションで Mission Control 機能またはアプリ公開機能を使用すると、Citrix Workspace アプリが予期せず終了することがあります。[HDX-46130]
- Epic や Kronos などの特定のサードパーティアプリを起動すると、アプリのサインインウィンドウが別のウィンドウでカバーされることがあります。その結果、セッション全体がフリーズします。この問題を回避するには、次のいずれかの操作を実行します：
 - サインインウィンドウをブロックしているウィンドウを、サインインウィンドウの外へドラッグします。
 - Mission Control 機能を使用してサインインウィンドウを見つけます。
 - キーボードショートカットの **Command+~** を使用してウィンドウを切り替えます。

[HDX-46140]

2209 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2208.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2206.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2204 の既知の問題

- トラフィックが NGS を介してトンネリングされると、Citrix Workspace アプリによる 64MB を超えるファイルのアップロードまたはダウンロードが失敗する場合があります。[CTXBR-3354]

2203.1 の既知の問題

- ブラウザーウィンドウが最大化されていない限り、Jira アプリの [**Create**] ボタンをクリックすることはできません。[CTXBR-1976]
- Web ソケット接続は、Citrix Secure Private Access 経由でトンネリングされません。[CTXBR-2439]
- Citrix Workspace アプリをバージョン 2203 にアップグレードすると、Citrix Enterprise Browser アイコンに疑問符アイコンが表示されます。この問題は、アップグレード前に Citrix Enterprise Browser がドックに固定されていた場合に発生します。[CTXBR-2864]

- Citrix Enterprise Browser の **[Advanced]** セクションで **[Reset settings]** オプションをクリックしても、ログ設定はデフォルトにリセットされません。この問題を回避するには、**[Logs]** ページで **[Reset to default log settings]** オプションをクリックします。[CTXBR-2929]
- Citrix Enterprise Browser バージョン 2201 からバージョン 2203 にアップグレードすると、以前に保存したパスワードが失われ、新しいパスワードを保存できなくなります。[CTXBR-3063]
- フルスクリーンモードは、ノッチのある Mac では使用できません。[CVADHELP-19337]
- ブラウザーを使用してデスクトップまたはアプリのセッションを起動すると、セッションウィンドウがブラウザーウィンドウの背後のバックグラウンドで起動します。[RFMAC-11362]

2201 の既知の問題

- オフライン（イントラネット）モードで Citrix Workspace アプリを使用している場合、Citrix Broker Service および Citrix Director ではクライアント名がランダムな文字で表示されます。[RFMAC-10842]

2112 の既知の問題

- Citrix Workspace アプリでは、Microsoft Teams で通話を送受信するときに、断続的に障害が発生する場合があります。次のエラーメッセージが表示されます：
「通話を確立できませんでした。」 [HDX-38819]

2111 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2109.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2109 の既知の問題

- **.cr**ファイルを使用して Citrix Workspace アプリを構成し、資格情報を使用してサインインした場合、ホームページはしばらくしてから表示されます。[RFMAC-9990]
- 保護されている Progressive Web Apps (PWA) が macOS で開かれている場合、*App Protection* ポリシーが適用されていません。[RFMAC-10128]
- Citrix Workspace アプリでストアを追加した後、**[Workspace アプリの再認証期間]** で **[現在の再認証期間]** を変更し、数分後にオンプレミスからクラウドストアに切り替えると、クラウドストアからサインアウトされ、認証プロンプトが表示されます。Citrix Workspace アプリにサインインすると、スピナーがいつまでも表示され、サインインできなくなります。[RFMAC-10140]

2108.1 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2108 の既知の問題

- サーバーコンソールで認証ドメインを変更した後にサブスクリプション済みの SaaS アプリを起動すると、セッションが開始されず、次のエラーメッセージが表示されます：

「認証ドメインが変更されました。しばらくしてから再度サインインしてください。」

[RFMAC-9616]

2107 の既知の問題

- サーバーコンソールで認証ドメインを変更し、資格情報を使用してサインインした場合、次のエラーメッセージが表示されます：

サーバーに接続できません

[OK] をクリックすると、ストアにアクセスできます。

[RFMAC-9494]

2106 の既知の問題

- 画面を共有すると、黒い画面が表示されます。[HDX-30083]

2104 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2102 の既知の問題

このリリースで確認されている新しい問題はありません。

2101 の既知の問題

- Mac 向け Citrix Workspace アプリ内から [ネットワーク共有] のファイルにアクセスしようとすると、オプションが有効になっていても失敗する場合があります。[RFMAC-7272]
- macOS Big Sur では、Mac 向け Citrix Workspace アプリでシングルサインオンで利用できる SAML Web アプリを起動しようとすると失敗し、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

Page could not load. Please **try** again later or contact your administrator **for** assistance. Incident ID:-202

[RFMAC-7282]

2012 の既知の問題

- ビデオ通話を開始するときに Microsoft Teams が応答しなくなり、「Citrix HDX not connected」エラーが表示されることがあります。この問題を回避するには、Microsoft Teams または VDA を再起動します。[RFMAC-6727]
- Microsoft Skype for Business のビデオ通話は、macOS Big Sur (11.0.1) ではサポートされていません。
- macOS Big Sur (11.0.1) では、USB デバイスを接続しようとする失敗し、セッションが予期せず終了する場合があります。この問題を回避するには、USB デバイスを再接続します。[RFMAC-7079]

サードパーティ製品についての通知

Citrix Workspace アプリには、次のドキュメントで定義された条件の下でライセンスが有効になったサードパーティのソフトウェアが含まれている可能性があります。

[Mac 向け Citrix Workspace アプリのサードパーティ製品についての通知](#)

Technical Preview

September 14, 2023

Technical Preview の機能は、非実稼働環境または制限のある稼働環境で使用でき、お客様がフィードバックを共有する機会を提供します。Technical Preview の機能のサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合があります。

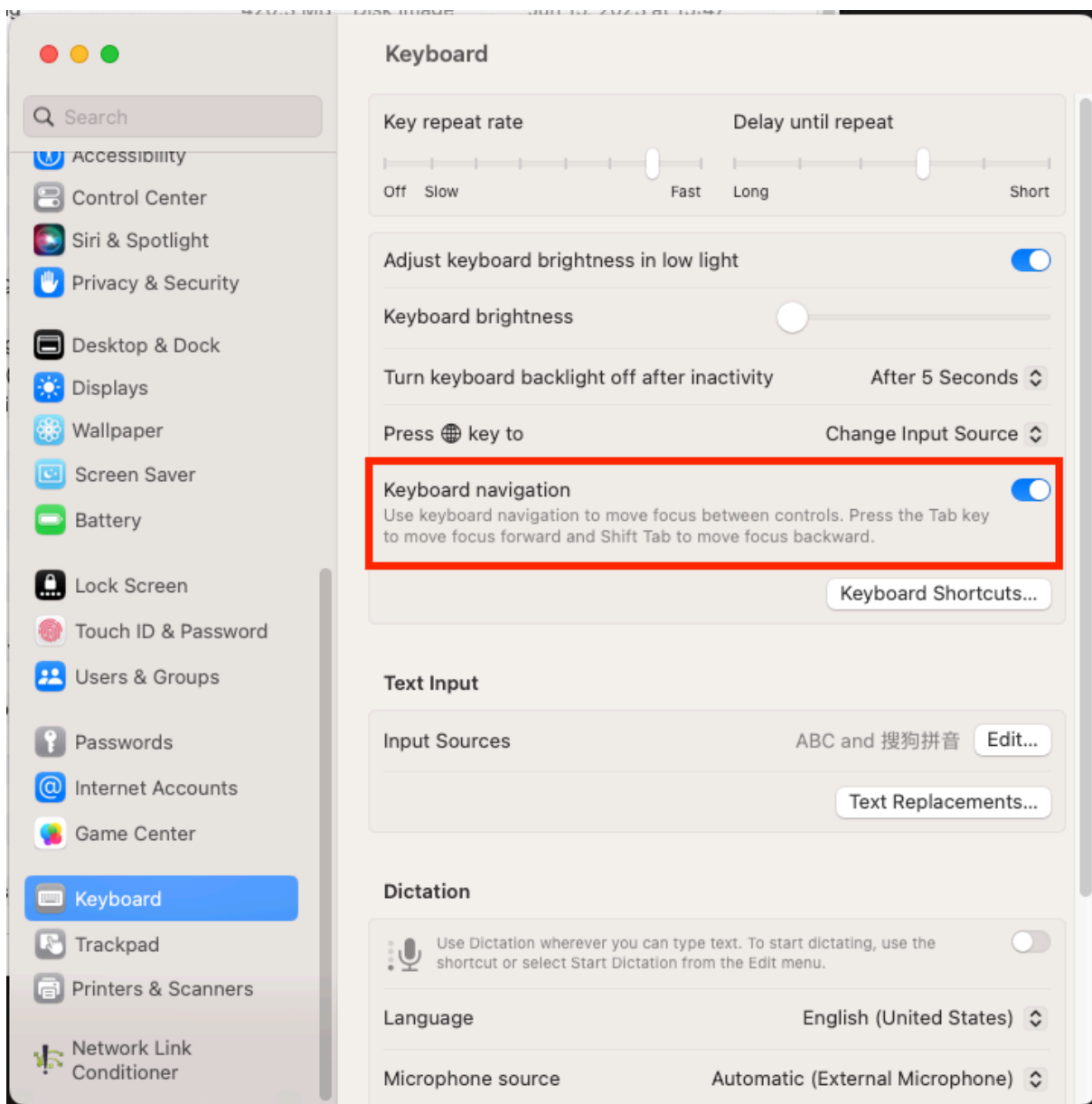
2307

Virtual Desktop 上のツールバーに関するキーボードアクセシビリティのサポート [Technical Preview]

リリース 2307 から、セッションツールバーをキーボードショートカットで非表示にしたりアクティブ化したりできるようになりました。キーボードショートカットを使用するには、**Citrix Viewer** のメニューバーから、[表示] > [ツールバーのショートカットを使用] に移動します。[**Use Toolbar shortcut**] オプションは、デフォルトで有効になっています。詳しくは、「[Virtual Desktop 上のツールバーに関するキーボードアクセシビリティのサポート \[Technical Preview\]](#)」を参照してください。



UI 要素間を移動できるようにすると共にフォーカスしている要素を強調表示するキーボードによる操作が、ツールバーと Citrix Workspace アプリの環境設定ウィンドウでサポートされるようになりました。



これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

[Podio フォーム](#)を使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

2305

クライアントアプリ管理

Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2305 でクライアントアプリ管理機能を使用できます。この管理機能により、Citrix Workspace アプリをエンドポイントにインストールするだけで、エンドポイント解析（EPA）プラグインなどのエージェントをインストールおよび管理できるようになります。

この機能により、管理者は必要なエージェントを 1 つの管理コンソールから簡単に展開および管理できます。

注:

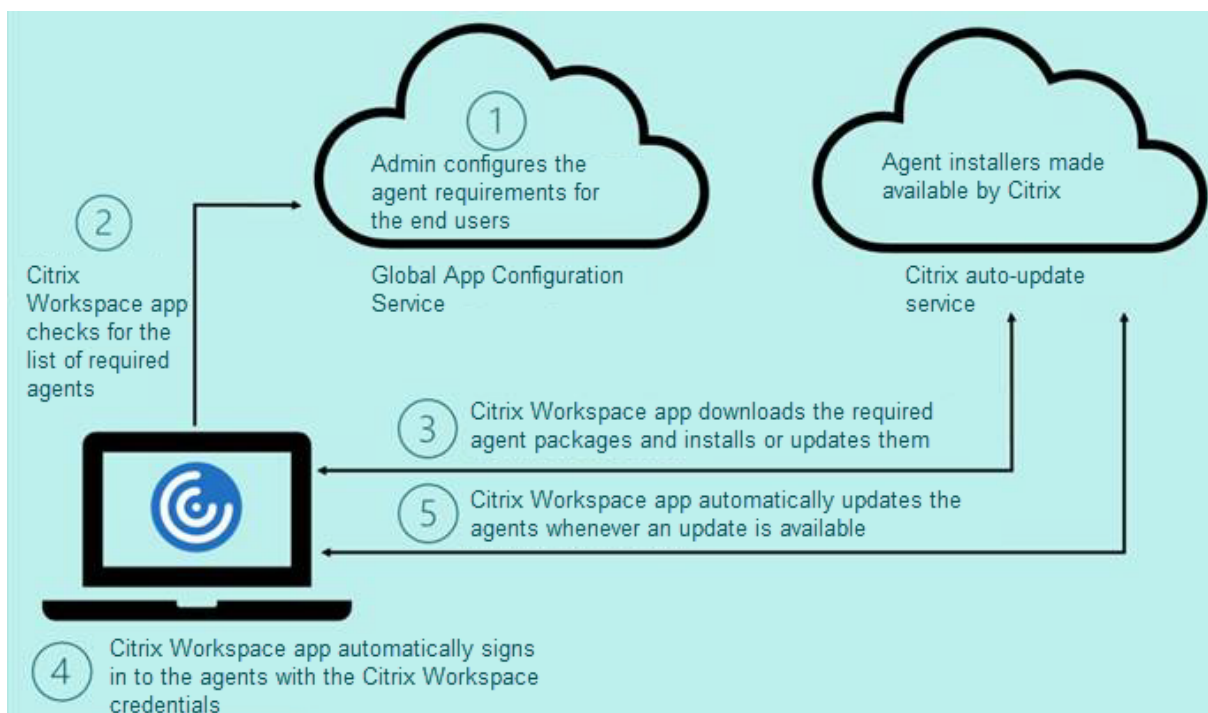
- この機能は、Workspace（クラウド）セッションにのみ適用されます。
- Global App Configuration Service は、この機能の前提条件です。

クライアントアプリ管理には次の手順が含まれます:

- 管理者は、Global App Configuration Service でエンドユーザーのデバイスに必要なエージェントを指定する必要があります。この Technical Preview では、管理者は EPA（エンドポイント解析）エージェントを指定できます。
- Citrix Workspace アプリは、Global App Configuration Service からエージェントの一覧を取得します。
- Global App Configuration Service から取得した一覧に基づいて、Citrix Workspace アプリは自動更新サービスを介してエージェントパッケージをダウンロードします。エンドポイントにエージェントが以前にインストールされていない場合、Citrix Workspace アプリによってエージェントのインストールがトリガーされます。エージェントが既にインストールされている場合は、Citrix Workspace アプリはエージェントの更新をトリガーします（ダウンロードしたエージェントのバージョンがインストールされているバージョンよりも高い場合）。

これ以降更新プログラムが利用可能になったときに、Citrix Workspace アプリがエージェントを自動的に更新します。

次の図は、このワークフローを示しています。



Global App Config Service の JSON ファイルの例:

```

1  {
2
3    "serviceURL": {
4
5      "url": "https://serviceURL:443"
6    }
7  ,
8    "settings": {
9
10     "name": "Client App management",
11     "description": "Client App management",
12     "useForAppConfig": true,
13     "appSettings": {
14
15       "macos": [
16         {
17
18           "category": "AutoUpdate",
19           "userOverride": false,
20           "assignedTo": [
21             "AllUsersNoAuthentication"
22           ],
23           "settings": [

```

```
24         {
25
26             "name": "Auto update plugins settings",
27             "value": [
28                 {
29
30                     "pluginName": "Citrix Endpoint
31     Analysis",
32                     "pluginId": "7303CB73-42EE-42BB-
33     A908-9E6575912106",
34                     "pluginSettings": {
35
36                         "deploymentMode": "
37     InstallAndUpdate",
38
39                         "upgradeToLatest": true,
40                         "minimumAllowedVersion": "1.0",
41                         "maximumAllowedVersion": "24.0"
42
43                     },
44
45                 },
46
47             ],
48         },
49
50     ],
51 },
52
53 ],
54 },
55
56 },
57
58 },
59
60
61 <!--NeedCopy-->
```

次の表に、クライアントアプリ管理設定のスキーマ、値、および説明を示します。

スキーマ設定	値	説明
isBlocking	True または False	isBlocking パラメーターが true に設定されている場合、プラグインは必須と見なされ、必要なプラグインがインストールされている場合にのみサインインページが表示されます。EPA を必須プラグインとして設定することを Citrix ではお勧めします。
pluginName		プラグインのフレンドリ名。 pluginName は変更できます。
pluginId		プラグインの ID。変更しないでください。
deploymentMode	InstallAndUpdate/Update	
maximumAllowedVersion		プラグインの最大許容バージョン。
minimumAllowedVersion		プラグインの最小許容バージョン。
upgradeToLatest	True または False	

2301 リリース以降、管理者は、Citrix Workspace アプリにサインイン済みの状態であれば、Citrix Workspace アプリと Citrix Secure Access へのシングルサインオンを使用して、EPA Clients for macOS の自動更新を管理できます。

Endpoint Analysis (EPA) の自動更新

Citrix Workspace アプリを使用して、[EPA Clients for macOS](#)の自動更新を管理できるようになりました。管理者は、Global App Configuration Service でエンドユーザーのデバイスに必要なエージェントを指定する必要があります。エージェントが既にインストールされていて、エージェントの新しいバージョンが利用可能な場合、Citrix Workspace アプリはエージェントを次の上位バージョンに更新します。これ以降、新しい更新プログラムが利用可能になったときに、Citrix Workspace アプリがエージェントを自動的に更新します。

Global App Config Service の JSON ファイルの例:

```
1 {  
2  
3   "serviceURL": {  
4
```

```
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Client App management",
11    "description": "Client App management",
12    "useForAppConfig": true,
13    "appSettings": {
14
15      "macos": [
16        {
17
18          "category": "AutoUpdate",
19          "userOverride": false,
20          "assignedTo": [
21            "AllUsersNoAuthentication"
22          ],
23          "settings": [
24            {
25
26              "name": "Auto update plugins settings",
27              "value": [
28                {
29
30                  "pluginName": "Citrix Endpoint
31                    Analysis",
32                  "pluginId": "7303CB73-42EE-42BB-
33                    A908-9E6575912106",
34                  "pluginSettings": {
35
36                    "deploymentMode": "
37                      InstallAndUpdate",
38                    "upgradeToLatest": true,
39                    "minimumAllowedVersion": "1.0",
40                    "maximumAllowedVersion": "7.0",
41                    "delayGroup": "Medium",
42                    "stream": "",
43                    "isFTU": false,
44                    "isBlocking": false,
45                    "detectRule": ""
46                  }
47                }
48              ]
49            }
50          ]
51        }
52      ]
53    }
54  }
```



```
47         ]
48     }
49
50     ]
51 }
52
53     ]
54 }
55
56 }
57
58 }
59
60
61 <!--NeedCopy-->
```

以下は、プロパティの意味と使用可能な `deploymentMode` キーの値です：

- `InstallAndUpdate`：プラグインを新規インストール、および新しいバージョンで更新できます。
- `Update`：更新のみを許可、新規インストールなし。
- `None`：このプラグインには操作の必要なし。

Citrix Workspace アプリを使用した Citrix Secure Access へのシングルサインオン

Citrix Workspace アプリにサインイン済みの状態であれば、Citrix Secure Access にシングルサインオンできます。Citrix Workspace アプリにサインインして Citrix Secure Access を開くとき、資格情報の入力を求められることはありません。自動的に認証が進みます。この機能により、さまざまな Citrix アプリケーションへのシングルサインオンが可能になり、ユーザーにシームレスなエクスペリエンスが提供されます。この機能は、クラウドストアのお客様のみが使用できます。最新バージョンの Citrix Workspace アプリとともに、互換性のあるバージョンの Citrix Secure Access (22.12.2 以降のバージョン) が必要です。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio](#) フォームに記入してください。

[Podio](#) フォームを使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

2304

高速スキャン

複数のデバイスで Citrix Workspace アプリにログインしている場合は、高速スキャン機能を使用して iOS デバイスの多数のドキュメントをスキャンし、スキャンしたドキュメントを Mac デバイ스에転送できます。詳しくは、「[高速スキャン \[Technical Preview\]](#)」を参照してください。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio](#) フォームに記入してください。

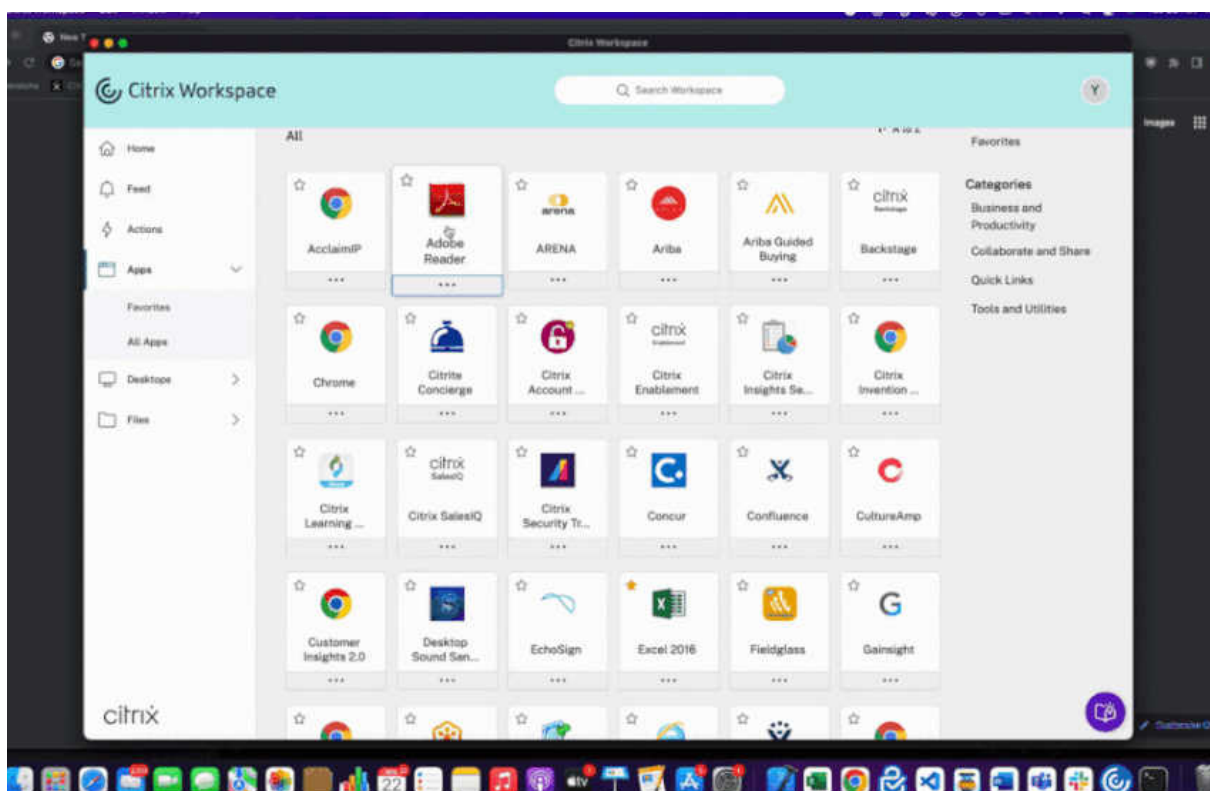
[Podio](#) フォームを使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上

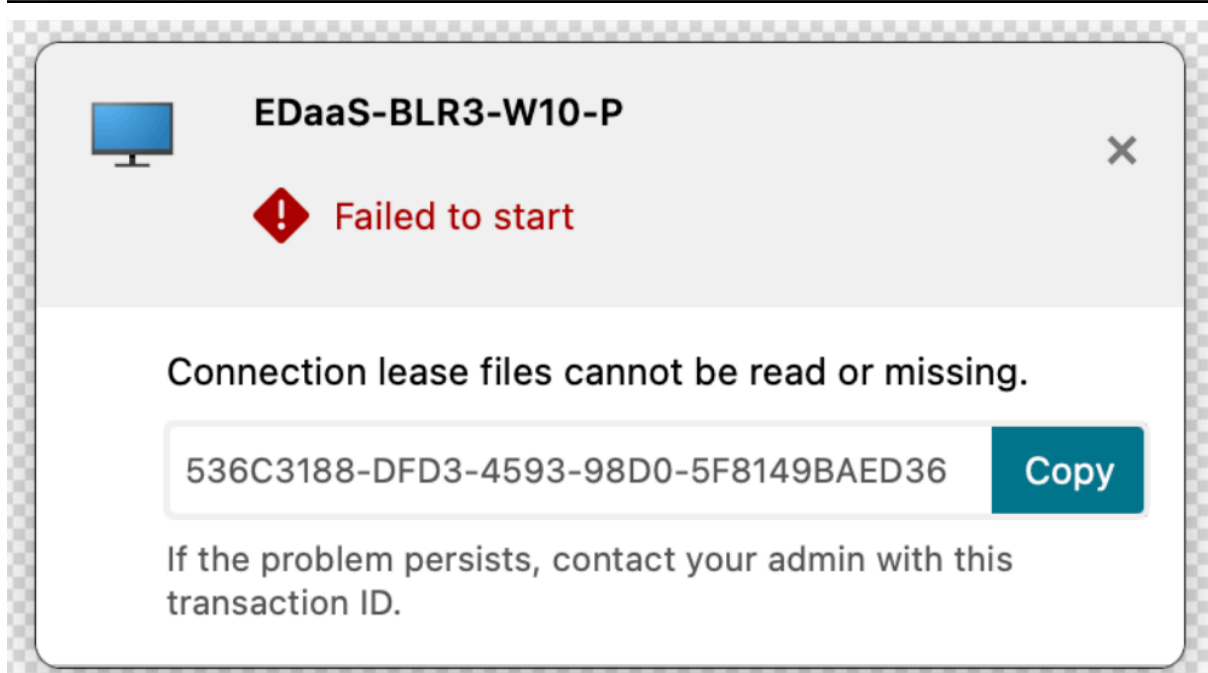
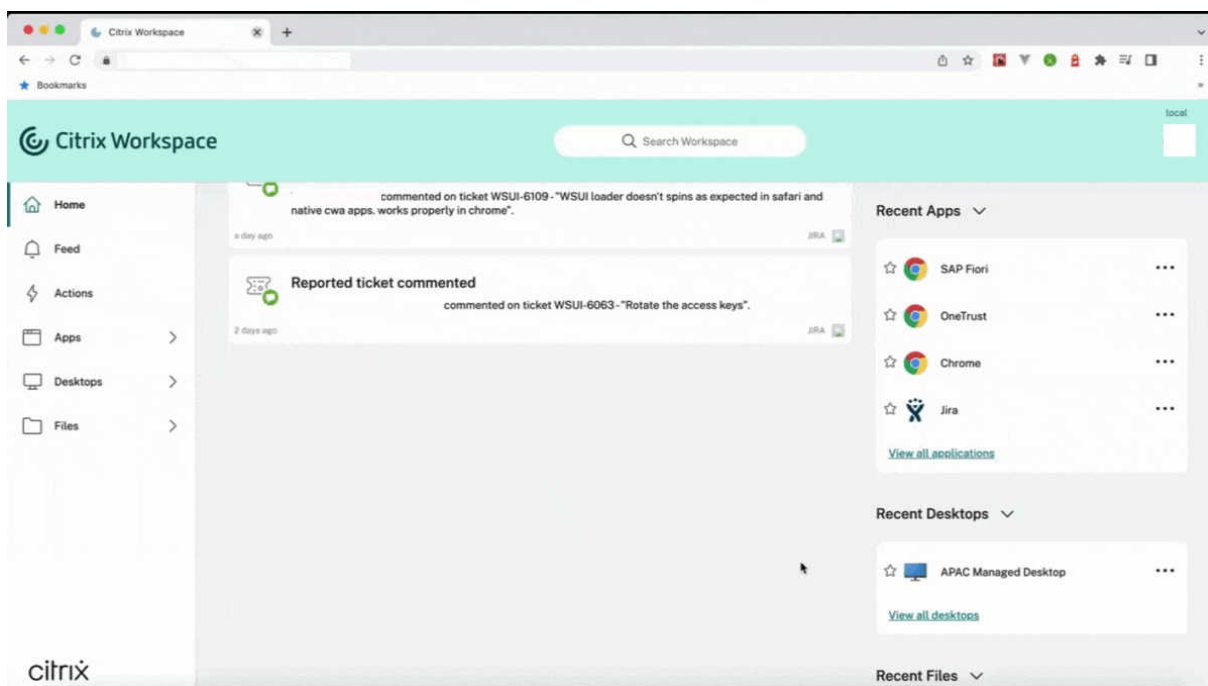
Citrix リソースの起動が向上し、より直感的で、有益で、ユーザーフレンドリーになりました。2304 リリース以降、この向上した仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスは、カスタム Web ストアとハイブリッド起動でサポートされています。仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスについて詳しくは、次を参照してください。

[仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上 \[Technical Preview\]](#)。

詳しくは、「[仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上 \[Technical Preview\]](#)」を参照してください。



起動の進行状況の通知が画面の右下隅に表示されるようになりました。起動中のリソースの進行状況が表示されます。通知を閉じると、通知を再表示することはできません。通知は、セッションが開始してから数秒間残ります。セッション開始に失敗した場合、通知に失敗した旨のメッセージが表示されます。



注:

この機能は、Workspace (クラウド) とストアフロントセッションの両方で使用できます。

[Podio フォーム](#)を使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

複数のオーディオデバイスのサポート

2304 リリース以降の Citrix Workspace アプリは、セッションで使用可能なすべてのローカルオーディオデバイスを名前付きで表示します。また、プラグアンドプレイにも対応しています。

詳しくは、「[複数のオーディオデバイスのサポート](#)」を参照してください。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

[Podio フォーム](#)を使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

2210

キーボード入力モードの強化

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、キーボード入力モードを構成するための UI を提供します。

GUI を使用してキーボード入力モードを構成するには、次の手順を実行します：

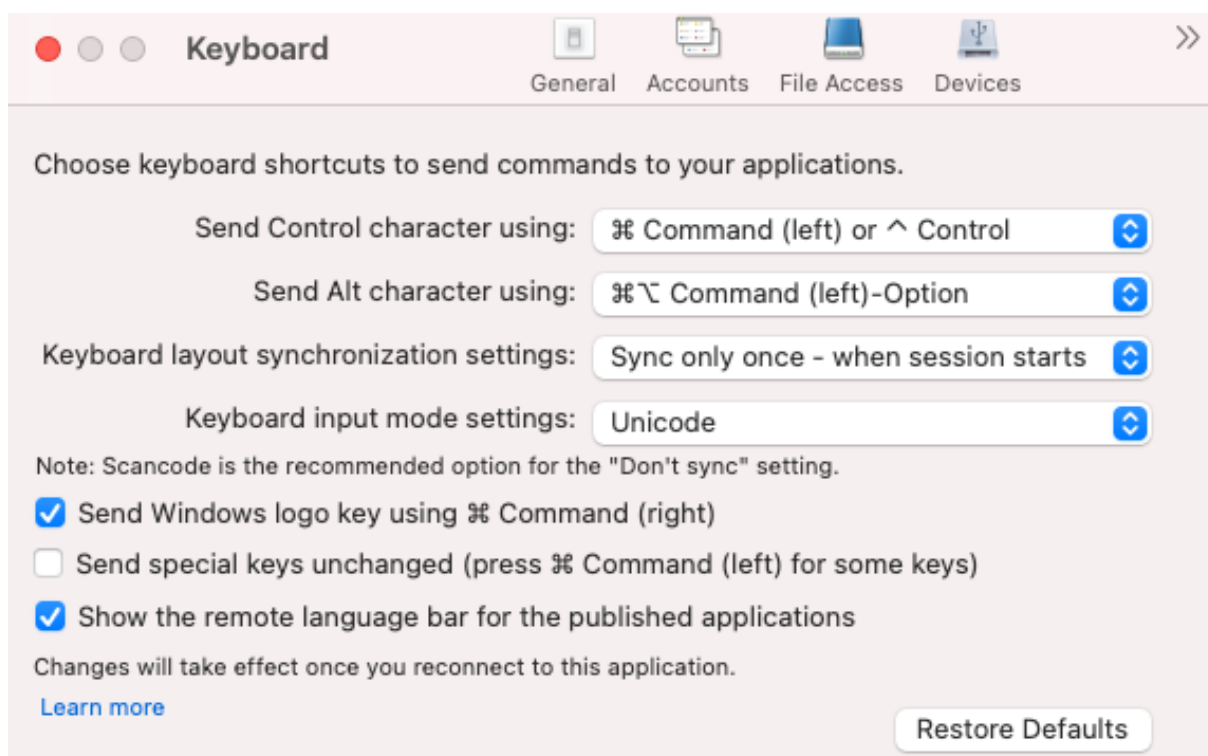
1. メニューバーの Citrix Workspace アプリアイコンで、右上隅にあるアカウントアイコンをクリックして、[環境設定] > [キーボード] に移動します。

キーボード入力モード設定が表示されます

2. 次のいずれかのオプションを選択します：

- [スキャンコード] - クライアント側のキーボードから VDA にキー位置を送信し、VDA が対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトを適用します。
- [Unicode] - クライアント側のキーボードから VDA にキーを送信し、VDA は同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトを適用します。

この拡張機能は、デフォルトで有効になっています。



たとえば、US インターナショナルキーボードレイアウトを使用しているときに、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用しているシナリオを想定してみます。[スキャンコード] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、スキャンコード「1E」が VDA に送信されます。次に、VDA は「1E」を使用して文字「ф」を表示します。[Unicode] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、文字「a」が VDA に送信されます。そのため、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用している場合でも、文字「a」が画面に表示されます。

さまざまなキーボードレイアウト同期オプションについて、Citrix では、次のキーボード入力モードをお勧めします。

- [同期しない] オプションの場合、スキャンコードモード。
- [動的な同期を許可する] および [セッション起動時に 1 回だけ同期する] の場合、Unicode モード

注:

アプリケーションに再接続すると、キーボード構成の変更が有効になります。

Citrix Workspace アプリの UI でキーボード入力モードの構成を変更できます。ただし、最高のパフォーマンスを得るには、さまざまなシナリオ、物理キーボード、およびクライアントデバイスに Citrix の推奨モードを使用してください。

構成の詳細および制限事項について詳しくは、「[キーボードレイアウトの同期](#)」を参照してください。

[Podio フォーム](#) を使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

最適化された **Microsoft Teams** 向けの **WebRTC** のアップグレードバージョン

最適化された Microsoft Teams に使用される WebRTC のバージョンは、バージョン M98 にアップグレードされます。

[Podio フォーム](#)を使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

2203.1

Web アプリおよび **SaaS** アプリ向けに強化されたシングルサインオン (**SSO**) エクスペリエンスのサポート

この機能により、サードパーティの ID プロバイダー (IdP) を使用しながら、内部 Web アプリおよび SaaS アプリ向けの SSO の構成を簡素化できます。強化された SSO エクスペリエンスにより、プロセス全体がいくつかのコマンドに集約されます。SSO をセットアップするために ID プロバイダーチェーンで Citrix Secure Private Access を構成するという、必須の前提条件がなくなります。また、Citrix Workspace アプリと起動中の特定の Web または SaaS アプリの両方の認証に同じ ID プロバイダーが使用される場合、ユーザーエクスペリエンスも向上します。

この[Podio フォーム](#)を使用して、この Technical Preview に登録できます。

Linux VDA における **TLS (Transport Layer Security)** プロトコルバージョン **1.3** のサポート

TLS バージョン 1.3 を実行している場合は、Linux オペレーティングシステムでホストされている仮想アプリと仮想デスクトップに接続できるようになりました。

注:

TLS バージョン 1.3 を実行している場合、Windows 仮想アプリと仮想デスクトップに接続することはできません。

[Podio フォーム](#)を使用して、この機能に対するフィードバックを送信できます。

Apple シリコン (**M1** および **M2** シリーズ) 搭載 **Mac** のネイティブサポート

September 14, 2023

Apple シリコン (**M1** および **M2** シリーズ) 搭載 **Mac** のネイティブサポート - ユニバーサルアーキテクチャ

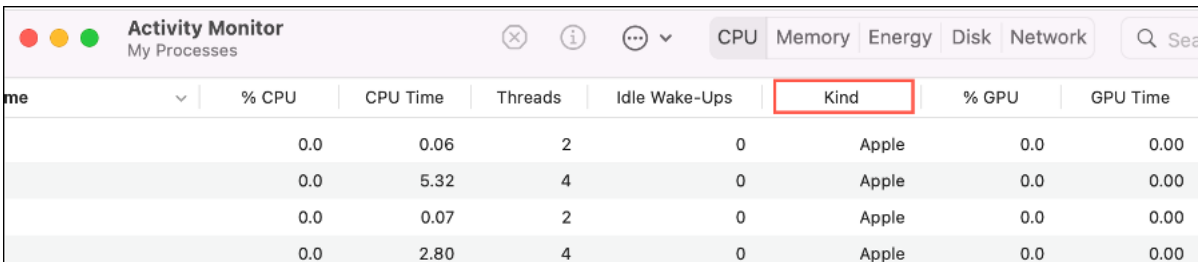
macOS 向け Citrix Workspace アプリが、Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac をネイティブサポートするようになりました。このビルドは、Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac で、デフォルトでネイティブに実行されます。そのため、このビルドを M1 および M2 シリーズを使用した Mac にインストールし、テストしておく必要があります。ユニバーサルアーキテクチャビルドまたは Intel ビルドを、「[Downloads](#)」ページの **Citrix Workspace App for macOS (Apple silicon)** セクションからダウンロードできます。

注:

Citrix は引き続き、Rosetta 2 ダイナミックバイナリトランスレーターを使用する Intel ベースの Mac をサポートします。ただし、Citrix は、Rosetta エミュレーションを使用する Mac 向け Citrix Workspace アプリを間もなく廃止します。「[廃止](#)」セクション記載のお知らせに注意してください。

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を実行している Mac で Citrix Workspace アプリを使用する場合は、「[Downloads](#)」の Citrix Web サイトから、Mac 用の HDX RealTime Media Engine 2.9.500 をインストールして、HDX RealTime Optimization Pack (RTOP) をアップグレードしておく必要があります。

Citrix Workspace アプリが Apple シリコンでネイティブに実行されているかどうかを確認するには、Mac でアクティビティモニターを開きます。[CPU] タブの [種類] というタイトルの列は、Workspace アプリが Apple シリコンまたは Intel プロセッサで実行されているかどうかを示します。



名前	% CPU	CPU Time	Threads	Idle Wake-Ups	Kind	% GPU	GPU Time
	0.0	0.06	2	0	Apple	0.0	0.00
	0.0	5.32	4	0	Apple	0.0	0.00
	0.0	0.07	2	0	Apple	0.0	0.00
	0.0	2.80	4	0	Apple	0.0	0.00

ユニバーサルアーキテクチャビルドをアンインストールし、**Intel** ベースの **Mac** 向けの **Citrix Workspace** アプリをインストールする

ユニバーサルアーキテクチャビルドをアンインストールすることで、Intel ベースの Mac 向けの Citrix Workspace アプリに切り替えることができます。Citrix Workspace アプリをアンインストールするには、「[アンインストール](#)」セクションを参照してください。

アプリをアンインストールしたら、Intel ベース Mac 向け Citrix Workspace アプリの最新バージョンを Citrix のダウンロードページからダウンロードし、「[手動インストール](#)」セクションの手順に従います。

Citrix 仮想チャネル SDK

Citrix 仮想チャネルソフトウェア開発キット (VCSDK) は、ICA プロトコルを使用する追加の仮想チャネルのための、サーバー側アプリケーションやクライアント側ドライバーの作成をサポートします。サーバー側仮想チャネルアプリケーションは、Citrix Virtual Apps and Desktops サーバー上にあります。他のクライアントプラットフォーム用の仮想ドライバーの作成については、Citrix テクニカルサポートにお問い合わせください。

仮想チャネル SDK には、以下のものが用意されています。

- Citrix Server API SDK (WFAPI SDK) の仮想チャネル機能とともに使用して新しい仮想チャネルを作成する、Citrix Virtual Driver Application Programming Interface (VD-API)。VD-API によって提供される仮想チャネルサポートは、独自の仮想チャネルを容易に作成できるように設計されています。

- 視覚的要素を強化し、ICA と統合されたサードパーティアプリケーションをサポートする Windows Monitoring API。
- プログラミングテクニックの実例となる仮想チャンネルサンプルプログラムの、実際に機能するソースコード。

仮想チャンネル SDK では、WFAPI SDK で仮想チャンネルのサーバー側を作成する必要があります。

Apple シリコン (M1 および M2 シリーズ) を搭載した Mac にカスタム仮想チャンネルをロードする

エンドユーザーは、M1 および M2 チップセットを搭載した Mac にカスタム仮想チャンネル SDK (VCSDK) を正常にロードできます。ユニバーサルアーキテクチャでは、M1 および M2 チップセットデバイス上の最新の VCSDK を使用してカスタム仮想チャンネルを再コンパイルし、Apple シリコンを搭載した Mac に VCSDK をロードする必要があります。ユニバーサルアーキテクチャビルドは、「[Downloads](#)」の「**Virtual Channel SDK 2204 for macOS (Apple silicon) - Universal Architecture**」セクションからダウンロードできます。

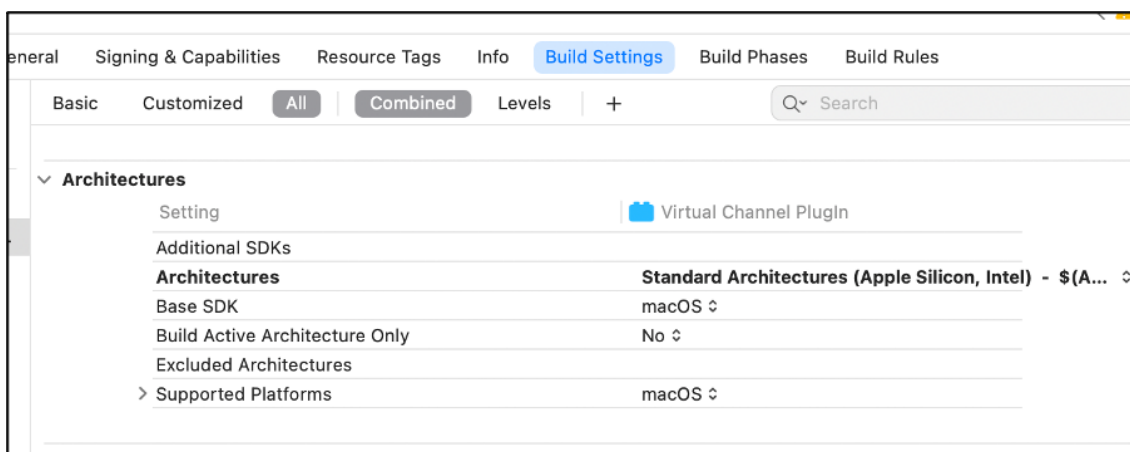
VCSDK をロードするには、次の手順を実行します：

1. 「[Downloads](#)」から macOS 用の Virtual Channel SDK 2204 をダウンロードします。
2. Xcode でカスタム仮想チャンネルプロジェクトを開きます。
3. コードを変更します。
4. カスタム仮想チャンネルをコンパイルして、仮想チャンネルバンドルを生成します。

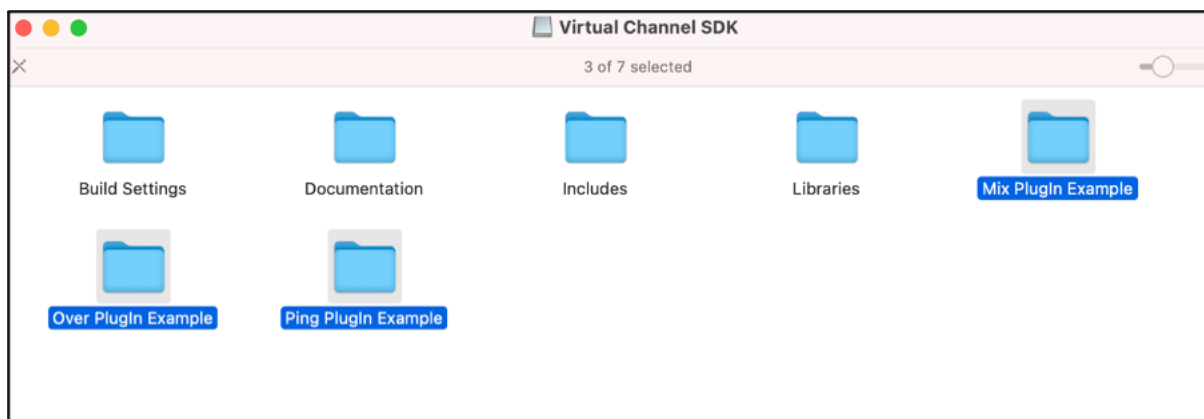
仮想チャンネルソフトウェア開発キット (VCSDK) をテストする

Citrix 仮想チャンネルソフトウェア開発キット (VCSDK) を使用している場合は、カスタマイズした仮想チャンネルが正しく実行されるように、いくつかの変更を加える必要があります。VCSDK をテストするには、次の手順を実行します：

1. カスタマイズした仮想チャンネルのリンクされたライブラリがすべてユニバーサルバイナリ用にコンパイルされていることを確認します。
2. ユニバーサルバイナリをサポートするようにプロジェクトファイルを変更します：
 - **[Project]** > **[Build Settings]** を開きます。
 - **[Architectures]** を **[Standard Architectures]** に設定します。



VCSDK の例は、*VCSDK.dmg* 内にあります。これらの例は、Apple シリコンと Intel ベース Mac コンピューターの両方でネイティブに実行される Apple のユニバーサル macOS バイナリをサポートしています。これは、両方のアーキテクチャの実行可能コードが含まれているためです。これらの例をリファレンスとして使用できます。



システム要件と互換性

September 14, 2023

サポートされるオペレーティングシステム

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、以下のオペレーティングシステムをサポートします：

- macOS Ventura (13.5)
- macOS Monterey
- macOS Big Sur 11

Citrix は常に、最新および直近の 2 つの macOS オペレーティングシステム (N、N-1、および N-2) のみをサポートします。

互換性のある Citrix 製品

Citrix Workspace アプリは、現在サポートされているすべてのバージョンの Citrix Virtual Apps and Desktops、Citrix DaaS (Citrix Virtual Apps and Desktops サービスの新名称)、および Citrix 製品マトリックスの一覧にある Citrix Gateway のバージョンと互換性があります。

互換性のあるブラウザ

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、次のブラウザと互換性があります：

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari

ハードウェア要件

- 1GB の空きディスク容量
- サーバーに接続するためのネットワークまたはインターネット接続

接続、証明書、認証

接続

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス) への以下の接続をサポートします：

- HTTPS
- ICA-over-TLS

Mac 向け Citrix Workspace アプリは以下の構成をサポートします：

LAN 接続	セキュリティ保護されたリモートまたはローカルの接続
StoreFront サービスサイトまたは Citrix Receiver for Web サイトを使用する StoreFront。	Citrix Gateway 12.x~13.x (VPX を含む)

証明書

プライベート (自己署名) 証明書

リモートゲートウェイにプライベート証明書がインストールされている場合、ユーザーデバイスに組織の証明機関のルート証明書がインストールされている必要があります。その後、Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用して Citrix リソースに正常にアクセスできます。

注:

接続時にリモートゲートウェイの証明書を検証できない場合、ローカルのキーストアにルート証明書が含まれていないため、信頼されていない機関からの証明書に関する警告が表示されます。ユーザーがストアの追加を続行すると、ストアの追加は失敗します。Web ブラウザーでは、ユーザーはストアに対して認証できる場合がありますが、セッションへの接続は失敗します。

デバイスのルート証明書のインポート

証明書の発行者のルート証明書を取得して、デバイスに設定されているアカウントに電子メールで送信します。添付ファイルをクリックすると、ルート証明書をインポートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

ワイルドカード証明書

ワイルドカード証明書は、同一ドメイン内の任意のサーバーで個別のサーバー証明書の代わりに使用します。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ワイルドカード証明書がサポートされています。

中間証明書と **Citrix Gateway**

証明書チェーンに中間証明書が含まれる場合は、中間証明書を Citrix Gateway のサーバー証明書に関連付ける必要があります。このタスクについて詳しくは、[Citrix Gateway](#)のドキュメントを参照してください。証明書のインストール、リンク、更新について詳しくは、「[中間証明書を Citrix Gateway にインストールしてプライマリ CA とリンクする方法](#)」を参照してください。

サーバー証明書検証ポリシー

Mac 向け Citrix Workspace アプリには、サーバー証明書に関する厳格な検証ポリシーがあります。

重要

このバージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールする前に、サーバーまたはゲートウェイの証明書が、ここで説明されているように正しく構成されていることを確認してください。以下の場合、接続できない可能性があります:

- サーバーまたはゲートウェイの構成に間違ったルート証明書が含まれている
- サーバーまたはゲートウェイ構成にすべての中間証明書が含まれていない
- サーバーまたはゲートウェイ構成に期限切れまたは無効な中間証明書が含まれている
- サーバーまたはゲートウェイ構成にクロスルート用中間証明書が含まれていない

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、サーバー証明書を検証するときにサーバー（またはゲートウェイ）が提供するすべての証明書を使用します。次に、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、証明書が信頼されているかどうかを確認します。証明書が1つも信頼済みでない場合、接続に失敗します。

このポリシーは、Web ブラウザーの証明書ポリシーより厳格です。多くの Web ブラウザーには、多数の信頼済みのルート証明書セットが含まれます。

サーバー（またはゲートウェイ）は、正しい証明書セットで構成する必要があります。不正な証明書のセットを使用すると、Mac 向け Citrix Workspace アプリの接続に失敗することがあります。

以下は、ゲートウェイがこのような有効な証明書で構成されていることを前提としています。この構成は、Mac 向け Citrix Workspace アプリで使用されるルート証明書を正確に確認するために、より厳格な検証が必要なユーザーにお勧めします。

次に、Mac 向け Citrix Workspace アプリはこれらすべての証明書が有効であることを確認します。Mac 向け Citrix Workspace アプリが「ルート証明書」を信頼済みであることも確認します。Mac 向け Citrix Workspace アプリが「ルート証明書」を信頼していない場合、接続に失敗します。

重要

証明機関によっては、複数のルート証明書があります。このような、より厳格な検証が必要であれば、構成で適切なルート証明書が使用されていることを確認してください。たとえば、現在同じサーバー証明書を検証できる 2 つの証明書（「DigiCert」 / 「GTE CyberTrust Global Root」 および 「DigiCert Baltimore Root」 / 「Baltimore CyberTrust Root」）があるとします。ユーザーデバイスによっては、両方のルート証明書が使用できます。その他のデバイスでは、1 つの証明書のみを使用できます（「DigiCert Baltimore Root」 / 「Baltimore CyberTrust Root」）。ゲートウェイで「GTE CyberTrust Global Root」を構成すると、これらのユーザーデバイスで Mac 向け Citrix Workspace アプリの接続に失敗します。どのルート証明書を使用すべきかについては、証明機関のドキュメントを参照してください。ルート証明書の有効期限についても注意してください。

注

サーバーやゲートウェイによっては、ルート証明書が構成されていても、送信しないことがあります。この場合、より厳格な検証は機能しません。

以下は、ゲートウェイがこのような有効な証明書で構成されていることを前提としています。通常は、このルート証明書を省略した構成が推奨されます：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」

Mac 向け Citrix Workspace アプリはこれらすべての証明書が有効であることを確認します。次に、ユーザーデバイスでルート証明書を検索します。「ルート証明書サンプル」など、正しく検証される信頼された機関からの証明書が見つかった場合、接続は成功します。信頼済みの証明書が見つからない場合は、失敗します。この構成では、Mac 向け Citrix Workspace アプリが必要とする中間証明書が提供されますが、Mac 向け Citrix Workspace アプリは任意の有効な、信頼済みのルート証明書を選択できます。

以下は、ゲートウェイがこのような証明書で構成されていることを前提としています：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」

- 「間違ったルート証明書」

Web ブラウザーは、不正なルート証明書を無視することがありますが、Mac 向け Citrix Workspace アプリは不正なルート証明書を無視しないため、接続は失敗します。

証明機関によっては、複数の中間証明書を使用します。この場合、ゲートウェイは通常、以下のようにすべて中間証明書（ルート証明書ではない）で構成されます：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル 1」
- 「中間証明書サンプル 2」

重要

一部の認証機関は、複数のルート証明書が存在する状況では、クロス署名の中間証明書を使用します。以前のルート証明書は、新しいルート証明書と同時に使用されています。この場合、少なくとも 2 つの中間証明書が存在します。たとえば、以前のルート証明書「Class 3 Public Primary Certification Authority」には、関連するクロスルート用中間証明書「Verisign Class 3 Public Primary Certification Authority - G5」があります。ただし、ルート証明書「Verisign Class 3 Public Primary Certification Authority - G5」も利用可能であり、「Class 3 Public Primary Certification Authority」に置き換わります。最新のルート証明書はクロスルート用中間証明書を使用しません。

注

クロスルート用中間証明書とルート証明書のサブジェクト名（Issued To）は同じですが、クロスルート用中間証明書の発行者名（Issued By）は異なります。これによって、クロスルート用中間証明書と通常の間接証明書（「中間証明書サンプル 2」など）を区別できます。

通常は、このルート証明書およびクロスルート用中間証明書を省略した構成が推奨されます：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」

クロスルート用中間証明書をゲートウェイで構成しないでください。これは、ゲートウェイで以前のルート証明書が選択されるようになるのを避けるためです：

- 「サーバー証明書サンプル」
- 「中間証明書サンプル」
- 「クロスルート用中間証明書サンプル」（非推奨）

ゲートウェイでサーバー証明書のみを構成しないでください：

- 「サーバー証明書サンプル」

この場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリはすべての中間証明書を検出できないため、接続に失敗します。

認証

StoreFront への接続では、Mac 向け Citrix Workspace アプリで以下の認証方法がサポートされます：

	Web 向け Workspace (ブラウザ)	StoreFront サ ービスサイト (ネイティブ)	Citrix Gateway から Web 向け Workspace (ブラウザ)	Citrix Gateway から StoreFront サ ービスサイト (ネイティブ)
匿名	はい	はい		
ドメイン	はい	はい	はい *	はい *
ドメインパスス ルー				
セキュリティト ークン			はい *	はい *
2 要素認証 (ド メイン+セキュ リティトークン)			はい *	はい *
SMS			はい *	はい *
スマートカード	はい	はい	はい *	はい
ユーザー証明書			はい	はい (Citrix Gateway Plug-in)

* Citrix Gateway が動作する環境でのみ使用できます (デバイスへの関連プラグインのインストールは不要)。

インストール、アンインストール、およびアップグレード

September 14, 2023

Mac 向け Citrix Workspace アプリは単一のインストールパッケージで提供されており、Citrix Gateway および Secure Web Gateway を使用したリモートアクセスをサポートしています。

Mac 向け Citrix Workspace アプリを以下のいずれかの方法でインストールできます:

- Citrix の Web サイトからインストール
- Workspace for Web サイトからの自動インストール
- ESD (Electronic Software Delivery: 電子ソフトウェア配信) ツールによるインストール

Citrix Workspace アプリが **[Applications]** ディレクトリにインストールされているかどうかを確認します。インストールパスは次のとおりです：

- フルインストール - `"/Applications/Citrix\ Workspace.app/"`
- Mac 向け Citrix Workspace アプリ実行ファイル - `"/Applications/Citrix\ Workspace.app/Contents/MacOS/Citrix\ Workspace"`

手動インストール

ユーザーによる **Citrix.com** からのインストール

初めて使用する場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリを Citrix.com または社内のダウンロードサイトからダウンロードできます。アカウントをセットアップするときに、サーバーの URL の代わりにメールアドレスを入力できます。メールアドレスに関連付けられた Citrix Gateway や StoreFront サーバーが Mac 向け Citrix Workspace アプリにより識別され、ログオン用のメッセージが表示されてインストールを続行します。この機能は、メールアドレスによるアカウント検出と呼ばれます。

注：

初めて使用するユーザーとは、デバイスに Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールしていないユーザーを指します。

Citrix.com 以外の場所（Citrix Receiver for Web サイトなど）からダウンロードした場合は、メールアドレスによるアカウントセットアップを使用できません。

Mac 向け Citrix Workspace アプリの構成が必要な環境では、ほかの方法でアプリをユーザーに配布してください。

ESD (Electronic Software Delivery: 電子ソフトウェア配信) ツールによるインストール

Mac 向け Citrix Workspace アプリを初めて使用するユーザーがアカウントをセットアップするには、サーバーの URL を入力する必要があります。

Citrix のダウンロードページ

管理者は、Mac 向け Citrix Workspace アプリをネットワーク共有を使用してインストールできます。または、直接ユーザーデバイスにインストールできます。Citrix Web サイトの **[ダウンロード]** からファイルをダウンロードすることで、アプリをインストールできます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールするには：

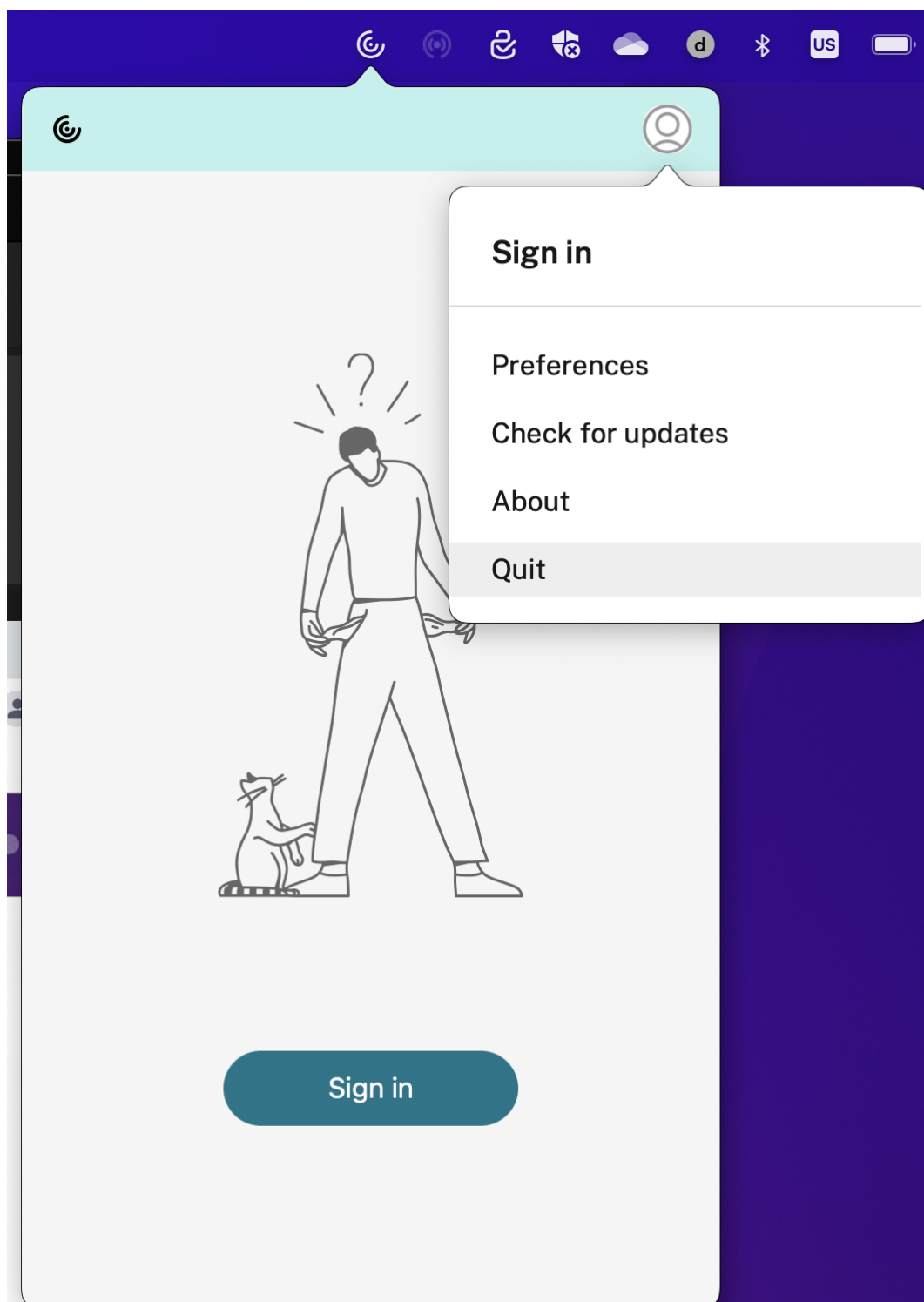
1. Citrix の Web サイトから、適切なバージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリの DMG ファイルをダウンロードし、
2. ダウンロードしたファイルを開きます。
3. [はじめに] ページで [続ける] をクリックします。
4. [使用許諾契約] ページで [続ける] をクリックします。

5. 使用許諾契約の内容を確認して、[同意する] をクリックします。
6. [インストールの種類] ページで、[インストール] をクリックします。
7. [アカウントの追加] ページで、[アカウントの追加] を選択してから [続行] をクリックします。
8. ローカルデバイスに管理者のユーザー名とパスワードを入力します。

アンインストール

Citrix Workspace アプリのアイコンをごみ箱にドラッグまたは移動するだけで、Mac 向け Citrix Workspace アプリを完全にアンインストールできるようになりました。Citrix Workspace アプリをアンインストールするには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリが実行中の場合は閉じます。
Citrix Workspace アプリを閉じるには、次の手順を実行します：
 - a) クイックアクセスメニューに移動します。
 - b) 右上隅にある [アカウント] アイコンをクリックします。



c) オプションの一覧から [終了] をクリックします。

注:

ここまでの手順に従って Citrix Workspace アプリを閉じないと、次の手順を実行した後に次のエラー

メッセージが表示されることがあります:

「アイテム「Citrix Workspace」は開いているため、ごみ箱に移動できません (*The item “Citrix Workspace” can’t be moved to the Trash because it’s open.*)」。

2. Citrix Workspace アプリをアプリケーションフォルダーからごみ箱にドラッグします。
または、Citrix Workspace アプリを右クリックして、[オプション] > [ごみ箱に移動] を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、お使いのシステムの資格情報を入力します。
4. 実行中のすべてのアプリ (Citrix Workspace) を閉じ、[続行] をクリックして確認します。
Citrix Workspace アプリとそのすべてのシステムファイルがお使いのデバイスから削除されます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、.dmg ファイルを開いて手でアンインストールすることもできます。[**Citrix Workspace** アプリのアンインストール] を選択して、画面に表示される指示に従って操作します。DMG ファイルは、Mac 向け Citrix Workspace アプリを初めてインストールするときに Citrix のサイトからダウンロードされるファイルです。ファイルがコンピューター上に見つからない場合は、[Citrix のダウンロード](#)から再度ダウンロードして、アプリケーションをアンインストールします。

アップグレード

Mac 向け Citrix Workspace アプリから、既存バージョンの更新または新しいバージョンへのアップグレードが利用可能になったときに通知が送信されます。自動更新については、「[自動更新](#)」を参照してください。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、以前のどのバージョンからもアップグレードできます。アプリを手動で更新する方法については、「[手動更新](#)」を参照してください。

Mac 向け Citrix Workspace アプリの新しいバージョンにアップグレードすると、以前のバージョンは自動的にアンインストールされます。マシンを再起動する必要はありません。

アップデート

August 9, 2023

手動更新

Mac 向け Citrix Workspace アプリを手動で更新するには、[Citrix ダウンロード](#)ページから最新バージョンのアプリをダウンロードしてインストールします。

自動更新

新しいバージョンの Citrix Workspace アプリがリリースされると、Citrix Workspace アプリがインストールされたシステムで更新がプッシュされます。利用可能な更新プログラムが通知されます。

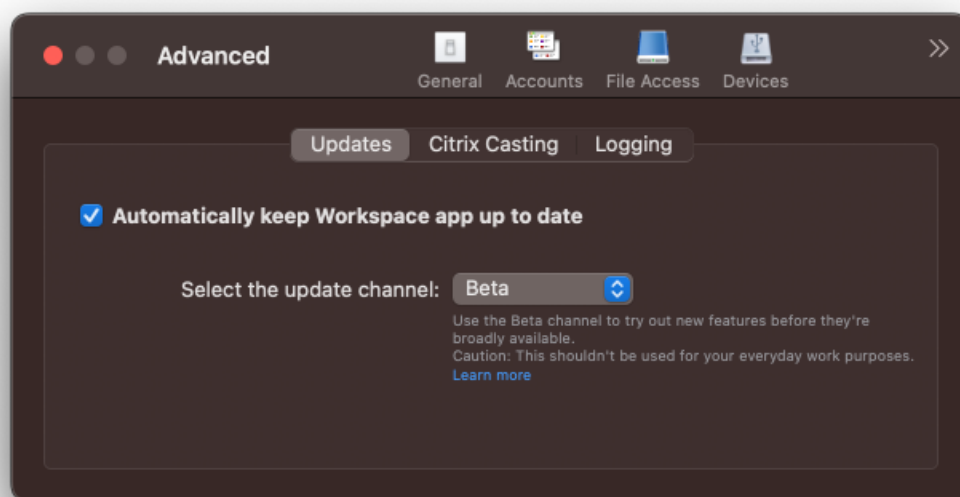
注:

- 送信プロキシをインターセプトするよう SSL を構成している場合、Workspace の自動更新署名サーバー <https://downloadplugins.citrix.com/> に例外を追加して Citrix からの更新を受信します。
- 自動更新は、2301.1 より前のバージョンの Citrix Workspace アプリでは利用できません。詳しくは、Knowledge Center の [CTX491310](#) を参照してください。
- 更新を受信するには、システムがインターネットに接続している必要があります。
- Web 向け Workspace のユーザーは、StoreFront ポリシーを自動的にダウンロードできません。
- Citrix Workspace の更新に macOS 用の HDX RTME が含まれています。Citrix Workspace アプリで使用可能な HDX RTME の更新に関する通知を受け取ります。
- バージョン 2111 から、Citrix Workspace の更新ログのパスが変更されています。Workspace の更新ログは `/Library/Logs/Citrix Workspace Updater` にあります。ログの収集について詳しくは、「ログ収集」セクションを参照してください。

Citrix Workspace アプリのベータプログラムのインストール

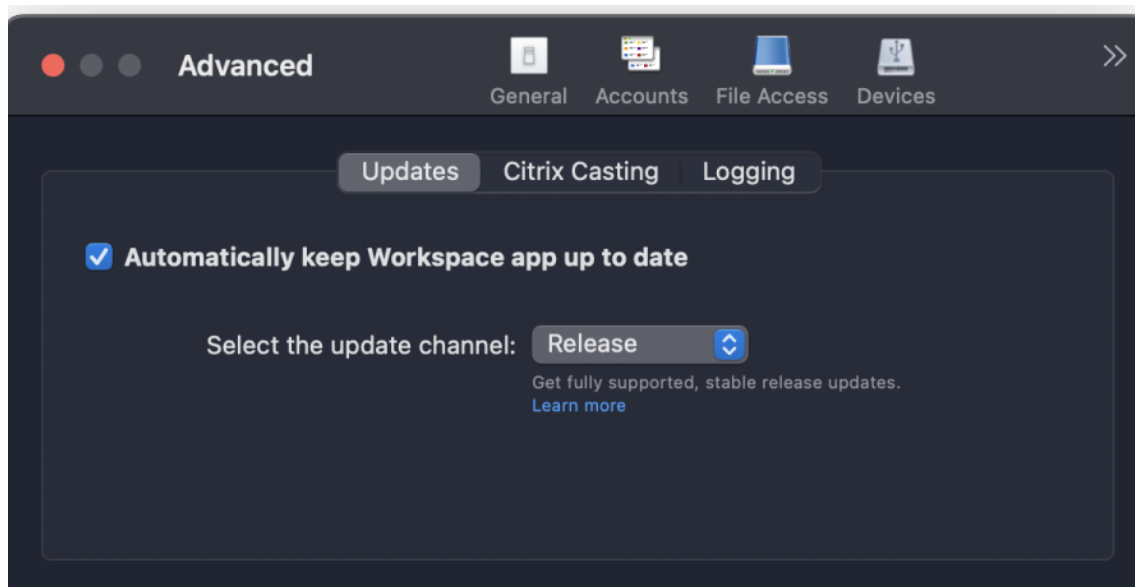
Citrix Workspace アプリが自動更新用に構成されている場合は、更新通知を受け取ります。システムにベータビルドをインストールするには、次の手順を実行します:

1. Citrix Workspace アプリを開きます。
2. システムトレイで Citrix Workspace を右クリックし、[環境設定] > [詳細] をクリックします。
3. ベータビルドが利用可能になったら、ドロップダウンリストから [ベータ版] を選択します。



ベータビルドからリリースビルドに切り替えるには、次の手順を実行します:

1. Citrix Workspace アプリを開きます。
2. システムトレイで Citrix Workspace を右クリックし、[環境設定] > [詳細] をクリックします。
3. [更新チャンネルを選択します] ドロップダウンリストから [リリース] を選択します。



注:

ベータビルドは、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有するためのものです。ベータ版のビルドのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしています。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。ベータビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

バージョン自動更新の制御

管理者は、組織内デバイスの Citrix Workspace アプリのバージョン自動更新を管理できるようになりました。管理者は、Global App Config Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティで範囲を設定することにより、バージョンを制御できます。

Global App Config Service の JSON ファイルの例:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Version Control for Citrix Workspace",
```

```
11     "description": "Provides admin ability to Version Control for
12         Citrix Workspace",
13     "useForAppConfig": true,
14     "appSettings": {
15         "macos": [
16             {
17                 "category": "AutoUpdate",
18                 "userOverride": false,
19                 "assignedTo": [
20                     "AllUsersNoAuthentication"
21                 ],
22                 "settings": [
23                     {
24                         "name": "Auto update plugins settings",
25                         "value": [
26                             {
27                                 "pluginName": "Citrix Workspace",
28                                 "pluginId": "D99C3E77-FBF5-4B97-8EDA-4E381A1E0826",
29                                 "pluginSettings": {
30                                     "deploymentMode": "Update",
31                                     "upgradeToLatest": false,
32                                     "minimumAllowedVersion": "23.07.0.63",
33                                     "maximumAllowedVersion": "23.07.0.63",
34                                     "delayGroup": "Medium",
35                                     "detectRule": ""
36                                 }
37                             }
38                         ]
39                     }
40                 ]
41             }
42         ]
43     }
44 }
45 }
46 }
47 ]
48 }
49 }
50 ]
51 }
52 }
53 }
54 }
```

```
55   }  
56  
57  
58 <!--NeedCopy-->
```

範囲が設定されていると、ユーザーのデバイスの Citrix Workspace アプリは、その指定された範囲内で利用可能な最新バージョンに自動更新されます。

Citrix Workspace アプリを特定のバージョンに自動更新する場合は、Global App Config Service の `maximumAllowedVersion` プロパティ、および `minimumAllowedVersion` プロパティに同じバージョンを入力します。

注:

- バージョン自動更新を制御するには、Global App Config Service の `upgradeToLatest` 設定を `false` に設定する必要があります。これが `true` の場合、`maximumAllowedVersion` と `minimumAllowedVersion` は無視されます。
- `pluginId` は Citrix Workspace アプリにマッピングされているため、変更しないでください。
- 管理者が Global App Config Service でバージョンを構成していない場合、デフォルトで Citrix Workspace アプリは利用可能な最新バージョンに更新されます。
- Citrix Workspace アプリを更新するために設定されているバージョン範囲のみを使用できますが、ダウングレードはサポートされていません。
- この機能は、リリース 2307 以降でサポートされています。

自動更新の詳細設定 (Citrix Workspace の更新)

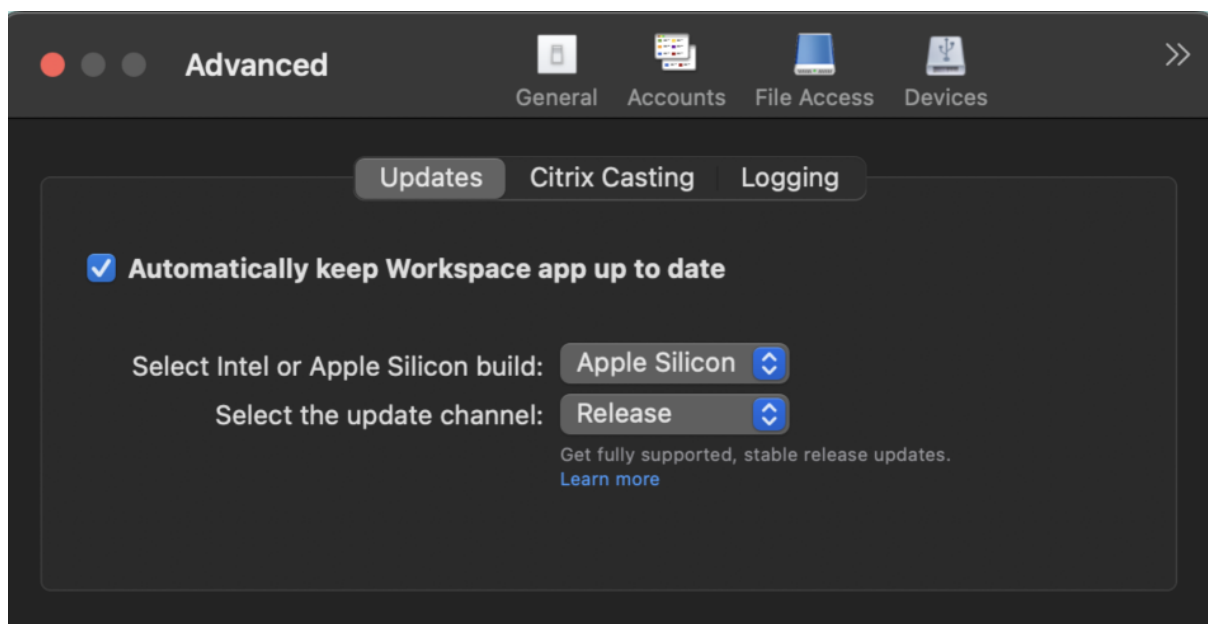
Citrix Workspace の更新は、次の方法で構成できます:

- グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI)
- Global App Config Service (GACS)
- モバイルデバイス管理 (MDM)
- StoreFront

グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した **Citrix Workspace** 自動更新プログラムの構成

個々のユーザーは、[詳細] 設定ダイアログボックスの Citrix Workspace の更新プログラム設定 (ユーザーごとの構成で、現在のユーザーにのみ適用される設定) を上書きできます。GUI を使用して更新プログラムを構成するには、次の手順を実行します:

1. Mac で Citrix Workspace アプリヘルパーアイコンを選択します。
2. ドロップダウンリストから、[環境設定] > [詳細] > [最新情報] を選択します。
3. Apple シリコンまたは Intel ビルドのうち、自動更新をインストールするビルドを選択します (Apple シリコン (M1 シリーズ) を搭載した Mac 上のユーザーにのみ適用されます)。



StoreFront を使用した Citrix Workspace 自動更新プログラムの構成

1. テキストエディターを使用して、`web.config`ファイル（通常 `C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roaming directory`にある）を開きます。
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。

たとえば、次のようになります: `<account id=... name="Store">`

`</account>`タグの前に、ユーザーアカウントのプロパティに移動します:

```
1 <properties>
2     <clear/>
3 </properties>
4 <!--NeedCopy-->
```

3. `<clear />` タグの後に、自動更新タグを追加します。

```
1 <account>
2
3     <clear />
4
5     <account id="d1197d2c-ac82-4f13-9346-2ee14d4b0202" name="
6         F84Store"
7         description="" published="true" updaterType="Citrix"
8             remoteAccessType="None">
9     <annotatedServices>
```

```
10
11     <clear />
12
13     <annotatedServiceRecord serviceRef="1__Citrix_F84Store">
14
15         <metadata>
16
17             <plugins>
18
19                 <clear />
20
21             </plugins>
22
23             <trustSettings>
24
25                 <clear />
26
27             </trustSettings>
28
29             <properties>
30
31                 <property name="Auto-Update-Check" value="Disabled"
32                     />
33
34                 <property name="Auto-Update-DeferUpdate-Count" value
35                     ="1" />
36
37                 <property name="Auto-Update-Rollout-Priority" value=
38                     "fast" />
39
40                 <property name="Auto-Update-Architecture" value="
41                     Universal" or "Intel" />
42
43             </properties>
44
45         </metadata>
46
47     </annotatedServiceRecord>
48
49 </annotatedServices>
50
51 <metadata>
52
53     <plugins>
```



```
51         <clear />
52
53     </plugins>
54
55     <trustSettings>
56
57         <clear />
58
59     </trustSettings>
60
61     <properties>
62
63         <clear />
64
65     </properties>
66
67 </metadata>
68
69 </account>
70
71 <!--NeedCopy-->
```

以下は、プロパティの意味と使用可能な値の詳細です：

- **Auto-Update-Check:** Citrix Workspace アプリが、利用可能な更新を自動的に検出することを示します。
 - Auto (デフォルト) - 更新を自動的にチェックして実行します。
 - Manual - 更新は、ユーザーが Citrix Workspace アプリのシステムトレイメニューからチェックをリクエストした場合にのみ取得されます。
 - Disabled - 更新チェックは実行されません。
- **Auto-Update-Rollout-Priority:** 更新を受信できる配信期間を示します。
 - Fast - 配信期間の最初に向けて更新がユーザーにロールアウトされます。
 - Medium - 配信期間の中間に向けて更新がロールアウトされます。
 - Slow - 配信期間の最後に向けて更新がロールアウトされます。
- **Auto-Update-DeferUpdate-Count:** 更新の通知を延期できる回数を示します。

注：

この構成は、ユーザーが操作可能な更新にのみ適用され、サイレント自動更新機能が有効になっている場合には、ユーザーが更新を延期するオプションを取得できないため適用されません。

- -1: ユーザーは自動更新を任意の回数保留にできます。
- 0: ユーザーは後で通知するオプションを表示できません。
- 数値: 後で通知するオプションが指定された回数表示されます。

GACS を使用した Citrix Workspace の自動更新の構成

管理者は、GACS を使用して、次の設定で Apple シリコンまたは Intel ビルドの自動更新を構成できます：

“name”：“autoUpdateArchitecture”

“value”：“Universal” または “Intel”

MDM を使用した Citrix Workspace 自動更新プログラムの構成

管理者は、MDM を使用して、次の設定で Apple シリコンまたは Intel ビルドの自動更新を構成できます：

```
<key>AutoUpdateArchitecture</key>
```

```
<string>Universal</string> or <string>Intel</string>
```

```
<key>AutoUpdateState</key>
```

```
<string>Auto</string> or <string>Manual</string> or <string>Disabled</string>
```

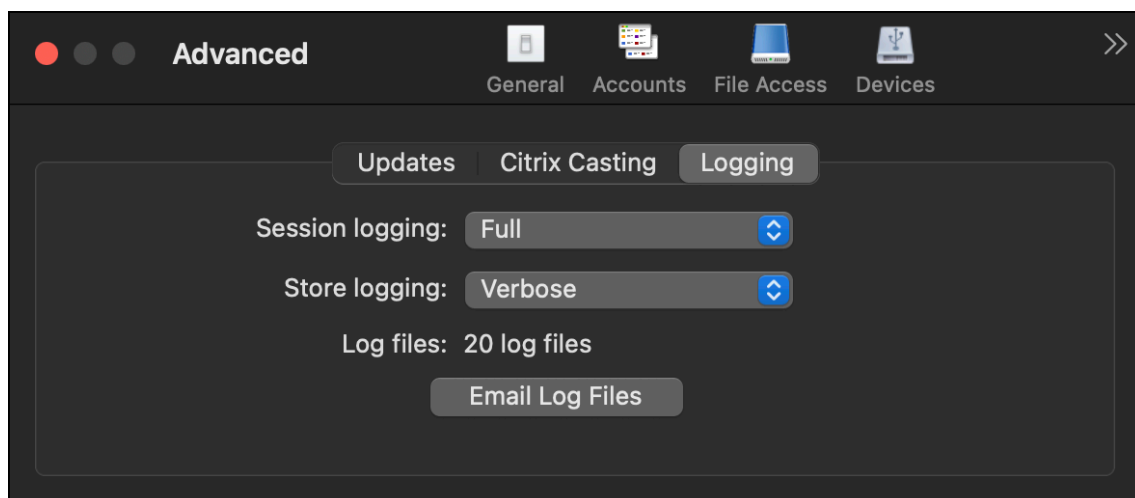
ログ収集

ログ収集では、Citrix Workspace アプリのログを収集するプロセスが簡素化されました。ログは、Citrix でのトラブルシューティングに役立ち、問題が複雑な場合はサポートを提供します。

GUI を使用してログを収集できます。

ログの収集：

1. Citrix Workspace アプリを開きます。
2. システムトレイで Citrix Workspace を右クリックし、[環境設定] > [詳細] をクリックします。
3. [ログ] を選択します。



4. 次のセッションログレベルのいずれかを選択します:

- 無効 (デフォルト): 基本的なトラブルシューティングのために、最小限のログが収集されます。
- 接続診断: 接続中のエラーを識別します。セッションが成功したと見なされる時点まで、すべてのログが有効になります。
- 完全: 接続診断を含むすべてをキャプチャします。有効にすると、Citrix Workspace アプリは最大 10 個のセッションログを保存し、その後、10 個のログを維持するために最も古いものから削除されます。

注:

ログのオプションとして [完全] を選択すると、パフォーマンスに影響を与える可能性があります。データ量が多いため、問題のトラブルシューティング中のみ使用します。通常の使用中はログで [完全] を有効にしないでください。このログレベルを有効にすると、警告ダイアログが表示されます。続行するには、このダイアログを確認する必要があります

5. 次のストアログレベルのいずれかを選択します:

- 無効 (デフォルト): 基本的なトラブルシューティングのために、最小限のログが収集されます。
- 標準: ストア通信ログのみが収集されます。
- 詳細: 認証およびストア通信の詳細ログが収集されます。

6. [ログファイルをメールで送信] クリックし、ログを収集して.zip ファイルとして共有します。

構成

September 14, 2023

ホストされているアプリケーションやデスクトップにユーザーがアクセスできるようにするには、Mac 向け Citrix Workspace アプリをインストールした後で、以下の構成を行う必要があります。

ユーザーは、インターネットまたはリモートの場所から接続します。こうしたユーザーは、Citrix Gateway を使用して認証を構成します。

管理者のタスクと注意事項

ここでは、Mac 向け Citrix Workspace アプリの管理者に関連するタスクと注意事項について説明します。

重要:

macOS 10.15 を実行している場合は、システムが Apple 社の [macOS 10.15 での信頼された機関からの証明書](#)の要件に準拠していることを確認してください。Mac 向け Citrix Workspace アプリバージョン 2106 にアップグレードする前に、この確認を行ってください。

フィーチャーフラグ管理

実稼働環境の Citrix Workspace アプリで問題が発生した場合、機能が出荷された後でも、影響を受ける機能を Citrix Workspace アプリで動的に無効にすることができます。無効化するには、フィーチャーフラグと、LaunchDarkly と呼ばれるサードパーティ製サービスを使用します。

ファイアウォールまたはプロキシが送信トラフィックをブロックしている場合を除いて、LaunchDarkly へのトラフィックを有効にするために構成する必要はありません。送信トラフィックがブロックされている場合、ポリシー要件に応じて、特定の URL または IP アドレス経由の LaunchDarkly へのトラフィックを有効にします。

LaunchDarkly へのトラフィックと通信は、次の方法で有効化できます：

次の **URL** へのトラフィックを有効にする

- events.launchdarkly.com
- stream.launchdarkly.com
- clientstream.launchdarkly.com
- [Firehose.launchdarkly.com](https://firehose.launchdarkly.com)
- mobile.launchdarkly.com

IP アドレスの許可リストを作成する

IP アドレスの許可リストを作成する必要がある場合、現在のすべての IP アドレス範囲については、「[LaunchDarkly のパブリック IP 一覧](#)」を参照してください。この一覧を使用すると、インフラストラクチャの更新に合わせてファイアウォールの構成が自動的に更新されます。インフラストラクチャの変更の状態について詳しくは、[LaunchDarkly Statuspage](#) ページを参照してください。

LaunchDarkly のシステム要件

Citrix ADC の分割トンネリングが以下のサービスに対してオフに設定されている場合、アプリがこれらのサービスと通信できることを確認してください：

- LaunchDarkly サービス。
- APNs リスナーサービス

MDM ツールを使用してユーザーデバイスの管理者構成をサポート

管理者は、Citrix Endpoint Management などの MDM 展開ツールを使用して、Citrix Workspace アプリの展開時に次の設定を構成できるようになりました：

- **StoreURLs** – ユーザーが Citrix Workspace アプリを開いたときに自動的に追加されるようにストアの詳細を構成し、サインオン操作をシンプルにします。
ストアを追加するには、**StoreURLs** 設定の詳細を指定します。例：

```
<array>  
<string>https://myorg.com/Org/storename</string>  
</array>
```

次のように複数のストアを追加することもできます:

```
<array>  
<string>https://myorg.com/Org/storename1</string>  
<string>https://myorg.com/Org/storename2</string>  
</array>
```

StoreURL を Citrix Workspace アプリに追加するには、ユーザーは Citrix Workspace アプリを終了して再起動する必要があります。

- **BlockStoreAddition** – ユーザーがストアを追加できないようにします。

ユーザーによるストアの追加を禁止するには、**BlockStoreAddition** 設定の値を **True** に設定します。

MDM ツールを使用して **LaunchDarkly** サービスを無効にするようにプロビジョニング

バージョン 2210 以降では、ユーザーが組織のファイアウォールの内側にいるか外側にいるかに関係なく、Citrix Workspace アプリで LaunchDarkly サービスを無効にできます。LaunchDarkly サービスを無効にするには、DisableFeatureFlag 設定の値を True に設定します。

このサービスは、MDM ツールを使用して Mac デバイスを管理する管理者が使用できます。

注:

FeatureFlag を無効にするには、管理者がこの設定を有効にするためにデバイスを再起動する必要があります。

App Protection

2301 リリース以降、Citrix Workspace アプリを保護するために App Protection 機能が強化されています。この機能強化により、認証画面と、Workspace アプリへのサインイン後に表示される画面が保護されます。詳しくは、「[App Protection](#)」を参照してください。

この機能は、Global App Configuration Service を使用して構成できます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリで App Protection を構成するには、「[構成](#)」の記事の「Mac 向け Citrix Workspace アプリ」セクションを参照してください。

注:

- この機能は、クラウドストアのお客様のみが使用できます。
- Global App Configuration Service の構成は、仮想アプリ、仮想デスクトップ、Web アプリ、および SaaS アプリには適用されません。これらのリソースは、引き続き Delivery Controller および Citrix

Secure Private Access を使用して制御されます。

詳しくは、Citrix Virtual Apps and Desktops ドキュメントの「App Protection」で「構成」セクションを参照してください。

Sentry

Sentry は、アプリログを収集して問題やクラッシュを分析し、製品の品質を向上させるために使用されます。Citrix は、その他の個人ユーザー情報を収集または保存したり、機能分析データに Sentry を使用したりすることはありません。Sentry について詳しくは、「[<https://sentry.io/welcome/>]」を参照してください。

パスワードレス認証に使用できる FIDO2

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、クラウドストアへの接続時または HDX セッション使用時に、FIDO2 セキュリティキーを使用したパスワードレス認証を利用できます。FIDO2 セキュリティキーは、企業の従業員がユーザー名やパスワードを入力せずに FIDO2 をサポートするアプリやデスクトップに認証するためのシームレスな方法を提供します。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証（USB のみ）をサポートしています。この機能は、macOS 12 以降のバージョンでサポートされています。

FIDO2 について詳しくは、「[FIDO2 認証](#)」を参照してください。

前提条件とこの機能の使用については、「[FIDO2 を使用したローカル認証と仮想認証](#)」を参照してください。

クラウドストアへの接続時における FIDO2 を使用した認証

Citrix Workspace アプリは、クラウドストアへの接続時の FIDO2 認証（Web 認証）にユーザーのデフォルトのブラウザを使用します。管理者は、Citrix Workspace アプリに対する認証を行うブラウザの種類を構成できます。FIDO2 機能は現在、オンプレミスストアではサポートされていません。ブラウザの設定について詳しくは、[Global App Configuration Service](#)のドキュメントを参照してください。

次の表に示す設定により、Citrix Workspace アプリへのエンドユーザーの認証に使用するブラウザの種類を選択できます：

設定	説明
システム	認証にユーザーのデフォルトのブラウザ（Safari や Chrome など）を使用できるようにします。認証は Citrix Workspace アプリの外部で行われます。パスワードレス認証をサポートするには、この設定を使用します。この設定は、ユーザーのブラウザから既存のユーザーセッションを使用しようとします。

設定	説明
SystemWithPrivateSession	この設定は [システム] 設定と似ています。Citrix Workspace アプリは、認証にブラウザのプライベートセッションを使用します。ブラウザは認証 Cookie やデータを保存しません。このオプションでは、シングルサインオンはサポートされていません。
埋め込み	Citrix Workspace アプリ内で認証できるようにします。強化されたシングルサインオン機能が有効になっている場合、Citrix Workspace アプリはシングルサインオン (SaaS アプリなど) のセッションデータまたは Cookie を保存します。この認証方法は、FIDO2 などのパスワードレス認証をサポートしていません。
EmbeddedWithPrivateSession	この設定は、[埋め込み] 設定と似ています。Citrix Workspace アプリにはセッションデータまたは Cookie が存在しないため、シングルサインオンはサポートされていません。

構成した設定をプッシュするには、モバイルデバイス管理 (MDM: Mobile Device Management)、Global App Config Service (GACS) またはコマンドラインインターフェイスメソッドを使用して、次のコマンドを実行します。

- **Enable FIDO2 using MDM:** MDM を使用して認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります:

```
<key>WebBrowserForAuthentication</key><string>System</string>
```

- **Enable FIDO2 using GACS:** GACS を使用して認証を有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります:

```
1 {
2
3   "serviceURL": {
4
5     "url": "https://serviceURL:443"
6   }
7 ,
8   "settings": {
9
10    "name": "Web browser for Authenticating into Citrix Workspace",
11    "description": "Allows admin to select the type of browser used
12      for authenticating an end user into Citrix Workspace app",
13    "useForAppConfig": true,
14    "appSettings": {
```

```
14
15     "macos": [
16         {
17
18             "assignedTo": [
19                 "AllUsersNoAuthentication"
20             ],
21             "category": "authentication",
22             "settings": [
23                 {
24
25                     "name": "web browser for authentication",
26                     "value": "SystemWithPrivateSession"
27                 }
28             ],
29             "userOverride": false
30         }
31     ]
32 }
33 ]
34 }
35
36 }
37
38 }
39
40
41 <!--NeedCopy-->
```

- **Enable FIDO2 using the command-line interface:** コマンドラインインターフェイスを使用して認証を有効にするには、管理者は次のコマンドを実行する必要があります:

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas WebBrowserForAuthentication
System
```

HDX セッションにおける **FIDO2** を使用した認証

HDX セッション内で認証を行うことができるように、FIDO2 セキュリティキーを構成できます。この機能は現在、PIN コードと touchID を使用するローミング認証（USB のみ）をサポートしています。

FIDO2 をサポートするアプリまたは Web サイトにアクセスすると、プロンプトが表示され、セキュリティキーへのアクセスが要求されます。以前にセキュリティキーを PIN（最小 4 文字、最大 64 文字）で登録したことがある場合は、サインイン時に PIN を入力する必要があります。

以前に PIN なしでセキュリティキーを登録したことがある場合は、セキュリティキーをタッチするだけでサインインできます。

この機能は、リリース 2307 以降の Citrix Workspace アプリではデフォルトで有効になっています。FIDO2 認証を無効にするには、モバイルデバイス管理 (MDM: Mobile Device Management) またはコマンドラインインターフェイスメソッドを使用して、次のコマンドを実行します。

- **Disable FIDO2 based authentication using MDM:** MDM でこの機能を無効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

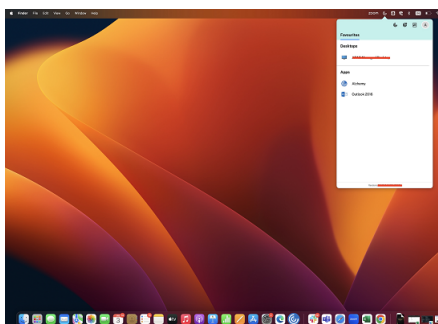
```
<key>Fido2Enabled</key><false/>
```

- **Disable FIDO2 based authentication using the command-line interface:** この機能を無効にするには、次のコマンドラインインターフェイスメソッドを実行します。

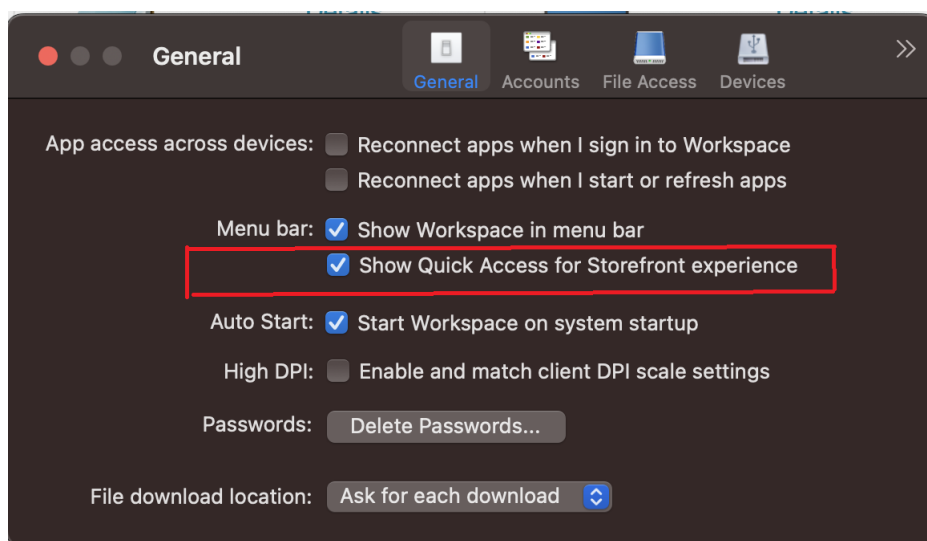
```
defaults write com.citrix.receiver.nomas Fido2Enabled -bool NO
```

StoreFront のクイックアクセスメニュー

リリース 2307 から、オンプレミスストアのクイックアクセス機能を使用して、お気に入りのアプリやデスクトップにすばやく簡単に移動できるようになりました。クイックアクセスを有効にするには、ツールバーで **[Citrix Workspace]** を右クリックし、**[環境設定]** > **[一般]** に移動し、次いで **[StoreFront 環境へのクイックアクセスを表示する]** を選択します。この機能を使用すると、Mac のメニューバーからお気に入りのデータを直接表示できます。



このクイックアクセス機能を有効にするには、**[環境設定]** を使用します。



クイックアクセス機能を有効または無効にするには、管理者がモバイルデバイス管理（MDM: Mobile Device Management）または Global App Config Service（GACS）のメソッドを使用します。

MDM を使用してクイックアクセスを有効または無効にする

MDM を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

```
<key>ShowQuickAccessForStoreFront</key>  
<false/>
```

GACS を使用してクイックアクセスを有効または無効にする

GACS を使用してクイックアクセスを有効にするには、管理者は次の設定を使用する必要があります。

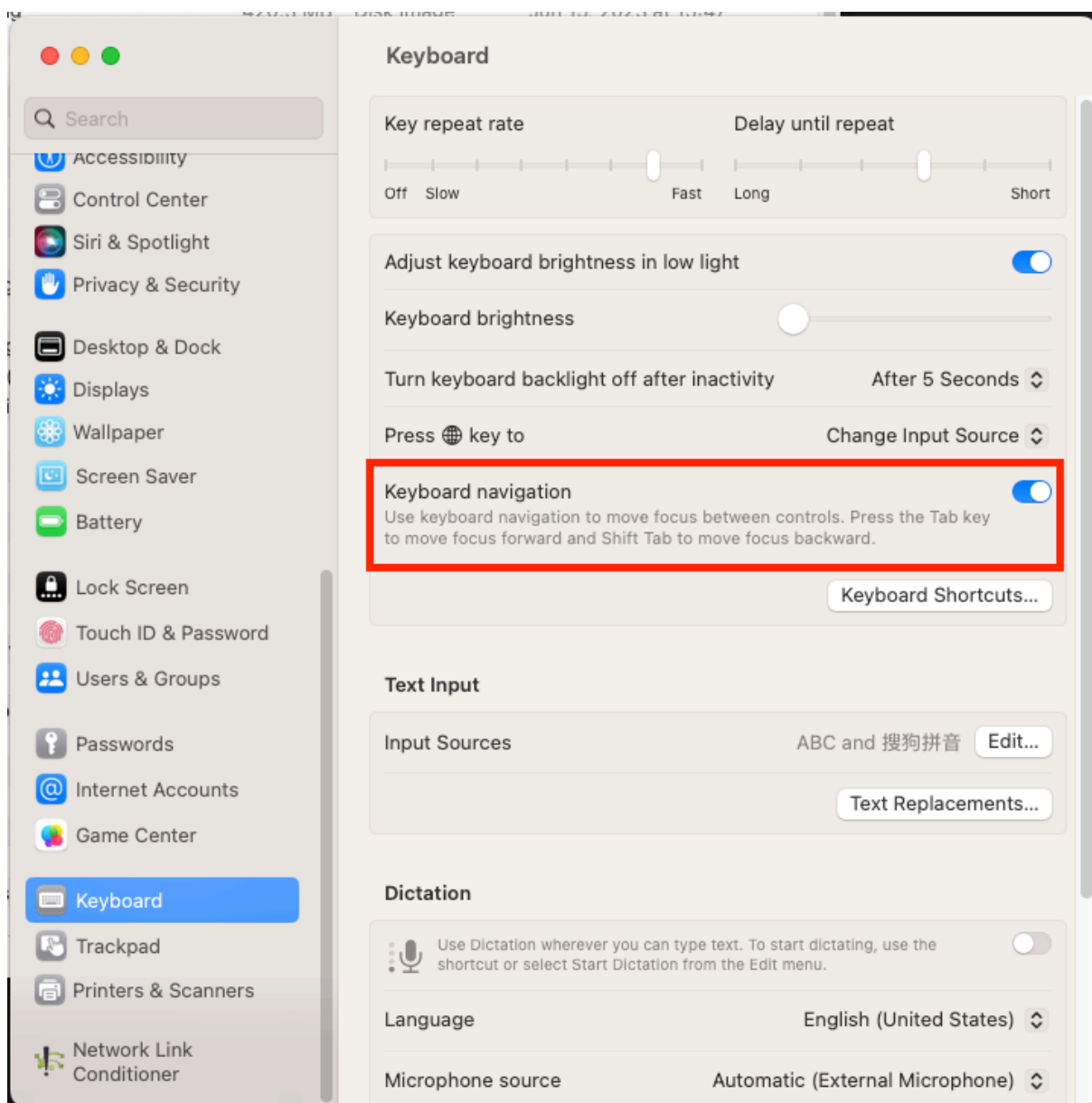
```
enableQuickAccessForStoreFront
```

Virtual Desktop 上のツールバーに関するキーボードアクセシビリティのサポート **[Technical Preview]**

リリース 2307 から、セッションツールバーをキーボードショートカットで非表示にしたりアクティブ化したりできるようになりました。キーボードショートカットを使用するには、**Citrix Viewer** のメニューバーから、[表示] > [ツールバーのショートカットを使用] に移動します。[**Use Toolbar shortcut**] オプションは、デフォルトで有効になっています。



UI 要素間を移動できるようにすると共にフォーカスしている要素を強調表示するキーボードによる操作が、ツールバーと Citrix Workspace アプリの環境設定ウィンドウでサポートされるようになりました。



これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Citrix Enterprise Browser

このリリースには、Chromium バージョン 113 ベースの Citrix Enterprise Browser バージョン 113.1.1.34 が含まれています。Citrix Enterprise Browser について詳しくは、「[Citrix Enterprise Browser](#)」のドキュメントを参照してください。

Citrix Enterprise Browser のショートカット

Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 2307 から、管理者は起動パッド上での Citrix Enterprise Browser のショートカットのプレゼンスを構成および制御できるようになりました。

注:

この機能はデフォルトでは構成されていません。

構成

IT 管理者は、次のいずれかの方法で Citrix Enterprise Browser のショートカットのプレゼンスを構成できます。

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global Admin Configuration service (GACS)
- web.config ファイル

注:

- どの方法で構成しても、優先順位に変わりはありません。つまり、これらのいずれかを構成すれば、ショートカットが有効になります。
- ショートカットを構成していない場合でも、1 つ以上のクラウドストアがあるときは、ショートカットが自動的に有効になります。
- 管理者がクラウドユーザーに対してこの機能を無効にするには、[**CEBShortcutEnabled**] 属性を [**false**] に設定するか、[**Citrix Enterprise Browser** のショートカットを有効にする] プロパティを無効にします。

モバイルデバイス管理 (MDM)

管理者は、設定 [**CEBShortcutEnabled**] をユーザーのデバイスにプッシュできます。

MDM の使用方法について詳しくは、Mac 向け Citrix Workspace アプリのドキュメントに記載されている「[モバイルデバイス管理 \(MDM\)](#)」ページを参照してください。

注:

この構成方法は、クラウドおよびオンプレミスの環境に適用できます。

Global Admin Configuration service (GACS)

[ワークスペースの構成] > [アプリ構成] > [Citrix Enterprise Browser] に移動し、[Citrix Enterprise Browser] のショートカットを有効にする] を有効にします。

GACS の UI の使用方法について詳しくは、Citrix Enterprise Browser ドキュメントに記載されている「[ユーザーインターフェイス](#)」の記事を参照してください。

注:

この構成方法は、クラウドおよびオンプレミスの環境に適用できます。

web.config ファイル

[プロパティ] にある属性 [CEBShortcutEnabled] を有効にします。

```
1         <properties>
2             <property name="CEBShortcutEnabled" value="
3                 True" />
4         </properties>
5
6 <!--NeedCopy-->
```

注:

この構成方法は、オンプレミス環境にのみ適用できます。

web.config ファイルの使用

Citrix Enterprise Browser のショートカットを有効にするには、次の手順を実行します。

1. テキストエディターを使って web.config ファイルを開きます。このファイルは通常、C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roaming ディレクトリにあります。
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。
たとえば、次のようになります: `<account id=... name="Store">`
3.
 - `</account>` タグの前にあるユーザーアカウントのプロパティに移動し、次の内容を追加します。

```
1         <properties>
2             <property name="CEBShortcutEnabled" value=
3                 "True" />
4         </properties>
5 <!--NeedCopy-->
```

次に、web.config ファイルの例を示します。

```
1 <account>
2   <clear />
3   <account id="d1197d2c-ac82-4f13-9346-2ee14d4b0202" name="F84Store"
4     description="" published="true" updaterType="Citrix"
5       remoteAccessType="None">
6     <annotatedServices>
7       <clear />
8       <annotatedServiceRecord serviceRef="1__Citrix_F84Store">
9         <metadata>
10          <plugins>
11            <clear />
12          </plugins>
13          <trustSettings>
14            <clear />
15          </trustSettings>
16          <properties>
17            <property name="CEBShortcutEnabled" value="True" />
18          </properties>
19        </metadata>
20      </annotatedServiceRecord>
21    </annotatedServices>
22    <metadata>
23      <plugins>
24        <clear />
25      </plugins>
26      <trustSettings>
27        <clear />
28      </trustSettings>
29      <properties>
30        <clear />
31      </properties>
32    </metadata>
33  </account>
34 <!--NeedCopy-->
```

web.config を使用した構成方法

1. テキストエディターを使って web.config ファイルを開きます。このファイルは通常、C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roami ディレクトリにあります。
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。
たとえば、次のようになります: `<account id=... name="Store">`

3.
 - `</account>` タグの前にあるユーザーアカウントのプロパティに移動し、次の内容を追加します。

```
1         <properties>
2             <property name="CEBShortcutEnabled" value=
3                 "True" />
4         </properties>
5
6 <!--NeedCopy-->
```

Citrix Workspace アプリに関するフィードバックを送信する

[フィードバックの送信] オプションを使用すると、Citrix Workspace アプリの使用中に問題が発生した場合に Citrix に通知できます。Citrix Workspace アプリのエクスペリエンスを改善するためのご提案を送信いただくこともできます。

[ヘルプ] > [フィードバックの送信] を選択して、問題の詳細を [フィードバックの送信] フォームに記入し、確認します。フォームに記載されている例のような詳細を追加できます。

Send feedback

Provide a descriptive title*

Example : Unable to launch desktop/application

Tell us more*

Include details such as:

- What you expected to happen
- What actually happened
- Steps to recreate the issue

Logs

Basic logs are attached. We recommend you click 'Record my issue' to capture detailed logs.

For more information, see [Log collection](#)

Record my issue WorkspaceLogs_2023_07_18-14_23_43.zip 🗑️

Attachments

Screenshots or screen recordings of the problem.

Choose files (Max 4 files)

Your feedback will be used to improve Citrix Workspace app. If you don't use the Mail app on your Mac, please send feedback to **cwa-mac-feedback@cloud.com** with files added manually.

Send **Cancel**

画面

既存のログファイルを添付することも、新しいログファイルを生成することもできます。ログファイルを生成するには、**[Record my issue] > [Start Recording]** をクリックし、問題を再現します。問題が再現されたら、**[記録の停止]** をクリックします。ログファイルは自動的に保存され、既存のログが、問題が再現されたログに置き換えられます。

注

Citrix がログから PII（個人を特定できる情報）を収集することはありません。

問題を説明したスクリーンショットまたは画面録画を添付していただくと、Citrix が発生している問題を確認するうえで役立ちます。**[ファイルの選択]** をクリックし、スクリーンショットや画面録画など、問題の説明となる添付ファイルを追加します。最大 4 つのファイルを添付できます。

必要な情報を入力後、**[送信]** をクリックすると、追加した情報を含む新しいメールがメールアプリで自動的に作成されます。次いで、**[送信]** ボタンをクリックすれば、フィードバックが Citrix に送信されます。詳しくは、「[Citrix](#)

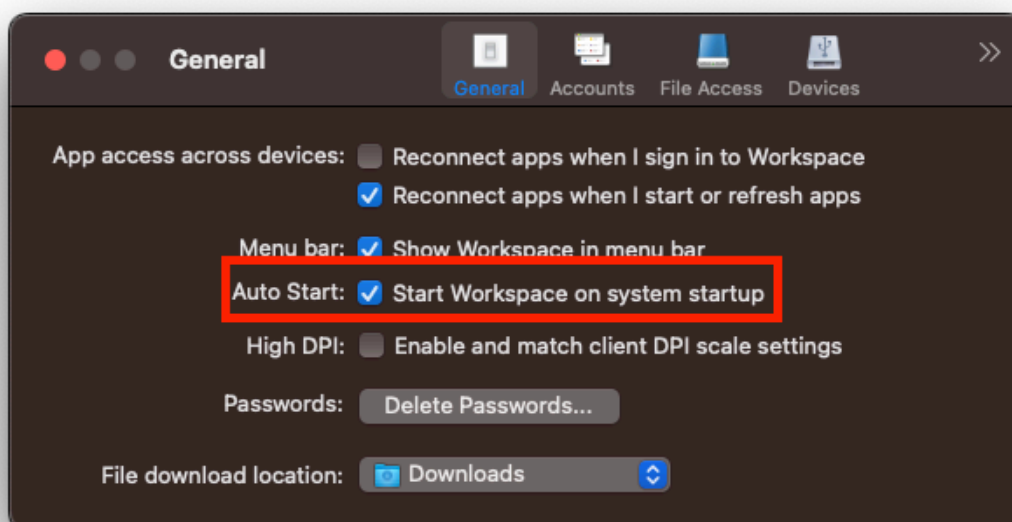
[Workspace アプリに関するフィードバックを送信する](#)」を参照してください。

注

デフォルトのメールアプリを使用していない場合は、フィードバックをご使用のメールクライアントから cwa-mac-feedback@cloud.com に送信してください。問題の詳細、ログファイル、スクリーンショット、または画面録画をメールに手動で追加します。

強化された自動起動エクスペリエンス

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、コンピューターの電源を入れるたびに自動的に起動していました。2304 リリース以降、システムの起動時に [環境設定] > [一般] > [Start Workspace] に移動して、Mac 向け Citrix Workspace アプリの自動起動機能を無効または有効にできます。自動起動設定はデフォルトで有効になっています。



最適化された **Microsoft Teams** ビデオ会議通話のエクスペリエンスの向上

2304 リリース以降、最適化された Microsoft Teams ビデオ会議通話に対して、デフォルトでサイマルキャストサポートが有効になっています。このサポートにより、すべての発信者に最適な通話エクスペリエンスを提供できる適切な解像度に適応するため、さまざまなエンドポイントでのビデオ会議通話の品質とエクスペリエンスが向上します。

この向上したエクスペリエンスにより、各ユーザーは、エンドポイントの機能、ネットワークの状態などのいくつかの要因に応じて、複数のビデオストリームを異なる解像度（720p、360p など）で配信できます。受信側のエンドポイントは、最高品質の解像度を要求します。これにより、すべてのユーザーに最適なビデオ体験を提供できます。

注:

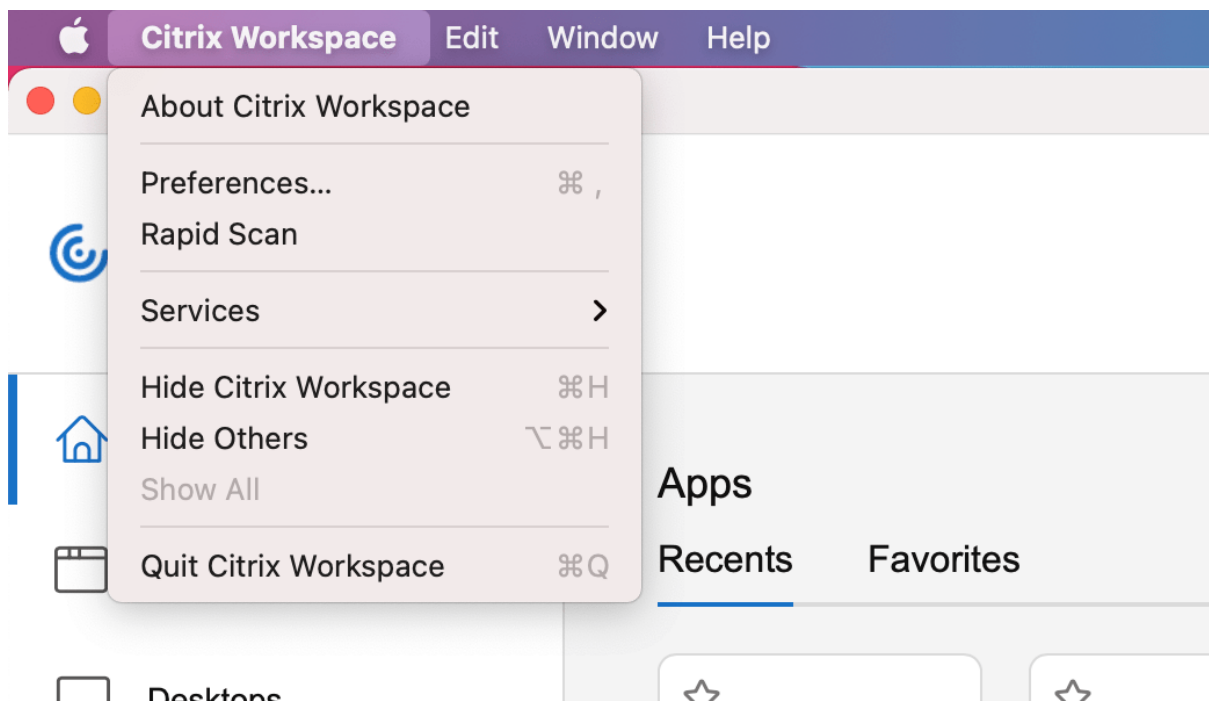
この機能は、Microsoft Teams からの更新のロールアウト後のみ使用できます。ETA については、<https://www.microsoft.com/>にアクセスし、Microsoft 365 ロードマップを検索してください。Microsoft によって更新プログラムがロールアウトされたら、ドキュメントのアップデートおよび発表内容について、[CTX253754](#)を確認することができます。

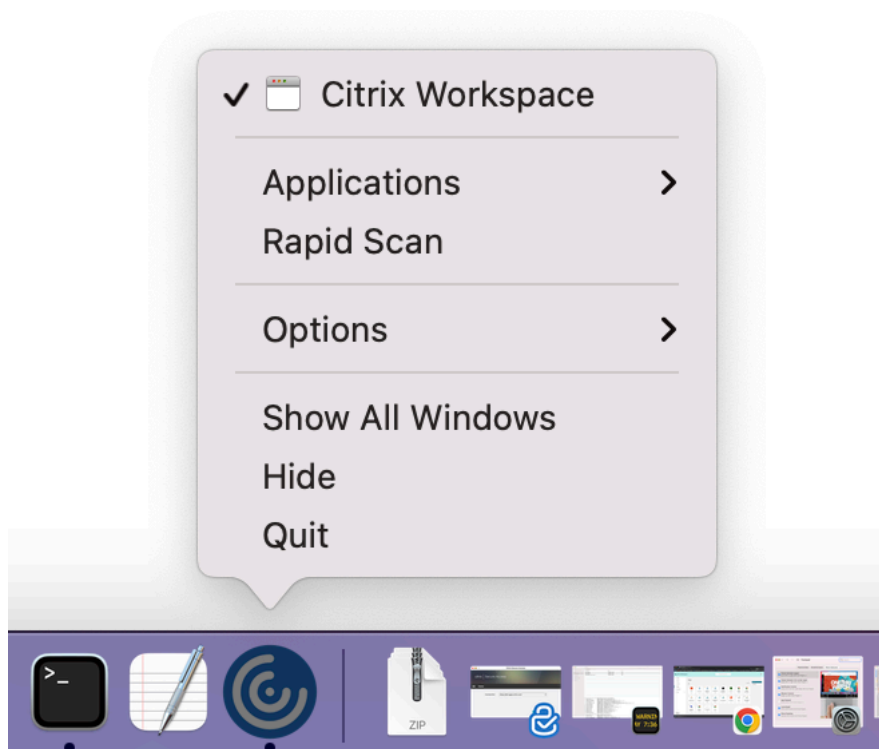
高速スキャン [Technical Preview]

複数のデバイスで Citrix Workspace アプリにログインしている場合は、高速スキャン機能を使用して iOS デバイスの多数のドキュメントをスキャンし、スキャンしたドキュメントを Mac デバイ스에転送できます。

高速スキャン機能を使用してドキュメントをスキャンする方法については、次の手順に従ってください:

1. Mac デバイスで、デスクトップセッションの Citrix Workspace アプリのアイコンを右クリックし、[高速スキャン] をクリックします。これにより、QR コードが表示されます。
2. iOS デバイスで、[設定] > [高速スキャン] をクリックします。
3. Mac デバイスに表示された QR コードをスキャンして、Mac と iOS デバイス間の接続を確立します。
4. ドキュメントをスキャンして、Mac デバイスに送信します。
5. Mac デバイスのデスクトップセッションでは、Finder でスキャンしたドキュメントを見つけることができます。





前提条件

- ストアに対してクライアントドライブマッピング（CDM）を有効にする必要があります。
- iOS デバイスと Mac デバイスの両方で、Citrix Workspace アプリの同じアカウントにサインインする必要があります。
- 同じ Wi-Fi に接続している必要があります。
- 必要な Mac 向け Citrix Workspace アプリの最小バージョンは 2304 です。
- この機能は、iOS 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 23.3.5 以降でサポートされています。
- 高速スキャンには、デバイスでの読み取りおよび書き込みアクセスが必要です。アクセスを有効にするには、次の手順に従います：
 1. プロファイルから、[アプリケーション設定] > [ストアの設定] をクリックします。
 2. 現在のストアをクリックします。
 3. [デバイスストレージ] をクリックし、[読み取り/書き込みアクセス] を選択します。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

証明書ベースの認証のサポート

このリリースでは、Workspace 管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成および適用できます。

条件付きアクセスを使用して認証を有効にするには、次の方法を使用できます:

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global App Config Service (GACS)

Citrix Workspace アプリによって読み取られるフラグ値は、次の順序で優先されます:

- モバイルデバイス管理 (MDM)
- Global App Config Service (GACS)

MDM で条件付きアクセスを使用した認証の有効化

MDM で Azure AD を使用した条件付きアクセスで認証を有効にするには、管理者は次の設定を実行する必要があります:

```
<key>enableAAD</key>  
<true/>
```

この設定は、ブール値をサポートしています。デフォルトでは、値は `false` に設定されています。キー値が使用できない場合は、デフォルト値が適用されます。

GACS で条件付きアクセスを使用した認証の有効化

GACS で Azure AD を使用した条件付きアクセスで認証を有効にするには、管理者は次の設定を実行する必要があります:

```
enable conditional AAD
```

詳しくは、GACS ドキュメントの「[プラットフォームごとにサポートされる設定とその値](#)」で macOS を参照してください。

Global App Configuration Service チャンネルのサポート

Citrix Workspace 向けの Global App Configuration Service を使用すると、Citrix 管理者は、一元管理されたサービスによって Workspace サービスの URL と Workspace アプリの設定を配信できます。Global App Configuration Service では、管理者が設定をすべてのユーザーにロールアウトする前にテストできるようになりました。この機能を使用すると、Global App Configuration をユーザーベース全体に適用する前に問題を解決できます。

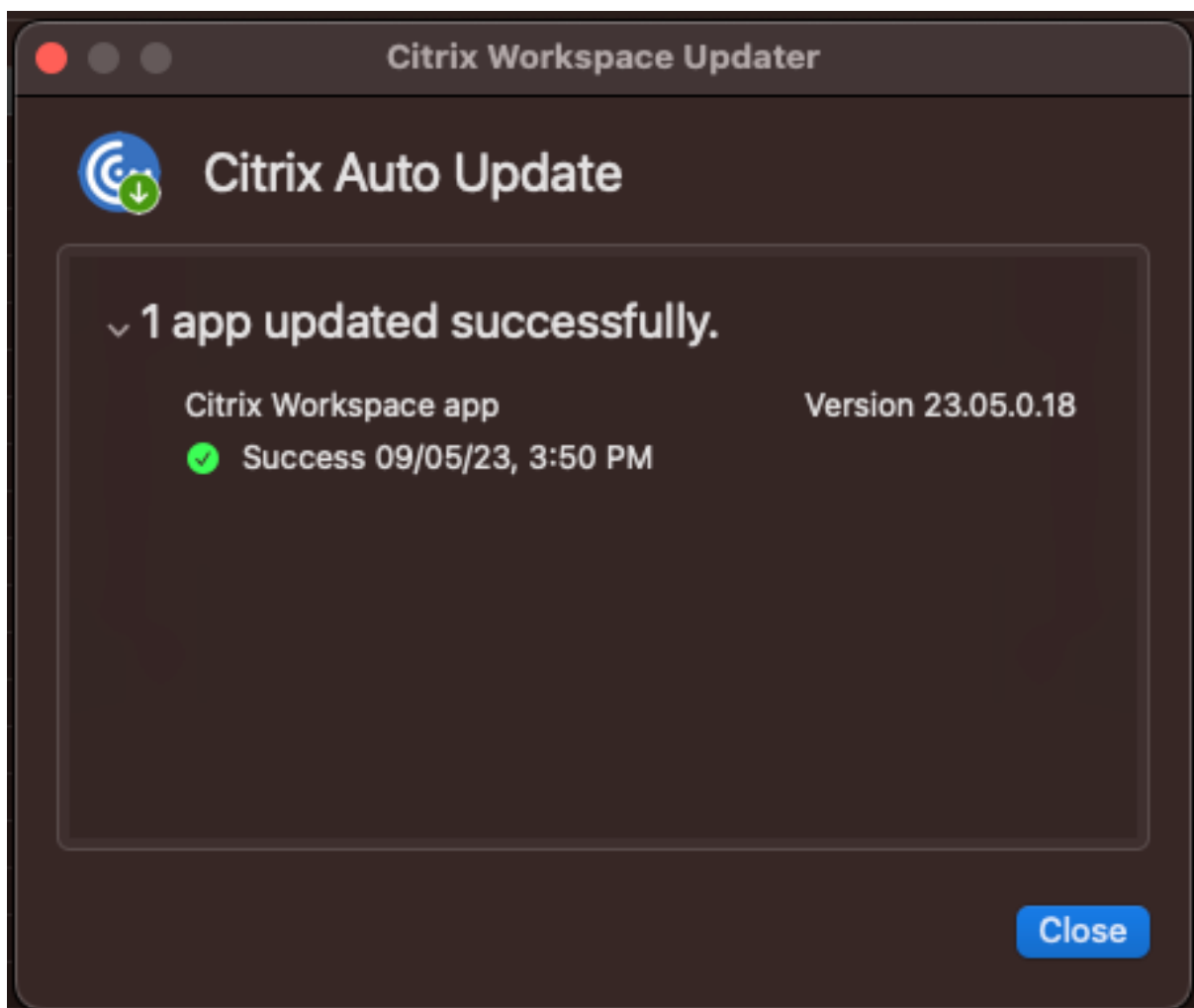
このチャンネルのサポートを実現するには、テストする設定をチャンネルにマッピングし、そのチャンネルをペイロードに追加します。詳しくは、[Global App Configuration Service のドキュメント](#)を参照してください。

自動更新エクスペリエンスの向上

自動更新機能は、ユーザーの操作を必要とせずに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。

Citrix Workspace アプリは、アプリの利用可能な最新バージョンを定期的にチェックしてダウンロードします。Citrix Workspace アプリは、ユーザーのアクティビティに基づいてインストールの最適なタイミングを決定し、中断を引き起こさないようにします。

インストールが完了すると、次の通知が表示されます：



Citrix Workspace アプリがバックグラウンドで更新プログラムをインストールする適切なタイミングを見つけられない場合、Citrix Workspace Updater はユーザーにインストールを求めるメッセージを表示します。

フェデレーション ID プロバイダーのログインプロンプトの強制

Citrix Workspace アプリで、フェデレーション ID プロバイダーセッションを設定できるようになりました。詳しくは、Citrix Knowledge Center の [CTX253779](#) を参照してください。

ログインプロンプト強制のためにストア認証トークンポリシーを使用する必要がなくなりました。

英語以外の IME (Input Method Editor) キーボードレイアウトのサポート

英語以外の言語の IME キーボードレイアウトのサポートは、Carbon API が Cocoa API で廃止された後も引き続き中断されることなく機能します。

仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上 [Technical Preview]

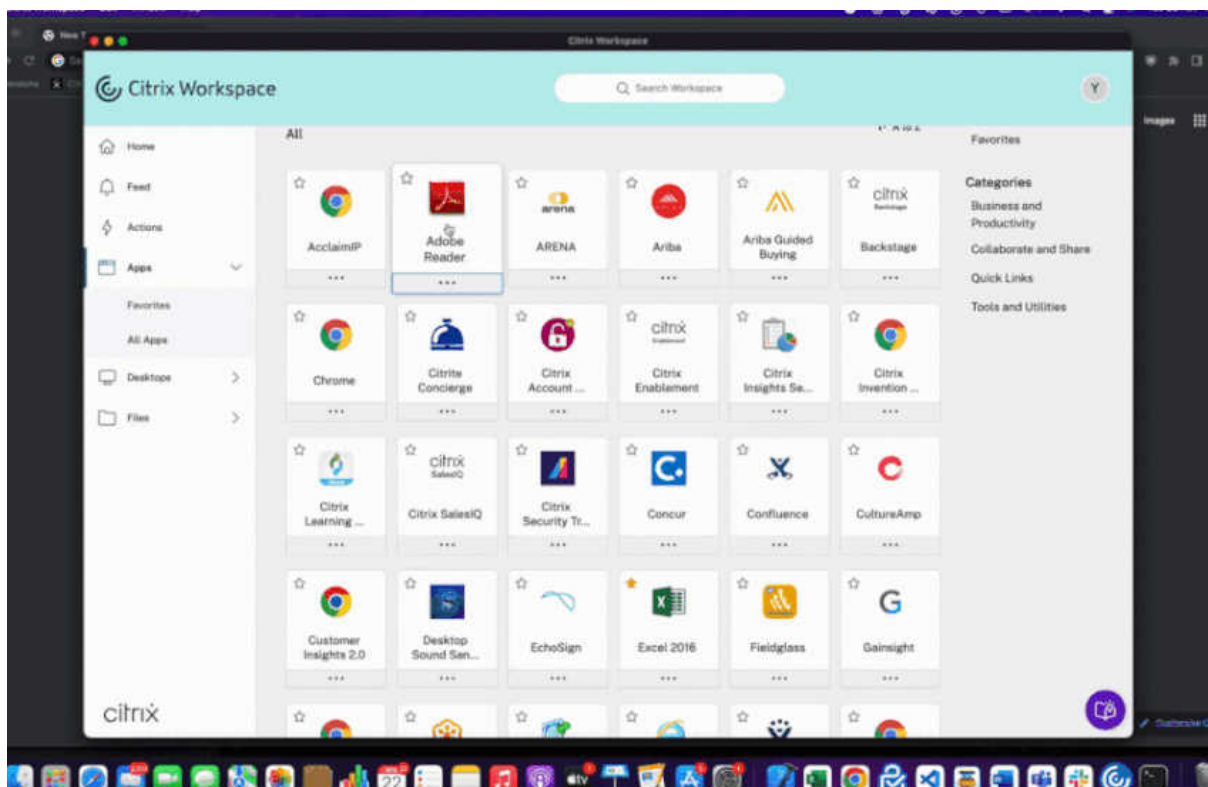
Citrix リソースの起動が向上し、より直感的で、有益で、ユーザーフレンドリーになりました。2304 リリース以降、この向上した仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスは、カスタム Web ストアとハイブリッド起動でサポートされています。仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスについて詳しくは、次を参照してください。[仮想アプリとデスクトップの起動エクスペリエンスの向上 \[Technical Preview\]](#)。

注:

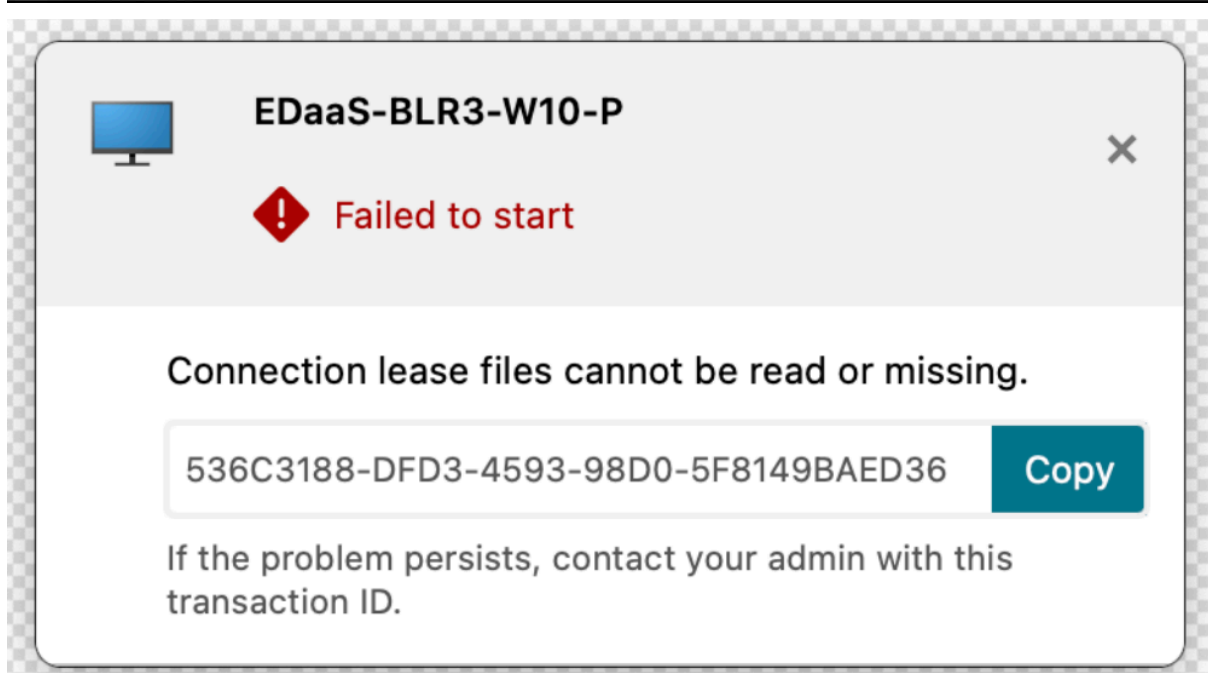
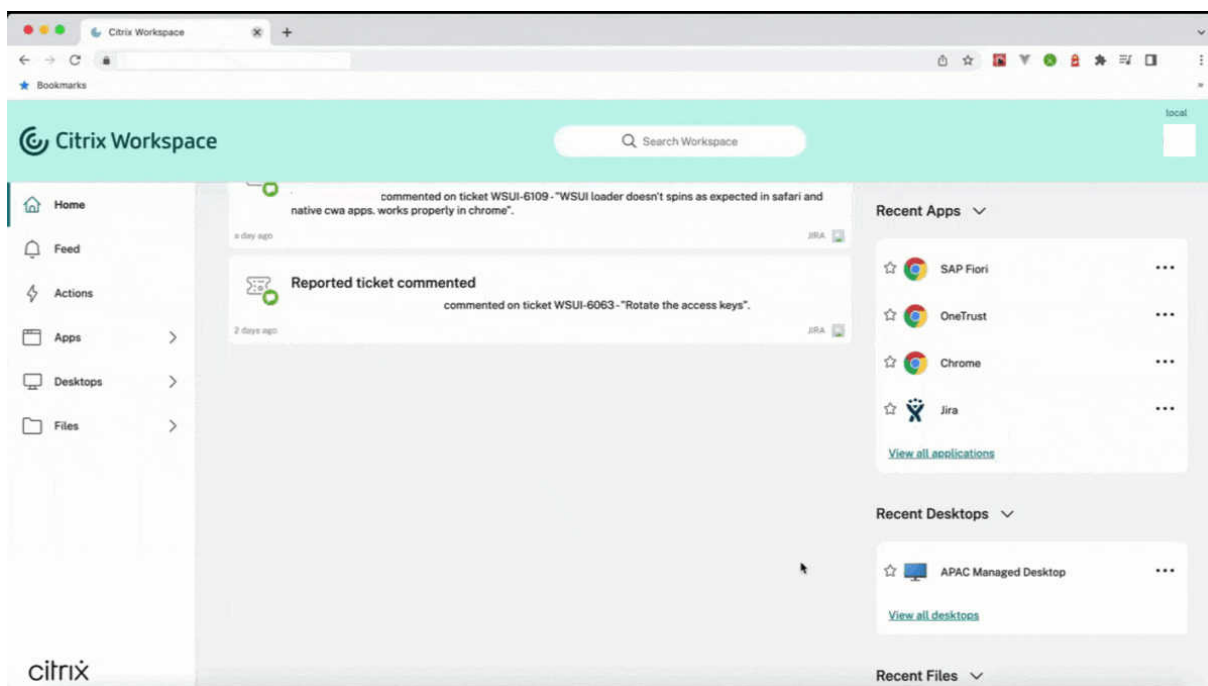
Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

Virtual Apps and Desktops の起動エクスペリエンスの向上 [Technical Preview]

2301 リリース以降、Citrix リソースの起動が機能強化され、より直感的で、有益で、ユーザーフレンドリーになりました。



起動の進行状況の通知が画面の右下隅に表示されるようになりました。起動中のリソースの進行状況が表示されます。通知を閉じると、通知を再表示することはできません。通知は、セッションが開始してから数秒間残ります。セッション開始に失敗した場合、通知に失敗した旨のメッセージが表示されます。



注:

この機能は、Workspace (クラウド) とストアフロントセッションの両方で使用できます。

この Technical Preview のフィードバックは、[Podio](#) フォームからお送りいただけます。

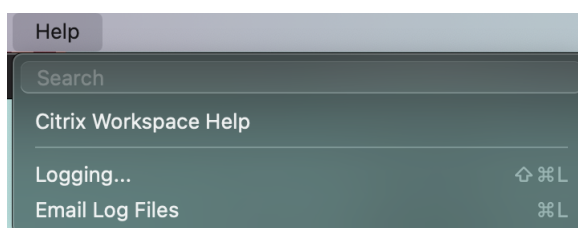
注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、フィードバックを共有

する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

ログ収集

ログ収集では、Citrix Workspace アプリのログを収集するプロセスが簡素化されました。ログは、Citrix でのトラブルシューティングに役立ち、問題が複雑な場合はサポートを容易にします。ユーザーは、[ヘルプ] メニューで提供される新しいオプションを使用してログをすばやく収集できるようになりました。[ヘルプ] に移動し、[ログ...] または [ログファイルをメールで送信] オプションを選択します。この機能により、ログ収集プロセス中のユーザーエクスペリエンスが向上します。



- ログ... - このオプションをクリックすると、[環境設定] > [詳細] > [ログ] に移動します。
- ログファイルをメールで送信 - このオプションをクリックすると、最新のログを収集できます。

さまざまなキーボードレイアウトの同期をサポート

2304 リリース以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、次のレイアウトまたは IME (Input Method Editor) のキーボードレイアウトの同期をサポートします：

- 英語 (ABC)
- 英語 (ABC) - インド
- 中国語 (繁体字、Zhuyin) - 繁体字
- 中国語 (繁体字、Sucheng) - 繁体字
- 日本語 (Google IME)
- 中国語 (Sogou IME)

自動更新エクスペリエンスの向上

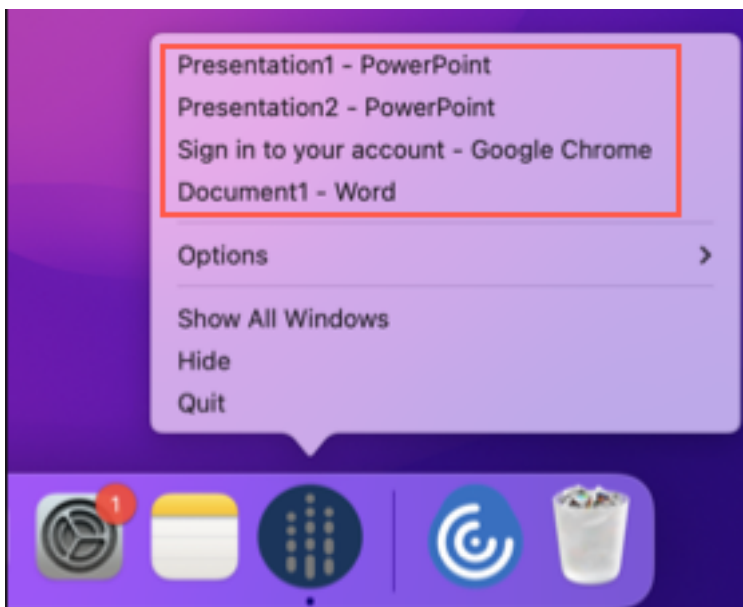
自動更新機能は、ユーザーの操作を必要とせずに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。

Citrix Workspace アプリは、アプリの利用可能な最新バージョンを定期的にチェックしてダウンロードします。Citrix Workspace アプリは、ユーザーのアクティビティに基づいてインストールの最適なタイミングを決定し、中断を引き起こさないようにします。

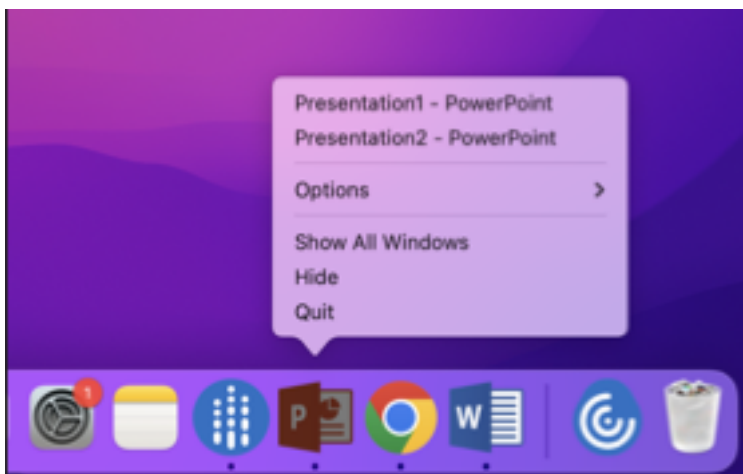
詳しくは、「[自動更新エクスペリエンスの向上](#)」を参照してください。

開いているアプリをネイティブアプリのアイコンでドックに表示

以前は、Citrix Workspace アプリで仮想アプリをクリックすると、これらのアプリを使用できるようになる **Citrix Viewer** がトリガーされました。多くのアプリを開くと、アプリまたはそのインスタンスが **Citrix Viewer** で開きます。 **Citrix Viewer** アイコンを右クリックすると、開いているアプリを表示できます。

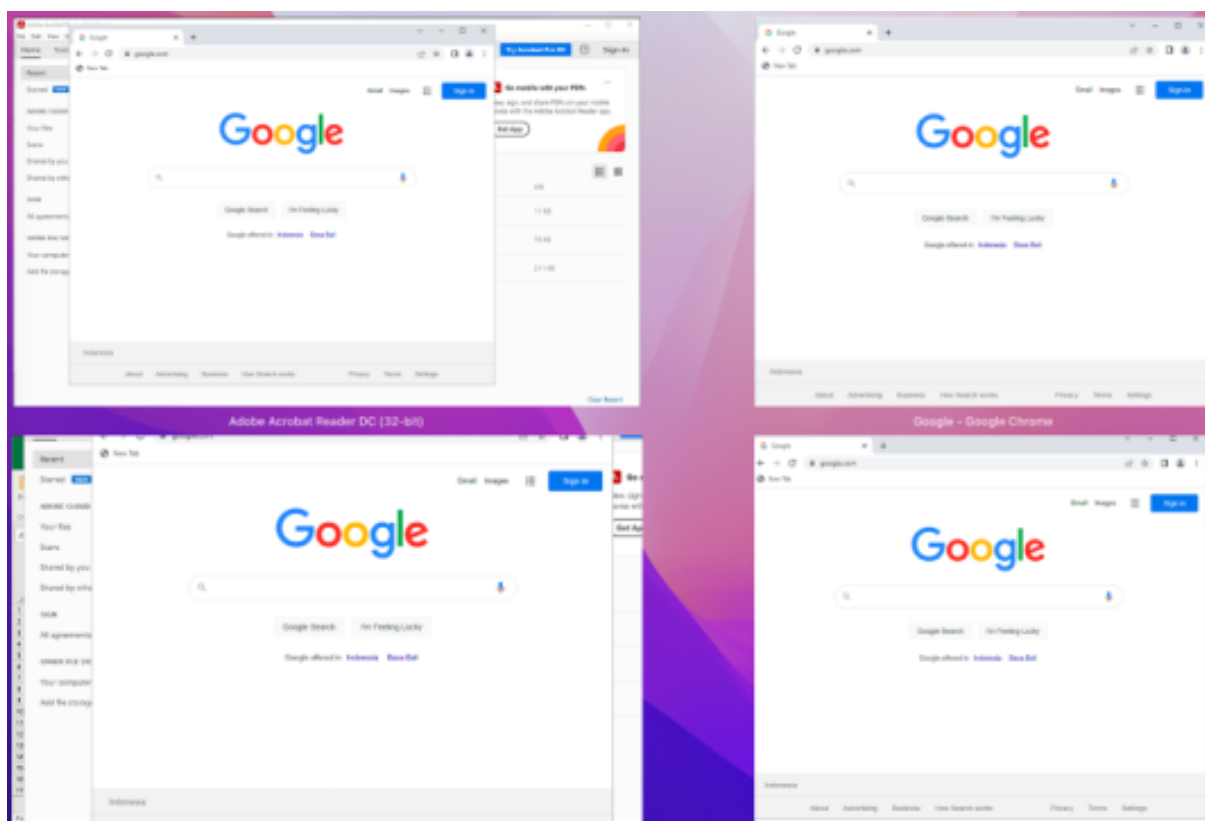


このリリース以降、仮想アプリを開くと、ドック（画面の右下隅）に簡単に見分けることができるそれぞれのアイコンで表示されるようになります。これによって、ドックから仮想アプリにアクセスできます。アプリの複数のインスタンスを開くと、これらのインスタンスはドックに複製されず、ドック内でグループ化されて1つのインスタンスとして表示されます。

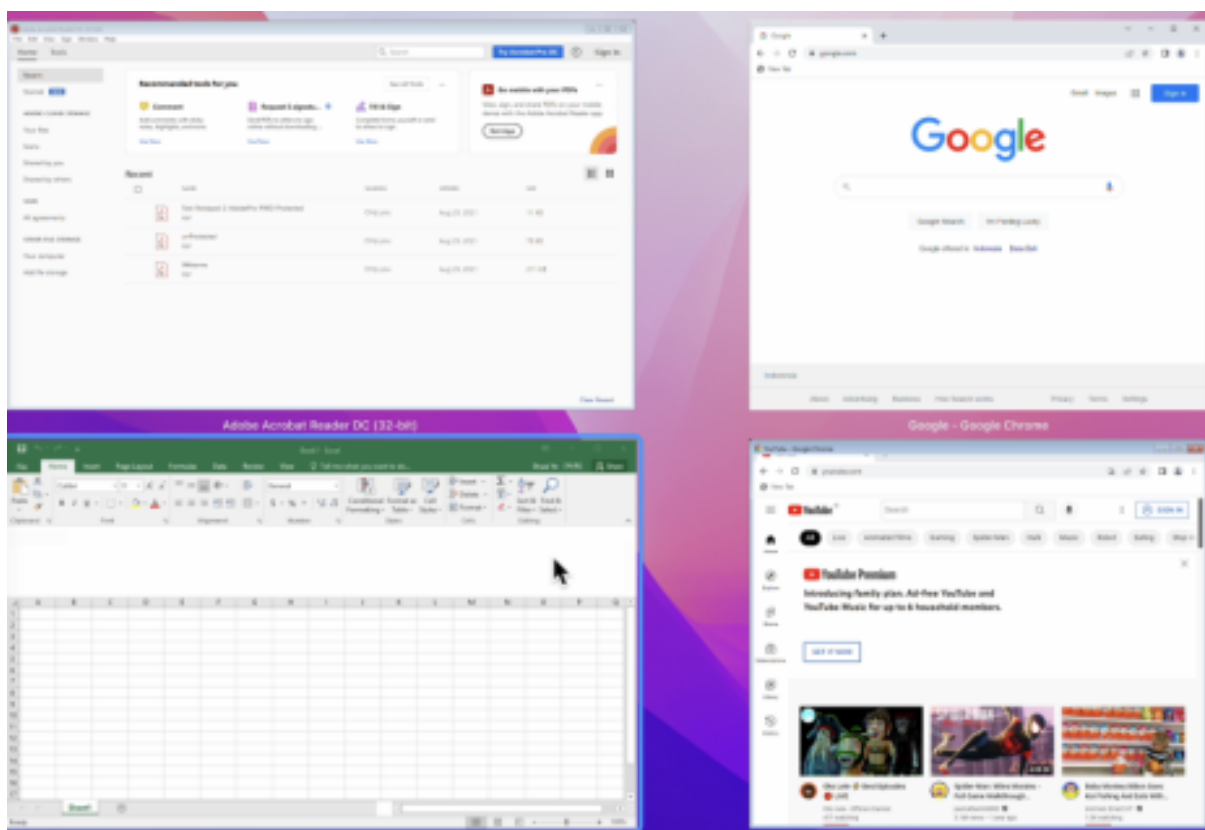


Mission Control およびアプリケーション **Expose** エクスぺリエンスの向上

以前は、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用すると、開かれた多くのウィンドウが重なって表示されていました。



このリリース以降、仮想アプリセッションで **Mission Control** またはアプリケーション **Expose** 機能を使用して多くのウィンドウを開くと、ウィンドウが重複せず簡単に選択できます。



複数のオーディオデバイスのサポート **[Technical Preview]**

2304 リリース以降の Citrix Workspace アプリは、セッションで使用可能なすべてのローカルオーディオデバイスを名前付きで表示します。また、プラグアンドプレイにも対応しています。

これは、リクエストベースで提供されるプレビュー機能です。ご使用の環境でこの機能を有効にするには、[Podio フォーム](#)に記入してください。

注:

Technical Preview は、お客様が非実稼働環境または制限のある稼働環境でテストし、[フィードバック](#)を共有する機会を提供するためのものです。機能プレビューのサポートは行っていませんが、改善に関するフィードバックをお待ちしております。重要度と重大度により、フィードバックに対応する場合としない場合があります。Beta ビルドは実稼働環境に展開しないことをお勧めします。

ビデオ解像度の制限

パフォーマンスの低いクライアントエンドポイントを使用しているユーザーがいる場合、管理者が受信または送信のビデオ解像度を制限して、これらのエンドポイントでのビデオのエンコードおよびデコードへの負担を軽減することができます。Mac 向け Citrix Workspace アプリ 2304 以降では、クライアント構成オプションを使用してこれらの解像度を制限できます。

注:

Microsoft Teams サーバーでは、すべての会議参加者が最も低いレベルの解像度を使用するよう強制されるため、制限付きの解像度で実行しているユーザーがいると、会議の全体的なビデオ品質に影響を与えます。

Citrix Workspace アプリ 2304 を使用しているクライアントでは、通話の制約はデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、管理者がファイルで次のクライアント側の構成をデフォルトのコマンドで設定する必要があります:

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine <Name> -<Type> <Value>
```

名前	種類	固定	許容値
EnableSimulcast	int	はい	1~3 (1 に設定)
MaxOutgoingResolution	int	はい	180、240、360、540、720、1080 (Microsoft Teams でサポートされている解像度)
MaxIncomingResolution	int	はい	180、240、360、540、720、1080 (Microsoft Teams でサポートされている解像度)
MaxIncomingStreams	int	はい	1~8
MaxSimulcastLayers	int	はい	1~3 (1 に設定)
MaxVideoFrameRate	int	いいえ	1~30
MaxScreenShareFrame	int	いいえ	1~15

横スクロールのサポート

以前は、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、トラックパッドでの垂直スクロールのみをサポートしていました。2305 リリース以降は、横スクロールもサポートされています。

オーディオエコーキャンセルのサポートの改善

Citrix Workspace アプリは、アダプティブオーディオおよび従来のオーディオコーデックでエコーキャンセル機能をサポートします。この機能は、リアルタイムのオーディオユースケース向けに設計されており、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。アダプティブオーディオを使用することをお勧めします。

USB リダイレクト

HDX USB デバイスリダイレクト機能を使用すると、USB デバイスのクライアント側へのリダイレクトおよびクライアント側からのリダイレクトが有効になります。ユーザーがデスクトップでホストされるアプリケーションや仮想デスクトップを使用しているときに、ローカルのユーザーデバイスに装着したフラッシュドライブにアクセスできるようになります。

セッション中、ユーザーは画像転送プロトコル (PTP) デバイスなどのデバイスを接続して使用できます。例:

- デジタルカメラ、デジタルオーディオプレーヤーやポータブルメディアプレーヤーなどのメディア転送プロトコル (MTP) デバイス。
- POS (Point-Of-Sale) デバイス、3D SpaceMouse、スキャナー、署名パッドなどのデバイス。

注:

デスクトップでホストされるアプリケーションのセッションでは、ダブルホップ USB はサポートされません。

USB リダイレクトは、次のデバイスで使用できます:

- Windows
- Linux
- Mac

USB リダイレクトのデフォルトでは、特定のクラスの USB デバイスでのみ許可され、ほかのクラスのデバイスはリダイレクトされません。仮想デスクトップで使用可能な USB デバイスの種類を制限するには、リダイレクトがサポートされている USB デバイスの一覧を更新します。詳しくは、このセクションの後半で説明します。

ヒント

ユーザーデバイスとサーバーとの間でセキュリティを分離する必要がある場合は、避けるべき USB デバイスの種類についてユーザーに通知するようにしてください。

一般的な USB デバイスをリダイレクトするための仮想チャンネルが最適化されており、WAN 接続でも良好なパフォーマンスが提供されます。低速な狭帯域幅接続では、最適化された仮想チャンネルを使用することで最高のパフォーマンスが得られます。

注:

Mac 向け Citrix Workspace アプリの USB リダイレクトで SMART ボードを使用する場合、マウスとして処理されます。

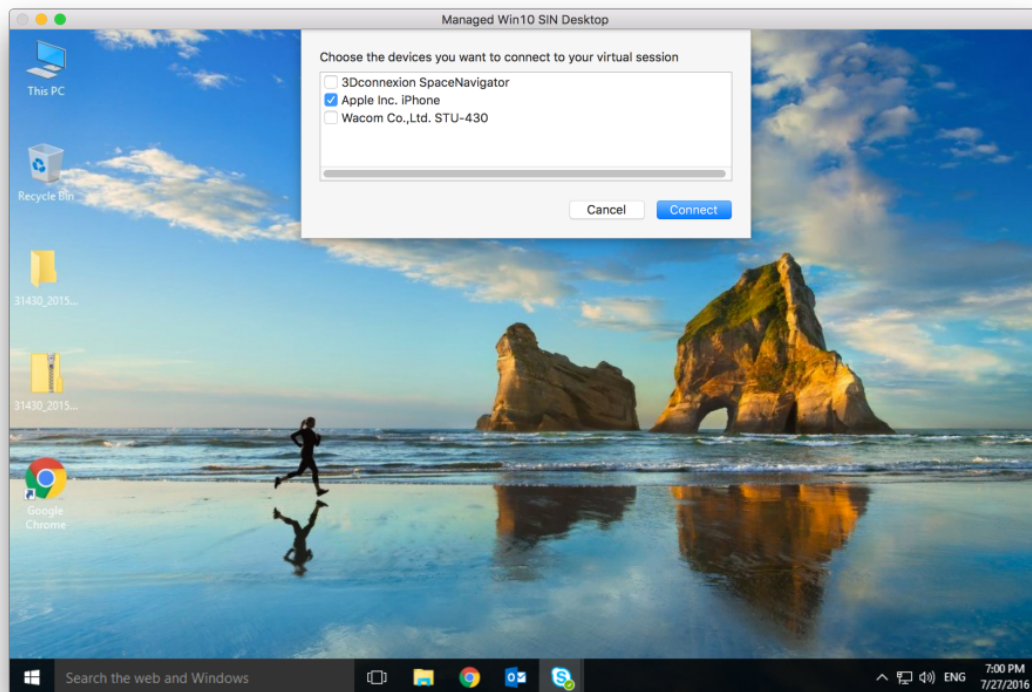
この製品は、USB 3.0 デバイスと USB 3.0 ポートを使用する最適化された仮想チャンネルをサポートします。たとえば、CDM 仮想チャンネルは、カメラ上でファイルを表示したり、ヘッドセットに音声を提供するために使用されます。USB 3.0 デバイスを USB 2.0 ポートに接続した場合も、汎用 USB リダイレクトがサポートされます。

Web カメラのヒューマンインターフェイスデバイス (HID) ボタンなど、一部のデバイス固有の機能は、最適化された仮想チャンネルで正しく動作しない場合があります。代わりに、汎用 USB 仮想チャンネルを使用してください。

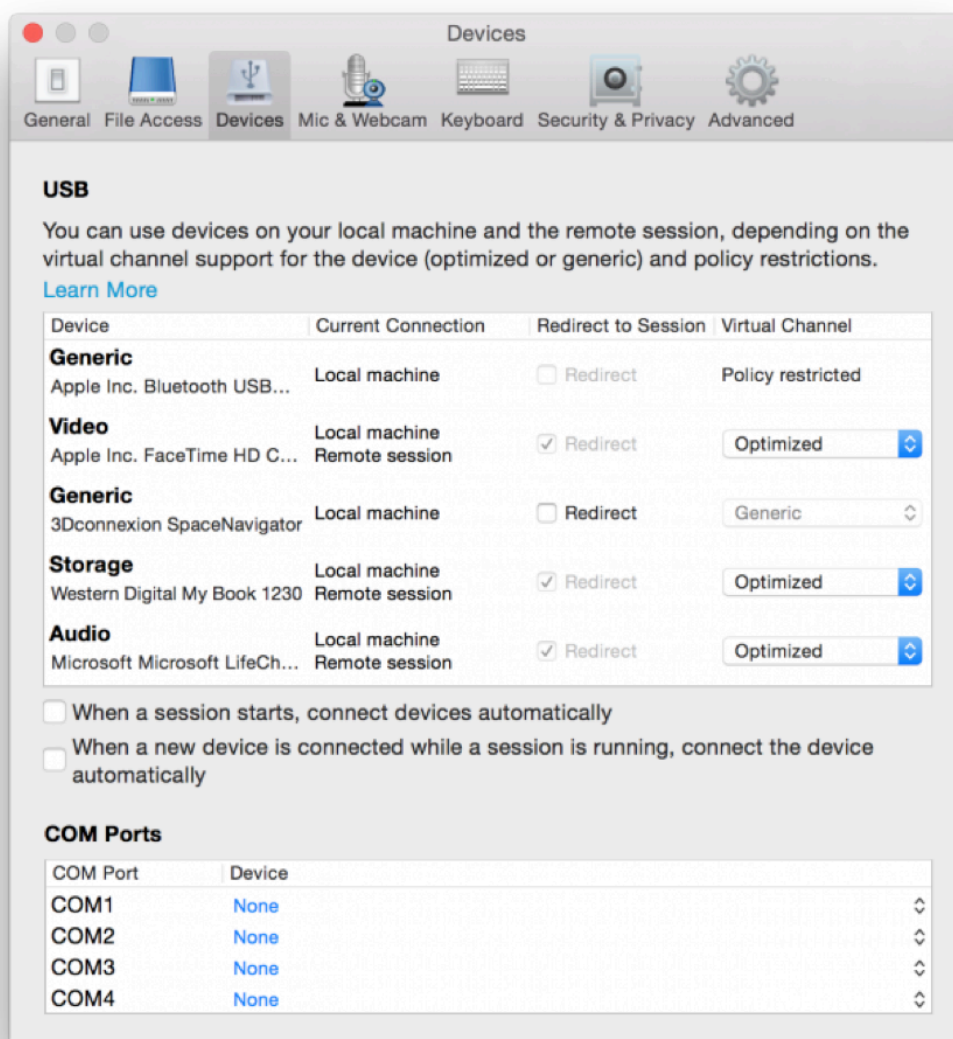
一部のデバイスはデフォルトではリダイレクトされず、ローカルセッションでのみ使用可能になります。たとえば、内部 USB で直接装着されたネットワークインターフェイスカード (NIC) は、リダイレクトには適しません。

USB リダイレクトを使用するには:

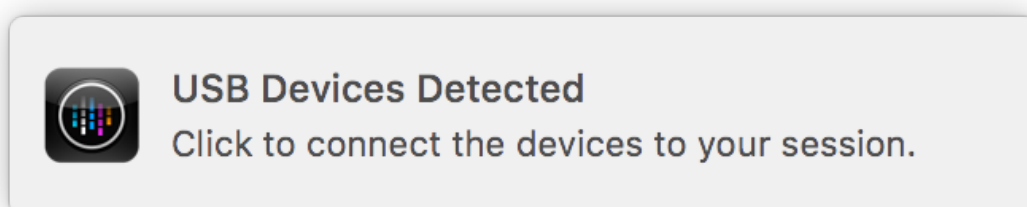
1. Mac 向け Citrix Workspace アプリがインストールされているデバイスに USB デバイスを接続します。
2. ローカルシステムで、使用できる USB デバイスを選択するメッセージが表示されます。



3. 接続するデバイスを選択して、[接続] をクリックします。接続できない場合は、エラーメッセージが表示されます。
4. [環境設定] ウィンドウの [デバイス] タブで、接続された USB デバイスが [USB] パネルに一覧表示されます:



5. USB デバイスの仮想チャンネルの種類（汎用または最適化）を選択します。
6. メッセージが表示されます。クリックして USB デバイスをセッションに追加します：



USB デバイスの装着と取り外し

ユーザーは、仮想セッションの開始前および開始後に USB デバイスを装着できます。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、以下の点について考慮してください：

- セッションを開始した後で装着したデバイスは、Desktop Viewer の [USB] メニューに直ちに追加されます。
- USB デバイスが正しくリダイレクトされない場合、仮想セッションが開始されてからデバイスを装着することで問題が解決される場合があります。
- データの損失を避けるため、Windows で推奨される手順（[ハードウェアの安全な取り外し] メニューなど）に従って USB デバイスを取り外してください。

サポートされている USB デバイス

Apple がカーネル機能拡張（KEXT）の廃止を発表したことで、Mac 向け Citrix Workspace アプリは Apple が提供する新しいユーザーモードの USB フレームワーク IUSBHost に移行しました。この記事では、サポートされている USB デバイスを一覧表示します。

USB リダイレクトと互換性がある USB デバイス

次の USB デバイスは、USB リダイレクトとシームレスに連携します：

- 3DConnexion SpaceMouse
- 大容量記憶装置デバイス
- Kingston DataTraveler USB フラッシュドライブ
- Seagate 外付け HDD
- Kingston/Transcend フラッシュドライブ 32GB/64GB
- NIST PIV スマートカード/リーダー
- YubiKey

USB リダイレクトで失敗する USB デバイス

次のデバイスは USB リダイレクトと互換性がありません：

- Transcend SSD 外付けハードディスク

未確認の USB デバイス

Mac 向け Citrix Workspace アプリで USB リダイレクトが成功するかを Citrix が検証していないデバイスはたくさんあります。これらのデバイスの一部を次に示します：

- その他のハードディスク
- カスタム HID プロトコルを使用するキーボードとヘッドセットの特殊キー

大容量記憶装置デバイスのサポート

一部のタイプの大容量記憶装置デバイスは、正常にリダイレクトできないことが報告されています。リダイレクトに失敗したデバイスには、クライアントドライブマッピングと呼ばれる最適化された仮想チャネルがあります。クライアントドライブマッピングを使用すると、大容量記憶装置デバイスへのアクセスは、Delivery Controller のポリシーで制御できます。

アイソクロナスデバイスのサポート

汎用 USB リダイレクトは、Mac 向け Citrix Workspace アプリのアイソクロナスクラスの USB デバイスをサポートしていません。USB 仕様におけるデータ転送のアイソクロナスモードとは、タイムスタンプ付きデータを一定の速度でストリーミングするデバイスのことです。例：Web カメラ、USB ヘッドホンなど

複合デバイスのサポート

USB 複合デバイスは、複数の機能を実行できる単一のガジェットです。例：マルチ機能プリンター、iPhone など。現在、Mac 向け Citrix Workspace アプリは、Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS セッションへの複合デバイスのリダイレクトをサポートしていません。

サポートされていない **USB** デバイス用の代替手段

汎用 USB リダイレクトでサポートされていないデバイスを処理できる最適化された仮想チャネルがあります。これらの仮想チャネルは、汎用 USB リダイレクトと比較すると速度が最適化されています。以下は、いくつかの例です：

- **Web** カメラリダイレクト：未処理の Web カメラトラフィックデータに最適化されています。Microsoft Teams Optimization Pack には、独自の Web カメラリダイレクト方法があります。この場合、Web カメラリダイレクト仮想チャネルは利用できません。
- オーディオリダイレクト：オーディオストリームを転送するように最適化されています。
- クライアントドライブマッピング：大容量記憶装置デバイスを Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS（旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス）セッションにリダイレクトするように最適化されています。例：フラッシュドライブ、ハードディスク、DVD ROM/RW など。

Enlightened Data Transport (EDT)

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、デフォルトで EDT が有効になっています。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、デフォルトの .ica ファイルに設定された **EDT** 設定を読み取り、適切に適用します。

EDT を無効にするには、ターミナルで次のコマンドを実行します：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas HDXOverUDPAllowed -bool NO
```

セッション画面の保持機能およびクライアントの自動再接続機能

セッション画面の保持機能は、ICA セッションをアクティブのまま保持し、ネットワークの接続が切断されても、セッションの画面を表示したままにできます。ユーザーは、接続が回復するまでセッション画面を見ることができます。

セッション画面の保持機能を有効にすると、データを損失することなく、サーバー上のセッションがアクティブのまま保持されます。ネットワークが中断されると、セッション画面が停止するため、ユーザーにもネットワークが切断されていることがわかります。また、セッションに再接続するときに再認証用のログオン画面が表示されないため、ユーザーは即座に作業を再開できます。

重要

- Mac 向け Citrix Workspace アプリのユーザーは、サーバー側の設定を上書きできません。
- セッション画面の保持を有効にすると、セッションの通信に使用されるデフォルトのポートは、1494 から 2598 に変更されます。

セッション画面の保持機能とともに、TLS (Transport Layer Security) を使用できます。

注

TLS は、ユーザーデバイスと Citrix Gateway 間で送信されるデータのみを暗号化します。

セッション画面の保持ポリシーを使用する

[セッション画面の保持] ポリシー設定により、セッション画面の保持を許可または禁止します。

[セッション画面の保持のタイムアウト] ポリシー設定には、デフォルトで 180 秒 (3 分) が設定されています。この時間を長く設定することもできますが、この機能はユーザーに利便性を提供します。したがって、ユーザーに再認証を求めるプロンプトは表示されません。

ヒント

セッション画面の保持のタイムアウトを延長すると、ユーザーの気が散ってデバイスから離れたときに、許可されていないユーザーがセッションにアクセスできるようになる可能性があります。

デフォルトでは、セッション画面の保持機能が有効な受信接続ではポート 2598 が使用されます。このポート番号はポリシーの [セッション画面の保持のポート番号] 設定で変更できます。

[クライアントの自動再接続時の認証] ポリシー設定を構成して、中断されたセッションにユーザーが再接続するときに再認証を要求することができます。

セッション画面の保持機能とクライアントの自動再接続機能を一緒に使用する場合は、次のように処理されます。まず、ネットワークが切断されると、セッション画面の保持機能により、セッションがアクティブのままサーバー上に保持されます。[セッション画面の保持のタイムアウト] ポリシー設定で指定した時間が経過すると、サーバー上のセッションが終了または切断されます。この後でクライアントの自動再接続のポリシー設定が有効になり、切断セッションへの再接続が行われます。

注

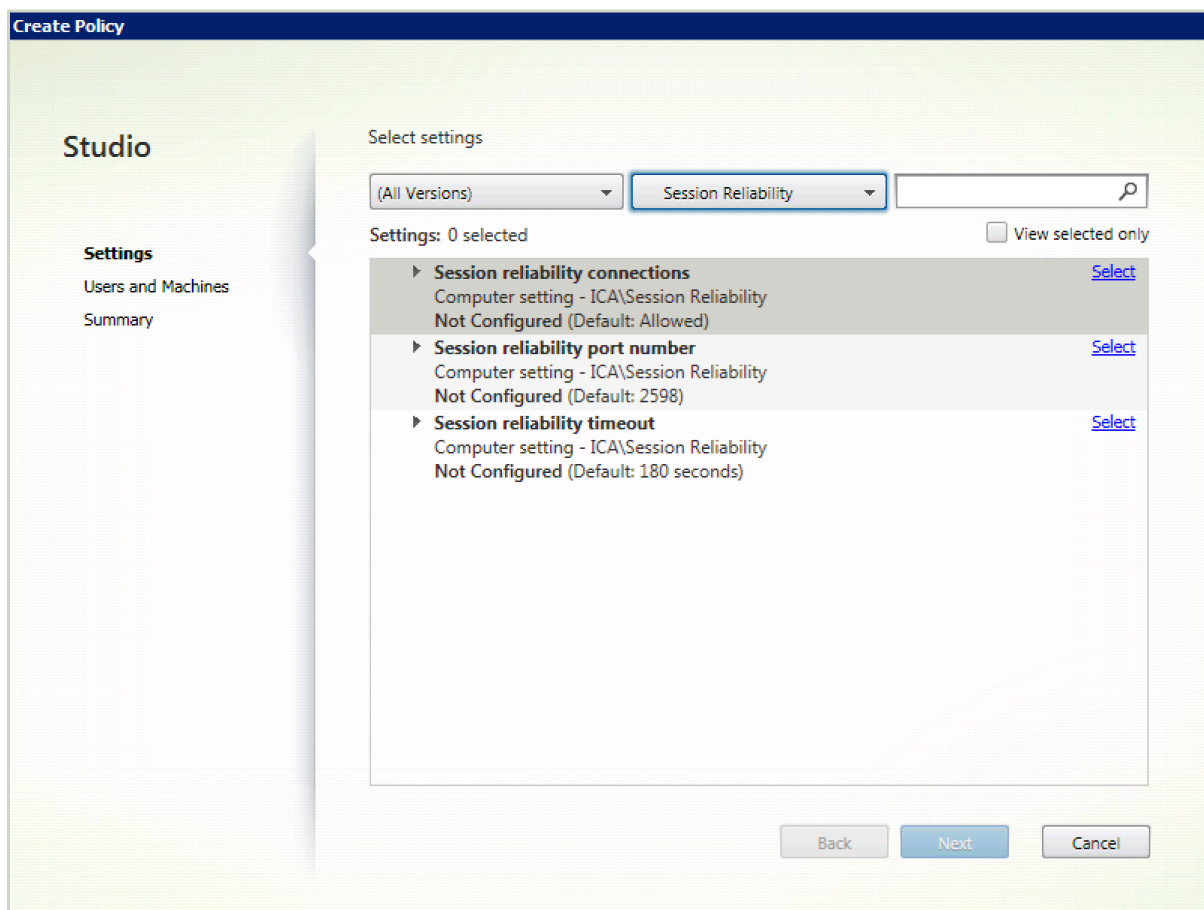
セッション画面の保持は、サーバーでデフォルトで有効になっています。この機能を無効にするには、サーバーで管理するポリシーを構成します。

Citrix Studio からセッション画面の保持を設定する

デフォルトでは、セッション画面の保持機能は有効になっています。

セッション画面の保持を無効にするには：

1. Citrix Studio を起動します。
2. [セッション画面の保持] ポリシーを開きます。
。ポリシーを [禁止] に設定します。



セッション画面の保持のタイムアウトを設定する

デフォルトでは、セッション画面の保持のタイムアウトは 180 秒に設定されています。

注:

セッション画面の保持のタイムアウトポリシーは、XenApp および XenDesktop 7.11 以降でのみ構成できません。

セッション画面の保持のタイムアウトを変更するには:

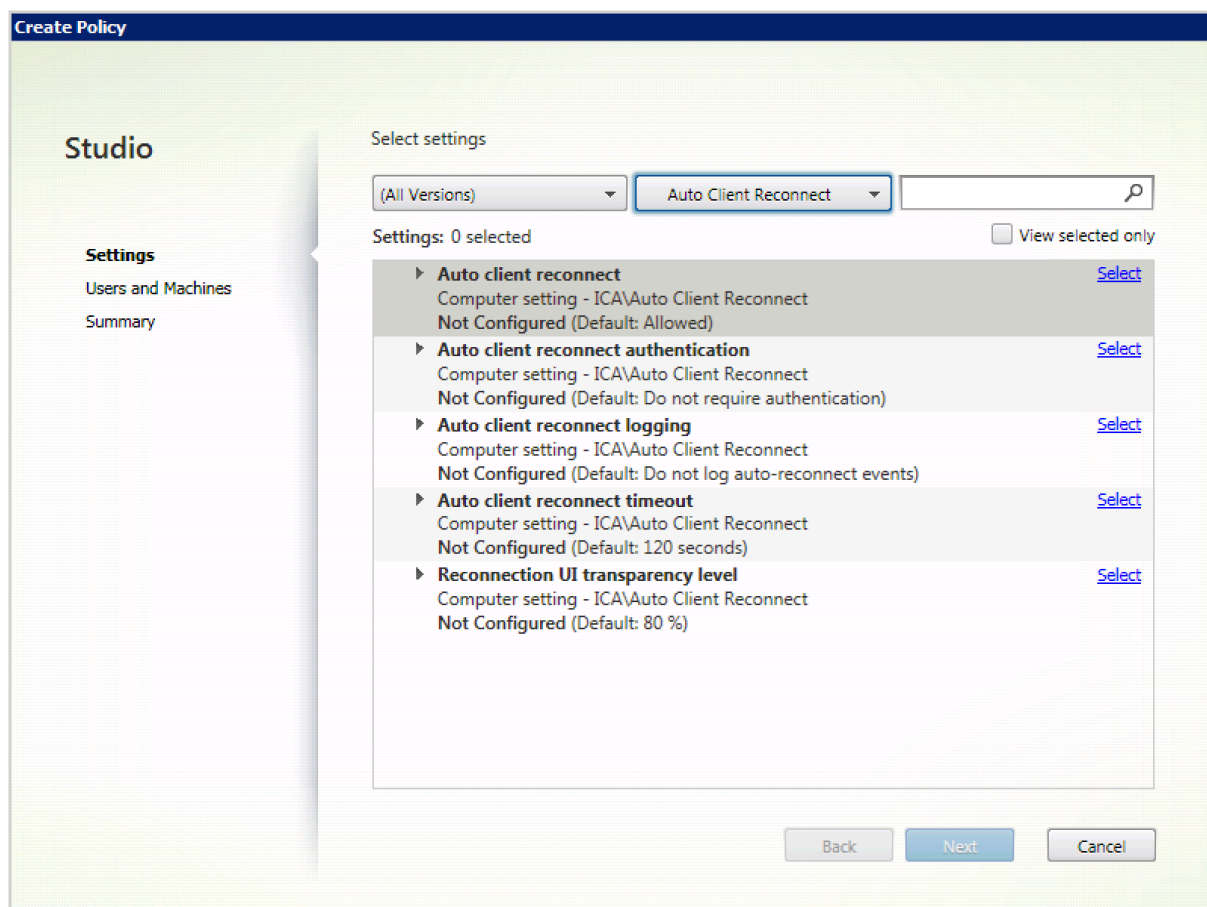
1. Citrix Studio を起動します。
2. [セッション画面の保持のタイムアウト] ポリシーを開きます。
3. タイムアウト値を編集します。
4. **[OK]** をクリックします。

Citrix Studio を使用してクライアントの自動再接続を設定する

デフォルトでは、自動再接続機能は有効になっています。

自動再接続を無効にするには:

1. Citrix Studio を起動します。
2. [クライアントの自動再接続] ポリシーを開きます。
3. ポリシーを [禁止] に設定します。



クライアントの自動再接続のタイムアウトを設定する

デフォルトでは、クライアントの自動再接続のタイムアウトは 120 秒に設定されています。

注:

クライアントの自動再接続のタイムアウトポリシーは、XenApp および XenDesktop 7.11 以降でのみ構成できます。

クライアントの自動再接続のタイムアウトを変更するには:

1. Citrix Studio を起動します。
2. [クライアントの自動再接続] ポリシーを開きます。
3. タイムアウト値を編集します。
4. **[OK]** をクリックします。

制限事項:

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ターミナルサーバーの VDA で、ユーザー設定に関係なくタイムアウト値に 120 秒を使用します。

再接続ユーザーインターフェイスの透明度を設定する

セッションのユーザーインターフェイスは、セッション画面の保持およびクライアントの自動再接続の試行中に表示されます。ユーザーインターフェイスの透明度は、Studio のポリシーを使用して変更できます。

デフォルトでは、再接続 UI の透明度は、80 に設定されています。

再接続ユーザーインターフェイスの透明度を変更するには:

1. Citrix Studio を起動します。
2. [再接続 UI の透過レベル] ポリシーを開きます。
3. 値を編集します。
4. **[OK]** をクリックします。

クライアントの自動再接続とセッション画面の保持の操作

さまざまなアクセスポイント間の切り替え、ネットワークの中断、遅延に関連したタイムアウトの表示など、モバイルには多数の課題があります。このため、Mac 向け Citrix Workspace アプリのアクティブなセッションでリンクの整合性を保持しようとする問題が発生することがあります。Citrix の強化されたセッション画面の保持および自動再接続テクノロジーがこの問題を解決します。

この機能により、ユーザーはネットワークの中断から回復した後、セッションに自動的に再接続できます。これらの機能は、Citrix Studio のポリシーで有効にでき、ユーザーエクスペリエンスを向上します。

注:

クライアントの自動再接続およびセッション画面の保持のタイムアウト値は、StoreFront の **default.ica** フ

ファイルを使用して変更できます。

クライアントの自動再接続

クライアントの自動再接続は、Citrix Studio ポリシーで有効または無効にできます。この機能は、デフォルトで有効になります。このポリシーの変更について詳しくは、この記事で前述されたクライアントの自動再接続に関するセクションを参照してください。

StoreFront でデフォルトの.ica ファイルを使用して、AutoClientreconnect の接続タイムアウトを変更します。デフォルトでは、タイムアウトは 120 秒（2 分）に設定されています。

設定	例	デフォルト
	TransportReconnectRetryMaxT!	TransportReconnectRetryMaxT! 120

セッション画面の保持

セッション画面の保持機能の有効または無効の設定は、Citrix Studio ポリシーで行います。この機能は、デフォルトで有効になります。

StoreFront の **default.ica** ファイルを使用して、セッション画面の保持の接続タイムアウトを変更します。デフォルトでは、このタイムアウトは 180 秒（3 分）に設定されています。

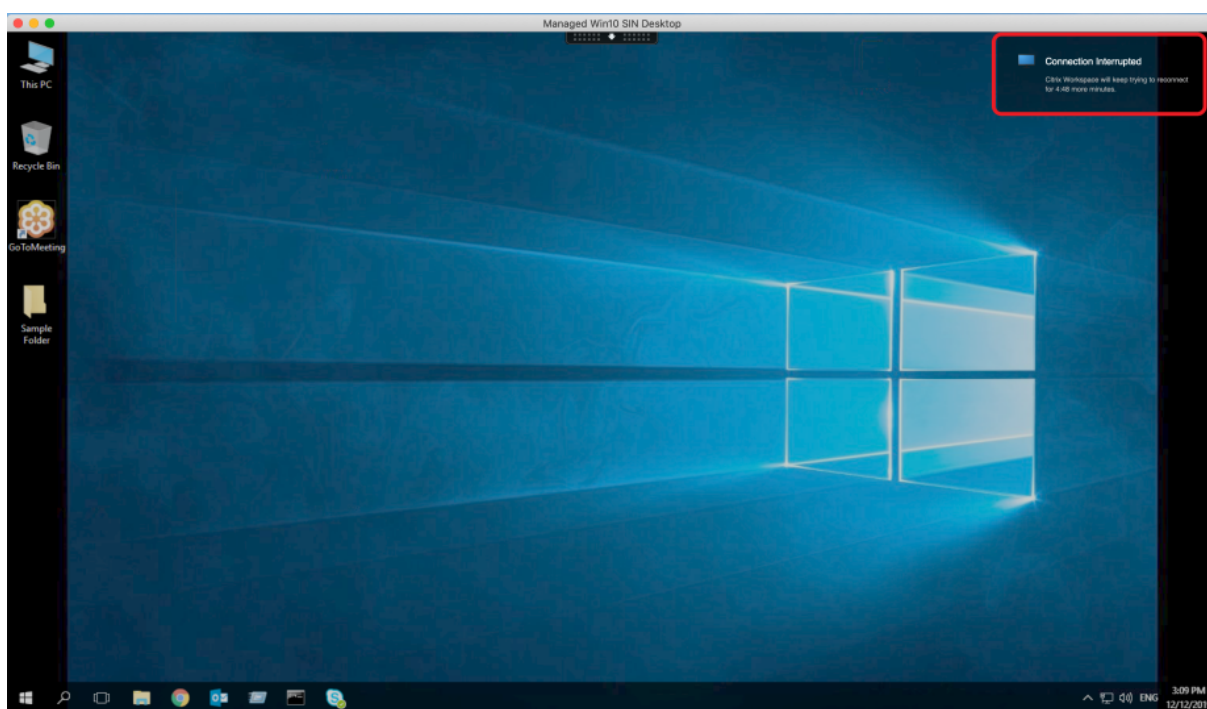
設定	例	デフォルト
	SessionReliabilityTTL	SessionReliabilityTTL=120 180

クライアントの自動再接続およびセッション画面の保持の仕組み

Mac 向け Citrix Workspace アプリでクライアントの自動再接続機能およびセッション画面の保持機能を有効にする場合、以下に注意してください：

- 再接続中は、セッションウィンドウが灰色になります。セッションを再接続するまでの残り時間がカウントダウンタイマーで表示されます。セッションがタイムアウトになると、接続は切断されます。

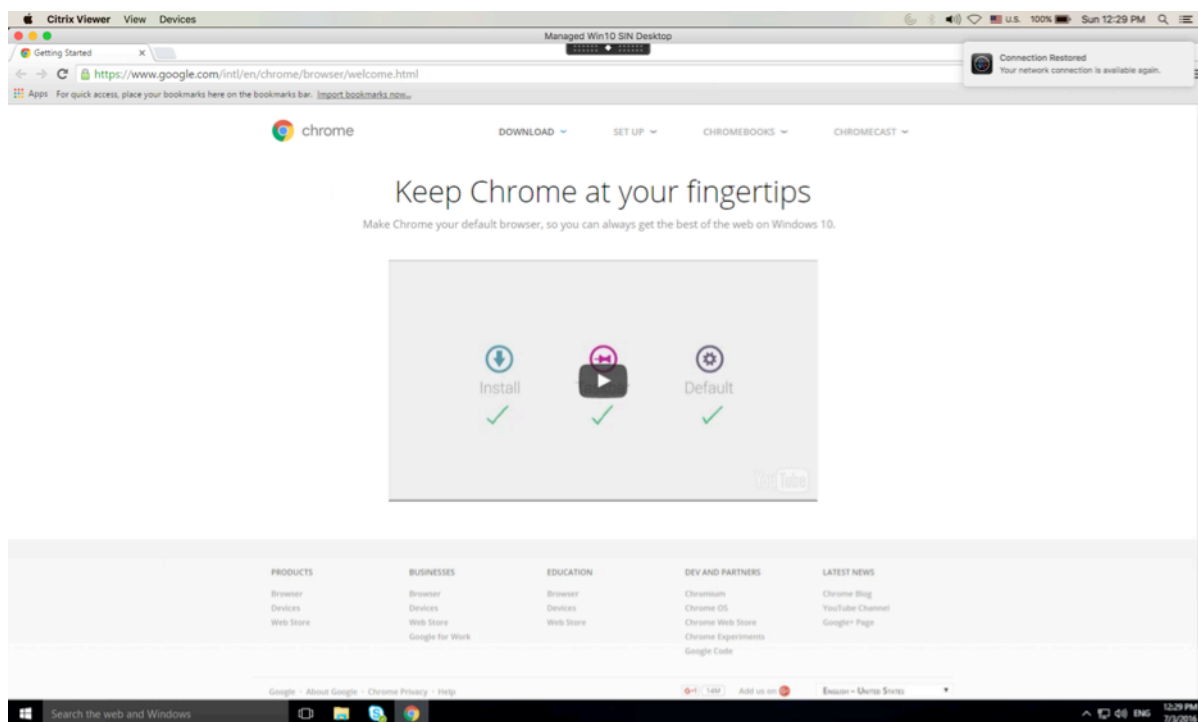
デフォルトでは、再接続のカウントダウン通知の最小値は 5 分です。このタイマー値は、自動再接続のデフォルトの値（2 分）およびセッション画面の保持のデフォルトの値（3 分）を組み合わせた値です。以下の画面は、セッションインターフェイスの右上に表示されるカウントダウン通知です：



ヒント

非アクティブなセッションに使用されるグレースケールの明るさは、コマンドプロンプトを使用して変更できます。たとえば、`defaults write com.citrix.receiver.nomas NetDisruptBrightness 80` はデフォルト設定です。デフォルト値は、80 に設定されています。最大値は 100（半透明の画面）より上に設定できません。最小値は 0（完全に黒くなった画面）に設定できます。

- セッションの再接続が成功した場合（またはセッションが切断された場合）に通知が表示されます。この通知は、セッションインターフェイスの右上に表示されます：



- 自動再接続およびセッション画面の保持コントロールの下に表示されるセッション画面では、セッションの接続状態を知らせるメッセージが提供されます。アクティブなセッションに戻るには、[再接続のキャンセル] をクリックします。

Citrix Optimized Teams での背景のぼかしと置き換え

Mac 向け Citrix Workspace アプリの Citrix Optimized Teams で、背景のぼかしと背景の置き換えがサポートされるようになりました。この機能を使用するには、会議中または P2P 呼び出し中に [詳細] > [背景効果を適用する] を選択します。

強化されたノッチスクリーンのサポート

2301 リリース以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリはノッチディスプレイの Mac をサポートしています。Mac は、Retina およびマルチモニターディスプレイの全画面モードでノッチスクリーンをサポートしています。ノッチスクリーンのセッションの領域が大幅に拡大され、より広い画面スペースが提供されています。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。

注:

Citrix Viewer で [Scale to fit below built-in camera] オプションをオンにしないでください。このオプションはデフォルトでは選択されておらず、ノッチディスプレイの Mac でのみ使用できます。

強化されたメニューバーのサポート

2301 リリース以降、CWA では macOS の **[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションを完全にサポートしています。macOS 13 より前のバージョンでは、[システム環境設定] > [Dock とメニューバー] に移動し、**[Automatically hide and show the menu bar in full screen]** オプションをオフにする必要があります。macOS 13 以降のバージョンでは、[システム環境設定] > [デスクトップと Dock] に移動し、[Automatically hide and show the menu bar in full screen] オプションをオフにする必要があります。このオプションはオンまたはオフにできます。この機能強化では、高 DPI スケールもサポートしています。マウスの位置も、接続されているすべての外付けモニターで正確に表示されます。

下の図は、メニューバーが非表示になっているウィンドウを示しています。



下の図は、メニューバーが表示されるウィンドウを示しています。



最適化された Microsoft Teams 通話のスリープモードの機能強化

以前は、最適化された Microsoft Teams 会議に参加しているときに、マウスまたはキーボードの操作がない場合、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams 画面がスリープモードになることがありました。

リリース 2305 以降、最適化された Microsoft Teams 会議中にマウスやキーボードの操作がない場合でも、Citrix Workspace アプリまたは最適化された Microsoft Teams の画面はスリープモードになりません。

連係カメラのサポート

連係カメラを使用すると、iPhone を Web カメラとして使用できるようになります。シームレスな接続を実現するには、iPhone のカメラが Mac デバイスで利用できるように iPhone をマウントします。外部カメラとして Mac デバイスで自動的に表示されるには、iPhone で **[Web カメラ]** > **[自動カメラ選択]** を選択する必要があります。他のカメラには手動で切り替えることができます。たとえば **[Web カメラ]** > **[FaceTime HD カメラ]** のように選択します。連係カメラは有線またはワイヤレスで動作し、高品質の画像を提供します。

前提条件

- この機能は、macOS バージョン 13 を実行している Mac デバイスでサポートされています。
- この機能は、iOS バージョン 16 を実行している iOS デバイスでサポートされています。
- iOS デバイスと Mac デバイスの両方の Citrix Workspace アプリで、同じ Apple アカウントにサインインする必要があります。
- 有線接続の場合、iPhone は USB 経由で Mac デバイスに接続する必要があります。
- ワイヤレス接続するには、iPhone と Mac デバイスが近くにあり、Bluetooth と Wi-Fi がオンになっている必要があります。

以下のような機能を利用できます：

- センターフレーム - 動き回っても画像がフレーム内に収まるようにします。
- ポートレートモード - 画像の背景をぼかします。
- スタジオ証明 - 画像に明るい効果を与えます。背景を暗くし、画像を明るく照らします。
- デスクビュー - iPhone は超広角カメラのフィードを 2 つに分割して、机の上と顔を同時に表示します。
- 画面の共有 - iPhone は超広角カメラのフィードを 2 つに分割して、机の上と顔を同時に表示します。ビデオ会議アプリで利用できるウィンドウ共有機能を使用して、デスクビューフィードを共有できます。

カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP)

収集データ	説明	使用目的
構成および使用状況データ	Citrix カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) では、Mac 向け Citrix Workspace アプリの構成および使用に関するデータが収集され、そのデータが Citrix と Google Analytics に自動的に送信されます。	このデータは、Citrix Workspace アプリの品質、信頼性、およびパフォーマンスを向上させる目的で使用させていただきます。

追加情報

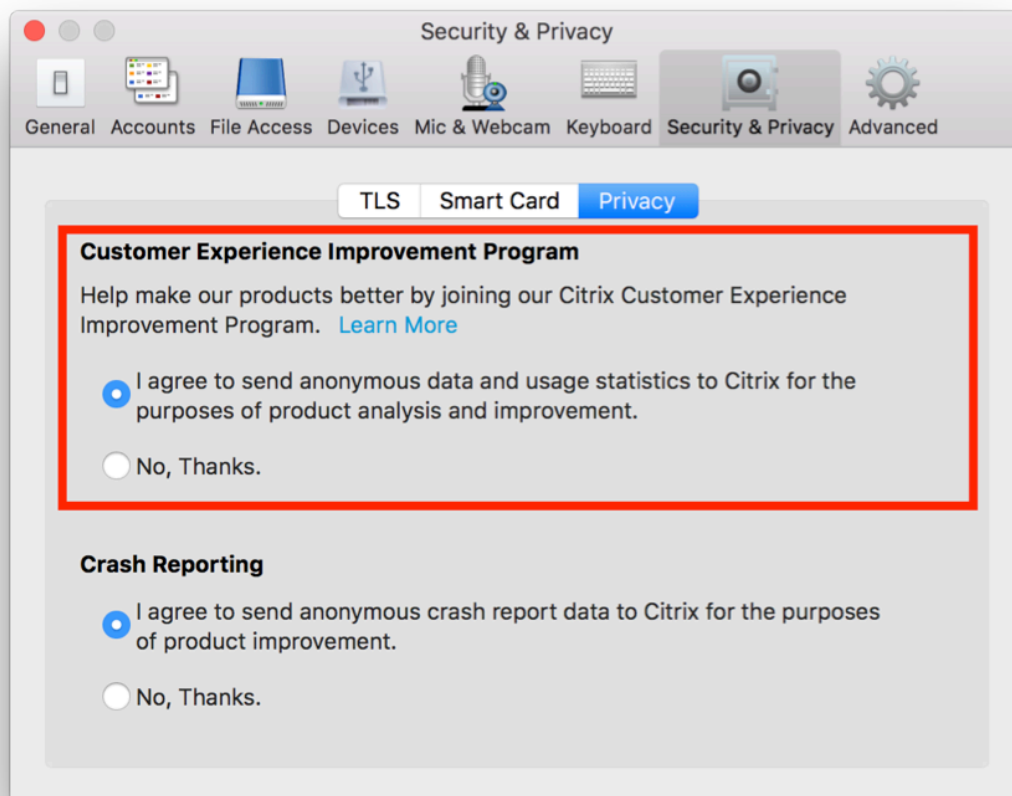
Citrix は、お客様のデータを Citrix との契約条件に従って処理します。お客様のデータは、[Citrix Trust Center](#)で入手できる[Citrix Services Security Exhibit](#)に従って保護されます。

Citrix は、CEIP の一環として、Google Analytics を使用して Citrix Workspace アプリから特定のデータを収集します。[Google Analytics のために収集されたデータの Google での取り扱い方法について確認してください。](#)

Citrix および Google Analytics への CEIP データの送信を無効にするには、次の手順を実行します：

1. [環境設定] ウィンドウで [セキュリティとプライバシー] を選択します。
2. [プライバシー] タブを選択します。

3. [いいえ] を選択して CEIP を無効にするか、参加を見送ります。
4. [OK] をクリックします。



ターミナルで以下のコマンドを実行して CEIP を無効にすることもできます：

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas "CEIPEnabled"-bool NO
```

注：

欧州連合（EU）、欧州経済領域（EEA）、スイス、および英国（UK）のユーザーのデータは収集されません。

Google Analytics によって収集される特定のデータ要素は次のとおりです：

オペレーティングシステムバージョン	Workspace アプリバージョン	汎用 USB リダイレクトの使用	ストア構成
Citrix Enterprise Browser の使用状況	Citrix Virtual Apps and Desktops のセッション起動状態	自動更新の設定	自動更新の状態

セッションの起動方法	アンインストール情報	非アクティブタイムアウト機能の使用状況	電子メール検出機能の使用状況
カスタム Web ストア機能の使用状況	再接続の設定	Global App Config Service の使用状況	キーボード復元の使用状況
パスワードの削除機能の使用状況	チャンネルの自動更新	接続リリースの詳細	

注:

- Citrix Enterprise Browser は、以前は Citrix Workspace Browser と呼ばれていました。

アプリケーションの配信

Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS でアプリケーションをユーザーに配信するときは、アプリケーションにアクセスするユーザーのエクスペリエンスを向上させるために、次のオプションについて検討します:

Web アクセスモード

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、構成を必要とせずに、アプリケーションやデスクトップに対するブラウザーベースのアクセスである Web アクセスを実行できます。Workspace for Web を Web ブラウザーで開き、使用するアプリケーションを選択して実行するだけです。Web アクセスモードでは、ユーザーのデバイスのアプリフォルダーにアプリのショートカットが置かれます。

セルフサービスモード

StoreFront アカウントを Mac 向け Citrix Workspace アプリに追加するか、StoreFront サイトを参照してセルフサービスモードを使用するよう Mac 向け Citrix Workspace アプリを構成します。これによって、ユーザーに Mac 向け Citrix Workspace アプリ経由でアプリケーションにサブスクライブすることを許可するセルフサービスモードを構成できます。この拡張ユーザーエクスペリエンスはモバイルアプリケーションストアのものと同様です。セルフサービスモードでは、必要に応じて必須設定、自動プロビジョニング設定、お勧めのアプリキーワード設定を構成できます。いずれかのユーザーがアプリケーションを選択すると、そのアプリケーションに対するショートカットがユーザーデバイスのアプリフォルダーに置かれます。

StoreFront 3.0 サイトにアクセスすると、Mac 向け Citrix Workspace アプリのプレビューが表示されます。

Citrix Virtual Apps ファームでアプリケーションを公開する場合、StoreFront ストアを介したアプリケーションにユーザーがアクセスするときの利便性を高めるため、公開されたアプリのわかりやすい説明を含めるようにしてください。この説明は、Mac 向け Citrix Workspace アプリを介してユーザーに表示できます。

セルフサービスモードの構成

前述のように、StoreFront アカウントを Mac 向け Citrix Workspace アプリに追加するか、StoreFront サイトを参照してセルフサービスモードを使用するよう Mac 向け Citrix Workspace アプリを構成することができます。これによって、ユーザーに Mac 向け Citrix Workspace アプリのユーザーインターフェイスを使用してアプリケーションにサブスクライブすることを許可するセルフサービスモードを構成できます。この拡張ユーザーエクスペリエンスはモバイルアプリケーションストアのものと同様です。

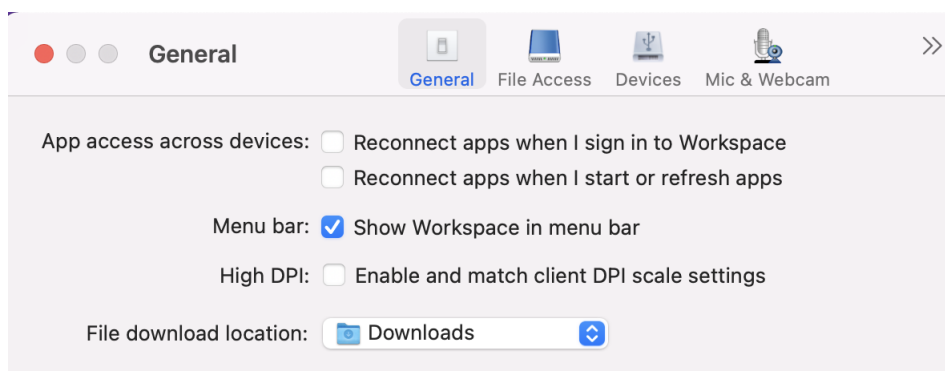
セルフサービスモードでは、必要に応じて必須設定、自動プロビジョニング設定、お勧めのアプリキーワード設定を構成できます。

- Citrix Virtual Apps でアプリを公開しているときに、説明に文字列「**KEYWORDS:Auto**」を追加して、ストアのすべてのユーザーをアプリに自動的にサブスクライブします。ユーザーがストアにログインすると、アプリは自動的にプロビジョニングされ、手動でサブスクライブする必要はありません。
- ユーザーが特定のアプリケーションに簡単にアクセスできるようにするために、そのアプリケーションをユーザーの Mac 向け Citrix Workspace アプリの [おすすめ] 一覧に表示できます。Mac のおすすめの一覧にアプリを表示するには、アプリの説明に文字列「**KEYWORDS:Featured**」を追加します。

詳しくは、[StoreFront](#)のドキュメントを参照してください。

高 DPI のサポート

セッションツールバーを起動し、[環境設定] > [一般] > [高 DPI] に移動して、クライアントの DPI スケール設定を有効にして一致させることができるようになりました。高 DPI オプションはデフォルトで無効になっています。



Citrix Workspace 更新プログラム

GUI を使用した構成

各ユーザーが [環境設定] ダイアログボックスで [Citrix Workspace 更新プログラム] 設定を上書きできます。この処理により、ユーザーごとの構成および設定は、現在のユーザーにのみ適用されます。

1. Mac 向け Citrix Workspace アプリの [環境設定] に移動します。

2. [詳細] ペインで、[アップデート] を選択します。[Citrix Workspace 更新プログラム] ダイアログボックスが開きます。
3. 次のいずれかのオプションを選択します：
 - はい。通知します
 - いいえ。通知しません
 - 管理者指定の設定を使用する
4. 変更を保存するには、ダイアログボックスを閉じます。

StoreFront を使用した Citrix Workspace の更新の構成

管理者は、StoreFront を使用して Citrix Workspace 更新プログラムを構成できます。Mac 向け Citrix Workspace アプリは、「管理者が指定した設定を使用する」を選択したユーザーに対してのみ、この設定を使用します。この設定を手動で構成するには、以下の手順に従ってください。

1. テキストエディターで web.config ファイルを開きます。ファイルのデフォルトの場所は、次のとおりです：
`C:\inetpub\wwwroot\Citrix\Roaming\web.config`
2. このファイルで、ユーザーアカウント要素の場所を見つけます（「Store」は使用環境のアカウント名です）。
例: `<account id=... name="Store">`
`</account>` タグの前に、ユーザーアカウントのプロパティに移動します：
`<properties>`
`<clear />`
`</properties>`
3. `<clear />` タグの後に、自動更新タグを追加します。

auto-update-Check

この自動更新チェックにより、更新が利用可能かどうかを Mac 向け Citrix Workspace アプリで検出します。

有効な値は次のとおりです：

- Auto - 更新プログラムを利用できるときに、通知を受け取る場合に使用します。
- Manual - 更新プログラムを利用できるときに、通知を受け取らない場合に使用します。ユーザーは、[更新の確認] を選択して手動で更新を確認する必要があります。
- Disabled - [Citrix Workspace 更新プログラム] を無効にする場合に使用します。

auto-update-DeferUpdate-Count

最新バージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリに強制的に更新される前に、ユーザーに送信される更新通知の回数を設定します。デフォルト値は、7 です。

有効な値は次のとおりです：

- -1 - 更新プログラムが利用できるようになったときに、ユーザーは後で通知を受け取ります。
- 0 - 更新プログラムが利用できるようになったときに、ユーザーは、最新バージョンの Mac 向け Citrix Workspace アプリに更新するよう強制されます。
- 正の整数 - ユーザーが更新を強制される前に更新通知を受信する回数を指定します。Citrix では、この値を 8 以上に設定しないことをお勧めします。

auto-update-Rollout-Priority

更新が利用可能であることがデバイスに表示されるタイミングを指定します。

有効な値は次のとおりです：

- Auto - 利用可能な更新をユーザーにロールアウトする時期を Citrix Workspace の更新システムが決定します。
- Fast - ユーザーへの自動更新のロールアウトが、Mac 向け Citrix Workspace アプリで高い優先度に設定されます。
- Medium - ユーザーへの自動更新のロールアウトが、Mac 向け Citrix Workspace アプリで中程度の優先度に設定されます。
- Slow - ユーザーへの自動更新のロールアウトが、Mac 向け Citrix Workspace アプリで低い優先度に設定されます。

キーボードレイアウトの同期

キーボードレイアウトの同期によって、クライアントデバイスの優先キーボードレイアウトを切り替えることができます。この機能はデフォルトでは無効になっています。この機能を有効にすると、クライアントのキーボードレイアウトが仮想アプリおよび仮想デスクトップのセッションに自動的に同期されます。

キーボードレイアウトの同期を有効にするには、[環境設定] > [キーボード] に移動し、「リモートサーバーのキーボードレイアウトではなくローカルのレイアウトを使用する」を選択します。

注：

1. ローカルキーボードレイアウトオプションで、クライアント IME (Input Method Editor) を有効にします。日本語、中国語、韓国語を使用しているユーザーは、サーバー IME を使用できます。その場合、[環境設定] > [キーボード] のチェックボックスをオフにして、ローカルキーボードレイアウトオプションを無効にする必要があります。次のセッションに接続すると、セッションは、リモートサーバーで指定されたキーボードレイアウトに戻します。
2. この機能は、クライアントでスイッチがオンになっていて、VDA で対応する機能が有効になっている場合にのみセッションで有効になります。[デバイス] > [キーボード] > [インターナショナル] に項目 [クライアントのキーボードレイアウトを使用する] が追加され、有効な状態であることが表示されます。

バージョン 2210 以降、Mac 向け Citrix Workspace アプリは次の 3 つの異なるキーボードレイアウトの同期モードをサポートします：

- セッション起動時に **1** 回だけ同期する - **Config** ファイルの **CTXIME** 値に応じて、セッション起動時にクライアントのキーボードレイアウトをサーバーに同期します。セッション中にクライアントのキーボードレイアウトに加えた変更は、すぐに有効になりません。変更を適用するには、アプリからサインアウトしてサインインし直します。[セッション起動時に 1 回だけ同期する] モードは、Mac 上の Citrix Workspace アプリのデフォルトのキーボードレイアウトです。
- 動的な同期を許可する - このオプションは、クライアントのキーボードレイアウトを変更したときに、クライアントのキーボードレイアウトをサーバーに同期します。
- 同期させない - クライアントがサーバーのキーボードレイアウトを使用することを示します。

前提条件

- Windows VDA の Unicode キーボードレイアウトマッピング機能を有効にします。詳しくは、Knowledge Center の [CTX226335](#) を参照してください。
- Linux VDA の動的なキーボードレイアウトの同期機能を有効にします。詳しくは、「[動的なキーボードレイアウトの同期](#)」を参照してください。
- Windows Server 2016 または Windows Server 2019 を使用している場合、**HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Citrix** レジストリパスに移動し、キー名 **DisableKeyboardSync** の **DWORD** 値を追加して値を **0** に設定します。

キーボードレイアウトの構成

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、3 つの異なるキーボードレイアウトの同期モードを構成するための UI を提供します。

GUI を使用してキーボードレイアウトの同期を構成するには:

1. メニューバーの Citrix Workspace アプリアイコンで、右上隅にあるアカウントアイコンをクリックして、[環境設定] > [キーボード] に移動します。
[キーボードレイアウトの同期設定] が開きます。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
 - セッション起動時に **1** 回だけ同期する - セッション起動時に 1 度のみキーボードレイアウトが VDA に同期されます。Unicode キーボード入力モードは、[セッション起動時に 1 回だけ同期する] で推奨されるオプションです。
 - 動的な同期を許可する - セッション内でクライアントキーボードが変更されると、キーボードレイアウトは VDA に動的に同期されます。Unicode キーボード入力モードは、[動的な同期を許可する] モードで推奨されるオプションです。
 - 同期しない - クライアントで選択されているキーボードレイアウトに関係なく、クライアントがサーバー上に存在するキーボードレイアウトを使用することを示します。スキャンコードキーボード入力モードは [同期しない] で推奨されるオプションです。[同期しない] オプションに Unicode を選択する場

合、クライアントのキーボードレイアウトが VDA のキーボードレイアウトと同じであることを確認する必要があります。

キーボード入力モードの機能強化 [Technical Preview]

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、キーボード入力モードを構成するための UI を提供します。

GUI を使用してキーボード入力モードを構成するには、次の手順を実行します：

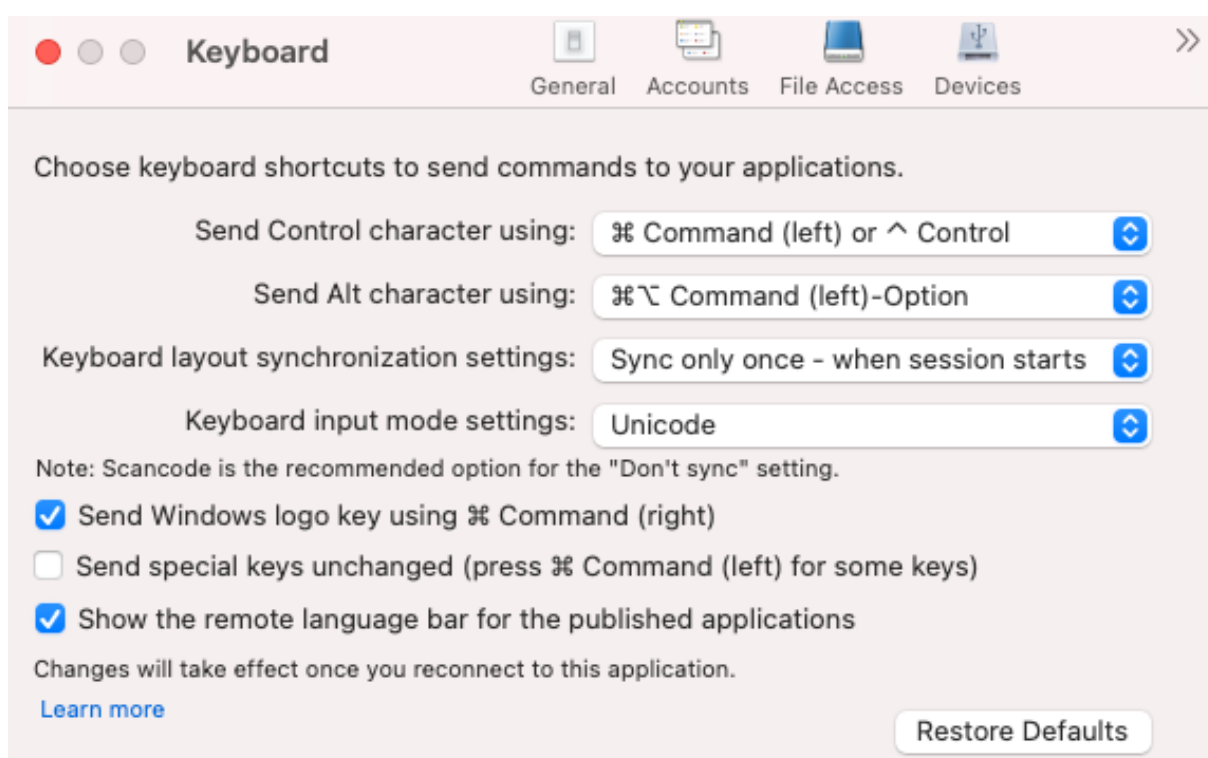
1. メニューバーの Citrix Workspace アプリアイコンで、右上隅にあるアカウントアイコンをクリックして、[環境設定] > [キーボード] に移動します。

キーボード入力モード設定が表示されます

2. 次のいずれかのオプションを選択します：

- [スキャンコード] - クライアント側のキーボードから VDA にキー位置を送信し、VDA が対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトを適用します。
- [Unicode] - クライアント側のキーボードから VDA にキーを送信し、VDA は同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトを適用します。

この拡張機能は、デフォルトで有効になっています。



たとえば、US インターナショナルキーボードレイアウトを使用しているときに、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用しているシナリオを想定してみます。[スキャンコード] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、スキャンコード「1E」が VDA に送信されます。次に、VDA は「1E」を使用して文字「ф」を表示しま

す。[Unicode] を選択して **Caps Lock** の隣のキーを入力すると、文字「a」が VDA に送信されます。そのため、VDA がロシア語のキーボードレイアウトを使用している場合でも、文字「a」が画面に表示されます。

さまざまなキーボードレイアウト同期オプションについて、Citrix では、次のキーボード入力モードをお勧めします。

- [同期しない] オプションの場合、スキャンコードモード。
- [動的な同期を許可する] および [セッション起動時に 1 回だけ同期する] の場合、Unicode モード

注:

アプリケーションに再接続すると、キーボード構成の変更が有効になります。

Citrix Workspace アプリの UI でキーボード入力モードの構成を変更できます。ただし、最高のパフォーマンスを得るには、さまざまなシナリオ、物理キーボード、およびクライアントデバイスに Citrix の推奨モードを使用してください。

制限事項

- この機能を使用している間は、「**Mac** でサポートされているキーボードレイアウト」に記載されているキーボードレイアウトを使用できます。クライアントのキーボードレイアウトを互換性のないレイアウトに変更すると、VDA 側でレイアウトが同期される可能性はありますが、機能を使用できない場合があります。
- 管理者権限で実行しているリモートアプリは、クライアントのキーボードレイアウトと同期することはできません。この問題を解決するには、VDA でキーボードレイアウトを手動で変更するか、UAC を無効にします。
- ユーザーが RDP セッション内で作業している場合、RDP がアプリとして展開されていると、**Alt + Shift** ショートカットを使用してキーボードレイアウトを変更することはできません。回避策として、ユーザーは RDP セッションの言語バーを使用して、キーボードレイアウトを切り替えることができます。

Windows VDA でのキーボードレイアウトのサポート

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
英語	ABC	すべて
英語	ABC - インド	すべて
英語	U.S.	すべて
英語	U.S. インターナショナル - PC	すべて
英語	Dvorak	すべて
英語	Dvorak - 左利き用	すべて
英語	Dvorak - 右利き用	すべて
英語	イギリス向け	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
英語	イギリス向け - PC	すべて
英語	英語 (カナダ)	すべて
英語	オーストラリア向け	すべて
英語	アイルランド語	すべて
フランス語	フランス語	すべて
フランス語	フランス語 - 数字	すべて
フランス語	フランス語 (カナダ) - CSA	11、12
フランス語	カナダ - CSA	13
フランス語	フランス語 (スイス)	すべて
フランス語	フランス語 - PC	すべて
ドイツ語	ドイツ語	すべて
ドイツ語	オーストリア語	すべて
ドイツ語	ドイツ語 (スイス)	すべて
スペイン語	スペイン語	すべて
スペイン語	スペイン語 - ISO	10、11
スペイン語	スペイン語 - レガシー	12、13
スペイン語	中南米言語	すべて
スウェーデン語	スウェーデン語	すべて
スウェーデン語	スウェーデン語 - レガシー	12、13
スウェーデン語	スウェーデン語 - Pro	10、11
チェコ語	チェコ語	すべて
デンマーク語	デンマーク語	すべて
フィンランド語	フィンランド語	すべて
ハンガリー語	ハンガリー語	すべて
イタリア語	イタリア語	すべて
イタリア語	イタリア語 - タイプライター	10、11
イタリア語	イタリア語 - QZERTY	12、13
ギリシャ語	ギリシャ語	すべて
オランダ語	ベルギー言語	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
オランダ語	オランダ語	すべて
ロシア語	ロシア語	すべて
ロシア語	ロシア語 - PC	すべて
クロアチア語	クロアチア語 - PC	すべて
スロバキア語	スロバキア語	すべて
スロバキア語	スロバキア語 - QWERTY	すべて
トルコ語	トルコ語 F	すべて
トルコ語	トルコ語 Q	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け - ABNT2	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け - レガシー	12、13
ポルトガル語	ブラジル向け - Pro	10、11
ポルトガル語	ポルトガル語	すべて
ウクライナ語	ウクライナ語 - PC	10、11
ウクライナ語	ウクライナ語	12、13
ベラルーシ語	ベラルーシ語	すべて
スロベニア語	スロベニア語	すべて
エストニア語	エストニア語	すべて
ラトビア語	ラトビア語	すべて
ポーランド語	ポーランド語 - Pro	10、11
ポーランド語	ポーランド語	12、13
アイスランド語	アイスランド語	すべて
ノルウェー語	ノルウェー語	すべて
日本語	カタカナ	すべて
日本語	半角カタカナ	すべて
日本語	ローマ字	すべて
日本語	全角ローマ字	すべて
日本語	ひらがな	すべて
日本語	英数字 (Google)	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
日本語	ひらがな (Google)	すべて
日本語	カタカナ (Google)	すべて
日本語	半角カタカナ (Google)	すべて
日本語	全角英数字 (Google)	すべて
韓国語	韓国語 (2-Set)	すべて
中国語 (簡体字)	Pinyin - 簡体字	すべて
中国語 (簡体字)	Sogou pinyin	すべて
中国語 (繁体字)	Pinyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Cangjie - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Zhuyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Sucheng - 繁体字	すべて

Linux VDA、スイス (フランス語) のキーボードレイアウトのサポート

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
英語	ABC	すべて
英語	ABC - インド	すべて
英語	U.S.	すべて
英語	U.S. インターナショナル - PC	すべて
英語	Dvorak	すべて
英語	Dvorak - 左利き用	すべて
英語	Dvorak - 右利き用	すべて
英語	イギリス向け	すべて
英語	イギリス向け - PC	すべて
英語	英語 (カナダ)	すべて
英語	オーストラリア向け	すべて
英語	アイルランド語	すべて
フランス語	フランス語	すべて
フランス語	フランス語 - 数字	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
フランス語	フランス語 (カナダ) - CSA	11、12
フランス語	カナダ - CSA	13
フランス語	フランス語 (スイス)	すべて
フランス語	フランス語 - PC	すべて
ドイツ語	ドイツ語	すべて
ドイツ語	オーストリア語	すべて
ドイツ語	ドイツ語 (スイス)	すべて
スペイン語	スペイン語	すべて
スペイン語	スペイン語 - ISO	10、11
スペイン語	スペイン語 - レガシー	12、13
スペイン語	中南米言語	すべて
ブルガリア語	ブルガリア語	10、11、12
ブルガリア語	ブルガリア語 - 標準	13
スウェーデン語	スウェーデン語	すべて
スウェーデン語	スウェーデン語 - レガシー	12、13
スウェーデン語	スウェーデン語 - Pro	10、11
チェコ語	チェコ語	すべて
デンマーク語	デンマーク語	すべて
フィンランド語	フィンランド語	すべて
ハンガリー語	ハンガリー語	すべて
イタリア語	イタリア語	すべて
イタリア語	イタリア語 - タイプライター	10、11
イタリア語	イタリア語 - QZERTY	12、13
ギリシャ語	ギリシャ語	すべて
ベルギー言語	ベルギー言語	すべて
オランダ語	オランダ語	すべて
ルーマニア語	ルーマニア語 - 標準	すべて
ロシア語	ロシア語	すべて
ロシア語	ロシア語 - PC	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
クロアチア語	クロアチア語 - PC	すべて
スロバキア語	スロバキア語	すべて
スロバキア語	スロバキア語 - QWERTY	すべて
トルコ語	トルコ語 F	すべて
トルコ語	トルコ語 Q	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け - ABNT2	すべて
ポルトガル語	ブラジル向け - レガシー	12、13
ポルトガル語	ブラジル向け - Pro	10、11
ポルトガル語	ポルトガル語	すべて
ウクライナ語	ウクライナ語 - PC	10、11
ウクライナ語	ウクライナ語	12、13
ベラルーシ語	ベラルーシ語	すべて
スロベニア語	スロベニア語	すべて
エストニア語	エストニア語	すべて
ポーランド語	ポーランド語 - Pro	10、11
ポーランド語	ポーランド語	12、13
アイスランド語	アイスランド語	すべて
ノルウェー語	ノルウェー語	すべて
日本語	カタカナ	すべて
日本語	半角カタカナ	すべて
日本語	ローマ字	すべて
日本語	全角ローマ字	すべて
日本語	ひらがな	すべて
日本語	英数字 (Google)	すべて
日本語	ひらがな (Google)	すべて
日本語	カタカナ (Google)	すべて
日本語	半角カタカナ (Google)	すべて
日本語	全角英数字 (Google)	すべて

Mac での言語	Mac での入力方法	対応する Mac OS のバージョン
韓国語	韓国語 (2-Set)	すべて
中国語 (簡体字)	Pinyin - 簡体字	すべて
中国語 (簡体字)	Sogou pinyin	すべて
中国語 (繁体字)	Pinyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Cangjie - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Zhuyin - 繁体字	すべて
中国語 (繁体字)	Sucheng - 繁体字	すべて

デフォルトでは、キーボードレイアウトの同期機能はオンになっています。この機能のみを制御するには、**Config** ファイル(~/**Library/Application Support/Citrix Receiver**/フォルダー)を開いて、「**EnableIMEEnhancement**」設定で値を「true」(有効)または「false」(無効)にします。

注:

セッションの再起動後に設定の変更が有効になります。

言語バー

GUI を使用して、アプリケーションセッションでリモート言語バーを表示または非表示にすることができます。言語バーには、セッションで優先される入力言語が表示されます。以前のリリースでは、VDA のレジストリキーを使用することによってのみ、この設定を変更できました。Mac 向け Citrix Workspace アプリのバージョン 1808 以降では、[環境設定] ダイアログを使用して変更できます。言語バーは、デフォルトでセッションに表示されます。

注:

この機能は、VDA 7.17 以降で動作するセッションで使用できます。

リモート言語バーの表示または非表示を構成する

1. [環境設定] を開きます。
2. [キーボード] をクリックします。
3. [公開アプリケーションのリモート言語バーを表示する] をオンまたはオフにします。

注:

設定の変更は直ちに有効になります。アクティブなセッションの設定を変更できます。入力言語が 1 つだけの場合、リモート言語バーはセッションに表示されません。

Citrix Casting

Citrix Casting は、近くの Citrix Ready ワークスペースハブデバイスに Mac の画面をキャストするために使用されます。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは Citrix Casting がサポートされており、ワークスペースハブに接続されているモニターに Mac の画面をミラーリングできます。

詳しくは、[Citrix Ready ワークスペースハブ](#)のドキュメントを参照してください。

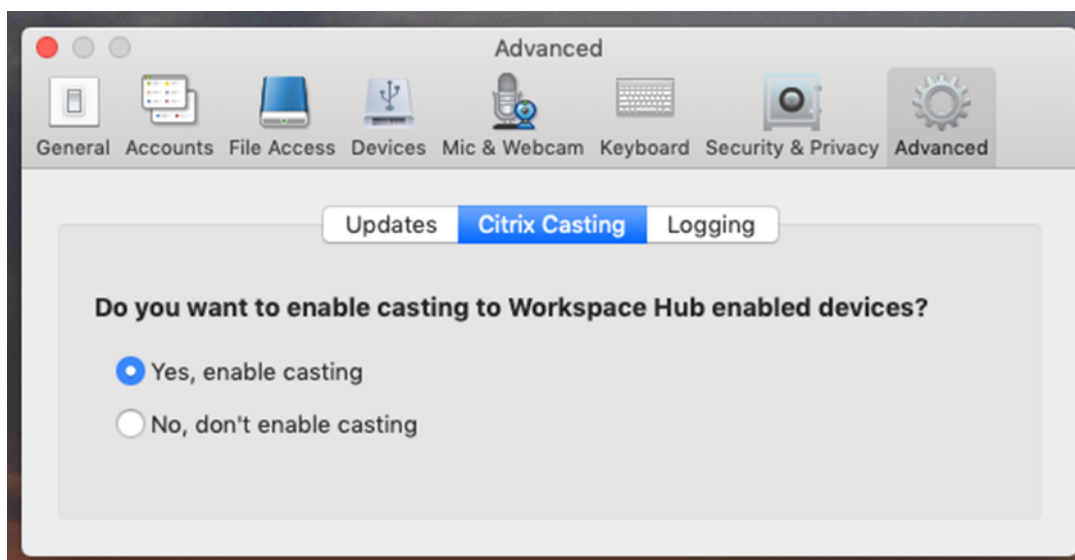
前提条件

- サポートされている最新バージョンの Citrix Workspace アプリ。
- ハブ検出のためにデバイス上で Bluetooth が有効になっている。
- Citrix Ready ワークスペースハブと Citrix Workspace アプリが、同じネットワーク上に存在する。
- Citrix Workspace アプリが実行されているデバイスと Citrix Ready ワークスペースハブとの間でポート 55555 がブロックされていない。
- ポート 55556 は、モバイルデバイスと Citrix Ready ワークスペースハブの間の SSL 接続のデフォルトポートです。Raspberry Pi の設定ページで別の SSL ポートを構成できます。SSL ポートがブロックされている場合、ユーザーはワークスペースハブへの SSL 接続を確立できません。
- Citrix Casting の場合、ポート 1494 がブロックされていない必要があります。

Citrix Casting を有効にする

Citrix Casting は、デフォルトで無効になっています。Mac 向け Citrix Workspace アプリで Citrix Casting を有効にするには：

1. [環境設定] に移動します。
2. パネルで [詳細]、[Citrix Casting] の順に選択します。
3. [はい。キャストを有効にします] を選択します。



Citrix Casting が起動すると通知が表示され、メニューバーに Citrix Casting のアイコンが表示されます。

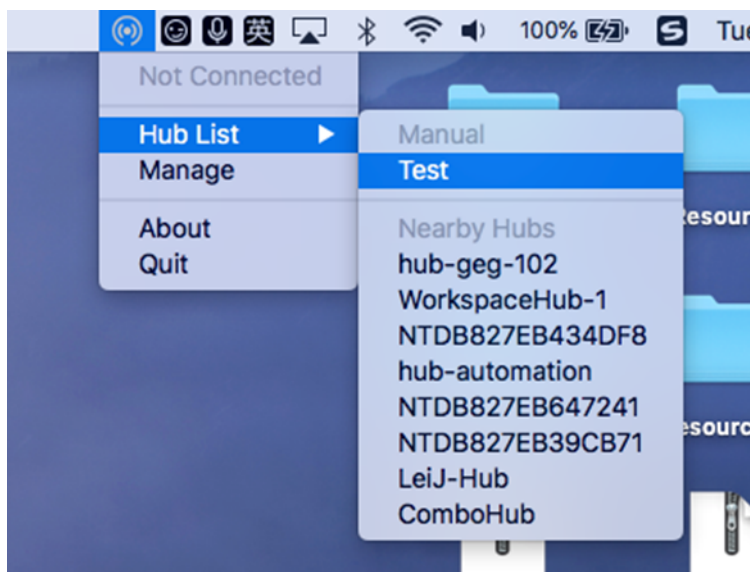
注:

いったん有効にすると、[環境設定] > [詳細] > [Citrix Casting] で [いいえ。キャストを有効にしません] を選択して無効にするまで、Mac 向け Citrix Workspace アプリの実行時に毎回、Citrix Casting が自動的に起動します。

ワークスペースハブデバイスを自動的に検出する

ワークスペースハブに自動的に接続するには:

1. Mac で Citrix Workspace アプリにサインインし、Bluetooth がオンになっていることを確認します。Bluetooth により、近くのワークスペースハブが検出されます。
2. メニューバーで、**Citrix Casting** のアイコンを選択します。このメニューを使って、Citrix Casting の全機能を操作します。
3. [ハブ一覧] サブメニューに、同じネットワーク上の近くにあるすべてのワークスペースハブが表示されます。管理者の Mac に近いハブから降順に、ワークスペースハブの設定名で一覧表示されます。[近くのハブ] の下に、自動検出されたすべてのハブが表示されます。
4. 接続するハブの名前を選択します。



接続中にワークスペースハブの選択をキャンセルするには、[キャンセル] を選択します。ネットワーク接続状況が悪く接続に通常よりも時間がかかる場合にも、[キャンセル] を使ってキャンセルすることができます。

注:

選択したハブがメニューに表示されないことがあります。しばらくしてから、[ハブ一覧] メニューをもう一度確認するか、手動でハブを追加してください。Citrix Casting でワークスペースハブのブロードキャストを定期的に受信します。

ワークスペースハブデバイスを手動で検出する

[ハブ一覧] メニューに Citrix Ready ワークスペースハブデバイスが見つからない場合は、ワークスペースハブの IP アドレスを手動で追加してアクセスします。ワークスペースハブを追加するには:

1. Mac で Citrix Workspace アプリにサインインし、Bluetooth がオンになっていることを確認します。Bluetooth により、近くのワークスペースハブが検出されます。
2. メニューバーで、**Citrix Casting** のアイコンを選択します。
3. メニューで [管理] を選択します。[ハブの管理] ウィンドウが開きます。
4. [新規追加] をクリックして使用するハブの IP アドレスを入力します。
5. デバイスが追加された後、[ハブ名] 列にハブのフレンドリ名が表示されます。この名前を、[ハブ一覧] サブメニューの [手動] に表示されるハブの識別名として使用します。

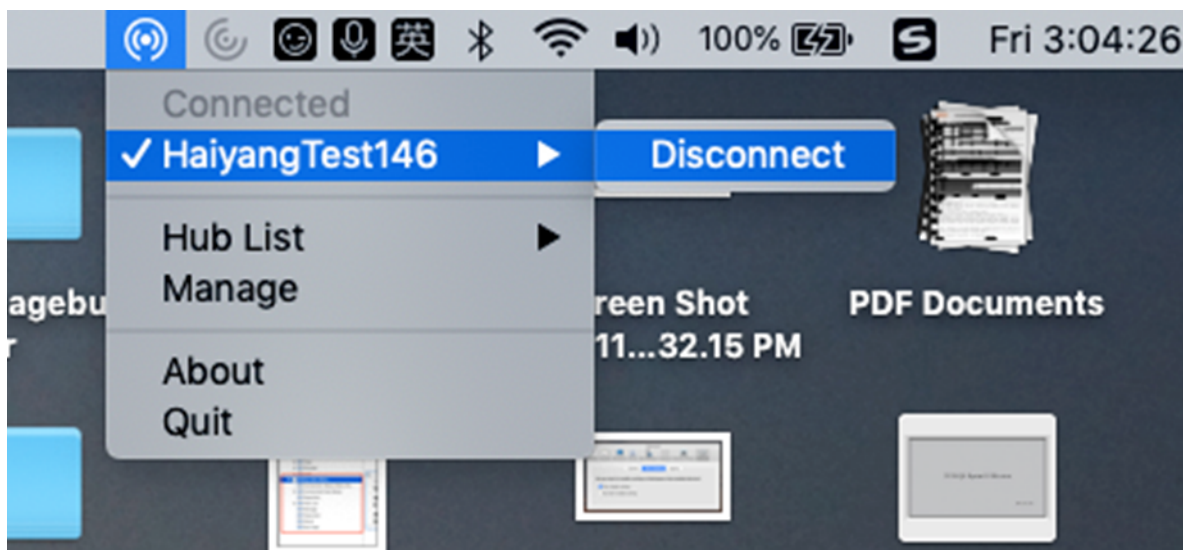
注:

現在、ミラーモードのみがサポートされています。[表示モード] 列では、[ミラー] のみがオプションとして表示されます。

ワークスペースハブを切断する

現在のセッションを切断し、Citrix Ready ワークスペースハブを自動または手動で終了できます。

- 画面キャストのセッションを自動的に切断するには、ノートブックを閉じます。
 - 画面キャストのセッションを手動で切断するには、以下を実行します:
1. **Citrix Casting** のアイコンを選択します。
 2. ハブ一覧で、対象のワークスペースハブの名前を選択します。[切断] オプションが右側に表示されます。
 3. [切断] を選択してハブを切断します。



既知の問題

- ミラーリングされた画面を表示するときに、わずかな遅延が発生することがわかっています。ネットワーク接続状況が悪い場合、遅延時間が長くなることがあります。
- Citrix Ready ワークスペースハブで SSL が有効になっていて、このハブの証明書が信頼されていない場合、通知ウィンドウが表示されます。この問題を解決するには、キーチェーンツールを使用して、信頼された機関からの証明書の一覧に証明書を追加します。

クライアント側のマイク入力

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、クライアント側の複数のマイク入力をサポートします。ユーザーは、ローカルのマイクを使用して以下の操作を実行できます。

- ソフトフォンでの通話や Web 会議などのライブイベント。
- ホストされている録音アプリケーション（ディクテーションプログラムなど）の使用。
- 録画と録音。

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、デジタルディクテーションがサポートされます。

ユーザーは、デバイスに接続されたマイクを使用できます。**Mac 向け Citrix Workspace** アプリの [環境設定] の [マイクと **Web** カメラ] タブで、次のいずれかの設定を選択します：

- マイクと Web カメラを使用する
- マイクと Web カメラを使用しない
- 毎回確認する

[毎回確認する] を選択すると、接続するたびに、そのセッションでマイクを使用するかどうかを確認するダイアログボックスが開きます。

Windows 特殊キー

Mac 向け Citrix Workspace アプリには、Mac キーボードで Windows アプリケーションのファンクションキーなどの特殊キーを簡単に使用するためのオプションが多数用意されています。[キーボード] タブでは、必要に応じて以下のオプションを選択できます：

- Ctrl キー用のショートカット：セッション内で Ctrl キーと文字キーの組み合わせとして使用する Mac キーボードの組み合わせを指定します。ここで [⌘ (command) または ^ (control)] を選択すると、使い慣れた command+ 文字キーの Mac ショートカットを Windows の Ctrl+ 文字キーとして使用できます。[^ (control)] を選択すると、control+ 文字キーを Ctrl+ 文字キーとして使用できます。
- Alt キー用のショートカット：セッション内で、Alt キーとして使用する Mac キーボードのキーを指定します。ここで [⌘⌥ (command+option)] を選択すると、Mac キーボードの command+option+ 文字キーを、Windows の Alt+ 文字キーの組み合わせとして使用できます。[⌘ (command)] を選択すると、command キーを Alt キーとして使用できます。

- Windows ログキーとして右側の ⌘ (command) を使用する: Mac キーボードの右側にある command キーを Windows ログキーとして使用できます。このオプションが無効な場合、右側の command キーは左側の command キーと同じように動作します。この場合、Windows ログキーを使用するには、[キーボード] メニューを使用します ([キーボード] > [Windows ショートカットを送信] > [スタート])。
- 特殊キーをそのまま送信する: チェックボックスをオンにすると、特殊キーの変換が無効になり、Mac キーボードの操作がそのままセッションに送信されます。たとえば、option キーとテンキーの 1 キーを一緒に押すと、セッションでは F1 キーに変換されます。この動作を変更し、セッションでは 1 キーとして処理されるように設定できます。そのためには、[特殊キーをそのまま送信する] チェックボックスをオンにします。このチェックボックスはデフォルトでオフになっており、option+1 キーは F1 キーに変換されます。

ファンクションキーやその他の特殊キーをセッション内で使用するとき、[キーボード] メニューを使用することもできます。

テンキーが付属しているキーボードでは、さらに以下のキー操作を使用できます:

PC キー	Mac キー操作
挿入	テンキーの 0 (ゼロ) キー。Num Lock をオフにする必要があります。 clear キーを使ってこれをオンまたはオフにすることができます。option+help
削除	テンキーの小数点キー。Num Lock をオフにする必要があります。 clear キーを使ってこれをオンまたはオフにすることができます。clear
F1 から F9	option+1~9 (テンキー)
F10	option+0 (テンキー)
F11	option+ テンキーの負符号 (-) キー
F12	option+ テンキーの正符号 (+) キー

Windows のショートカットやキーの組み合わせ

Mac キーボードからのキーの組み合わせ (著作権記号「©」を入力する option+G キーなど) は、リモートセッションでも正しく処理されます。ただし、セッション中の一部のキー操作は、リモートのアプリケーションやデスクトップで処理されません。Mac オペレーティングシステム側で処理されます。この場合、そのキー操作により Mac オペレーティングシステムの機能がトリガーされます。

また、セッションで Ins など一部の Windows キーを使用しようと思っても、通常の Mac キーボードにこれらのキーはありません。Windows 8 では、チャームやアプリコマンドを表示したり、アプリのスナップや切り替えを行ったりするための専用のショートカットがあります。Mac キーボードでは、これらのショートカットを使用できません。ただし、[キーボード] メニューを使用してリモートデスクトップやアプリケーションに送信できます。

キーボードやキー操作の構成は、デバイスにより大きく異なることがあります。このため、Mac 向け Citrix

Workspace アプリには、セッション内のアプリケーションやデスクトップにキー操作を正しく転送するためのオプションが用意されています。これらのキー操作については、下の表を参照してください。ここで示されているのは、デフォルトの動作です。Citrix Workspace アプリやそのほかの設定でデフォルト値を変更すると、異なるキー操作が送信されてリモート PC アクセスにおける動作が異なる場合があります。

重要

新しい Mac キーボードでは、下の表に示す一部のキーの組み合わせを使用できない場合があります。この場合、これらのキー操作をセッションで使用するには、[キーボード] メニューを使用します。

下の表について、以下の点に注意してください：

- Mac キーボードの特殊キーは小文字で示します（ファンクションキーを除く control、command、option など）。また、英字キーは大文字で表記されていますが、Shift キーを同時に押すという意味ではありません。
- キー名の間のプラス記号 (+) は、それらのキーを同時に押すことを示します（control+C など）。
- 文字キーはテキスト入力を作成し、英数字と句読点のすべてを含みます。特殊キーは単独ではテキスト入力を作成せず、修飾キーや制御キーとして機能します。Ctrl (control)、Alt、Shift (shift)、command、option、方向キー、およびファンクションキーが含まれます。
- 使用するメニューは、そのセッションの Citrix Viewer メニューを指します。
- ユーザーデバイスの構成によっては、一部のキーの組み合わせが意図したとおりに機能しない場合があります。この場合、その代替操作を示します。
- fn キーは Mac キーボードの修飾キーのうちの 1 つで、F1～F12 キーは PC または Mac キーボードの各ファンクションキーに相当します。

Windows キー	Mac の場合
Alt+ 文字キー	command+option+ 文字キー（たとえば、セッションで Alt+C キー操作を使用するには、command+option+C を押します）
Alt+ 特殊キー	option+ 特殊キー（option+tab など）。 command+option+ 特殊キー (command+option+tab など)
Ctrl+ 文字キー	command+ 文字キー（command+C など）。 control+ 文字キー（control+C など）
Ctrl+ 特殊キー	control+ 特殊キー（control+F4 など）。command+ 特殊キー（command+F4 など）
Ctrl/Alt/Shift/Windows ロゴ + ファンクションキー	** [キーボード] メニューの [ファンクションキーを送信] **> (control/option/shift/command を押しながら) [F1～F12]
Ctrl+Alt	control+option+command
Ctrl+Alt+Del	control+option+fn+command+delete。[キーボード] メニューの [Ctrl+Alt+Del を送信]

Windows キー	Mac の場合
削除	Delete。[キーボード] メニューの [キーを送信] > [Del]。fn+backspace (一部の US キーボードでは fn+delete)
End	End。fn+ 右方向キー
Esc	Esc。[キーボード] メニューの [キーを送信] > [Esc]
F1 から F12	F1~F12。[キーボード] メニューの [ファンクションキーを送信] > [F1~F12]
ホーム	Home。fn+ 左方向キー
Ins	[キーボード] メニューの [キーを送信] > [Ins]
NumLock	Clear
PgDn	PgDn。fn+ 下方向キー
PgUp	PgUp。fn+ 上方向キー
Space バー	[キーボード] メニューの [キーを送信] > [スペース]
Tab	[キーボード] メニューの [キーを送信] > [Tab]
Windows ロゴ	右側の command キー (デフォルトのキーボード設定)。[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [スタート]
チャームを表示するキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [チャーム]
アプリコマンドを表示するキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [アプリコマンド]
アプリをスナップするキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [スナップ]
アプリを切り替えるキー	[キーボード] メニューの [Windows ショートカットを送信] > [アプリの切り替え]

IME (Input Method Editor) とインターナショナルキーボードレイアウトの使用

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ユーザーデバイス (クライアント) 側またはサーバー側の IME (Input Method Editor) を使用できます。

クライアント側 IME が有効な場合、ユーザーが入力する文字列は、別ウィンドウではなく入力ポイントに直接入力されます。

また、Mac 向け Citrix Workspace アプリで使用するキーボードレイアウトを選択することもできます。

クライアント側の **IME** を有効にするには

1. [Citrix Viewer] メニューバーで、[キーボード] > [インターナショナル] > [クライアント **IME** を使用] を選択します。
2. サーバー側の IME が直接入力モードまたは半角英数モードになっていることを確認します。
3. Mac 側の IME（入力プログラム）を使用して文字列を入力します。

IME 入力時の確定前文字列の挿入ポイント（^④）を表示するには

- [Citrix Viewer] メニューバーで、[キーボード] > [インターナショナル] > [変換中マークを使用] を選択します。

サーバー側の **IME** を使用するには

- クライアント側の IME が半角英数モードになっていることを確認します。

サーバー側 **IME** の入力モードキーの割り当て

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、サーバー側の Windows IME で入力モードを切り替えるときに使用するキーが、特定の Mac キーボードに割り当てられます。次の表は、サーバー側のシステムロケールの設定と、Mac キーボードの **option** キーに割り当てられる Windows IME の入力モードキーを示しています：

サーバー側システムロケール	サーバー側 IME の入力モードキー
日本語	漢字キー（日本語キーボードの Alt + 半角/全角）
韓国語	右 Alt キー（韓国語キーボードのハングル/英語切り替え）

インターナショナルキーボードレイアウトを使用するには

- クライアント側およびサーバー側で、サーバー側のデフォルトの入力言語と同じキーボードレイアウトが設定されていることを確認してください。

複数モニター

Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、複数のモニターにまたがるフルスクリーンモードを実行できます。

1. Citrix Viewer を開きます。

2. 要件に基づいて、メニューバーで [表示] をクリックして、次のオプションのいずれかを選択します:

- フルスクリーンにする - プライマリモニターのみ全画面にします。
- すべてのディスプレイをフルスクリーンで使用する - 接続されているすべてのモニターを全画面にします。

3. Citrix Virtual Desktops の画面を複数のモニターの間にドラッグします。

画面がすべてのモニターに拡張されます。

制限事項

- 単一モニターのフルスクリーンまたはすべてのモニターを使ったフルスクリーンモードのみがサポートされています。これはメニューアイテムを使って構成できます。
- Citrix では、最大でも 2 台のモニターを使用することをお勧めします。3 台以上のモニターを使用すると、セッションのパフォーマンスが低下したり、ユーザビリティの問題が発生する可能性があります。
- フルスクリーンモードは、ノッチのある Mac では使用できません。

デスクトップツールバー

ウィンドウモードおよびフルスクリーンモードのどちらでもデスクトップツールバーにアクセスできるようになりました。以前は、フルスクリーンモードでのみデスクトップツールバーが表示されていました。ツールバーには、ほかにも次のような変更が追加されています:

- ツールバーから [ホーム] ボタンが削除されました。この機能は、次のコマンドを使って実行できます:
 - Cmd+Tab を押して、前のアクティブなアプリケーションに切り替えます。
 - Ctrl+ 左矢印を押して、前のスペースに切り替えます。
 - 内蔵のトラックパッドを使って、または Magic Mouse のジェスチャにより別のスペースに切り替えます。
 - フルスクリーンモード時に画面の端にカーソルを動かすと、アクティブにするアプリケーションを選択できるドックが表示されます。
- ツールバーから [ウィンドウ] ボタンが削除されました。次のいずれかの方法に従って、フルスクリーンモードからウィンドウモードに切り替えます:
 - OS X 10.10 で、ドロップダウンメニューバーにある緑色のウィンドウボタンをクリックします。
 - OS X 10.9 で、ドロップダウンメニューバーにある青色のメニューボタンをクリックします。
 - OS X のすべてのバージョンで、ドロップダウンメニューバーにある [表示] メニューから [フルスクリーンを解除] を選択します。
- 複数モニターを使った全画面のウィンドウ間でのドラッグがサポートされています。


ワークスペースコントロール

ワークスペースコントロール機能を有効にすると、ユーザーがセッションの途中でデバイスを切り替えても、新しいデバイス上でそのデスクトップやアプリケーションでの作業を継続できます。たとえば、病院で臨床医がほかのワー

クステーションに移動しても、移動先のデバイスでデスクトップやアプリケーションを起動し直す必要がなくなります。

ポリシーおよびクライアント側ドライブのマッピングの構成は、ユーザーがほかのデバイスに移動したときに、そのデバイスに適したものに自動的に切り替わります。ポリシーおよびマッピングの構成は、ユーザーがログオンするデバイスに応じて動的に適用されます。たとえば、医療従事者は救急処置室のユーザーデバイスからサインアウトし、レントゲン室のワークステーションにサインインできます。レントゲン室でのセッションに適したポリシー、プリンターマッピング、およびクライアント側ドライブのマッピング設定が、レントゲン室のセッションで有効になります。

ワークスペースコントロール設定を構成するには

1. Mac 向け Citrix Workspace アプリウィンドウで  のアイコンをクリックして、[環境設定] を選択します。
2. [一般設定] タブをクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを選択します：
 - Citrix Workspace アプリの起動時にアプリに再接続します。ユーザーが Citrix Workspace を起動してログオンしたときに、切断セッションに再接続されます。
 - アプリの起動時または更新時に再接続する：ユーザーがアプリを起動したとき、および Mac 向け Citrix Workspace アプリのメニューで [アプリケーション一覧の更新] を選択したときに、切断セッションに再接続されます。


クライアント側ドライブのマッピング

クライアント側ドライブのマッピング機能を有効にすると、セッション内でユーザーデバイス上のローカルドライブ (CD-ROM ドライブ、DVD ドライブ、USB メモリスティックなど) にアクセスできるようになります。サーバー構成でクライアント側ドライブのマッピングが許可されている場合、ユーザーはローカルに保存されているファイルにアクセスして、セッション中にそれらのファイルで作業を行うことができます。ユーザーは、ローカルドライブまたはサーバー上のドライブに、それらを保存することもできます。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、CD-ROM ドライブ、DVD ドライブ、USB メモリスティックなどのハードウェアデバイスがマウントされるユーザーデバイス上のディレクトリを監視して、セッション内で追加された新しいディレクトリを、サーバーで使用可能な最初のドライブ文字に自動的にマップします。

ユーザーは、Mac 向け Citrix Workspace アプリの [環境設定] を使用して、マップされたドライブに対する読み取りと書き込みアクセスを制御できます。

マップされたドライブの読み取りと書き込みアクセスを制御するには

1. Mac 向け Citrix Workspace アプリのホームページで  のアイコンをクリックし、[環境設定] を選択します。
2. [ファイルアクセス] をクリックします。
3. 以下のいずれかのアクセスレベルを選択します：
 - 読み出し/書き込み
 - 読み取り専用

- アクセスなし
 - 毎回確認する
4. 変更内容を適用するには、既存のセッションからログオフして、再接続します。

カスタム Web ストア

Mac 向け Citrix Workspace アプリから組織のカスタム Web ストアにアクセスできます。この機能を使用するには、管理者はカスタム Web ストアを Global App Configuration Service の `allowedWebStoreURLs` プロパティで許可されている URL の一覧に追加する必要があります。

エンドユーザー向けの Web ストア URL の構成について詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。

カスタム Web ストアの URL を追加するには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリを開き、[アカウント] に移動します。
2. [アカウント] ウィンドウで、[+] アイコンをクリックして URL を入力します。

カスタム Web ストアの URL を削除するには、次の手順を実行します：

1. Citrix Workspace アプリを開き、[アカウント] に移動します。
2. [アカウント] ウィンドウで、削除するアカウントを選択し、[-] アイコンをクリックします。

Citrix Workspace アプリの非アクティブタイムアウト

非アクティブタイムアウト機能では、管理者が設定した値に基づいてユーザーは Citrix Workspace アプリからサインアウトされます。管理者は、ユーザーが Citrix Workspace アプリから自動的にサインアウトされるまでのアイドル時間を指定できます。Citrix Workspace アプリウィンドウ内で、指定された時間内にマウス、キーボード、またはタッチによるアクティビティが発生しなくなると、自動的にサインアウトされます。無操作状態によるタイムアウトは、既に実行中の Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS セッションまたは Citrix StoreFront ストアには影響しません。

非アクティブタイムアウト値は、1 分から 1440 分まで設定できます。デフォルトでは、無操作状態によるタイムアウトは構成されていません。管理者は、PowerShell モジュールを使用して `inactivityTimeoutInMinutes` プロパティを構成できます。Citrix Workspace 構成のための PowerShell モジュールをダウンロードするには、[こちら](#)をクリックしてください。

エンドユーザーエクスペリエンスは次のとおりです：

- サインアウトの 3 分前に通知が表示され、サインインしたままにするか、サインアウトするかを選択できます。Mac のシステム環境設定で Citrix Workspace アプリの通知を有効にした場合、通知が表示されます。
- この通知は、設定された非アクティブタイムアウト値が 5 分を超えた場合にのみ表示されます。たとえば、設定された値が 6 分である場合、3 分間の非アクティブが検出されると通知が表示されます。設定された非アクティブタイムアウト値が 5 分以下の場合、ユーザーは通知なしでサインアウトされます。

- ユーザーは [サインイン状態を維持] をクリックして通知を閉じ、アプリの使用を続行できます。その場合、無通信タイマーは構成された値にリセットされます。[サインアウト] をクリックして、現在のストアのセッションを終了することもできます。

StoreFront から Workspace への移行

StoreFront から Workspace への URL 移行により、最小限のユーザー操作でエンドユーザーを StoreFront ストアから Workspace ストアにシームレスに移行できます。

すべてのエンドユーザーが Workspace アプリに StoreFront ストア `storefront.com` を追加することを前提とします。管理者は、Global App Configuration Service で StoreFront URL から Workspace URL へのマッピング `{'storefront.com':'xyz.cloud.com'}` を構成できます。Global App Config Service は、StoreFront URL `storefront.com` が追加された、管理対象デバイスと非管理対象デバイスの両方で、すべての Citrix Workspace アプリインスタンスに設定をプッシュします。

設定が検出されると、Citrix Workspace アプリはマップされた Workspace URL `xyz.cloud.com` を別のストアとして追加します。エンドユーザーが Citrix Workspace アプリを起動すると、Citrix Workspace ストアが開きます。以前に追加された StoreFront ストア `storefront.com` は、Citrix Workspace アプリに追加されたままです。ユーザーは、Citrix Workspace アプリの [アカウントの切り替え] オプションを使用して、いつでも StoreFront ストア `storefront.com` に戻すことができます。管理者は、ユーザーのエンドポイントの Citrix Workspace アプリから StoreFront ストア `storefront.com` の削除を制御できます。削除は、Global App Config Service を介して行うことができます。

この機能を有効にするには、次の手順を実行します：

1. Global App Config Service を使用して、StoreFront から Workspace へのマッピングを構成します。Global App Config Service について詳しくは、「[Global App Configuration Service](#)」を参照してください。
2. App Config Service でペイロードを編集します。

```
1 {
2   "serviceURL": Unknown macro: {
3     "url" }
4
5   ,
6   "settings":{
7
8     "name":"Productivity Apps", [New Store Name]
9     "description":"Provides access StoreFront to Workspace Migration",
10    "useForAppConfig":true,
11    "appSettings":
12    {
13      "macos":[ Unknown macro: {
14        "category" }
```

```
15
16 ]
17 }
18
19 }
20
21 }
22
23 <!--NeedCopy-->
```

注:

初めてペイロードを構成する場合は、**POST**を使用します。

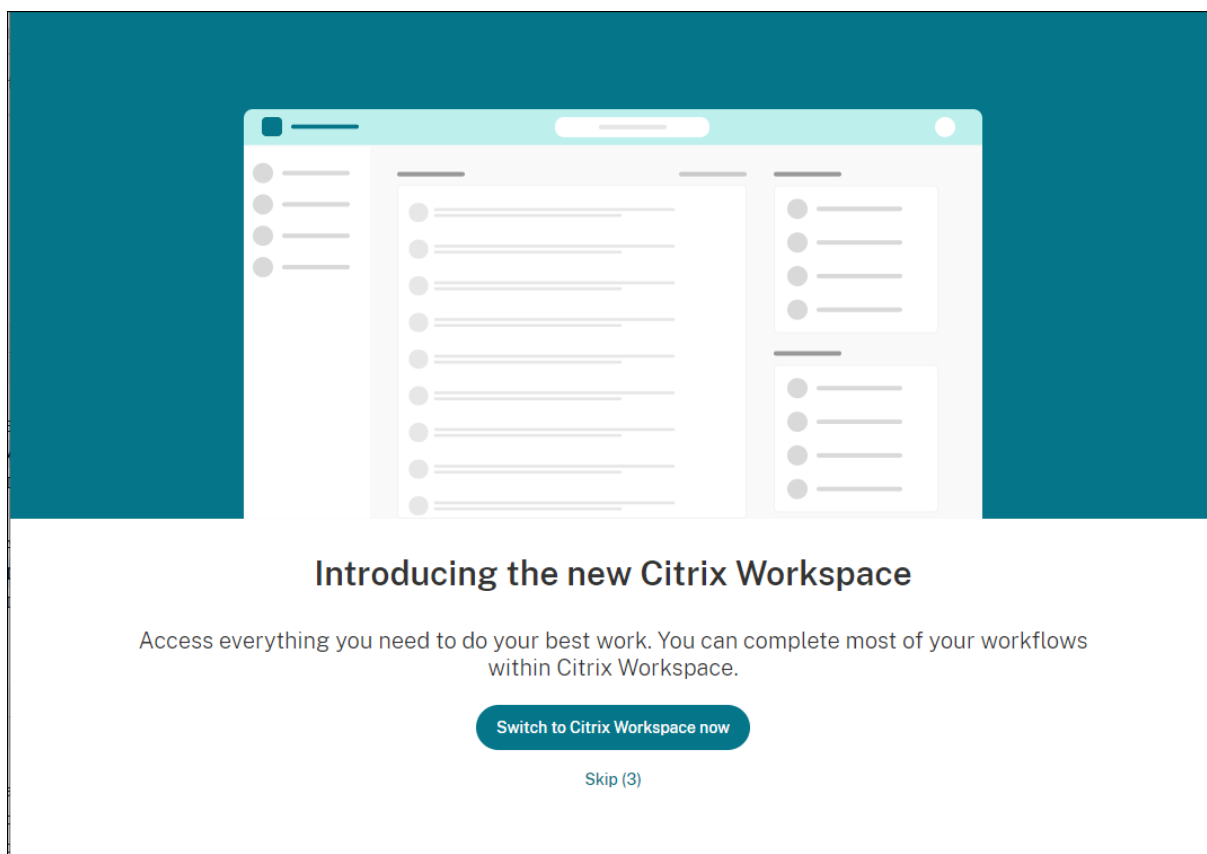
既存のペイロード構成を編集する場合は、**PUT**を使用して、サポートされているすべての設定により構成されたペイロードがあることを確認してください。

3. StoreFront URL `storefront.com` を **serviceURL** セクションの **URL** の値として指定します。
4. セクション **migrationUrl** 内で Workspace URL `xyz.cloud.com` を構成します。
5. **storeFrontValidUntil** を使用して、Citrix Workspace アプリから StoreFront ストアを削除するためのスケジュールを設定します。このフィールドはオプションです。要件に基づいて、次の値を設定できます。
 - YYYY-MM-DD 形式の有効な日付

注:

過去の日付を指定した場合、StoreFront ストアは URL の移行と同時に削除されます。未来の日付を指定した場合、StoreFront ストアは設定された日付に削除されます。

App Config Service 設定がプッシュされると、次の画面が表示されます:



ユーザーが [今すぐ **Citrix Workspace** に切り替える] をクリックすると、Workspace URL が Citrix Workspace アプリに追加され、認証プロンプトが表示されます。ユーザーのオプションは制限されており、移行を最大 3 回遅らせることができます。

Microsoft Teams の機能強化

優先ネットワークインターフェースの構成

メディアトラフィックの優先ネットワークインターフェースを構成できるようになりました。ターミナルで次のコマンドを実行します。

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine NetworkPreference -int <value>
```

必要に応じて、次のいずれかの値を選択します：

- 1: イーサネット
- 2: Wi-Fi
- 3: 携帯ネットワーク
- 4: VPN
- 5: ループバック
- 6: 任意

デフォルトかつ値が設定されていない場合、WebRTC メディアエンジンは利用可能な最適なルートを選択します。

Microsoft Teams

エンコーダーのパフォーマンス見積もりツール

`HdxRtcEngine.exe`は Microsoft Teams のリダイレクトを処理する Citrix Workspace アプリに組み込まれた WebRTC メディアエンジンです。`HdxRtcEngine.exe`は、エンドポイントの CPU が過負荷状態になることなく維持できる最適なエンコーディングの解像度を見積もることができます。使用できる値は、240p、360p、480p、720p、1080p です。

パフォーマンス見積もりプロセスでは、特定のエンドポイントで達成できる最適な解像度を決定するためにマクロブロックコードを利用します。コーデックネゴシエーションには、可能な限り高い解像度が使用されます。コーデックネゴシエーションは、ピア間、またはピアと会議サーバー間で行われることがあります。

エンドポイントには次の 4 つのパフォーマンスカテゴリがあり、それぞれ使用可能な最大解像度が指定されています:

エンドポイントのパフォーマンス	最大解像度	レジストリキー値
高速	1080p (1920x1080 16:9 @ 30fps)	3
中	720p (1280x720 16:9 @ 30fps)	2
低速	360p (640x360 16:9 @ 30 fps) または 640x480 4:3 @ 30 fps)	1
きわめて低速	240p (320x180 16:9 @ 30 fps) または 320x240 4:3 @ 30 fps)	0

たとえば、ビデオエンコーディングの解像度値を 360p に設定するには、ターミナルから次のコマンドを実行します:

```
defaults write com.citrix.HdxRtcEngine OverridePerformance -int 1
```

Microsoft Teams の最適化について詳しくは、「[Microsoft Teams の最適化](#)」を参照してください。

印刷

Mac から印刷するときに PDF ユニバーサル印刷を使用できるようになりました。PDF ユニバーサル印刷を選択した場合、ユニバーサル印刷ドライバーを使用してプリンターを自動作成するときに、HP Color LaserJet 2800 シリーズ PS ドライバーをインストールする必要がなくなりました。

PostScript 印刷

デフォルトでは、自動的にリダイレクトされたクライアントプリンターは、PostScript をサポートする Citrix UPD を使用して作成されます。

詳しくは、サポート記事 [CTX296662](#)を参照してください。

クライアントプリンターのリダイレクト、ユニバーサル印刷の使用、およびユニバーサルプリントドライバーの優先度ポリシーがデフォルトに設定されていることを確認します。また、VDA に HP Color LaserJet 2800 シリーズ PS ドライバーがインストールされていることを確認してください。

ドライバーのインストールについて詳しくは、サポート記事[CTX140208](#)を参照してください。

PDF ユニバーサル印刷

前提条件:

- Mac 向け Citrix Workspace アプリバージョン 2112 以降 - Mac 向け Citrix Workspace アプリの PDF 印刷ストリームの使用を有効にします。
- Citrix Virtual Apps and Desktops バージョン 2112 以降 - 自動作成されたクライアントプリンターの PDF ユニバーサル印刷を有効にします。
- Citrix Studio または Web コンソールでクライアントプリンターのリダイレクトポリシーを有効にします。

✓	> Auto-create PDF Universal Printer User setting -ICA\Printing\Client Printers Enabled (Default: Disabled)	Edit	Unselect
✓	> Auto-create client printers User setting -ICA\Printing\Client Printers Auto-create all client printers (Default: Auto-create all client printers)	Edit	Unselect
✓	> Client printer redirection User setting -ICA\Printing Allowed (Default: Allowed)	Edit	Unselect
✓	> Universal driver preference **** User setting -ICA\Printing\Drivers EMF,XPS,PCL5c,PCL4,PDF,PS (Default: EMF;XPS;PCL5c;PCL4;PS)	Edit	Unselect
✓	> Universal print driver usage User setting -ICA\Printing\Drivers Use universal printing only if requested driver is unavailable (Default: Use u...	Edit	Unselect

**** "PDF" needs to be added manually if absent from the Universal Driver Preference policy

次のオプションのいずれかまたは両方を構成すると、PDF で印刷できます:

1. 各セッションで作成された単一の PDF ユニバーサルプリンターを提供します。
2. 通常の自動作成プリンターには UPD を使用します。

各セッションで作成された単一の **PDF** ユニバーサルプリンターを提供

Mac クライアントまたはその他の PDF 対応クライアントエンドポイントからのセッションで **PDF** ユニバーサルプリンターの作成を有効にするには、Citrix Studio または Web コンソールに移動し、**PDF** ユニバーサルプリンターを自動作成するポリシーを有効にします。

ポリシーを有効にすると、セッションで PDF ユニバーサルプリンターが作成されます。プリンターは **Citrix PDF** プリンターと呼ばれます。

このプリンターをセッションで使用すると、PDF 出力が生成され、クライアントに配信され、エンドポイント上のデフォルトの PDF 処理アプリケーションに渡されます。macOS クライアントの場合、これは通常、組み込みのプレビューアプリケーションですが、Adobe Acrobat Reader などの登録済みの PDF 処理アプリケーションの場合もあります。

通常の自動作成プリンターに **UPD** を使用

Mac クライアントからのセッションでリダイレクトされたすべてのクライアントプリンターで PDF ユニバーサル印刷を有効にするには、Citrix Studio または Web コンソールにアクセスし、ユニバーサル印刷ドライバーの優先ポリシーを構成して PDF メタファイル形式を優先リスト内の PS の前に配置します。

この変更を行った後、PDF 対応の Mac クライアントでユニバーサルドライバーを使用する自動作成プリンターは、ホスト上の HP Color LaserJet 2800 シリーズ PS ドライバーの代わりに Citrix PDF ユニバーサルドライバーを使用します。

自動作成されたプリンターの 1 つをセッションで使用する場合、PDF が印刷ジョブの中間形式になります。ただし、印刷は、選択したクライアント接続プリンターから直接出力されます。

モバイルデバイス管理 (MDM)

September 14, 2023

Citrix Workspace アプリは、モバイルデバイス管理 (MDM) をサポートするようになりました。管理者は、MDM ツールを通じてポリシーを適用することで、Mac 向け Citrix Workspace アプリの構成、保護、サポートを行うことができます。

MDM でサポートされる設定

設定	説明	キー	値	値の種類	デフォルト値	サポートされるリリース
表示/非表示メニューバー	Mac メニューバーで Citrix Workspace メニューを表示または非表示します。	ShowHelperI	true/false	ブーリアン型	True	2208.1

設定	説明	キー	値	値の種類	デフォルト値	サポートされるリリース
Citrix Workspace アプリの自動起動	エンドユーザーがコンピューターの電源を入れるたびに、Mac 向け Citrix Workspace アプリを自動的に起動するかを制御します。	AutoLaunchAppOnReboot	True	ブーリアン型	True	2304
ストア URL の事前構成	管理者がストアの詳細を事前構成して Workspace アプリに追加できるため、エンドユーザーによる構成は必要ありません。	StoreURLs	<Store URL>	文字列	-	2210
エンドユーザーによる新しいストアの追加をブロックする	エンドユーザーがエンドポイントデバイス上の Workspace アプリにストアを追加できないようにします。	BlockStoreAddition	false	ブーリアン型	False	2210

設定	説明	キー	値	値の種類	デフォルト値	サポートされるリリース
自動更新 - AutoUpdateState	ユーザーの操作なしに、自動的に Citrix Workspace アプリを最新バージョンに更新します。	AutoUpdateS	Auto/Manual	文字列	自動	2305
自動更新 - AutoUpdateChannel	自動更新が有効になっている場合、管理者は Workspace アプリが GA の更新やベータ版の更新を受信するかどうかを指定できます。	AutoUpdateChannel	PROD/EAR	文字列	PROD	2201
Azure Active Directory を有効にする	管理者は、Citrix Workspace アプリへの認証を行うユーザーに対して Azure Active Directory の条件付きアクセスポリシーを構成および適用できます。	enableAAD	true/false	ブーリアン型	False	2305

設定	説明	キー	値	値の種類	デフォルト値	サポートされるリリース
Select browser for FIDO2 web Authentication	管理者が、Citrix Workspace アプリへのエンドユーザーの認証に使用するブラウザの種類を選択できます。値の説明については、「 クラウドストアへの接続で FIDO2 を使用した認証のサポート 」を参照してください。	WebBrowserForSystemSession/PrivateSession/Enable/Disable	WebBrowserForSystemSession/PrivateSession/Enable/Disable	ブーリアン型	true	2307
Enable/disable FIDO2 authentication for HDX session	管理者が HDX セッション内で FIDO2 認証を有効または無効にできます。	Fido2Enable	true/false	ブーリアン型	true	2307
StoreFront のクイックアクセスメニュー	管理者が、オンプレミスストアのクイックアクセスメニューを有効または無効にすることができます。	ShowQuickAccessForStoreFront	true/false	ブーリアン型	false	2307

参照用のスキーマ

```
1 <array>
2     <dict>
3         <key>ShowHelperInMenuBar</key>
4         <true/>
5         <key>AutoLaunchAppOnRestart</key>
6         <true/>
7         <key>StoreURLs</key>
8         <array>
9             <string>PROVIDE STORE URL HERE</string>
10        </array>
11        <key>BlockStoreAddition</key>
12        <false/>
13        <key>CEIPEnabled</key>
14        <true/>
15        <key>AutoUpdateState</key>
16        <string>Enable</string>
17        <key>AutoUpdateChannel</key>
18        <string>PROD</string>
19        <key>PayloadDisplayName</key>
20        <string>Citrix Workspace</string>
21        <key>PayloadIdentifier</key>
22        <string>com.citrix.receiver.nomas</string>
23        <key>PayloadType</key>
24        <string>com.citrix.receiver.nomas</string>
25        <key>PayloadUUID</key>
26        <string>3BE38AD3-7D95-423F-BD7B-8A4D1F5208EF</string>
27        <key>PayloadVersion</key>
28        <integer>1</integer>
29        <key>WebBrowserForAuthentication</key>
30        <string>System</string>
31        <key>Fido2Enabled</key>
32        <false/>
33        <key>ShowQuickAccessForStoreFront</key>
34        <true/>
35    </dict>
36 </array>
37
38 <!--NeedCopy-->
```

認証

June 23, 2023

スマートカード

Mac 向け Citrix Workspace アプリは次の構成においてスマートカード認証をサポートします：

- Workspace for Web または StoreFront 3.12 以降でのスマートカード認証。
- Citrix Virtual Apps and Desktops 7 2203 以降。
- XenApp および XenDesktop 7.15 以降。
- Microsoft Outlook や Microsoft Office などのスマートカード対応アプリケーションでは、仮想デスクトップやアプリケーションセッションでドキュメントにデジタル署名を追加したりファイルを暗号化したりできません。
- Mac 向け Citrix Workspace アプリは単一のスマートカードまたは複数のスマートカードでの複数の証明書の使用をサポートします。ユーザーがスマートカードをリーダーに挿入すると、ユーザーデバイス上で実行する、Mac 向け Citrix Workspace アプリを含むすべてのアプリケーションで複数の証明書を使用できるようになります。
- ダブルホップセッションでは、Mac 向け Citrix Workspace アプリとユーザーの仮想デスクトップとの間に追加の接続が確立されます。

Citrix Gateway へのスマートカード認証について

スマートカードを使用して接続を認証する場合、使用可能な証明書が複数あります。Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、証明書を選択するように求められます。証明書を選択すると、Mac 向け Citrix Workspace アプリでスマートカードのパスワードを入力するようにプロンプトが表示されます。認証後、セッションが開始します。

スマートカードに適切な証明書が 1 つしかない場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリはその証明書を使用し、選択を求めるプロンプトは表示されません。ただし、接続を認証してセッションを開始するために、スマートカードに割り当てられたパスワードを入力する必要があります。

スマートカード認証用の PKCS#11 モジュールの指定

注：

PKCS#11 モジュールのインストールは必須ではありません。このセクションの記述は、ICA セッションにのみ適用されます。スマートカードが必要な Citrix Workspace から Citrix Gateway への、または StoreFront へのアクセスでは適用されません。

スマートカード認証用の PKCS#11 モジュールを指定するには：

1. Mac 向け Citrix Workspace アプリで [環境設定] を選択します。
2. [セキュリティとプライバシー] をクリックします。
3. [セキュリティとプライバシー] セクションで、[スマートカード] をクリックします。
4. **PKCS#11** フィールドで適切なモジュールを選択します。一覧に必要なモジュールがない場合は、[その他] をクリックして PKCS#11 モジュールの場所を参照します。
5. 適切なモジュールを選択したら、[追加] をクリックします。

サポートされるリーダー、ミドルウェア、およびスマートカードプロファイル

Mac 向け Citrix Workspace アプリは多くの macOS 互換スマートカードリーダーおよび暗号化ミドルウェアをサポートします。Citrix では以下を使用して操作を検証済みです。

サポートされるスマートカードリーダー:

- 一般的な USB 接続スマートカードリーダー

サポートされるミドルウェア:

- Clarify
- ActiveIdentity クライアントのバージョン
- Charismathics クライアントのバージョン

サポートされるスマートカード:

- PIV カード
- Common Access Card (CAC)
- Gemalto .NET カード

ユーザーデバイスを構成するため、ベンダーの macOS 互換スマートカードリーダーおよび暗号化ミドルウェアにより提供された指示に従います。

制限

- 証明書は、ユーザーデバイス上ではなくスマートカード上に格納されている必要があります。
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ユーザーの選択した証明書が保存されません。
- Mac 向け Citrix Workspace アプリでは、ユーザーのスマートカード PIN が格納または保存されません。PIN の取得はオペレーティングシステムにより処理され、独自のキャッシングメカニズムがある場合があります。
- Citrix Workspace アプリでは、スマートカードが挿入されたときに自動的に切断セッションに再接続されません。
- スマートカード認証で VPN トンネルを使用するには、ユーザーが Citrix Gateway Plug-in をインストールして Web ページ経由でログオンする必要があります。この場合、各手順でスマートカードと PIN を認証に使用します。スマートカードユーザーは、Citrix Gateway Plug-in を使用した StoreFront へのパススルー認証を使用できません。

Azure Active Directory での条件付きアクセス

この認証方法は現在、Mac 向け Citrix Workspace アプリではサポートされていません。

ユーザーエージェント

Citrix Workspace アプリは、他の ID プロバイダー (IdP) への認証のリダイレクトなど、ネットワーク要求で認証ポリシーの構成に使用できるユーザーエージェントを送信します。

注:

ポリシーを構成する場合、バージョン番号を指定しないでください。

シナリオ	ユーザーエージェント
<p>通常の HTTP 要求 – 通常、Citrix Workspace アプリによって行われるネットワーク要求には、一般的なユーザーエージェントが含まれています。たとえば、GET /Citrix/Roaming/Accounts および GET /AGServices/discover などのネットワーク要求には、次のユーザーエージェントが含まれます:</p> <p>クラウドストア – ユーザーがクラウドストアを Citrix Workspace アプリに追加すると、特定のユーザーエージェントを含むネットワーク要求が作成されます。たとえば、パス/core/connect/authorize を含むネットワーク要求です。Citrix Workspace アプリによって送信されるユーザーエージェントは次のとおりです:</p>	<p>CitrixReceiver/23.05.0.36 MacOSX/13.4.0 com.citrix.receiver.nomas X1Class CWACapable</p>
<p>Gateway 高度認証を使用したオンプレミスストア – ユーザーが Gateway で構成された高度認証を使用してオンプレミスストアを Citrix Workspace アプリに追加すると、特定のユーザーエージェントを含むネットワーク要求が作成されます。たとえば、次の要求を含むネットワーク要求です: GET /nf/auth/doWebview.do and GET /logon/LogonPoint/tmindex.html。Citrix Workspace アプリによって送信されるユーザーエージェントは次のとおりです:</p>	<p>Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 10_15_7) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) Citrix Workspace/23.05.0.36 MacOSX/13.4.0 com.citrix.receiver.nomas X1Class CWACapable</p>
<p>カスタム Web ストア – ユーザーがカスタム Web ストアを Citrix Workspace アプリに追加すると、Citrix Workspace アプリによって送信されるユーザーエージェントは次のとおりです:</p>	<p>Mozilla/5.0 (Macintosh; Intel Mac OS X 10_15_7) AppleWebKit/605.1.15 (KHTML, like Gecko) Safari CWA/23.05.0.18 MacOSX/13.4.0</p>

セキュリティで保護された通信

September 14, 2023

サイトと Mac 向け Citrix Workspace アプリ間の通信をセキュアに保護するには、Citrix Gateway など、以下の一連のセキュリティ技術を使用します。Citrix Gateway と Citrix StoreFront の構成について詳しくは、[StoreFront](#)のドキュメントを参照してください。

注:

StoreFront サーバーとユーザーデバイス間の通信を保護するには、Citrix Gateway を使用することをお勧めします。

- SOCKS プロキシサーバーまたはセキュアプロキシサーバー（セキュリティプロキシサーバー、HTTPS プロキシサーバーとも呼ばれます）。プロキシサーバーでネットワークから外部へのアクセスや外部からネットワークへのアクセスを制限して、Citrix Workspace とサーバー間の接続を制御できます。Mac 向け Citrix Workspace アプリは、SOCKS プロトコルとセキュアプロキシプロトコルをサポートしています。
- Citrix Secure Web Gateway。Citrix Secure Web Gateway を使うことで、社内ネットワーク上のサーバーにインターネットを介して接続できる、暗号化された安全な単一のアクセスポイントをユーザーに提供できます。
- Transport Layer Security (TLS) プロトコルによる SSL Relay ソリューション
- ファイアウォール。ネットワークファイアウォールは、送信先アドレスとポート番号に基づいてパケットを通過させたりブロックしたりできます。サーバーの内部 IP アドレスを NAT (Network Address Translation: ネットワークアドレス変換) などの外部インターネットアドレスにマップするファイアウォールを使用する場合は、外部アドレスを構成します。

注:

macOS Catalina 以降、Apple は管理者が構成する必要があるルート CA 証明書と中間証明書について、追加の要件を適用しています。詳しくは、Apple のサポート記事[HT210176](#)を参照してください。

Citrix Gateway

リモートのユーザーが Citrix Gateway を介して XenMobile 展開に接続できるようにするには、StoreFront をサポートするように Citrix Gateway を構成します。このアクセスを有効にする方法は、XenMobile のエディションによって異なります。

ネットワークで XenMobile を展開する場合、Citrix Gateway と StoreFront を統合することで Citrix Gateway を経由して内部ユーザーやリモートユーザーが StoreFront に接続できます。ユーザーは、StoreFront に接続して XenApp の公開アプリケーションや XenDesktop の仮想デスクトップにアクセスします。ユーザーは、Mac 向け Citrix Workspace アプリを使用して接続を行います。

Citrix Secure Web Gateway による接続

Citrix Secure Web Gateway Proxy がセキュリティで保護されたネットワーク内のサーバーにインストールされている場合は、Citrix Secure Web Gateway Proxy をリレーモードで使用できます。リレーモードについて詳しくは、[XenApp および Citrix Secure Web Gateway](#)のドキュメントを参照してください。

ただし、リレーモードで使用する場合、Citrix Secure Web Gateway サーバーはプロキシサーバーとして機能するため、Mac 向け Citrix Workspace アプリで次の項目を構成する必要があります：

- Citrix Secure Web Gateway サーバーの完全修飾ドメイン名。
- Citrix Secure Web Gateway サーバーのポート番号。Citrix Secure Web Gateway バージョン 2.0 では、リレーモードはサポートされていません。

完全修飾ドメイン名には、以下の 3 つの要素を順に指定する必要があります：

- ホスト名
- サブドメイン名
- 最上位ドメイン名

たとえば、`my_computer.example.com` は完全修飾ドメイン名です。ホスト名 (`my_computer`)、サブドメイン名 (`example`)、最上位ドメイン名 (`com`) が順に指定されています。サブドメイン名と最上位ドメイン名の組み合わせ (`example.com`) をドメイン名といいます。

プロキシサーバー経由の接続

プロキシサーバーは、ネットワークから外部へのアクセスや外部からネットワークへのアクセスを制限して、Mac 向け Citrix Workspace アプリとサーバー間の接続を制御するために使います。Mac 向け Citrix Workspace アプリは、SOCKS プロトコルとセキュアプロキシプロトコルの両方をサポートしています。

Mac 向け Citrix Workspace アプリで Web サーバーと通信する場合は、ユーザーデバイス上のデフォルトの Web ブラウザーで構成されているプロキシサーバー設定が使用されます。各ユーザーデバイス上のデフォルトの Web ブラウザーで、プロキシサーバー設定を構成します。

ファイアウォールを介した接続

ネットワークファイアウォールは、送信先アドレスとポート番号に基づいてパケットを通過させたりブロックしたりできます。Mac 向け Citrix Workspace アプリと Web サーバーおよび Citrix 製品のサーバーとの通信がファイアウォールでブロックされないように設定する必要があります。このためには、ユーザーデバイスと Web サーバー間の HTTP トラフィック（一般に標準 HTTP ポート 80、またはセキュアな Web サーバーを使用している場合はポート 443 での通信）がファイアウォールを通過できるように設定します。また、Citrix Workspace と Citrix 製品サーバー間の通信では、ポート 1494 とポート 2598 の受信 ICA トラフィックがファイアウォールを通過できるように設定します。

TLS

Transport Layer Security (TLS) は、SSL プロトコルの最新の標準化バージョンです。IETF (Internet Engineering Task Force) が、TLS の公開標準規格の開発を Netscape Communications から引き継いだときに、SSL という名前を TLS に変更しました。

TLS は、サーバーの認証、データの暗号化、メッセージの整合性の確認を行って、データ通信をセキュアに保護します。米国政府機関をはじめとする組織の中には、データ通信を保護するために TLS の使用を義務付けているところもあります。このような組織では、さらに FIPS 140 (Federal Information Processing Standard) などのテスト済み暗号化基準の使用を義務付けられる場合があります。FIPS 140 は、暗号化の情報処理規格です。

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、ビット長 1024、2048 および、3072 の RSA キーをサポートします。さらに、ビット長 4096 の RSA キーを持つルート証明書がサポートされます。

注

Mac 向け Citrix Workspace アプリは、プラットフォーム (OS X) の暗号化機能を Mac 向け Citrix Workspace アプリと StoreFront の接続に使用します。

次の暗号の組み合わせは、セキュリティを強化するために廃止されました：

- 接頭辞が「TLS_RSA_*」の暗号の組み合わせ
- 暗号の組み合わせ RC4 および 3DES
- TLS_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384 (0x009d)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256 (0x009c)
- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256 (0x003d)
- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA (0x0035)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (0x002f)
- TLS_RSA_WITH_RC4_128_SHA (0x0005)
- TLS_RSA_WITH_3DES_EDE_CBC_SHA (0x000a)

Mac 向け Citrix Workspace アプリは以下の暗号の組み合わせのみをサポートします：

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384 (0xc030)
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384 (0xc028)
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (0xc013)

DTLS 1.0 ユーザーの場合、Mac 向け Citrix Workspace アプリ 1910 以降は以下の暗号の組み合わせのみをサポートします：

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (0xc013)

DTLS 1.0 を使用する場合は、Citrix Gateway のバージョンを 12.1 以降にアップグレードすることをお勧めします。それ以外の場合は、DDC ポリシーに基づいて TLS にフォールバックします。

次のマトリックスは、内部および外部ネットワーク接続の詳細を提供します：

Client cipher set	VDA cipher set	Direct connections								
		TLS			DTLS v1.0			DTLS v1.2		
		Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52
Any	ANY	Y	Y	Y	Y			Y		
	COM	Y	X	X	Y			Y		
	GOV	Y	Y	Y	Y			Y		
COM	ANY	Y	X	X	Y					
	COM	Y	X	X	Y					
	GOV	Y	X	X	Y					
GOV	ANY	Y	Y	Y	X			Y		
	COM	X	X	X	X			X		
	GOV	Y	Y	Y	X			Y		

Client cipher set	VDA cipher set	External connections with Citrix Gateway								
		TLS			DTLS v1.0			DTLS v1.2		
		Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52	Open	FIPS	SP800-52
Any	ANY	Y	Y	Y	Y			X		
	COM	Y	X	X	Y			X		
	GOV	Y	Y	Y	Y			X		
COM	ANY	Y	X	X	Y			X		
	COM	Y	X	X	Y			X		
	GOV	Y	X	X	Y			X		
GOV	ANY	Y	Y	Y	X			X		
	COM	X	X	X	X			X		
	GOV	Y	Y	Y	X			X		

注:

- EDT を正しく機能させるために、Citrix Gateway 12.1 以降を使用します。以前のバージョンは、DTLS モードで ECDHE の暗号の組み合わせをサポートしていません。
- Citrix Gateway は DTLS 1.2 をサポートしていません。そのため、`TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384` と `TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384` はサポートされません。Citrix Gateway が DTLS 1.0 で正しく動作するためには、`TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA` を使用するよう構成する必要があります。

Citrix Workspace アプリの TLS の構成と有効化

TLS のセットアップは、以下の 2 つの手順で行います:

1. Citrix Virtual Apps and Desktops および Citrix DaaS (旧称 Citrix Virtual Apps and Desktops サービス) のサーバー上で SSL Relay をセットアップし、必要なサーバー証明書を入手してインストールします。
2. ユーザーデバイス上で、ルート証明書をインストールします。

ユーザーデバイスへのルート証明書のインストール

TLS 機能が有効になっている Mac 向け Citrix Workspace アプリとサーバーファーム間の通信を TLS でセキュアに保護するには、ルート証明書がユーザーデバイスにインストールされている必要があります。このルート証明書は、サーバー証明書上の証明機関の署名を検証します。

macOS X には、約 100 の商用ルート証明書がインストール済みです。ただし、それ以外の証明書を使用する場合は、該当する証明機関からルート証明書を取得して、各ユーザーデバイスにインストールする必要があります。

ルート証明書をインストールするようユーザーに勧めるのではなく、組織のポリシーと手順に従って、各デバイスにルート証明書をインストールします。ルート証明書を簡単および確実にインストールするには、macOS X のキーチェーンにその証明書を追加します。

ルート証明書をキーチェーンに追加するには

1. 証明書を含んでいるファイルをダブルクリックします。この操作により、キーチェーンアクセスアプリケーションが自動的に起動します。
2. [証明書の追加] ダイアログボックスで、[キーチェーン] ポップアップメニューから以下のいずれかのオプションを選択します：
 - ログイン：現在のログインユーザーにのみ証明書が適用されます。
 - システム：そのデバイスにログインするすべてのユーザーに証明書が適用されます。
3. [OK] をクリックします。
4. [認証] ダイアログボックスにパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

ルート証明書がインストールされ、TLS が有効なクライアントおよび TLS を使用するすべてのアプリケーションで使用されるようになります。

TLS ポリシーについて

ここでは、TLS 経由の ICA セッションのセキュリティポリシーを構成するための情報について説明します。ICA 接続に使用される一部の TLS 設定を Mac 向け Citrix Workspace アプリで構成できます。これらの設定はユーザーインターフェイスに表示されません。変更するには Mac 向け Citrix Workspace アプリが動作するデバイス上でコマンドを実行する必要があります。

注

TLS ポリシーは、OS X サーバーやほかのモバイルデバイス管理ソリューションで制御されているデバイスによって、ほかの方法で管理されます。

TLS ポリシーには以下の設定が含まれます：

SecurityComplianceMode。ポリシーのセキュリティコンプライアンスモードを設定します。SecurityComplianceMode を構成しない場合は、デフォルト値として FIPS が使用されます。この設定に適用できる値は以下のとおりです：

- なし。コンプライアンスモードは適用されません。

- **FIPS**。FIPS 暗号モジュールが使用されます。
- **SP800-52**。NIST SP800-52r1 コンプライアンスが適用されます。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SecurityComplianceMode SP800-52
```

SecurityAllowedTLSVersions。プロトコルネゴシエーション中に受け入れられる TLS プロトコルのバージョンを指定します。この情報は配列として表され、指定可能な値のどの組み合わせもサポートされます。この設定を構成しない場合は、TLS10、TLS11、TLS12 がデフォルト値として使用されます。この設定に適用できる値は以下のとおりです：

- **TLS10**。TLS 1.0 プロトコルを許可することを指定します。
- **TLS11**。TLS 1.1 プロトコルを許可することを指定します。
- **TLS12**。TLS 1.2 プロトコルを許可することを指定します。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SecurityAllowedTLSVersions -array  
TLS11 TLS12
```

SSLCertificateRevocationCheckPolicy。Citrix サーバーの暗号化認証機能が強化され、クライアントとサーバーの間の SSL/TLS 接続の全体的なセキュリティが向上します。この設定は、OS X クライアントで SSL を介してリモートセッションを開く際の、信頼されたルート証明機関（CA）の処理を制御します。

この設定を有効にすると、サーバー証明書が失効していないかがクライアントによりチェックされます。証明書失効一覧のチェックには複数のレベルがあります。たとえば、クライアントはローカルの証明書一覧のみをチェックしたり、ローカルとネットワークの証明書一覧をチェックするように構成できます。また、すべての証明書失効一覧が検証された場合のみ、証明書チェックはユーザーのログオンを許可するように構成できます。

証明書失効一覧（CRL）チェックは、一部の証明書発行元によりサポートされる高度な機能です。これにより、証明書の秘密キーの暗号化が危うくなったり、DNS 名に予期しない変更があったりした場合に、管理者はセキュリティ証明書を失効させる、つまり失効日より前に無効にすることができます。

この設定に適用できる値は以下のとおりです：

- **NoCheck**。証明書失効一覧をチェックしません。
- **CheckWithNoNetworkAccess**。証明書失効一覧がチェックされます。ローカルの証明書失効一覧のストアのみが使用されます。すべての配布ポイントが無視されます。証明書失効一覧の検索は、対象の SSL Relay または Citrix Secure Web Gateway サーバーによって提示されるサーバー証明書の検証において重要ではありません。
- **FullAccessCheck**。証明書失効一覧がチェックされます。ローカル証明書失効一覧のストアとすべての配布ポイントが使用されます。証明書失効一覧の検索は、対象の SSL Relay または Citrix Secure Web Gateway サーバーによって提示されるサーバー証明書の検証において重要ではありません。
- **FullAccessCheckAndCRLRequired**。証明書失効一覧がチェックされますがルート証明機関は除外されます。ローカル証明書失効一覧のストアとすべての配布ポイントが使用されます。証明書失効一覧をすべて検出することが、検証では重要です。
- **FullAccessCheckAndCRLRequiredAll**。ルート証明機関を含め、証明書失効一覧がチェックされます。ローカル証明書失効一覧のストアとすべての配布ポイントが使用されます。証明書失効一覧をすべて検出することが、検証では重要です。

注

SSLCertificateRevocationCheckPolicy を設定しない場合は、デフォルト値として FullAccessCheck が使用されます。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SSLCertificateRevocationCheckPolicy  
FullAccessCheckAndCRLRequired
```

TLS ポリシーの構成

管理対象外のコンピューターで TLS 設定を構成するには、Terminal.app で **defaults** コマンドを実行します。

defaults はコマンドラインアプリケーションで、OS X の環境設定リストファイルにアプリ設定を追加、編集、および削除するために使用できます。

設定を変更するには:

1. [アプリケーション]、[ユーティリティ]、[ターミナル] の順に選択します。
2. ターミナルで以下のコマンドを実行します:

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas <name> <type> <value>
```

各項目の意味は次のとおりです:

<name>: 前述のように設定の名前です。

<type>: 設定の種類を指定するスイッチで、-string または -array のどちらかです。設定の種類が文字列である場合は、この設定を省略できます。

<value>: 設定の値。値が配列であり、複数の値を指定する必要がある場合は、値をスペースで区切ります。

```
defaults write com.citrix.receiver.nomas SecurityAllowedTLSVersions -array  
TLS11 TLS12
```

デフォルト構成へのリセット

設定をデフォルトに戻すには:

1. [アプリケーション]、[ユーティリティ]、[ターミナル] の順に選択します。
2. ターミナルで以下のコマンドを実行します:

```
defaults delete com.citrix.receiver.nomas <name>
```

各項目の意味は次のとおりです:

<name>: 前述のように設定の名前です。

```
defaults delete com.citrix.receiver.nomas SecurityAllowedTLSVersions
```


セキュリティの設定

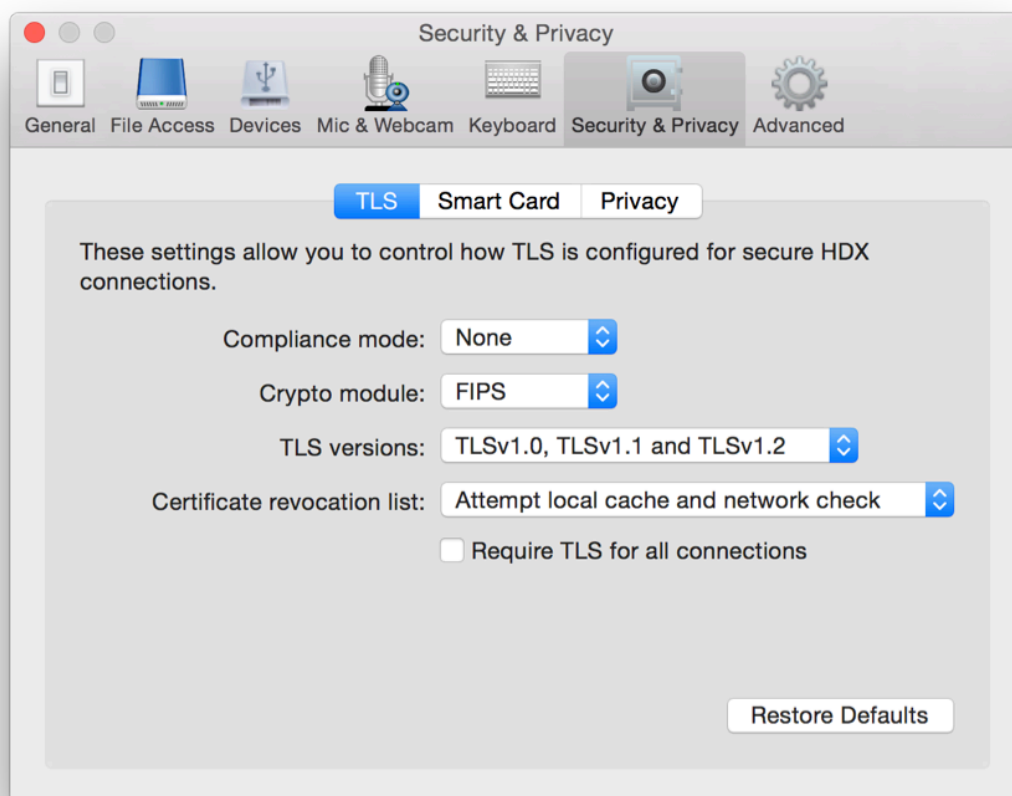
Citrix Receiver for Mac のバージョン 12.3 では、以下のようにセキュリティ機能が改善、強化されています：

- セキュリティ構成のユーザーインターフェイスが強化されました。以前のリリースでは、セキュリティ関連の変更を実施する場合、コマンドラインが優先される方法でしたが、セッションセキュリティに関連する構成設定がシンプルになり、UI からアクセスできるようになりました。この改善により、ユーザーエクスペリエンスが向上し、シームレスにセキュリティ関連の設定を採用するための方法が提供されます。
- TLS 接続の表示。特定の TLS バージョンを使用する接続、暗号化アルゴリズム、モード、キーサイズ、および SecureICA の状態を検証できます。また、TLS 接続のサーバー証明書も表示できます。

強化された [セキュリティとプライバシー] 画面の [TLS] タブには、以下の新しいオプションが含まれます：

- コンプライアンスモードの設定
- 暗号モジュールの構成
- 適切な TLS のバージョンの選択
- 証明書失効一覧の選択
- すべての TLS 接続の設定を有効にする

以下の図は、UI でアクセス可能な [セキュリティとプライバシー] 設定を示します：





© 2023 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved. Cloud Software Group, the Cloud Software Group logo, and other marks appearing herein are property of Cloud Software Group, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).